

混浴温泉世界実行委員会 令和6年度 事業報告書

混浴温泉世界実行委員会

主催者あいさつ

混浴温泉世界実行委員会は2008年に発足し、国際芸術祭『混浴温泉世界』(2009～2015)や個展形式の芸術祭『in BEPPU』(2016～2021)をはじめ、別府を舞台にさまざまな文化事業を展開してきました。

2022年度より、別府市内各所にアート作品を設置するプロジェクト『ALTERNATIVE-STATE』、2023年度より『Art Fair Beppu』(プレ開催)を始動しました。また、市民文化祭『ベップ・アート・マンズ』(2010～)や県内クリエイターの紹介・交流機会となる『マルシェ・クリエイターズマーケット』(2021～)も継続開催しています。さらに、これらのアートイベントを含め、地域の文化資源や歴史、風土を深く味わい体験する文化観光事業も展開しています。

2024年、別府市は市制100周年という記念すべき年を迎え、市内各地でさまざまな記念行事やイベントが開催されました。当実行委員会も、記念事業と連携しながら、今年度も多様な事業をおこないました。『ALTERNATIVE-STATE』では、中崎 透氏と齋藤精一氏を招聘して中心市街地に新作を展示。また、15回目を迎えた市民文化祭『ベップ・アート・マンズ 2024』をはじめ、昨年度に引き続き『Art Fair Beppu 2024』、マルシェ・クリエイターズマーケット『TRANSIT MARKET』を開催しました。文化観光事業では、国内観光客だけでなく、インバウンドも対象とした多様なツアーを企画・催行しました。これらの事業を通じて、国内外に向けて別府市の魅力を発信し、のべ66,562名の方がご来場くださいました。

別府市が2022年度に作成した「芸術文化実施計画 文化観光の推進とアーティスト・クリエイター移住・定住計画」により、ハード整備も進み、アーティスト等の移住も着実に増えています。また、2025年は『大阪・関西万博』の開催により、インバウンド観光客のますますの増加が見込まれています。当実行委員会もこれらの動きと連携しながら、「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」の実現を目指して、活動してまいります。さらに2025年度は、当実行委員会の「第2期中期計画 [2022-2025] 」の最終年度に当たり、「第3期中期計画」策定の年でもあります。これまでの成果や検証を素地に関係者と協議を重ね、地域社会のよりよい未来の姿を描きながら、新たなステップに向けての準備を進める所存です。

末尾となりましたが、当実行委員会の各事業の開催に向けご尽力、ご指導をいただいたみなさま、そして当事業にご参加いただいたすべてのみなさまに感謝を申しあげ、結びとさせていただきます。

混浴温泉世界実行委員会
実行委員長 檜垣伸晶

目次

第1章 はじめに

1-1. 事業概要	04
1-2. 運営組織	06

第2章 まとめと課題

2-1. 『ベップ・アート・マンス 2024』	07
2-2. 『ALTERNATIVE-STATE』	08
2-3. 『Art Fair Beppu 2024』	09
2-4. 『マルシェ・クリエイターズマーケット』	10
2-5. 『文化観光事業』	11
2-6. 共通の取組 (広報活動および観光消費額)	12
2-7. 事業全体を通してのまとめと課題	13

第3章 開催概要1 『ベップ・アート・マンス 2024』

3-1. 企画概要	14
3-2. 実施団体・プログラム	14
3-3. 運営について	53
3-4. プログラム企画者同士の交流機会創出について	56
3-5. サポートへの評価	58
3-6. 来場者について	62

第4章 開催概要2 『ALTERNATIVE-STATE』

4-1. 企画概要	69
4-2. 各プロジェクトについて：[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし	70
4-3. 各プロジェクトについて：[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted 『Jiku』 #023 D-1 BEPPU	76
4-4. 各プロジェクトについて：[ALTERNATIVE-STATE Audio Drama] 連環する音と言葉の八つの断片	82
4-5. オリジナルグッズについて	83
4-6. 来場者について	84

第5章 開催概要3 『Art Fair Beppu 2024』

5-1. 企画概要	91
5-2. 関連イベント	96
5-3. 運営について	99
5-4. サポートへの評価	103
5-5. 来場者について	104

第6章 開催概要4 『マルシェ・クリエイターズマーケット』

6-1. 企画概要	110
6-2. サポートへの評価	114
6-3. 来場者について	117

第7章 開催概要5 『文化観光事業』

7-1. 企画概要	123
-----------	-----

7-2. ツアーA	123
7-3. ツアーB	132
第8章 共通の取組	
8-1. 広報活動と開催効果	142
8-2. 観光消費額	152
第9章 収支状況	154
第10章 事業評価	
10-1. 評価結果のポイント	155
10-2. 評価のフレームワーク	156
10-3. 評価システムの概要	157
10-4. 第2期バランス・スコアカード(2022～2025年度)の策定	158
10-5. バランス・スコアカードの改訂	162
10-6. バランス・スコアカードに基づく2024年度実績の評価	163
添付資料	167
添付資料1 混浴温泉世界実行委員会事業ビジョン&戦略マップ	
添付資料2 バランス・スコアカード	

第1章 はじめに

1-1. 事業概要

1. 事業概要

当実行委員会は、別府市における文化振興事業などを通じて優れた芸術活動を別府市民に紹介し文化芸術振興を図るとともに、地域活性化を担う人材育成に寄与し、別府市の魅力を全国へ発信させることを目的に活動している。

今年度も2022年度に策定したビジョンに基づき、下記の通り、2つの方向性で事業を展開した。

- ① 国際的な興味喚起を促進することで、別府市を文化面における世界の目的地へと成長させる事業
- ② 積極的な参加意識を醸成することで、多様な人材が別府市に関係し、恒常的に活動を展開させる事業

①については、2022年度から開始した『ALTERNATIVE-STATE』を継続。芸術祭に参加するなど国内各地で活躍している中崎 透と、アートだけでなくデザインなどの分野でも活躍している齋藤精一の2名のアーティストによる展覧会を実現した。また、市内各所に設置してある『ALTERNATIVE-STATE』作品をより深く体験するための音声作品も制作し、Webサイトで公開した。さらに、国内はもちろん、インバウンドもターゲットとし、アートだけでなく、歴史や風土を含む大分県の魅力を紹介し、より深い体験を提供するモデルツアーの造成や広報・営業活動をおこなった。

②については、2010年より実施している『ベップ・アート・マンス』を継続開催。これは、文化や地域活動に対する市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興、活力あふれる地域の実現を目的として、企画立案から実現に向けてサポートし、クリエイティビティの高い人材を育成・支援することを目指す市民文化祭である。昨年度に引き続き、オンライン上での企画実施も可能とし、96団体／個人による121プログラムが実現した。あわせて、こだわりを持つ生産者、アーティストや工芸家、食文化などのクリエイターと市民が交流するイベント『TRANSIT MARKET』を継続開催。6日間でのべ41店舗が参加した。2025年の本開催を目指すアートフェアのプレ事業として、『Art Fair Beppu 2024』を開催。国内外から64組の出展者を招聘し、作品の展示販売をおこなった。

2. 開催クレジット

名称	ベップ・アート・マンス 2024
日程	2024年9月21日(土)～11月10日(日)
会場	別府市内各所およびオンライン
参加団体・個人、プログラム数	登録：102団体／個人、128プログラム 実施：96団体／個人、121プログラム
参加人数	43,154名(来場者数：36,501名、オンライン参加者数：6,653名) ※混浴温泉世界実行委員会主催事業の参加人数は含まず
名称	ALTERNATIVE-STATE
日程	2024年9月20日(金)～2025年3月31日(月)
会場	別府市内各所
参加人数	19,083名(作品鑑賞 18,739名＋イベント参加 482名＋オンライン参加 344名)
名称	Art Fair Beppu 2024
日程	2024年9月21日(土)～9月24日(火)
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場、BEPPU STUDIO 01、清島アパート
出展者数	64組
参加人数	2,870名

名称	マルシェ・クリエイターズマーケット
日程	2024年9月21日(土)～23日(月・祝)、10月12日(土)～14日(月・祝)、11月2日(土)～4日(月・祝) ※9月22日(日)、23日(月・祝)、11月2日(土)は雨天のため中止
会場	レンガホール 中庭
参加人数	1,660名
名称	文化観光事業
日程	2024年6月30日(日)、8月17日(土)、9月20日(金)、9月22日(日)、9月22日(日)～9月23日(月・祝)、9月23日(月・祝)、12月28日(土)、2025年1月31日(金)、2月15日(土)
会場	別府市、国東市、豊後高田市、由布市
参加人数	151名
参加人数合計	66,562名
主催	混浴温泉世界実行委員会
総合プロデューサー	山出淳也 (Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)
助成	令和6年度 文化庁 文化資源活用推進事業、*一般財団法人 大分放送文化・スポーツ振興財団
協賛	株式会社 別大興産、全日本空輸 株式会社、株式会社 大分銀行、鬼塚電気工事 株式会社、JR九州ビルマネジメント 株式会社、大分県立芸術文化短期大学、株式会社 関屋リゾート、DABURA.m 株式会社、山の上デザイン 株式会社、株式会社 トキハ 別府店、海地獄、大分瓦斯 株式会社、社会福祉法人 大分県福祉会、大分みらい信用金庫、南光物産 株式会社、弁護士法人 アゴラ、公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団、大分県信用組合 別府支店、株式会社 佐伯コミュニケーションズ、志村製材 有限会社、一般社団法人 別府市観光協会、すえつぐ動物病院、公益社団法人 ツーリズムおおいた、ひょうたん温泉、一般社団法人 別府市薬剤師会
後援	別府市、大分県教育委員会、別府市教育委員会、公益社団法人 ツーリズムおおいた、別府商工会議所、一般社団法人 別府市観光協会、別府市旅館ホテル組合連合会、大分県民芸術文化祭実行委員会、NPO法人 大分県芸術振、別府社交飲食協同組合、*大分合同新聞社、朝日新聞 大分総局、毎日新聞社、読売新聞 西部本社、西日本新聞社、共同通信社 大分支局、今日新聞社、NHK大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、株式会社 エフエム大分、CTBメディア、ゆふいんラヂオ局、月刊・シティ情報おおいた、ネクスト
特別協賛	**ウシオライティング 株式会社
特別協力	**株式会社 スーパーホテル、**株式会社 トキハ 別府店、***株式会社 NBCメッシュテック、***株式会社 ササキコーポレーション、***株式会社 三清社、***ホテルアーサー KITAHAMA BASE
その他	****別府市制100周年記念事業

* 『ベップ・アート・マンス 2024』 『ALTERNATIVE-STATE』 のみ

** 『ALTERNATIVE-STATE #7』 のみ

*** 『Art Fair Beppu 2024』 のみ

**** 『ベップ・アート・マンス 2024』 『ALTERNATIVE-STATE』 『Art Fair Beppu 2024』 『マルシェ・クリエイターズマーケット』 のみ

1-2. 運営組織

実行委員会

2025年3月31日時点

顧問	佐藤 樹一郎		大分県 知事
	長野恭紘		別府市 市長
	長野恭紘		一般社団法人 別府市観光協会 会長
	西 謙二		別府商工会議所 会頭
委員	檜垣伸晶	実行委員長	別府市美術館 館長
	菅 健一	副実行委員長	NPO法人 別府八湯トラスト 理事長
	宮成智宏		大分県企画振興部 芸術文化振興課 課長
	佐藤元彦		大分県東部振興局 局長
	三浦宏樹		公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団 アドバイザー
	日置伸夫		別府市観光・産業部 部長
	秋月久美		公益社団法人 ツーリズムおおいた 専務理事
	倉原浩志		別府商工会議所 専務理事
	三浦貴雅		別府商工会議所 青年部 会長
	江藤 淳		公益社団法人 別府青年会議所 会長
	佐藤大輔		一般社団法人 別府市観光協会 事務局長
	尾野文俊		大分経済同友会 常任幹事
	西村靖史		別府大学 広報室長
	大蔵開平		別府溝部学園短期大学 ライフデザイン総合学科 学長補佐 学科長 教授
	廣瀬 剛		大分大学 教育学部 教授
	於保政昭		大分県立芸術文化短期大学 准教授
	荒巻良考		九州旅客鉄道 株式会社 別府駅 駅長
	廣原武史		株式会社 JTB 大分支店長
	野上泰生		NPO法人 ハットウ・オンパク 代表理事
	安波秀男		NPO法人 鉄輪湯けむり倶楽部 代表理事
	安波治子		鉄輪ツーリズム 代表
	堀 景		一般社団法人 別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK 代表理事
	須藤智徳		立命館アジア太平洋大学 サステナビリティ観光学部 教授
	富来昌博		別府市旅館ホテル組合連合会 事務局長
	山出淳也	総合プロデューサー	Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役
監事	鶴田 浩一郎		ホテルニューツルタ 代表取締役
	羽生正宗		税理士法人 羽生会計事務所 代表
調整委員	三代桃子		大分県企画振興部 芸術文化スポーツ振興課
	彦森美桜		大分県東部振興局 地域創生部
	穴見雄一		別府市観光・産業部 文化国際課
	野口一郎		別府商工会議所 企画観光事業部 部長

事務局

NPO法人 BEPPU PROJECT

2-1. 『ベップ・アート・マンス 2024』

1. 概要

『ベップ・アート・マンス（以下『BAM』）』とは、混浴温泉世界実行委員会が主催となり、別府市内で開催されるさまざまな文化事業を紹介し支援する、登録型のプラットフォーム事業である。2010年から毎年市民芸術祭を開催し、今年度で15回目となった。小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートをおこなうことで、市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指す取組である。昨年までに引き続き、オンラインでの企画も募集し開催した。

2. 今年度の傾向

今年度の『BAM』は、2024年9月21日(土)から11月10日(日)の51日間、別府市内各所及びオンラインで開催された。102団体／個人による128のプログラム登録（うち6団体／個人による7プログラムが中止）があり、43,154名（来場者：36,501名、オンライン参加者：6,653名）の参加があった。目標来場者数（37,000名）を若干下回る結果であったものの、昨年度より約280%来場者数が増加した。

昨年度まで希望する企画者とメディアを招待して会議室で実施していた決起集会を、今年度はより多くの人にBAMの存在を知ってもらうために一般の人にも立ち寄ってもらえるプレイベント『バム・ジャンボリー!』として、やよい商店街にて開催し、盛会のうちに終了した。また、昨年度の『ベップ・アート・マンスを考える会』で意見が出た「スタンプラリー」をつくろう会有志による自主企画として実施した。参加者から「スタンプを集めるために遠い会場にも足を運んだ」という感想や、企画者から「スタンプ目当ての方が来られた」との報告があり、一定の効果があったと考えられる。例年、のぼりは事務局スタッフが会場に設置していたが、今年度は試験的に企画者に委ねた。大きなトラブルに至らなかったため次年度以降も引き続き、企画者の協力を得ながら運営方法を見直していきたい。

3. アンケート結果をふまえた今年度の傾向

企画者アンケートでは昨年度と比較し、今年度は事業自体への好評価や「登録してよかった」という意見が多かった。昨年に引き続きインバウンド向けの広報強化の取組として広報物の一部英語化や、多言語対応可能なスタッフが常駐する『WANDER COMPASS BEPPU』をインフォメーションにしたが、海外からの来場者が減少した。広報の手法そのものやSNSでの発信方法など、次年度以降も検討したい。来場者アンケートでは、昨年度同様、全体的に女性の割合が多かった。今までに参加したことがあるかという質問に「いいえ」と答えた人が52%と、『BAM』を新しい人に伝えることができたと考える。「参加したプログラム数」について昨年度と比較すると「5つ以上」が増えたことはスタンプラリーの効果もあると思われる。今後、広報の工夫やプログラム同士の連携強化などを通し、来場者が『BAM』を複数プログラム巡ることによって、まちなかを周遊する機会を創出したい。また、同じく来場者アンケートの項目「今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問するか」の結果について、「いいえ」と答えた人が昨年度は32.5%、今年度は69.6%と割合が大きく変動している。この結果が何に起因するものなのか、他プロジェクトとの連動性や地域の傾向も含め、次年度以降検証していきたい。

4. まとめと課題

今年度で15回目を迎えた『BAM』は、2021年度以降毎年100を超える企画者による多様なプログラムが実施されるようになり、市内のアートイベントとして定着しつつある。しかし、まだ『BAM』を知らない市民もいることから、今年度はさらなる定着を図るために、広報活動の強化や新たな市民参加の機会を創出した。企画者の割合は6割が継続、4割が新規の参加となり、『BAM』の強みの1つである企画者の多様性を維持することができたと見ている。来年度も市民の主体的な関わり方を模索し、さらなる認知拡大と発展を目指したい。



1. 概要

『ALTERNATIVE-STATE』(以下『AS』)は、別府市がアートの町としてさらに魅力を高め、同市への興味喚起を促すことを目指して2022年度より開始したアートプロジェクト。今年度は第5弾と第6弾の2作品を制作・設置した。2024年9月に公開した中崎 透『Bluebird Sign/青い鳥のしるし』(以下『青い鳥』)は、中心市街地25ヶ所に32の作品を設置した。2025年2月に公開した齋藤精一による「Distorted『JIKU』#023 D-1 | BEPPU」(以下『JIKU』)は、その地域固有の歴史的・地形的な“軸線”を光で表現する作品で、多様な人々が行き交う別府市駅前通りの上空に設置した。参加者数は現地参加とオンラインをあわせて19,083名であった。

さらに、[ALTERNATIVE-STATE Audio Drama]として、詩人で作詞家の御徒町 凧を招聘し、8つの章からなる音声作品『連環する音と言葉の八つの断片』を制作。次年度の本公開に先駆け、一部をWebサイトで公開した。

2. 今年度の傾向

今年度はそれぞれの作品の性質もあり、アートと地域の距離がより一層縮まった。『青い鳥』は会場が広範囲に点在している分、多くの自治会、通り会、地元企業、店舗、市民との関わりと協力を得られた。『JIKU』もまた、既存作品に比べて鑑賞可能範囲が広がったため、自治会や通り会をはじめとする地域への周知および理解増進に注力した。さらに『青い鳥』は中崎にとって初の大規模な屋外長期展示であり、齋藤は『JIKU』シリーズの新たな展開として本作品を制作するなど、作家にとって新たな表現への挑戦の機会となったことも特徴であった。

3. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

来場者数をみると、66.7%が県内から、33.3%が県外からという結果で、昨年度よりも県外の来場者数が微減した。昨年度時点より県外客の誘致拡大が課題だったが、その改善には至らなかった。一方で滞在期間をみると、日帰りが38.2%から18.2%にまで減り、宿泊を伴うなかでも3泊以上という回答の増加が目立った。この理由として、『AS』全体の作品点数が増えたことに加え、鑑賞に時間を要する『青い鳥』や、夜間にのみ鑑賞可能な『JIKU』の完成が、参加者の延泊を招いたのではないかと予想する。

次に認知経路については、昨年度最多だった「関係者・企画者からの連絡」「知人・友人」が減り、「SNS」「Webサイト」「チラシ・パンフ」がいずれも大幅に増えトップ3になった。SNSからの認知がさらに増えたのは、全国アート関係者／コアファン層に対する作家本人の発信力の大きさが影響しているのではないかと予想する。なお依然として、テレビや新聞、雑誌といった既存メディアからの流入が少ないことも明らかである。課題としては、作品によって認知度に差があることが挙げられる。特に夜間のみ鑑賞できる作品の鑑賞者数が落ち込んだ。今後は、いずれかの作品の鑑賞をきっかけに、他の作品への興味も喚起できるような仕組みを構築していく必要があると考える。

4. まとめと課題

今年度3年目を迎えた『AS』は、ここまで順調に作品数が増え、地道におこなってきた地域との関係性づくりや作品ごとの認知度の向上のための取組が、少しずつ実を結んできたように思われる。次年度にはついに8作品が揃い、音声作品の本公開も予定されている。その際、他の文化芸術イベントや観光とセットで『AS』全体の作品鑑賞を打ち出せるようなパッケージや仕組みがいよいよ必要となる。それには、全国向けの広報戦略の練り直しが不可欠であることは言うまでもないが、加えて『AS』が真に地域の財産となるためには、すでに応援してくれている方々を含めた地元住民／企業への周知にいっそう注力し、実行委員会の枠を超えた地域の理解と協力の輪を広げていく努力をしていかなければならない。さまざまな点を考慮しながら、両輪のバランスをいかにとっていくかが鍵になるだろう。



[AS#5] 撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)



[AS#7] 撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)

1. 概要

『Art Fair Beppu』は、別府市を文化的な社交の場として国際的に発信し、今後の西日本・アジア地区における新たなアートマーケットを創出しながら地域経済へ貢献することを目指して2023年より開始した取組である。アーティスト自身が出展者となることを特徴としており、今年は国内外から招いた64組の出展者が別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場、BEPPU STUDIO 01、清島アパートの3会場で作品や活動について説明した。2度目の開催となった今年度は、2024/9/21(土)～9/24(火)の4日間で2,514名が来場した。

2. 出展者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

『Art Fair Beppu 2024』に対して「とてもよかった」が66.7%、「よかった」が33.1%となり、昨年と同様に出展者からの評価は高かったといえる。その理由として、アーティスト同士のつながりが生まれたという意見が数多く挙げられていた。また、昨年の課題であった会場での飲食については、フードエリアの設置により改善を試み、一定の成果をあげることができた。一方で、昨年指摘されたアーティストの常駐時間の長さについては改善を図ることができなかった。さらに今年度は、会場の一部に来場者の流れが悪く、あまり人が来ないエリアがあったとの意見もあった。出展者の常駐時間、来場者の動線やサインの計画は来年度の課題である。

また、トークゲストとのコネクションもアートフェアの魅力であるとの意見があった。来年度も国際的なキュレーターやアート関係者を招聘しつつ、会場でアーティストとのつながりを作れるよう、余裕をもったスケジュールで進めていきたい。

3. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

来場者については、昨年同様に20代女性が最も多く24.1%を占めた。加えて10代以下の来場者数が昨年度の倍以上(4.2%→8.9%)に増え、より若い世代にも訴求することができたことは大きな成果と言える。来場者の居住地は県内の割合が昨年よりも増えた(64.4%→70.3%)。若年層の増加と県内からの来場者数の増加は、今年度からはじめたミラチケの取組による影響であろう。

昨年の課題であった滞在期間については3泊以上の割合が4倍に増えた(1.7%→6.9%)。これは開催期間の長さが影響していると考えられる。自由記述欄には会場や作家、作品の面白さについての好意的な意見が多く見られたが、細かな運営面での不満(充電可能なスペースがほしい、アーティストパスに名前の欄を設けてほしいなど)もあり、来年度の課題も浮き彫りとなった。

4. まとめと課題

昨年度に引き続き、出展者・来場者のアンケートでは「とてもよかった」「よかった」をあわせるといずれも約9割(98.1%)という高い評価を得ることができ、来年度の本開催に向けて基盤を強化することができた。一方で昨年度の課題であった会場構成、広報活動の強化については、一定の成果はあったものの、引き続き課題として残っている。本開催となる来年度は、これまでとは異なる会場で開催する予定である。会場動線を抜本的に再考するとともに、事業の周知から誘客へと繋げる広報の仕方を工夫したい。

『ART FAIR ASIA FUKUOKA』との連携については、昨年に引き続き広報活動やVIPの相互入場などの連携に加え、開幕前にトークイベントをおこなった。来年度の連携については別府から福岡へ何ができるかを軸に検討していきたい。

またインバウンドについて、昨年度は達成できなかった外国人来場者による作品購入があったことは、今年度の大きな成果である。留学生を会場運営スタッフとして起用したことで、インバウンドに向けた案内を迅速かつ細やかにおこなえたことが影響していると考えられる。引き続き、海外からの来場者数および作品購入者数の増加を目指したい。



1. 概要

『マルシェ・クリエイターズマーケット』事業はこだわりを持つ生産者、アーティストや工芸家、食文化などのクリエイターと市民が交流するイベントとして2022年から毎年開催している。今年度2回目の開催となった『TRANSIT MARKET』は、レンガホール中庭で2024/9/21(土)、10/12(土)・13(日)・14(月・祝)、11/3(日)・4(月・祝)の6日間開催した*。計6日間で41店舗が出店し、合計で1,660名が来場した。

*本来2024/9/22(日)、23(月・祝)、11/2(土)を含めた9日間での開催予定であったが、雨天のために中止となった。

2. 出店者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

「『TRANSIT MARKET』に出店してよかったか」「また出店したいか」の質問項目に対しては90%以上が「はい」という回答で、取組や事務局の対応への評価は総じて高かった。一方で集客の課題については複数の意見が寄せられた。県内でイベントが多発している時期の開催であったため、開催日によって客数の変動が大きかった。また、もっと人通りの多い場所での開催を望む声も挙がった。これらの意見も踏まえつつ、よりよい開催のあり方を今後も検討していきたい。次に「広報業務の一部代行による効果があったか」の問いには80%が「はい」と回答していることから、事務局の広報活動については一定の効果を実感してもらえていることがわかる。ただし、広報面に関してはイベントの詳細が分かりづらいという意見もあり、次年度は広報物の内容やSNSの活用方法を見直し、より効果的な広報戦略を考える必要がある。なお、今年度は雨天により3日間中止となったが、出店要項に「小雨決行」と記載していたものの、明確な判断基準を設けていなかったため、初回は事務局の対応に遅れが生じた。次年度に向けて、その他の記載事項についてもさまざまな事態を想定し出店要項を再編する必要がある。

3. 来場者アンケート結果をふまえた今年度の傾向

来場者は男女ともに30代の割合が最も高かった。大分県内からの来場者が全体の93%を占め、地域別の内訳を見ると「九州・沖縄」からの来場者が大幅に増加した。しかし昨年と比較すると海外からの来場者が減っているため、観光案内所や周辺のホテル・旅館での広報に力を入れる、まちあるきと連携するなどしてインバウンドの集客を強化していきたい。来場者からは「もう少し飲食店があった方がよい」「ノンアルコールドリンクやコーヒーなど温かい飲み物があればよかった」など、出店数や提供品についての意見が多く寄せられた。背景として、9月・10月は特に同様のマルシェイベントが県内各地で開催されていたため、出店者の募集に苦戦し、出店内容のバランスを調整できなかった状況がある。アンケート結果を受け、11月に出店数を拡大したところ出店内容の幅が広がり、満足度が高まった。来年度以降は一日あたり平均10店舗の出店を目指し、多様なジャンルの店舗の出店が実現できるよう、早めの声かけが必要であるとする。また、集客を強化するための戦略として、日ごとのテーマを設けるなどの差別化をおこなうことも検討したい。来場者からは「ワークショップがもっとあるとよかった」という意見もあったが、中庭のスペースが限られているため、レンガホール館内も一部利用するなど規模拡大も視野に入れたい。また、昨年度と比較して滞在期間の「宿泊」と別府市外への訪問が増えた一方で、「別府はアートの街である」「別府を再訪したいか」という項目に関しては「はい」の回答が減っている。これは本事業が実行委員会事業としてのプレゼンスを発揮できていないことを示唆しており、今後その他の実行委員会事業との連携を一層強めていかなければならない。

4. まとめと課題

昨年度は開催日によって会場が異なりリピーターの獲得につながりにくかったが、今年度はレンガホール中庭に固定したことで、市民への定着が進んだように感じられた。また、夜間に開催した9月・10月は比較的インバウンド観光客の姿も見られた。出店者アンケートからは事務局の対応に対して高い評価を得ているが、来場者アンケートではアートの街であるという別府のイメージや別府への再訪意識が低い結果となったため、他の実行委員会事業との連携をどのように図っていくか検討したい。今年度の反省点やアンケート結果も踏まえ、地域に根ざす日常的な観光コンテンツとしてより一層の成長と定期的な開催を目指していきたい。



1. 概要

『文化観光事業』は、大分県の魅力を紹介し、より深い体験を提供するとともに、別府の宿泊数増加に繋げることを目的とする取組である。今年度は「別府発着県内広域連携型（ツアーA）」と「別府市内まちあるき型（ツアーB）」の二つの設定を軸にツアーを造成した。ツアーAでは県内の他地域と連携し、その土地のアートポイントと観光名所を絡め、アートと観光の視点を掛け合わせることでアートファンにとどまらない参加者層の拡大を図った。また、「別府市内まちあるき型」のツアーBでは、『ALTERNATIVE-STATE』の作品公開や『Art Fair Beppu 2024』の開催時期に合わせ、アーティストが市内を案内するツアーを開催するなど、アートの街・別府を強く印象づけることを試みた。また、A・Bそれぞれの設定において韓国語によるガイドツアーも開催し、韓国からのインバウンド観光客の取り込みを図った。ツアーAを3本、ツアーBを7本、計10本の文化観光ツアーの開催による参加者数は計151名となり、目標参加者数の100名を上回る結果となった。

2. アンケート結果をふまえた今年度の傾向

ツアーAとツアーBで設定が異なることから、当然ながら、来場者アンケートの結果にもその違いが現れた。たとえば、「居住地」については、ツアーAでは県外からの参加者が多く69.2%、ツアーBでは県内の参加者が多く74.2%であった。「滞在期間」については、ツアーAでは宿泊した参加者が66.7%と多かったのに対し、ツアーBでは宿泊した参加者は50.0%と約半数であった。また、「このイベントをどこで知ったか？」という問いに対しては、ツアーAではWebサイトが37.5%と最も多く、ツアーBでは関係者・企画者からの連絡が31.7%と最も多かった。参加者の年齢や性別、ツアーへの満足度、別府がアートの街であることの認識、別府への再訪については昨年度と比べて大きな変化はなかった。年齢・性別を見ると50代女性が最も多かった。さらにこの層は総じてツアーへの満足度やアートの街であるという認識が高く、別府へ再訪したいという回答も多かった。なお「今回の滞在中、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか」に対して「はい」と答えた参加者はどちらも共通して少なく、ツアーAでは33.3%、ツアーBでは28.6%となった。

3. まとめと課題

今年度の『文化観光事業』において特筆すべきは、例年になく集客が順調であったことである。なかでもアーティスト自身がガイドするツアーと国東半島バスツアーは、早い段階で定員に達した。過去実績を見ても、国東半島バスツアーの完売は例外的であったため、参加者に主な参加動機を質問したところ、あらかじめ想定していた「アントニー・ゴームリーの作品が見られるから」「バスでの移動が便利だから」の回答に加えて「タイミングがよかった」が上位に挙がった。国東半島バスツアーは昨年度より『Art Fair Beppu 2024（以下AFB）』と同時開催しているが、今年度このように大きな変化が起きたのは、広報を筆頭に『AFB』との連携を強化したことによって、アートフェア来場者にとって「タイミングのよい商品」として認知されたためと推察する。今年度の成果から、文化観光ツアーの成功には他事業との連携が不可欠であるということが浮き彫りとなった。さらには「両子寺に行けるから」という回答が、その他のアート作品の鑑賞を上回ったことにも注目する。この点も踏まえアートと観光の視点を掛け合わせながら、次年度以降も他事業との連携をしっかりと図り、文化観光のますますの推進に繋げていきたい。また、韓国語によるガイドツアーでは、他団体や韓国人インフルエンサーと連携し、ターゲットへのより直接的なアプローチを試みた。結果としてこれらによる集客は得られなかったが、連携各所から「韓国人旅行者向けの別府・由布院バスツアーは競合商品が多く、催行日を定めたツアーでは集客が難しい」というアドバイスをいただいた。次年度以降は複数の催行予定日を提示するなど選択肢を設け、参加の間口を広げられるよう販売方法を検討していきたい。県外からの参加が多いツアーAでは、参加者の多くが「これまで文化観光ツアーに参加したことがなかった」と回答し、参加後は「別府に再訪したい」と答えている。今回文化観光を初めて体験した方々の多くが別府への再訪を希望しているという結果は、観光とアートを掛け合わせたツアーには地域のファンやリピーターを生む可能性があるともいえるのではないかと。「次はこの場所へ訪れたい」と参加者に思わせることができるよう、次年度へ向けて同時に働きかけながら、さまざまな条件設定や多方面との連携を意識して取り組むことが必要だと考える。



1. 概要

今年度の国内メディア掲載件数は276件 (目標230件) を達成したものの、広告換算額は111,482,591円 (目標270,000,000円)で未達成であり、昨年度の118,766,347円と比較すると微減した。事業ごとにみていくと、『ベップ・アート・マンス 2024』は、昨年度と比較すると、掲載件数、換算金額ともに減少している。昨年度に引き続き、全国的に影響のあるメディアへの露出が課題となる。『ALTERNATIVE-STATE』は、昨年度と比較すると掲載件数は増えたものの、換算金額は減少している。テレビやラジオ、雑誌等への掲載数増加が課題である。『Art Fair Beppu 2024』については雑誌やWeb・SNSへの掲載数の増加が換算額の増加につながった。『TRANSIT MARKET』もWeb・SNSへの掲載数が増加しているが、その他のメディアへの露出は減少しており、換算額も減少している。『文化観光事業』はAS#5の中崎 透のツアーがWebメディアで広く取りあげられたため、換算額が大幅に増加した。また、今年度の地域内消費額は523,963,500円となり、昨年度 (460,742,750円) に比べ63,220,750円増加した。

2. Web/SNS

全体として、今年度は特にInstagramでの広報に注力し、事業ごとにストーリーズなどの機能を活用したさまざまな発信方法を試した。事業別に見ると、『ベップ・アート・マンス 2024』はWebサイトのユーザー数が微増したものの、ページビュー数は昨年度に比べ減少した (ユーザー数：8,073→8,204、ページビュー：35,245→31,207)。またSNSについては、特にInstagramを活用し、リアルタイムのコミュニケーションや、各トピックの注目度の向上を目的にストーリーズを中心に投稿した (新規ストーリーズ数：465)。アンケートやハイライトなどの機能も活用し、写真だけでなく動画の投稿にも注力した結果、新規フォロワー数は昨年度よりも増加した (147→174)。『ALTERNATIVE-STATE』はWebサイトのユーザー数、ページビュー数ともに増加した (ユーザー数：5,141→6,777、ページビュー数：7,499→18,273)。Facebook、Instagramのフォロワー数も昨年度同様増加傾向にある。『Art Fair Beppu 2024』は昨年度開設したWebサイトとInstagramともに全事業のなかでも比較的多くのユーザー数、新規フォロワー数を獲得できた (Webユーザー数：11,329→14,273、Instagram新規フォロワー数：510→1063)。Instagramでは、アートフェア開催後も出展者の活動情報をストーリーズで発信することにより、フォロワーの定着を図っている。『TRANSIT MARKET』は昨年度に比べInstagramの新規フォロワー数は減少しているが (581→219)、昨年度はじまった事業であることを踏まえると、継続的に新規フォロワーを獲得できていることは1つの成果といえる。そのほかの事業については、独自のWebサイトやSNSを作成せず、TRANSIT、別府市の公式SNS、NPO法人 BEPPU PROJECTの発信経路を活用して情報発信をおこなった。

3. 認知経路

事業別に見ると、『ベップ・アート・マンス 2024』は広報媒体である「チラシ・パンフ」はやや減少し、「知人・友人」や「関係者・企画者からの連絡」が増加した。『ALTERNATIVE-STATE』は「Webサイト」と「SNS」が増加し、昨年度の課題であった関係者や知人以外の認知経路を増やすことに成功した。『Art Fair Beppu 2024』は「Webサイト」から知った人が多いものの、依然として「知人・友人」からの割合が多い。Instagramのフォロワー数は増えてきているため、そこから来場へと繋げる工夫が次年度の課題である。『TRANSIT MARKET』は昨年度同様「チラシ・パンフ」が最も多かったが、昨年度と比較して「Webサイト」「SNS」の割合は増加している。『文化観光事業』は「関係者・企画者からの連絡」が多かった。

4. まとめと課題

今年度は各事業で共通してWebやSNSに注力しており、特にInstagramのストーリーズ機能を多く活用した。またWebやSNSに関して、実際の来場者の認知経路に反映されていないものの、ページへのアクセス数やフォロワーは着実に増えてきている。WebやSNSによる事業の周知は継続していきたい。一方で、広告換算額の目標を達成するためには、全国的に知名度のある新聞、テレビ、雑誌への露出が課題となる。

1. 外国人来場者増加の伸び止まり、事業全体での広報に課題

本事業では「アート作品の設置や多様な事業の展開によって生まれる新たな別府の魅力を、メディアやSNSを通じて恒常的に国内外に発信し、来街者にとって有益な情報を適切に届けること」を目指す姿の1つに挙げている。今年度も昨年度に引き続き、SNSを中心とした広報を強化し、全事業において英語での発信をおこなった。さらに、一部の事業においてはターゲットを韓国に設定し、韓国語での発信もおこなったが、結果としては外国人来場者数の増加には大きくは繋がらなかった。また、国内においても、個々の事業におけるこまめなリリースやSNSでの発信により、掲載件数は増加したが、全国メディアへの露出が伸び悩み、広告換算額は目標を大きく下回った。各事業の広報のタイミングや広報物の配布場所など、より一層の工夫が必要であると同時に、事業ごとの広報だけでなく、実行委員会事業全体を見通した広報戦略に基づいた効果的なプロモーションをおこなうことが喫緊の課題である。

2. 関わるアーティスト・クリエイターおよびアートマネジメント人材が拡大

本事業では、「アートに限らず、食や工芸、デザインなどさまざまなものづくりに携わるクリエイター、国内外のコレクターやギャラリーが参画・交流する場を創出し、クリエイター等の移住が増加すること」を目指す姿の2つ目に挙げている。2年目を迎えた『Art Fair Beppu』や『TRANSIT MARKET』では、出展者／出店者のうち70%超のアーティスト・クリエイターが新規に参画した。出展者／出店者へのアンケートから、新規参画者たちが事業を通じて別府の町の魅力や市内のアートの取組に触れ、理解を深める機会に繋がったことが読みとれる。また、今年度はインターンの受入が多かったことが特徴的であった。県外の大学生や県内の留学生など、昨年度に比べ3倍以上の学生をインターンとして受け入れ、事業の当日運営など、マネジメント業務を体験してもらった。さらに、外部人材の起用も積極的におこない、アートマネジメント分野においても関わる人材が拡大した。また、『ベップ・アート・マンス』では、市民のより主体的な関わり方を模索し、企画者が起案した複数の取組を実践し、一定の成果を上げた。

3. 文化観光の入口としての認知度向上に課題

本事業では、「大分県の文化観光の入口として別府の認知が広がり、県内各地の文化資源を巡るための拠点となることによって、滞在日数やリピーターが増加すること」を3つ目の目指す姿として挙げている。今年度も、主に『Art Fair Beppu』開催時期に合わせた文化観光ツアーの実施や、同時期開催のアートイベントの発信を通じ、滞在日数の延伸を狙った。しかしアンケート結果では、「宿泊者数のうち2泊以上の宿泊客の比率」および「県内の別府市外の自治体を訪問した人の比率」でも目標を下回り、「文化観光の入口」としての機能には課題が残った。来年度は『大阪・関西万博』開催の年であり、大阪と陸路・空路・海路で繋がっている別府は、まさに「文化観光の入口」となり得るアドバンテージを持っている。観光セクターとの連携を強化し、文化資源を活用した魅力的なツアーの造成および適切な情報発信に努めていきたい。

4. 適切な予算の確保、負担金以外の収入獲得が課題

負担金以外の収入増を目指し、協賛金獲得のための新規営業もおこなったが、成果には結びつかなかった。より多くの企業への営業をおこなうことと同時に、協賛によって実行委員会と企業の双方がメリットを得られるような提案が必要であり、実行委員やスタッフで知恵を絞らなければならない。また、目標を大幅に下回っているグッズの販売については、抜本的な戦略の立て直しが必要である。

第3章 開催概要1『ベップ・アート・マンス 2024』

3-1. 企画概要

『ベップ・アート・マンス』とは、混浴温泉世界実行委員会が主催となり、別府市内で開催されるさまざまな文化事業を紹介し支援する、登録型のプラットフォーム事業である。2010年から毎年市民芸術祭を開催し、今年度で15回目となった。小規模文化団体の育成・支援を目的に、広報協力、事務局業務代行、企画立案から実現に向けたサポートをおこなうことで、市民の主体的な参画を促進し、別府市における芸術文化の振興と活力あふれる地域の実現を目指す取組である。昨年度に引き続き、オンラインでの企画も募集し開催した。


事業の目的は、下記の4つである。


1. 別府市における文化芸術の振興
2. 別府市における文化芸術の鑑賞機会の充実
3. さまざまな芸術表現の発表機会の提供
4. 別府市における集客交流人口の多様化


3-2. 実施団体・プログラム


102団体・個人が128プログラムを登録した。企画者の諸事情により6団体、7プログラムが中止となり、別府市内各所およびオンラインで121プログラムが実施された。うち、実会場でのプログラムは119、オンラインを利用したプログラムは9（オンラインと実会場を併用したプログラムを含む）であった。別府市内各所の75会場（うち提供会場5ヶ所）が使用された。


※以下の一覧のうち「閲覧者数」とは、YouTubeの再生回数、その他オンライン（ZoomやSNSなど）を利用したプログラムの参加者数・鑑賞者数を全て含んだ数を指す

企画者	Space Beppu	
プログラム 001	晴れても楽しいレインアート	
会期	9/21(土)～11/10(日) (火定休)	
会場	Space Beppu	
料金	入場無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	30名／50名 (60%)	
実施内容	水に濡れると色が浮き出る特殊な塗料で屋外に「レインアート」を制作。雨の日はもちろん、晴れの日も水を撒くことで鑑賞可能とした。新しい顧客層に知ってもらうきっかけになり、集客に繋がった。	


企画者	高橋 佳那子	
プログラム 002	Happy Letter Box	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	Space Beppu	
料金	500円 (1ドリンク付き)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	10名／30名 (33%)	
実施内容	箱の中から手紙を取り、自分もその場で手紙を書いて箱の中に戻すというやり取りをおこなうイベント。「手紙なんて最近書いてなかったから新鮮」「知らない人からの手紙は想像以上にワクワクしたし、うれしかった」と言ってくださった。	


企画者	竹下好美	
プログラム 003	まつぼっくりランド展示&製作	
会期	①9/21(土)～11/10(日) ②11/2(土)～10(日)の 土・日・祝のみ開催	
会場	別府ラクテンチ園内『まつぼっくりランド』	
料金	無料 ※別途ラクテンチ入園料必須	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	2790名／2800名 (99%)	
実施内容	まつぼっくりアートの展示とワークショップをラクテンチ園内で実施。みなさん「かわいい!!」「すごい!!」と言って楽しそうに見てくださった。小さなお子様にも好評。まつぼっくりくんを作るイベントでは個性豊かなまつぼっくりくんを作ってくれた。	


企画者	コーニー絵美子	
プログラム 004	北ウェールズから別府へ	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	オンライン	
料金	無料	
閲覧者数／目標閲覧者数 (達成率)	857名／1000名 (86%)	
実施内容	2024年に北ウェールズで撮影した写真と動画を編集し、15本の動画をYouTubeに配信。昨年に続き日本語と英語の字幕を入れ、多くの方に理解してもらうよう努めた。いちばん視聴者数が多かったのは、大分県の水族館『うみたまご』の職員の方が北ウェールズのアングルシー水族館へ視察に来たときのようすを動画にしたものだった。実際におこなわれている大分と北ウェールズの交流を動画にすることができ、とてもよかったと思う。	


企画者	draki	
プログラム 005	みらいのじぶんレター	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※事情により11/3～11/4のみ開催	
会場	紙屋温泉公民館	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15名／10名 (150%)	
実施内容	1年後の自分に宛てて手紙を書く催し。実際のようなすは見られなかったが好評だった。	


企画者	La・Mano Asiantique	<画像なし>
プログラム 006	曼荼羅&ゼンタングル風アート体験	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	La・Mano Asiantique (ラ・マーノ アジアンティーク)	
料金	3,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	0名／5名 (0%)	
実施内容	曼荼羅&ゼンタングル風アートの展示と制作体験。参加者はいなかったが問い合わせはあり、ちゃんと知られているなあと思った。	


企画者	別府オダサク倶楽部	
プログラム 007	Earth Diver 別府中央市場1947 ～市場の記憶を探せ! ～	
会期	会期中の土・日・祝日 ※10月は除く	
会場	【集合場所】Coffee Stand Stairs前	
料金	無料。配布資料を購入される方は200円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	4名／10名 (40%)	
実施内容	4人の参加者いずれも別府市内在住とのこと。別府中央市場へとても強い興味を持っていた。参加者からもさまざまなお話が出てきて、とても成果があったと感じる。	


企画者	風水庵	
プログラム 008	日本画絵手紙ワークショップと作品展示	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	風水庵	
料金	鑑賞無料／ワークショップ1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	20名／20名 (100%)	
実施内容	日本画家・写真家の高尾先生の作品展示・日本画絵手紙教室受講生の作品展示。パンフレットで県外の友人に案内することができ、来場してくれた。以前地元の温泉で知り合った方がイベント中に予約をして来てくださった。	


企画者	まみえこ	
プログラム 009	母と娘のキルト&ニット vol.6	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※喫茶ムムムの営業日に準ずる	
会場	喫茶ムムム	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	120名／100名 (120%)	
実施内容	縫い物と編み物作品の展示と一部販売。喫茶利用の方がたまたま見ていくことが多かったが、外国人観光客からの反応が「素晴らしいハンドメイド作品だ」「かわいい」「お土産にしたい」などとてもよく、実際作品を買ってくれた大半が国籍問わず (アジア、アメリカ、ヨーロッパなど) 外国人観光客だった。日本人向けの広報しかしていなかったが、来年は外国人観光客に向けての広報もしていきたいと思う。	


企画者	イモコトタダシ	
プログラム 010	こどものためのじゃずらいぶ	
会期	ライブ：①10/5(土) ②10/19(土) オンライン：③9/21(土)～11/10(日)	
会場	①おひさまパーク 3階 ②トキハ別府店 大屋根の下 ③オンライン	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	ライブ：60名／30名 (200%) オンライン：627名／100名 (627%)	
実施内容	子どもたちが普段親しんでいる童謡をジャズ風にアレンジして演奏する、子どものためのジャズライブ。子どもとその保護者の方々がジャズに触れ理解を深めていただくための演奏会。オンライン配信と野外ライブ (2回) を開催。目標視聴者数を上回る方々に視聴・来場していただいた。	

企画者	さかい まなぶ	
プログラム 011	千の眼の仮面屋	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	酒井理容店／トラリズム	
料金	200円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	40名／100名 (40%)	
実施内容	浜辺の漂着物を用い、50年間仏像や仮面を彫り続けていることに驚きの声をあげる来場者が多かった。作者の話を興味深く聞いていた。	

企画者	将棋処と (ときん) &おにぎりかふえ	
プログラム 012	将棋は純日本文化 (カルチャー)！	
会期	9/21(土)～11/10(日) (月・火・水定休)	
会場	将棋処と (ときん) &おにぎりかふえ	
料金	2,500円 (教室、席料、ランチ付き)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	51名／20名 (255%)	
実施内容	本格的な和の空間で参加者の棋力に合わせた将棋教室をおこなった。みんな楽しんで参加して下さった。教室後のランチも好評だった。	


企画者	おにぎりかふえ、T、S&Y	
プログラム 013	ひっくり返ったおもちゃ箱	
会期	①9/21(土)～11/10(日) ②10/12(土)～11/10(日) ③10/13(日) ④10/14(月・祝)	
会場	おにぎりかふえ	
料金	ワンオーダー ※③のみ1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	61名／20名 (305%)	
実施内容	豊泉堂さんのだるま鈴ファンの方が来店され、お話が盛りあがるなど楽しんでもらえた。絵の展示もじっくり見てくださる方が多かった。竹細工は事前に広報が自力できず、事務局に助けていただき広報できてよかった。	


企画者	KIMAMA CAFE BEPPU	
プログラム 014	KIMAMAなノートでKARADAしりとり!	
会期	9/21(土)~11/10(日)	
会場	KIMAMA CAFE BEPPU	
料金	料理含むワンオーダーで参加可能	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	2名／15名 (13%)	
実施内容	からだしりとりをチェキで撮影する企画。これを目当てに訪れた人はいなかったが、店を訪れた知り合いに声をかけて参加してもらった。	

企画者	ゆるみ処くらげ	
プログラム 015	ゆるみ処くらげ 脱力玩具でゆるもう!! 土日イベント開催中	
会期	9/21(土)～11/10(日) 不定休	
会場	ゆるみ処くらげ	
料金	入場無料 ※ライブのみ2,000円+要ワンオーダー (CDのお土産付き)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	70名／100名 (70%)	
実施内容	カフェバーでアート作品の展示販売とタロット占い、アーティストによるライブなどを開催。パンフレットを持って訪ねてきてくれる人もいた。	


企画者	株式会社 UNAラボラトリーズ	<画像なし>
プログラム 016	アーティストの視点で見る別府。画家・勝 正光さんと町歩き (2時間)	
会期	9/21(土)~11/10(日) リクエスト制	
会場	【集合場所】 JR別府駅前 油屋熊八像前	
料金	5,800円	
来場人数/目標来場人数 (達成率)	0名/10名 (0%)	
実施内容	予約がなく不催行	


企画者	別府チェンバロ教室 (今谷)	<画像なし>
プログラム 017	チェンバロに触れよう	
会期	①9/24(火)～11/5(金) ②11/9(土)・10 ※②は事情により中止	
会場	別府チェンバロ教室	
料金	①1,000円 ②2,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	2名／20名 (10%)	
実施内容	11月9日と10日のコンサートには20人ほど集客できていたが都合により中止となったため、体験会2名だけの参加だった。意外と体験会よりコンサートの方が人気があるのかなと思った。 体験会参加者はチェンバロに関心がある方なので、長時間滞在していただき、いろいろと深いお話もできた。	

企画者	NECO	
プログラム 018	書筆あそび de カラーセラピー	
会期	9/22(日)～11/10(日) ※日・祝のみ開催	
会場	メンタルケアスペースNECO	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	14名／15名 (93%)	
実施内容	カラー筆ペンでうちわや扇子に文字を書き、折り紙を貼りデコレーションする催し。今の気持ちの表現を楽しみ、参加者同士の交流を持つことができた。海外の方も参加され、異文化交流もできた。	


企画者	金谷どうはん	
プログラム 019	はなレレ 路上ライブinアソビlab	
会期	会期中の水曜日のみ開催	
会場	アソビLAB	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	23名／50名 (46%)	
実施内容	屋外テラスではな笛とウクレレの演奏。わざわざ来てくださる方は少なかったが、通りすがりに興味を持ってくださる方がかなりいた。	


企画者	テクラ・タモリア	
プログラム 020	テクラ・タモリア新作『Itadakimasu, I humbly receive』展示	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	TRANSIT 相談室内	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	549名／500名 (110%)	
実施内容	『KASHIMA2023 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE』で招聘され、別府に50日間滞在したフィリピンのアーティスト テクラ・タモリアの作品展示。日本で購入した生地を用い、自然の中にあふれる模様や衣装のデザインなど、さまざまな領域からのインスピレーションと工芸的な技術の応用で作品を制作し、展示した。	


企画者	清島アパート	
プログラム 021	清島アパート2024	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※土・日・祝のみ開催	
会場	清島アパート	
料金	100円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	167名／100名 (167%)	
実施内容	アーティストのアトリエを一般に公開するイベントを実施。会期中は『Art Fair Beppu 2024』の会場でもあったことから多くの方に見ていただけた。	


企画者	東 智恵	
プログラム 022	「東智恵 Tomoe Higashi」 展示	
会期	10/17(木)～11/19(火)	
会場	竹瓦温泉	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	13,600名／10,000名(136%)	
実施内容	絵画作品を温泉待合室で展示。湯あがりの人など、たくさんの方が作品を見てくれた。	


企画者	永井 幸太朗	<画像なし>
プログラム 023	ジャグアタトゥーを自分に描いてみよう!	
会期	9/22(金)～11/12(日)	
会場	SIS	
料金	2,000円～4,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	0名／30名 (0%)	
実施内容	ジャグアタトゥーをお客様に自分で描いてもらう体験型の企画。お客さんは1人も来なかったため、反省点が多く見つかった。	


企画者	高梨 麻梨香	
プログラム 024	グループ展「浸食の分水嶺-Divide of erosion-」	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	HAJIMARI Beppu KAIDAN GALLERY	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	162名／100名 (162%)	
実施内容	高梨 麻梨香キュレーションによるグループ展をHAJIMARI BEPPU KAIDAN GALLERYにて開催。別府の街を展望できる屋上階から1階までの階段空間を利用した作品展覧会。屋上から見える景色にみなさん感動していた印象。鑑賞者から批評をもらえたり、トークイベントも開催し、豊かな空間になった。	


企画者	牛嶋太洋	
プログラム 025	牛嶋太洋_映画祭	
会期	10/15(火)～18(金)	
会場	BEPPU STUDIO 01	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	51名／100名 (51%)	
実施内容	プロジェクターで映像作品を5つ展示した。落ち着いてゆっくりと鑑賞してくれる方もいれば、一通り作品と空間の雰囲気を見て、短く鑑賞する人もいた。	

企画者	東京ディズニーランド	
プログラム 026	ゲームセンター【ヴァルハラ宮殿】	
会期	10/18(金)～29(日)	
会場	やえのビル 2階	
料金	投げ銭	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	86名／50名 (172%)	
実施内容	縦11m×横8mの巨大スゴロクを中心に、大小さまざまなゲームを楽しんでもらうプログラム。多くが私のガイド付きで進行し、参加者の滞在時間は約60分。特に好評だったのは、スゴロクのゴール後に別府の街歩き型ゲームへ発展し、地図を手に入れた外へ出ていく部分で、別府市全体を使ったことが参加者に好印象を与えた。全体的に評価が高かった。	


企画者	CHIE	
プログラム 027	CHIEの絵画と、情 (さね) & 下村裕子&KAZUが奏でる音楽の異空間	
会期	9/21(土)～23(月・祝)	
会場	北浜租界	
料金	無料 (投げ銭)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	76名／100名(76%)	
実施内容	油絵の展示とピアノ・打楽器演奏のコラボレーション。初めての参加だったため来場者の流れがつかめず、途中で演者の位置を変えるなど工夫した。来場者の反応はよく、観光客も入って楽しんでくれていた。	


企画者	草羽揺二	
プログラム 028	千年の孤独	
会期	9/21(土)～10/15(火)	
会場	書肆ゲンシシャ	
料金	1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	88名／50名 (176%)	
実施内容	絵の展示。ゲンシシャの本やコレクション目当てで来る方が多く、展示はついでという感じの方がほとんど。関東からの参加だったが新しい人間関係が生まれ、子どもの頃休暇で訪れていた別府と違う面を発見できた。	


企画者	大野英恵	
プログラム 029	3 人の手仕事	
会期	9/21(土)～23(月・祝)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース	
料金	無料／体験ワークショップ：1,000円～	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	20名／45名 (44%)	
実施内容	「手織り・丸織」「水引」「縫わずに作れる小物&バッグ」などの展示販売とワークショップ。SNSにて発信していたので知り合いが尋ねてきてくれた。連休だったので、近隣に宿泊されていた団体様が来店ついでに作品を見ていただけた。	


企画者	別府藝市 企画運営チーム	
プログラム 030	別府藝市+本	
会期	9/21(土)~24(火)	
会場	別府駅北高架商店街	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	200名／200名 (100%)	
実施内容	アートフェアにあわせて来る方、北高架の別店舗から流れて来る方、単に通りがかった方などさまざまな方がいた。BAM期間の最初の方だったからか、BAMで知って来場された方は少なそうだった。	


企画者	おえかきかてっと	<画像なし>
プログラム 031	やすらぎ展	
会期	9/21(土)～26(木)	
会場	別府駅北高架下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	事情により中止	
実施内容	事情により中止	


企画者	田鹿 愛由良	
プログラム 032	文字で遊ぼう！筆文字アートゆるふで教室体験	
会期	9/22(日)・10/26(土)・11/10(日)	
会場	アソビLAB	
料金	1,500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	7名／30名 (23%)	
実施内容	初めは「難しい」と言いつつもだんだん夢中になっていき、アイデアがどんどん出てきたり、終わる頃には「あっという間だった」と満足していた。日本語が話せない方には翻訳アプリを使って会話をし、「筆ペン買って家でもやります」と喜んでもらえた。	


企画者	おおいた篠笛倶楽部	
プログラム 033	篠笛演奏「篠竹の唄」	
会期	9/23(月・祝)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	30名／30名 (100%)	
実施内容	さまざまなジャンルの楽曲を篠笛で演奏。演奏が始まると通行人の方々が足を止めて聞いてくれていた。店内にも音が聞こえたようで、涼しい店内で椅子に座ったり、立ち見で耳をかたむけてくれた。	


企画者	あとリエ湯輪夢	
プログラム 034	TORIMUのゆらぎ	
会期	9/23(土)～10/1(日)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	80名／50名 (160%)	
実施内容	就労継続支援B型事業所あとリエ湯輪夢の仲間の作品展示をおこなった。来場者は、滞在時間が比較的長くゆっくりと作品を手にとって鑑賞、購入いただけた。会場内にはテーブルと椅子の用意もあり、タイミングによっては座ってお話いただける方も少なくなく、よい時間となった。	


企画者	YWAM OITA	
プログラム 035	International Arts Celebration／インターナショナル・アート・セレブレーション	
会期	①9/27(金) ②10/11(金)	
会場	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	25名／25名 (100%)	
実施内容	トートバッグに絵を描き展示や交換をするイベント、さまざまな国の民族衣装を着たモデルをみんなで描くワークショップを開催。	


企画者	詩画アーティスト 雪音	
プログラム 036	きんいろフェアリー ～秋に誘う～	
会期	9/28(土)～10/6(日) (月・火休み) ※ライブペインティング：9/29(日)	
会場	薪窯ピッツァ&Gallery花民	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	80名／50名 (160%)	
実施内容	絵、布小物、レジンアクセサリ、樹脂粘土アクセサリの展示販売・ライブペイントを実施。飲食に來たついでに訪れるお客さんがほとんどだった。	


企画者	泊野 魁	
プログラム 037	どうぶつたちのいるところ	
会期	9/28(土)・29(日)	
会場	SEKIYA.so 別府	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	27名／50名 (54%)	
実施内容	日本文理大学美術部の展示。宣伝があまりできていなかったが、事務局のInstagram投稿を見て足を運んでくれる方が多かった。スタンプを求めて来場してくれる方がいたが提供できなかった。	


企画者	堀田莉花	
プログラム 038	辰年の神仏習合ツアー	
会期	9/28(土)	
会場	八幡竈門神社	
料金	4,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	7名／15名 (47%)	
実施内容	龍のモチーフがある八幡竈門神社と、龍巻地獄の温泉をひく長泉寺を巡るツアー。神社では御神木の中に入り、長泉寺ではご住職のお話を聞いた。とても興味深く、楽しかったと好評だった。	


企画者	明石文昭堂	
プログラム 039	PILOT万年筆試筆会&ペンクリニック	
会期	①9/28(土) ②10/4(金)・5(土)	
会場	明石文昭堂	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	64名／64名 (100%)	
実施内容	初開催の万年筆試筆会は、さまざまな万年筆を書き比べることができ好評だった。ペンクリニックでは書きにくいなど、調子の悪くなった大切な万年筆をペンドクターが調整。書き味よく蘇った万年筆の描き心地に感動される方が多くいた。	


企画者	鉄輪温泉ゆけむり市実行委員会	
プログラム 040	鉄輪温泉 ゆけむり市	
会期	9/29(日)	
会場	大谷公園	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	300名／100名 (300%)	
実施内容	阿波踊りワークショップ、盆踊り、ゲストアーティスト『切腹ピストルズ』による鉄輪温泉街練り歩きと演奏、露店などもりだくさんのお祭りを開催。 地域住民から観光客まで老若男女が集まり、盛りあがった。	

企画者	『別府市歌』を広め隊	
プログラム 041	『別府市歌』と懐メロを歌いましょう	
会期	①9/29(日)、10/27(日) ②10/13(日) ③11/10(日)	
会場	①ソルパセオ銀座 ②ARUCO DE BEPPU ③ギャラリーカフェえり章	
料金	①②投げ銭③ワンドリンク+投げ銭	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	8名／10名 (80%)	
実施内容	別府市歌と懐かしい曲をギターでの弾き語りで、来場者と一緒に歌い、和やかにすごした。	


企画者	別府夢未来	
プログラム 042	ウクライナの子もたちが描いた絵の写真	
会期	10/1(火)~31(木)	
会場	別府市役所 正面玄関ホール	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	610名／1000名 (61%)	
実施内容	ウクライナの子もたちが描いた絵を写真に複製したものを展示。来場者は作品を真剣に観てくれた。平和について考えるきっかけになったと思う。	


企画者	スターバックスコーヒー 別府公園店、別府上人ヶ浜店、別府トキハ店	
プログラム 043	スターバックス コーヒーセミナー『コーヒーをはじめよう』	
会期	①10/2(水) ②10/4(金) ③10/5(土)	
会場	スターバックスコーヒー①別府公園店、②別府上人ヶ浜店、③別府トキハ店	
料金	1,100円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	13名／24名 (54%)	
実施内容	さまざまなコーヒーの楽しみ方を伝えるコーヒーセミナーを開催した。	


企画者	久保更生園	
プログラム 044	ありのままミュージアム	
会期	10/6(月)～12(日)	
会場	南部地区公民館	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15名／50名 (30%)	
実施内容	由布市の障害者支援施設久保更生園・木理学園・緑の家合同での展示。各作品をゆっくりと鑑賞していた。	


企画者	炭谷 宇紀子	
プログラム 045	星の巡礼 Compostela Dominus tecum♡☆.。 .°.*.。♡+.。 ㊄♡✚	
会期	10/2(水)～13(日)	
会場	オンライン、Bontà Italia Daikanyama	
料金	無料	
閲覧者数／目標閲覧者数 (達成率)	オンライン：460名／300名 (153%) 実会場：480名／300名 (160%)	
実施内容	愛・希望・未来への平和を祈る展覧会を実施。パンフレットを持ち、作品の展示されたギャラリーの前で、インスタレーションとしての食事と会話を愉しんでいた。来場者は赤ちゃんから大学の名誉教授、海外の旅人など幅広く、素晴らしいARTの世界が繰り広げられた。	


企画者	長坂樹璃 (BLESSING-BRIDGE)	
プログラム 046	龍! 龍! 龍! GARYU EXHIBITION 2024	
会期	10/13(金)～15(日)	
会場	新善光寺	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	72名／50名 (144%)	
実施内容	日本全国の神社やパワースポットで撮影した写真作品と、AIを使って制作した龍神のアート作品の展示販売、龍神をテーマに作ったオリジナルオラクルカードでのカードセッション、守護龍鑑定。パンフレットを見て来てくださる方が多かった。参加いただいた方は、会場の居心地が良く、長時間滞在し、展示やセッションを楽しんでいた。	

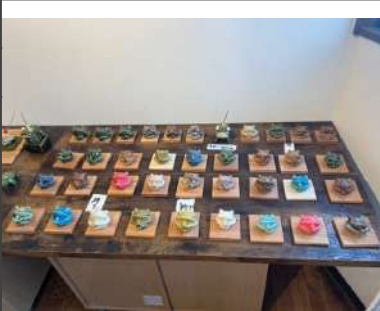
企画者	アソビLAB	
プログラム 047	別府の新たなあそび道具TAKETTO (タケット) であそぼう	
会期	①10/4(金) ②10/20(日) ※②は事情により中止	
会場	アソビLAB	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	1名／20名 (5%)	
実施内容	広報ができておらず、当日は事務局スタッフしか来なかったので知っていただくためにもっとPRをすべきだったと思った。	

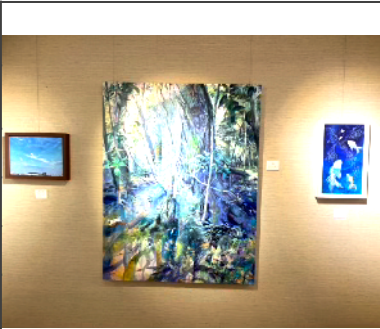
企画者	あかし ももか	
プログラム 048	『まじないとしてのなうた』展	
会期	10/5(土)・6(日)	
会場	別府駅北高架下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	50名／30名 (167%)	
実施内容	描きためた乙女の絵の展示。知り合いと、プログラムを見て初めて会いにきてくれた方と、半々くらいだった。平均45分くらい会場にいて、ジックリ作品を見たり、感想を教えてくださいました。体験コーナーも、お楽しみいただけたようで安心した。	


企画者	Vamos Oita	
プログラム 049	ZUMBA®	
会期	10/6(日)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	28名／40名 (70%)	
実施内容	ステージ上で講師が踊り、生徒が下で踊る公開レッスンのような企画。参加者だけでなく、周りの見学者にも楽しんでもらえたと思う。別府のZUMBA愛好家とも交流ができ、よい経験になった。	


企画者	北村成美 (地獄の妖精巡しげやん)	
プログラム 050	地獄の妖精巡しげやんへ行こう!!ダンスで地獄めぐり	
会期	10/6(日)	
会場	別府市中心市街地およびオンライン	
料金	投げ銭制	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	55名／40名 (110%)	
実施内容	朝6:30から海門寺温泉、駅前手湯、梅園温泉足湯、竹瓦温泉の4ヶ所の温泉に入り、その湯の恵みに感謝するダンスを踊り奉納する4湯巡礼をおこなった。その温泉に通う近隣の方々、この企画に合わせて一緒に巡礼に参加してくれる方、他県からオンラインで視聴してくれる方々、さまざまな人々に鑑賞、参加してもらえた。	

企画者	Mauolioli 小野	
プログラム 051	Enjoy Hula in 別府 15	
会期	10/6(日)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	33名／30名 (110%)	
実施内容	今年で15回連続での開催となるハワイアン音楽の演奏とフラダンスの発表。普段の練習の成果を発表する場となった。通りすがりの外国人観光客も楽しんでた。	

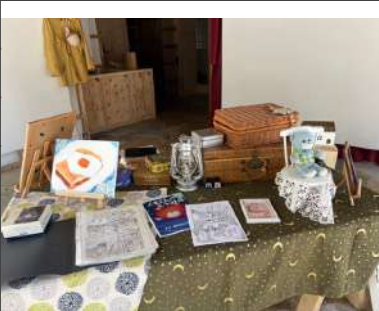
企画者	土楽庵 -どうらくあん-	
プログラム 052	カエル-祈り展- in別府	
会期	10/10(木)～16(水)	
会場	スクランブルベップ	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	65名／50名 (130%)	
実施内容	奈良から湯治で何度も訪れた思い出の地、鉄輪で蛙をモチーフにした陶芸作品の展示および販売を初めて開催。鉄輪の人達や観光で訪れたみなさんに支えられ、楽しく一週間の展示販売をおこなうことができた。	


企画者	片岡美子 (yoshiko🌀)	
プログラム 053	繋がるyoshiko🌀 (うずまき)展	
会期	10/10(木)～14(月・祝)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	110名／100名 (110%)	
実施内容	自然の中の見えない命の繋がりを描いた絵画作品の個展。多くの人が、「気持ちがいい空間です」と展示会場の雰囲気や作品を気に入ってくれてありがたかった。	


企画者	萩野あきみ	
プログラム 054	ねこねこわくわくイラスト展	
会期	10/11(金)・12(土)、14(月・祝)・15(火)	
会場	SIS	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	41名／30名 (137%)	
実施内容	絵の展示・イラストオーダー・グッズ販売。来場したねこ好きさんは「かわいいかわいい」と言いながら興味を持って頂けた。	


企画者	HAJIMARI Beppu	
プログラム 055	HAJIMARI Beppu ARTIST BAR	
会期	10/11(金)、10/25(金)	
会場	HAJIMARI Beppu 1階 HAJIMARI LOUNGE	
料金	無料／ワンドリンクオーダー、投げ銭方式	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	32名／30名(107%)	
実施内容	ホストとなるアーティストがさまざまな表現方法にて来訪者を迎え、作品や活動について気軽に直接話を聞くことができるイベントを開催した。	


企画者	ごとうまみ／e to ito おおかわあかり	
プログラム 056	やさしい世界展	
会期	10/12(土)～20(日)	
会場	Beppu Spirits Bar LAMP	
料金	無料(ワンドリンクオーダー制)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	57名／100名 (57%)	
実施内容	ごとうまみ・おおかわあかりの2人の作品展。ライブパフォーマンス、ライブペイントを見に来る方が多く、下の階にあるバーで飲んだついでに遊びに来てくれる方もいてゆったりと楽しんでもらえた。	


企画者	かわむら はるか	
プログラム 057	くまさんとうみん	
会期	10/12(土)	
会場	BEPPU STUDIO 01	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	10名／20名 (50%)	
実施内容	卒業制作で作成した絵や漫画の展示。パンフレットを見て来場してくれた地元の方や、Instagramで宣伝したことで繋がりのある友人が来てくれた。来場者の方に、来年もやってねという言葉をかけていただいたことがうれしかった。	


企画者	マリア・トーマス	
プログラム 058	私たちは別府	
会期	10/12(土)～14(月・祝)	
会場	別府駅北高架下	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	23名／40名 (58%)	
実施内容	撮影した写真の展示会。パンフレットと自分の個人Instagramで報告を知って来た方が多かった。	


企画者	NPO法人北九州・魚部 (ぎょぶ)	
プログラム 059	クラシックアコーディオン×はっちゃん・ぶんちゃん×オンセンゴマツボ	
会期	10/12(土)	
会場	COTTONWOOD	
料金	1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	25名／25名 (100%)	
実施内容	クラシックアコーディオン、はっちゃん・ぶんちゃん、オンセンゴマツボそれぞれに楽しい演奏。最後は三者に参加者も加わり、LALALAおんせんごまつぽ♪を歌って踊って大団円。	


企画者	深町勝幸	
プログラム 060	『なにげない今日に』 深町勝幸絵画展	
会期	10/12(土)～20(日)	
会場	富士屋Galleryー也百 ギャラリースペース	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	250名／150名 (167%)	
実施内容	流木板に油絵を描いて展示。多くの来場者に来ていただき、じっくりと見ていただくことができた。みなさん好印象のようだった。	


企画者	大塚晶子	
プログラム 061	目玉図鑑「見ること」と漂流物	
会期	10/12(土)～21(月)	
会場	Sempervivum センペルビウム	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	232名／50名 (464%)	
実施内容	美術・立体作品とインスタレーション展示。来場者多く、作品に興味深そうに観て、楽しいとの感想もいただいた。来場者 (初対面) 同士が、知り合いになるという喜びもあったよかった。	

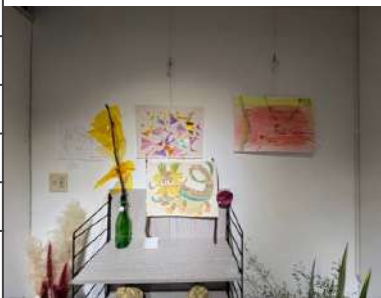
企画者	夢叶教室 kanau	
プログラム 062	万書 (よろずしょ) 夢叶教室 無料体験講座	
会期	10/12(土)～14(月・祝)	
会場	ギャラリーカフェえり章	
料金	ワークショップは無料・ワンオーダー制	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	8名／10名 (80%)	
実施内容	筆文字アートの体験。お題はあるが、自由に字や絵を描いていた。描いている間は集中して、できあがりに満足していた。	


企画者	高橋 佳那子	
プログラム 063	ポストカードが教えてくれた大切なこと	
会期	10/12(土)	
会場	北浜租界	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	28名／20名 (140%)	
実施内容	世界中から届いたポストカードからインスピレーションを受けて作った曲と、北欧、ウクライナの民謡の演奏を、ポストカードにまつわるエピソードを交えながら実施した。 また、3階には海外から届いたポストカードを展示した。	


企画者	NPO法人北九州・魚部 (ぎょぶ)	
プログラム 064	希少生物オンセンゴマツボ観察会	
会期	10/13(日)	
会場	亀川中央町	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	5名／5名 (100%)	
実施内容	オンセンゴマツボの観察会を実施。みなさん、住宅街の街中を流れる溝に温泉が流れ、その中にオンセンゴマツボはじめ生き物がいることを体感した様子。	


企画者	ココまる (円山 菜穂子)	
プログラム 065	「自分への優しさ」でストレスを和らげよう ～私を癒すセルフ・コンパッション入門講座～	
会期	10/14(月・祝)、28(月)、11/10(日)	
会場	ひろみや TojiStay	
料金	2,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	5名／24名 (21%)	
実施内容	2時間にわたって、セルフ・コンパッションのレクチャーやワークをおこなった。みなさんにとって新しい体験で、いろいろな気づきを得られて満足していた。1人を除いて、自分の知り合いではなくWebやパンフレットを見て参加された方だった。	


企画者	秀絃会	
プログラム 066	地歌・箏曲ライブ vol.8	
会期	10/14(月・祝)	
会場	別府市コミュニティーセンター	
料金	一般：1,500円／小中学生：1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	58名／50名 (116%)	
実施内容	楽器や曲の解説を入れながら5曲の地歌・箏曲を演奏した。クイズやお茶菓子を提供し聴きやすい環境にこだわったが、参加者は想像よりもリラックスして聴いてもらえ、解説も好評を頂いた。海外からの来場者向けに英語での解説文も作成したが、来場がなく残念だった。	


企画者	荒川治子	
プログラム 067	おとなになったこどもの、図工時間	
会期	10/18(金)～20(日)	
会場	ギャラリーカフェ糸り章	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	23名／30名 (77%)	
実施内容	カフェギャラリーの3畳位のスペースに、壁に絵を5～6枚貼り、棚に作った工作や絵本を展示。まるで自分の部屋のような暖かみのある展示になった。観に来られた方は、「子どもの創った絵や工作みたい」とか、「癒される」「ほっこりする」「かわいい」などの感想があった。	


企画者	yuuchan	
プログラム 068	アルコールインクアート 『宇宙を食べた動物たち』展	
会期	10/19(土)～27(日) ※月・火定休	
会場	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	56名／100名 (56%)	
実施内容	絵や立体作品の展示販売と、アルコールインクアートのワークショップを開催。アルコールインクアートをすごく珍しそうに観てくれた。パンフレットのスタンプラリーを押すために来た方もいた。	


企画者	ロクディム	
プログラム 069	即興笑劇ロクディムにわか 2024	
会期	10/19(土)	
会場	別府ブルーバード会館 3階 フレックスホール	
料金	大人：2,500円／高校・大学生：1,500円／小中学生：500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	90名／150名 (60%)	
実施内容	今年で3回目の別府公演では、再会や新たな出会いがあり、舞台上の出演者だけではなく、客席のお客さんの「人生」も「パフォーマンスの大切なエッセンス」として組み込んで、一体となって笑い楽しむ90分の即興芝居×コメディが繰り広げられた。昨年の公演を見た中学生が学校の先生や保護者の方のご理解をいただきながら公演スタッフとして参加し、貴重な体験をともに楽しめたことも印象的だった。	


企画者	原 千砂子	
プログラム 070	着物でお琴を弾いてみる!	
会期	10/19(土)～21(月)	
会場	別府風流人	
料金	3,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	10名／18名 (56%)	
実施内容	選んだ着物を着付けてのお琴体験会を実施。午前と午後の2回開催し、一回の定員は3名。1人だったり、3人だったりしたが、全体に喜んでもらえたと思う。	


企画者	平野資料館館長 平野芳弘	
プログラム 071	版画家の作品鑑賞とアートまちあるき	
会期	①10/20(日)～27(日) ②10/20(日)、27(日)	
会場	①平野資料館 ②【集合場所】JR別府駅前ひろば	
料金	①無料 ②1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	53名／100名 (53%)	
実施内容	超絶技巧の版画家・田仲敬司の木版画コレクションの展示とアートまちあるきを企画。 本格的な版画家の作品を見る機会が減多にないので来場者は実物を見て感動していた。	


企画者	キヨナガ正憲	
プログラム 072	キヨナガ正憲絵画展	
会期	10/22(火)～27(日)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	150名／100名 (150%)	
実施内容	最後の個展として、アクリル画、シルクスクリーン、雲母刷りおよび発明・特許のマグナス機の展示、フラメンコギターとカンテの踊りの伴奏など若い時からの集大成を展示・発表した。それぞれ興味のある方に分かれて質問や説明をし、他のギャラリーではあり得ないとても意義のある展覧会となった。	


企画者	トビイ ルツ	
プログラム 073	イラスト展『BEPPU ONSEN IN STYLE』	
会期	10/23(水)～31(木) (月・火休み)	
会場	富士屋Gallery一也百 ギャラリースペース	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	200名／150名 (133%)	
実施内容	別府の市営、共同温泉のイラストを展示。観覧者の多くはSNSでつながっている別府市内の知り合いとそのお連れの方、パンフレットを見た方。ほかにも鉄輪を観光・宿泊している国内外の旅行者、視察で富士屋を訪れた市関係者グループなどたくさんの方に見てもらえた。	


企画者	莉乃	
プログラム 074	莉乃&カイ	
会期	10/23(水)	
会場	別府市役所庁舎中庭 市民広場	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	27名／30名 (90%)	
実施内容	歌手の莉乃とギター&ウクレレ奏者のカイによる、日本の歌謡曲をメインとした音楽ライブ。市役所の昼休憩にご飯を食べながら聞いてくれる方も多かった。	


企画者	いもこ	
プログラム 075	可愛いミニチュアのプチ展示会	
会期	①展示：10/25(金)～11/2(土) (日・水休み) ②ワークショップ：10/26(土)、11/1(金)	
会場	SIS	
料金	①無料 ②1,500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	45名／30名 (150%)	
実施内容	作り溜めたミニチュア作品の展示と販売。「可愛い」「小さい」「すごい」などと感動しながら見入ってくれた。ミニチュアパンを3つ作成して額に収めるワークショップは、小学4年生も飽きることなく、真剣にあきらめずに取り組んでいたのが印象的だった。小さな経験だが、この経験が将来何かの役に立ってくれるとうれしいと思った。	


企画者	小熊ちゃん	
プログラム 076	小熊民族資料館	
会期	①10/25(金)、10/27(日)～29(火) ②11/3(日・祝)・4(月・祝)	
会場	①カレーや momo ②紙屋温泉2階公民館スペース	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	50名／5名 (1000%)	
実施内容	妄想の村の展示。小規模な展示ですが、同じ目線で妄想を更に深める人もいれば、本気で信じてしまう人もいて楽しい時間だった。	


企画者	(公社) 大分県建築士会 別府支部	
プログラム 077	Beppu Origami Architecture	
会期	10/26(土)～11/9(土) (日曜日は除く)	
会場	大分県産しいたけ やまよし	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	30名／50名 (60%)	
実施内容	1 枚の紙から立体的な建築物を制作する折り紙建築の展示と、折り紙台紙の無料配布。 来場者に興味深く観てもらえた。	


企画者	なちゅらる宇宙人 金田慶子 Keiko Kaneda	
プログラム 078	なちゅらる宇宙人展 vol.11	
会期	10/26(土)・27(日)	
会場	北浜租界	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	36名／40名 (90%)	
実施内容	イラスト作品の展示。2022年アートマンスにて別府市役所で実施した進化系共同湯ミニチュア「やぎの湯」の展示が好評。会場である北浜租界の雰囲気と合っているとのこと。また、新作も可愛いと好評だったが、意味を知ると多くの方の表情が変わり、メッセージが意外性もあり奥深いとの声を多くいただいた。	


企画者	別府大学短期大学部 初等教育科 造形研究会	
プログラム 079	別府大学短期大学部 子ども造形ワークショップ	
会期	10/27(日)	
会場	不老泉	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	30名／20名 (150%)	
実施内容	2～8歳の子どもたちと別府短大の学生が不老泉の中庭で絵の具遊びを楽しむプログラム。大きな白いシートにハケやローラー、手や足も使って絵の具を好きに塗ってもらい、仕込んでいたテープをはがし「おんせん×あーと＝ぽっかぽか♨」の文字を浮かび上がらせた。子どもたちは身体全体を使って表現を楽しみ、保護者からは「意外な一面が見られた」との感想もあった。絵の具を落とすために温泉水をいただき、「あったかい、気持ちいいね」と喜んでいた。地元の温泉利用者や観光客との交流もあった。完成した作品は約2週間同会場に展示した。	


企画者	アオキ凛	
プログラム 080	Art Cinema & Poetry reading	
会期	10/29(火)	
会場	別府ブルーバード会館 フレックスホール	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15名／30名 (50%)	
実施内容	チョークアートの映像上映と語り(朗読)のコラボ。一部は動画のみ、二部は動画と著名な中尾幸世さんによる語り。九州では初めての開催だったため、ほぼ知り合いがかけつけてくれた。	


企画者	Nuitrip. 矢野裕子	
プログラム 081	うつくしき～天然素材とお繕い～	
会期	10/31(木)～11/3(日・祝) ワークショップ： 11/2(土)・3(日・祝)	
会場	Nuitrip. 鉄輪アトリエ	
料金	入場無料／ワークショップ参加費 2,500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	20名／10名 (200%)	
実施内容	Nuitrip.の服の展示とダーニングという繕い技法のワークショップ。県外から講師を招いて開催したWSは、10名満席となり、参加者は女性だけではなく男性もとても楽しんでいた。今後も趣味として楽しみたいとの声多数で、来年もまた時々集まってサークルのようにやろうと盛りあがった。	


企画者	ものづくり小舎 わび	
プログラム 082	織りと触れ合う4日間	
会期	11/1(金)～4(月・祝)	
会場	ギャラリー嶋屋	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	82名／50名 (164%)	
実施内容	さをり織りの生地を用い制作した服やバッグ、傘などの展示販売。織り機の展示もとても喜んでもらえた。来場者には傘をさしてもらい、写真もたくさん撮らせていただいた。	

企画者	NO BORDER	
プログラム 083	地球と宇宙をつなぐ展覧会3	
会期	11/1(金)	
会場	別府市役所	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	30名／30名 (100%)	
実施内容	市役所エントランスにて大分県在住の星花 (Seika.) とコラボしたアート作品展と、音楽ユニット『NO BORDER』によるバンド演奏を実施。昨年も来て頂いた方が数名今年も来ていただいたり、一緒にLIVEに参加していただくなど別府での交友関係が広がった。	


企画者	天使のアトリエ 神田潤子	
プログラム 084	しあわせに夢を叶える魔法の絵☆『天使からのおくりもの』	
会期	11/1(金)～9(土) ※11/5(火)休み	
会場	薪窯ピッツァ & Gallery花民	
料金	無料／ワークショップ：1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	35名／100名 (35%)	
実施内容	過去に描いた絵の展示とライアー(竖琴)の生演奏を少々。ピザを食べに来たついでに立ち寄った方たちがほとんどのようだった。	


企画者	弓場七海、高橋柚希、本村玲聖、若松愛理	
プログラム 085	グラフィックアートコース4人展『CORE』	
会期	11/1(金)～5(火)	
会場	北浜租界	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	136名／100名 (136%)	
実施内容	銅版画とシルクスクリーン作品の展示販売。初めて版画にふれる方も多く、たくさんの方が興味を示されお声掛けいただいた。大分芸短の後輩もたくさん訪ねてくれ、学外で展示会をおこなうことに興味を持って貰えたので制作へのモチベーションも上がった。	


企画者	窯窯むうむう【再び】展実行委員会	
プログラム 086	窯窯むうむう【再び】展	
会期	11/1(金)～5(火)	
会場	ギャラリーカフェ糸り章	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	42名／50名 (84%)	
実施内容	武蔵野美術大学の同級生有志を集め、手しごとクラフト、アクセサリー等、スケッチの展示販売をおこなった。作品を時間をかけて真剣に見てくれる方が多かった。	


企画者	一般社団法人 デザイナーズカンパニーユーツー	
プログラム 087	Beppu Up in 別府大学	
会期	11/1(金)～9(土)	
会場	別府大学 18号館	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	473名／300名 (158%)	
実施内容	別府大学で開催した障がいを持った方の展覧会。障がい者のメンバーと、大学生の作品を共同で作上げた合作とメンバーオリジナルの作品の展示に多くの方が感動されていた。アンケートでも、また開催してほしいとの意見も多くうれしい結果となった。	


企画者	河原美紀	(写真なし)
プログラム 088	河原匪石(美紀)書作展	
会期	11/1(金)～5(火)	
会場	BEPPU STUDIO 01	
料金	入場無料／ワークショップは有料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	事情により中止	
実施内容	事情により中止	


企画者	すこママ+(プラス)♪	
プログラム 089	抱っこdeダンスとファッションショー	
会期	11/3(日・祝)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	10名／30名 (33%)	
実施内容	普段は子どもを抱っこしながらのダンスパフォーマンスのみだが、アートマンス向けの企画として、ステージをランウェイに見立て、さまざまな抱っこ紐を紹介するファッションショーと、抱っこdeダンスをおこなった。観客は身内のみだったが、参加したママたちはとても楽しんでくれた。	


企画者	B-st ALOHA hula hō'ike応援団	
プログラム 090	B-st ALOHA hula hō'ike	
会期	11/3(日・祝)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	390名／200名 (195%)	
実施内容	フラダンスの合同発表会。年配の方が椅子に座ってずっと見てくれているのがありがたかった。今年の大分県でのフライベントはいずれも悪天候続きだったが当日は天候に恵まれ、とても暖かく踊りやすかったので、参加者もステージをエンジョイしていた。	

企画者	湯本タマ、ライスボール山本&杏奈ほか多数	
プログラム 091	紙屋カオス	
会期	11/3(日・祝)・4(月・祝)	
会場	紙屋温泉 2 階公民館スペース	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	52名／50名 (104%)	
実施内容	自作品 (イラスト・切り絵・オブジェなど) の展示をはじめ、参加者がおばあちゃん特製のお味噌汁を持ってきてくれたり、スペシャルゲストのミュージシャンが歌ってくれたり、さまざまな企画者によるイベントを実施。リピーターの方も初めての方も、作品を見たり、飲食を一緒にしながら交流をするなど、色とりどりてんこ盛りの2日間だった。今年もたくさんの方にご来場いただき賑やかな時間を過ごすことができた。	


企画者	GOTOFUFU	
プログラム 092	自然と妖怪	
会期	11/4(月・祝)～6(水)	
会場	浜町二区公民館(日の出温泉2階)	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	33名／20名 (165%)	
実施内容	夫婦それぞれが書き溜めた絵の展示をおこなった。パンフレットを見て来てくれたり、温泉の二階だったので温泉帰りに寄ってくれたり、ご近所さんが来てくれたりした。みんな熱心に鑑賞してくれた。	


企画者	庚申和裁研究所	
プログラム 093	端切れを縫って着物を仕立てる	
会期	11/4(月・祝)～10(日)	
会場	庚申和裁研究所	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	10名／30名 (33%)	
実施内容	縫い繋いだ生地を子ども物の一ツ身の着物に仕立て展示。自閉症を持ちながらも一流の和裁士を目指す浅野凧砂がすべて制作した。	


企画者	かわくぼみちこ	
プログラム 094	毎日が恋する旅 ver.5	
会期	11/6(水)～10(日)	
会場	①蔵ギャラリー しばた ②オンライン	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	51名／50名 (102%)	
実施内容	「毎日が恋する旅 ver.5」では、長さ10メートルの書作品を壁沿いに展示した上に「おおいた方言de書」や「ほっと一息Happy茶柱シリーズ」、自分で育てた花やグリーンを東京から持参して生けた陶芸作品、最近の仕事の一部も展示。参加した方々から、「かわいくて楽しい」「カラフルでポップだから元気が出る」「布や陶芸も加わってエネルギーがすごい」など、嬉しい感想もいただき、さまざまな楽しみ方で、会場でいろいろな角度で写真を撮る方が多く、とても賑やかだった。	


企画者	檜アカデミー(HINOKI ACADEMY)	
プログラム 095	International Youth Gallery and Open Mic Night ／インターナショナル・ユース・ギャラリーとオープンマイクナイト	
会期	①11/8(金) ②11/10(日)	
会場	①えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム ②アソビ LAB	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	20名／30名 (67%)	
実施内容	子どもたちが描いた絵の展示と、オープンマイクナイトを開催。いろいろな歌を歌ったり、詩を朗読したり、ちょっとしたパフォーマンスもできた。	


企画者	BEPPU NEW STANDARD	
プログラム 096	MEETS BEPPU kick100	
会期	11/9(土)	
会場	Beppu Copper Ravens	
料金	2,800円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	50名／100名 (50%)	
実施内容	DJ、ダンスパフォーマンス(BOOGIE PLACE)、演奏(別府ばやしなどのカバー、オリジナルなど)。初めて観る方も、熱を感じてくれているようだった。	

企画者	尾上大河	
プログラム 097	音楽で、totonou!	
会期	11/9(土)	
会場	北浜租界	
料金	1,000円～	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	20名／20名 (100%)	
実施内容	音楽ライブとドライフラワー作品の販売、アルコールと健康食品の提供など、「頭も体もとのう」をテーマにしたイベントを開催。天候に恵まれ、テラスでの演奏を参加者とともに楽しんだ。	


企画者	ダンスファクトリー	
プログラム 98	ダンスファクトリー まちなかダンスライブ	
会期	11/10(日)	
会場	トキハ別府店 大屋根の下	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	100名／100名 (100%)	
実施内容	ダンス教室の発表会。日頃の練習成果を発表でき、出演者も観客も喜んでいた。観客は関係者が多いが、通りすがりに足を止めて鑑賞する方など、たくさんの方に応援してただけたのがうれしかった。	


企画者	大分圏清掃整理促進運動会	
プログラム 099	大分圏清掃整理促進運動inベップ	
会期	11/10(日)	
会場	【集合・スタート場所】 JR別府駅東口 油屋熊八像前	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15名／20名 (75%)	
実施内容	熊八を囲んでラジオ体操をしたのち、別府駅西口、北高架商店街、TRANSIT(レンガホール)、清島アパートのトイレで清掃パフォーマンスをおこなった。初参加、飛び入りの参加者もあり、楽しんでもらえた。	


企画者	芳賀健太	
プログラム 100	芳賀健太絵画展 2024	
会期	11/10(日)～12/8(日)	
会場	薪窯ピッツァ&ギャラリー花民	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	160名／300名 (53%)	
実施内容	絵画展を開催。期間中にギャラリートーク、クロージングイベントでライブペイントも実施。最終週にはお店とのコラボレーション企画で作品をイメージしたピザやスイーツメニューなども生まれ、参加者にも喜ばれた。いつもの個展とは違った環境問題などを考える作品展示もあり、来場者と作品を通じて一緒に考える時間もでき有意義な個展となった。	


企画者	インクルーシブ+プラス	
プログラム 101	いりぐち⇄でぐち2024	
会期	11/1(金)	
会場	オンライン	
料金	無料	
閲覧者数／目標閲覧者数 (達成率)	10名／10名 (100%)	
実施内容	アート作品の対話型鑑賞。参加者はリアルとオンラインの両方がおり、わきあいあいとすすんだ。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	(写真なし)
プログラム 102	『ベップ・アート・マンス 2024』 ばんだいさんによるまちあるきツアー	
会期	随時	
会場	【集合・スタート場所】 JR別府駅前 油屋熊八像前	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	0名／10名 (0%)	
実施内容	予約がなく不催行	


企画者	関屋リゾート	
プログラム 103	NEW SEKIYA	
会期	11/2(土)~17(日)	
会場	NEW SEKIYA(仮)	
料金	1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	202名／450名 (45%)	
実施内容	建築やアートに興味を持つ人々を対象に、新たなコミュニティの形成と交流の促進を目指し雑居ビルでアートイベントを企画。大分のアートファンが約6割、関係者が3割という感じだった。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 104	transition#02 西松秀祐 個展『Variations in Time』	
会期	9/14(土)～10/14(月・祝)	
会場	TRANSIT展示室	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	762名／500名 (152%)	
実施内容	別府から世界に羽ばたく過渡期にあるアーティスト・クリエイターを紹介する展覧会シリーズ第2弾となる今回は、映像、写真、ストーリーテリングなど、さまざまな手法を用いて制作をおこなうアーティスト・西松秀祐による個展『Variations in Time』を開催。竹瓦温泉でも個展を同時開催した。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 105	マイケル・リン ふすま絵公開	
会期	木～月のみ鑑賞可能	
会場	SELECT BEPPU	
料金	100円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	121名／100名 (121%)	
実施内容	別府現代芸術フェスティバル2009『混浴温泉世界』で制作されたマイケル・リンの作品を公開。買い物のついでに鑑賞する人が多かった。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 106	梅田哲也『O滞』	
会期	月・金・土・日のみ体験可能	
会場	受付：TRANSIT	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	13名／10名 (130%)	
実施内容	2020年度に発表した別府市内を周遊して体験する作品。2023年度から別府市創造交流発信拠点『TRANSIT』にてラジオの貸し出しをおこない、会期を問わず体験が可能になった。9月に一部内容をリニューアルして再公開した。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 107	町じゅう美術館事業『壁画プロジェクト』	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	HITOTZUKI／べっぴかんこうかい、国本泰英／ホテルニューツルタ北浜横丁側壁面 ほか	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	カウント不能	
実施内容	2014年から2015年にかけて、アーティストと地域住民が協力して制作した壁画作品。路地裏の壁面や建造物の2階部分などに描かれた作品を探して、町を歩きながら鑑賞を楽しんだ。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 108	まちのお風呂を地域の宝に!	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	①紙屋温泉 (アーティスト：松尾常巳) ②末広温泉 (アーティスト：大平 由香理) ③東町温泉 (アーティスト：網中いづる)	
料金	入湯料として①300円②③200円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	①2,805名 ②900名 ③2,550名	
実施内容	3組のアーティストが共同温泉に制作した壁画を、温泉に浸かりながらゆっくりと鑑賞してもらった。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 109	『TRANSIT』企画公募採択企画 萩野あきみ 『Cats!Cats!!Cats!!! Cats connect the World. ～ねこは世界を繋ぐ～』	
会期	10/26(土)～11/10(日)	
会場	TRANSIT展示室	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	227名／200名 (114%)	
実施内容	ねこイラストレーター萩野あきみによる初の個展。絵の展示販売・イラストオーダー・グッズ販売など。ねこ好きの来場者は「かわいいかわいい」と言いながら興味を持って頂けた。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 110	KASHIMA 2024 BEPPU ARTIST IN RESIDENCE	
会期	オープスタジオ：12/13(金)～15(日) アーティストバー：11/8(金) シンポジウム：12/1(日)、12/14(土)	
会場	オープスタジオ：BEP.Lab アーティストバー：HAJIMARI LOUNGE トークイベント：BEPPU STUDIO 01、不老泉	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	1,299名／1210名 (107%)	
実施内容	2008年より実施しているアーティスト・イン・レジデンスプログラム。今年度は国内外のアーティスト3名を招聘して制作をおこなった。シンポジウムでは全国各地でアーティスト・イン・レジデンスを実践している方々を招聘した。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 111	アートに泊まる『浜脇の長屋』	
会期	金・土・日のみ宿泊可能	
会場	浜脇の長屋	
料金	大人(中学生以上)1名 9,000円／2名 15,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	2名／4名 (50%)	
実施内容	「アートに泊まる」をコンセプトにした宿泊施設。2023年度に再オープンした。	


企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 112	ラジオジャーニー『音で旅する別府』	
会期	9/21(土)～11/10(日) ※火・水休み	
会場	SELECT BEPPU	
料金	500円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	0名／10名 (0%)	
実施内容	2013年度の『KASHIMA BEPPU ARTIST IN RESIDENCE』の滞在作家であるアルテラジオによる、音声作品が体験ができるプログラムを継続して実施した。期間中の体験者はいなかった。	

企画者	NPO法人 BEPPU PROJECT	
プログラム 113	別府から北ウェールズへ From Beppu to North Wales	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	オンライン	
料金	無料	
閲覧者数／目標閲覧者数 (達成率)	12名／100名 (12%)	
実施内容	2018年のラグビーワールドカップ以来親交のある北ウェールズに向けた、別府の日常やイベントの様子を動画で紹介するプログラム。今年は『べっぷ火の海まつり』の花火の動画を投稿し、別府の文化を発信した。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 114	[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign / 青い鳥のしるし	
会期	9/20(金)～3/31(日)	
会場	別府市中心市街地各所	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15,639名／10,100名 (155%)	
実施内容	「世界を異なる形で再生させる旅の入口」がコンセプトのアートプロジェクト [ALTERNATIVE-STATE] の第5 作品目として、現代美術家・中崎 透による新作『Bluebird Sign / 青い鳥のしるし』を設置した。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 115	[ALTERNATIVE-STATE #3]栗林 隆『植物元気炉』お世話体験会	
会期	10/5(土)	
会場	大谷公園	
料金	4,500円 (お土産付き)	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	8名／10名 (80%)	
実施内容	参加者とともに3月に完成した『植物元気炉』の水やり、植物の手入れをした。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 116	[ALTERNATIVE-STATE]アート作品 秋の大掃除	
会期	10/6(日)	
会場	【集合場所】北浜公園	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	7名／10名 (70%)	
実施内容	参加者とともに北浜公園のWatertowerなどのアート作品を清掃した。スタンプラリー対象プログラムだったので、スタンプ目当てで来た人もいた。	

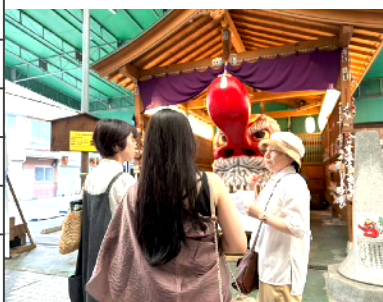
企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 117	Art Fair Beppu 2024	
会期	9/21(土)～24(火)	
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場、 BEPPU STUDIO 01、清島アパート	
料金	前売 1,500円、当日 2,000円ほか	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	2,870名／4,000名 (72%)	
実施内容	2025年から毎年実施する『Art Fair Beppu』の実現に向けたプレ事業として、アートフェアを開催した。全国のアーティストが出展し、市内3会場で作品を販売した。会場にはアーティストも常駐し、直接作品について話せる文化的交流の場づくりを重視した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 118	西野 達 Bar in AFB2024	
会期	9/22(日)	
会場	別府市内各所	
料金	6,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	11名／10名 (110%)	
実施内容	アーティスト・西野 達とともに、2017年に開催された『西野 達 in 別府』ゆかりの場所やお気に入りの場所をめぐり、終着点のバーで西野 達が考案したオリジナルカクテル等を楽しみながら店内に展示された作品を鑑賞できるツアーを実施した。アーティストの話が面白い、目をつける場所を知ることができてよかったと好評だった。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 119	中崎 透とめぐる [ALTERNATIVE-STATE] 新作ツアー	
会期	9/23(月・祝)	
会場	別府市内各所	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	15名／15名 (100%)	
実施内容	別府市内各所に作品を設置したアーティストの中崎 透がガイドしながら作品を鑑賞するツアーを実施した。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 120	アートホテル宿泊! 別府×湯布院のアートと竹細工丸ごと満喫ツアー	
会期	9/22(日)～23(月・祝)、1泊2日	
会場	由布市および別府市内各所	
料金	79,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	1組／7組 (14%)	
実施内容	別府と湯布院のアートを楽しみ、アートホテル『ガレリア御堂原』に宿泊するツアーを企画。予約がなかったため、モデルツアーとして開催。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 121	別府×国東半島 日帰りバスツアー	
会期	9/23(月・祝)	
会場	別府市および国東半島各所	
料金	10,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	14名／15名 (93%)	
実施内容	国東半島のレイチェル・ホワイトリードやアントニー・ゴームリーの作品をガイドとともにバスでめぐるツアー。県内外、関東などからも参加者がいた。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 122	韓国語で楽しむ、別府まちあるき	
会期	9/20(金)	
会場	別府市内各所	
料金	1,000円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	4名／10名 (40%)	
実施内容	韓国人観光客だけではなく、韓国語を話したいすべての人にむけて実施した。日本人の参加者からは、もっと勉強したいと思うきっかけになったとの感想が寄せられた。	


企画者	混浴温泉世界実行委員会	
プログラム 123	TRANSIT MARKET	
会期	①9/21(土)～23(月・祝) ②10/12(土)～14(月・祝) ③11/2(土)～4(月・祝) ※雨天のため9/22(日)・23(月・祝)、11/2(土)は中止	
会場	レンガホール 中庭	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	1,542名／4,000名 (39%)	
実施内容	「毎日を、ちょっと楽しく」をテーマに、大分の食、文化、ものづくりが集う小さなマルシェイベントを開催。県内の飲食店や、アーティスト、クリエイターが出店した。	

企画者	混浴温泉世界実行委員会	(写真なし)
プログラム 124	サルキス考案ワークショップ『水のなかの水彩画』	
会期	11/2(土)	
会場	レンガホール 中庭	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	雨天により中止	
実施内容	雨天により中止	

企画者	『ベップ・アート・マンスをつくろう会』	
プログラム 125	ベップ・アート・マンスをつくろう会	
会期	10/17(木)、11/6(水)	
会場	TRANSIT相談室	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	8名／10名 (80%)	
実施内容	10月はロクディムの『BAM Radio!!』のインスタライブの公開収録、11月は今年の企画の感想や課題について話し合う会を開催した。	

企画者	『ベップ・アート・マンスをつくろう会』	
プログラム 126	スタンプラリー	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	設置プログラム のべ32箇所	
料金	無料	
景品交換人数／目標人数 (達成率)	10名／12名 (83%)	
実施内容	『ベップ・アート・マンスをつくろう会』で制作した消しゴムハンコを、協力いただける32の有人プログラムに設置。10名が景品と交換した。	

企画者	『ベップ・アート・マンスをつくろう会』	
プログラム 127	BAM Radio!!	
会期	主に8のつく日に配信	
会場	オンライン	
料金	無料	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	4709名／4000名 (118%)	
実施内容	ボランティアスタッフ『ばんだいさん』の市口さん協力のもと、企画者が自分の言葉でパンフレットには掲載しきれないプログラムの内容や想いを話す場として企画した。一部は市口さんのインターネットラジオ番組でも配信。出演した企画者はいい経験ができたと言っていた。	

企画者	カイセイトラスト株式会社	
プログラム 128	別府アートミュージアム	
会期	9/21(土)～11/10(日)	
会場	別府アートミュージアム	
料金	一般700円、中高大学生500円、4歳～小学生300円	
来場人数／目標来場人数 (達成率)	1800名／1500名 (120%)	
実施内容	芸能人や著名人が手がけた美術作品の展示。特典として、パンフレット持参の方へポストカード配布をおこなった。	

3-3. 運営について

1. 広報の強化のための新たな企画

(1) 『BAM Radio!!』

企画者がプログラムをPRする場としてラジオを収録し、InstagramとYoutubeで配信。配信数は8本 (企画者9名)。



(2) LINEオープンチャット『ベップ・アート・マンスをはなそう会』の作成

匿名で利用できるLINEオープンチャットを利用して、提出期限のリマインドやメディア掲載情報、つくろう会の日程の案内などをおこなった。メールを確認する習慣がない方に好評だった。

(3) プレイイベント『バム・ジャンボリー!』の実施

例年実施されていた「決起集会」は、企画者がメディアに向けてプログラムをPRする場であったが、今年度はオープンな場 (=商店街アーケード内) にてより多くの方が鑑賞できる形式で実施した。終了後は懇親会も実施し、企画者同士の交流の場にもなった。

(4) スタンプラリーの実施

昨年度の『ベップ・アート・マンスを考える会』で意見が出た「スタンプラリー」を、有志による自主企画として実施した。プログラム間の回遊を促すことを目的とし、ハンコ制作から運営方法までつくろう会で話し合いながら進めた。最終的に10名がクリアし景品と交換した。

〈実施概要〉

- ・ 8個もしくは9個のスタンプを集めると景品と引き換え
- ・ 景品は企画者からの寄付、物的協賛の協賛品
- ・ スタンプの設置は希望のあったプログラムのみとし、設置会場はWebサイトで発信



(5) ゆめタウン別府での広報活動

昨年度のアンケート結果や『ベップ・アート・マンスをつくろう会』において、別府市民への『BAM』の認知度向上が課題として指摘されたことから、今年度はゆめタウン別府に広報協力を仰いだ。地域貢献活動の一環として快諾いただき、パンフレットやポスターの掲示、月ごとのプログラム内容の展示などを実施した。今年度は掲示板やチラシラックでの広報協力にとどまったが、早期に相談することで、もっと双方にとって有益な連携を模索することが可能になると考えられる。ゆめタウン別府のみならず、さまざまな商業施設と協力体制を築き、市民への周知を強化していきたい。

2. アルバイトスタッフの雇用

提供会場でのプログラム実施時の巡回を強化する観点から、複数のプログラムが開催される日を中心にアルバイトスタッフを雇用した。業務内容は担当者との現地での連絡調整、記録撮影、アンケートやのぼりの管理、会場での交通整理など。

3. サポート内容

『ベップ・アート・マンス 2024』に登録をしたプログラム企画者に対し、事務局より以下のサポートをおこなった。

(1) プログラム実施に関わる相談およびサポート

事務局によるヒアリング（面談）を実施し、企画者の意向を確認しながら未確定事項の決定や、実現性、安全性の確認をおこなった。さらに『ベップ・アート・マンスをつくろう会』なども実施し、登録決定からプログラム開催直前まで企画のブラッシュアップに協力した。

(2) 提供会場の紹介

『ベップ・アート・マンス』期間中、特別に無料およびディスカウント料金で利用できる会場を企画者に紹介した。今年度は下記の8会場を提供会場とした。また、提供会場以外にも、各プログラム内容に沿う会場を複数紹介した。

・無料で利用できる提供会場（2ヶ所）

トキハ別府店 大屋根の下、別府市役所 中庭市民ひろば

・ディスカウント料金で利用できる提供会場（6ヶ所）

茶房たかさき 2階貸しスペース、別府ブルーバード会館3階 フレックスホール、えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム、紙屋温泉2階 公民館スペース、末広温泉2階 公民館スペース、松原一区公民館

(3) 広報業務の一部代行

- ・全プログラムを掲載したパンフレット（10,000部）やポスター（300部）を作成し、南部地区への全戸配布に加え、別府市内を中心に全国に配布した。
- ・外国人への周知を図るため、英語表記の簡易チラシ（1,000部）を作成し、市役所やインフォメーションセンター『WANDER COMPASS BEPPU』を中心に配布した。
- ・Webサイトで、個別のプログラムの情報提供や予約受付をおこなった。
- ・SNS（Instagram、X（旧Twitter）、Facebook）を通じた情報発信をおこなった。
- ・メディアとの連携によるテレビやラジオ出演の斡旋や、『BAM Radio!!』の企画などPR機会を提供した。
- ・記者発表会PRイベント『BAMジャンボリー!』を開催し、23組27名の企画者が自らのプログラムをPRした。
- ・会場目印ののぼりを各会場に設置するとともに、駅前通り商店街に32本ののぼりを設置した。





パンフレット



会場マップ



Webサイト



のぼり

(4) 総合インフォメーションセンター

9月21日(土)~11月10日(日)の期間、JR別府駅の観光案内所『WANDER COMPASS BEPPU』内および別府市創造交流発信拠点『TRANSIT』相談室内の2ヶ所に、インフォメーションセンターを設置した。各施設の職員が、その日開催されている『ベップ・アート・マンス』のイベントを案内するとともに、パンフレットや各イベントのチラシなどを配布した。なお、『WANDER COMPASS BEPPU』は多言語に対応できる職員が常駐しているため、海外の方への案内も担った。

(5) 問い合わせ対応・連絡先窓口などの事務局業務

企画者が希望する場合、プログラムの予約受付や問い合わせ対応を事務局が代行した。予約は電話やWebサイト、『TRANSIT』にて受け付けた。

3-4. プログラム企画者同士の交流機会創出について

1. 概要

市民による主体的な運営を目指すとともに、プログラム企画者同士の交流や意見交換の場を創出するため、下記の交流機会を創出した。

2. 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』

プログラム企画者を中心に、地域の方なども交え、事業についての意見交換、企画者同士の交流を図るため実施。この取組は2013年より始め、今年度は10回実施し、オンラインでの参加を含めたべ66名が参加した。今年度は15周年という節目を迎えることもあり、プレイベント『バム・ジャンボリー!』や『BAM Radio!!』、スタンプラリーの実施など、これまでにない企画を展開し『つくろう会』の活動をさらに発展させることを目指した。

※『ベップ・アート・マンスを考える会』の実施について

今年度開催した158回から168回にかけての『つくろう会』では、昨年度実施された『ベップ・アート・マンスを考える会(※1)』で提案された内容を参考にしながら、プログラム登録の仕組みや企画者のサポート体制、広報について多くの意見が集まった。今年度は企画の実施に重点を置くため『考える会』を実施せず、『つくろう会』に比重を置いて複数の企画実行に注力する方針を取った。

※1 市民のより主体的な参画を目的に、『ベップ・アート・マンス』の持続可能な運営について協議する場



回	日時	参加人数	会場
158	2024/5/23(木)	9	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
159	2024/6/4(火)	5	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
160	2024/6/12(水)	8	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
161	2024/7/13(土)	4	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
162	2024/7/25(木)	7	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
163	2024/7/28(日)	5	別府スパビーチ
164	2024/8/10 (水)	3	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
165	2024/9/3(火)	3	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
166	2024/9/5(木)	5	事務局 (BEPPU PROJECT事務所内) およびオンライン
167	2024/10/17(木)	4	TRANSIT (相談室) およびオンライン
168	2024/11/6(水)	4	TRANSIT (相談室)

3. 決起集会&記者発表

『ベップ・アート・マンスをつくろう会』で協議を重ねた結果、今年度は記者会見&決起集会を『バム・ジャンボリー!』という名称で、やよい商店街にて開催することとした。より多くの人に『BAM』の存在を知ってもらうために、オープンな会場で一般の人にも立ち寄りやすいものとした。当初は8月30日の開催を予定していたが、台風10号の影響で9月6日に延期。熱中症対策のため開催を日没後とし、控室も用意した。控室は企画者同士の交流の場としても活用された。当日は21組の企画者と、80名を超える来場者、4社のメディアが参加し、盛況のうちに終了した。終了後には懇親会をおこない、参加者20名が交流した。日没後も蒸し暑く、想定よりも人通りが少なかったため、次年度以降は時期や会場、告知の手法などを見直したい。

回	日時	参加人数	会場
1	2024/9/6(金)	80	やよい商店街 やよい天狗前特設会場



4. 登録相談会について

プログラム募集中に、登録を検討している人を後押しするための相談会を実施した。

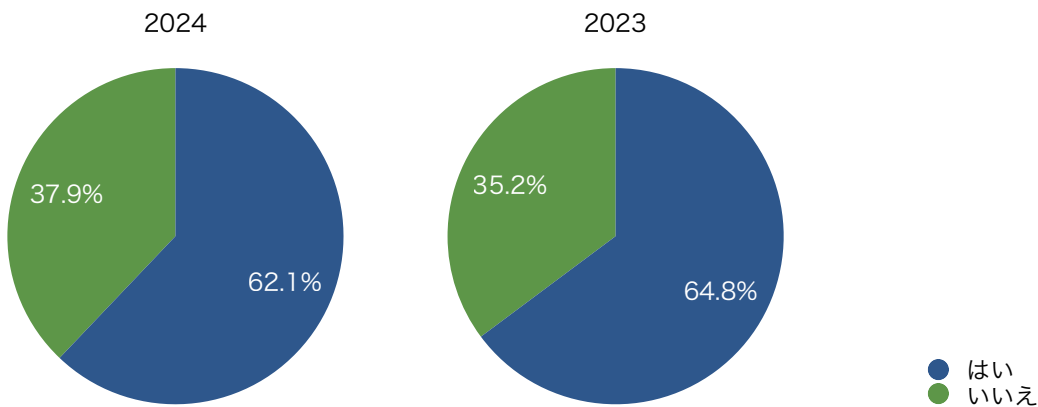
回	日時	参加人数	会場
1	2024/5/10(金)	5	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム
2	2024/5/26(日)	10	えきマチ1丁目別府 コミュニティルーム

1. アンケート結果

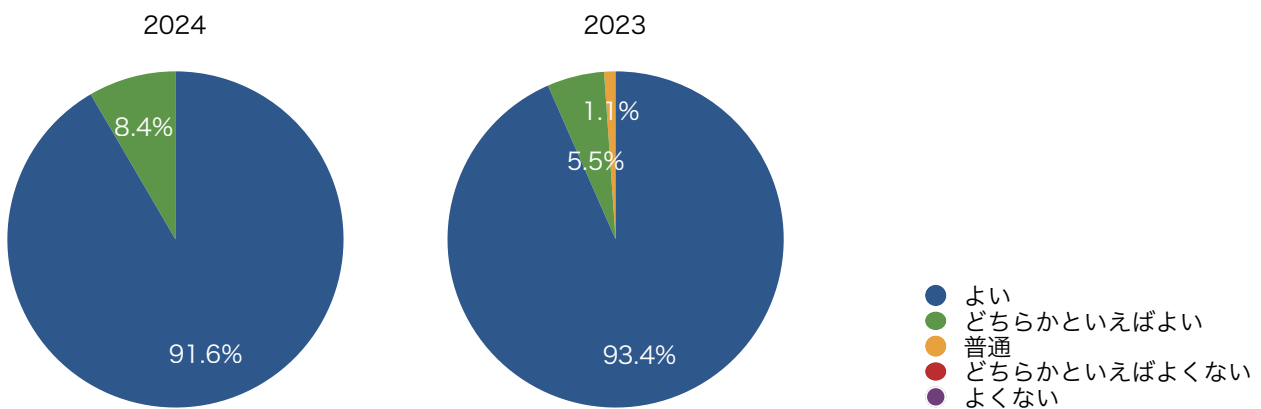
プログラム終了後、プログラム企画者へアンケートを実施した。回収枚数は95枚。

- (1) これまでにプログラムを登録したことがあるか
- (2) 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価
- (3) 『ベップ・アート・マンス』に登録してよかったか
- (4) また『ベップ・アート・マンス』へ登録したいか
- (5) 事務局の対応に対する評価
- (6) 広報業務の一部代行による効果があったか
- (7) 提供会場の取組をどう思うか
- (8) 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』には参加したか
- (9) オンライン配信についてどう思うか

(1) これまでにプログラムを登録したことがあるか
昨年度より「いいえ」が増えた。

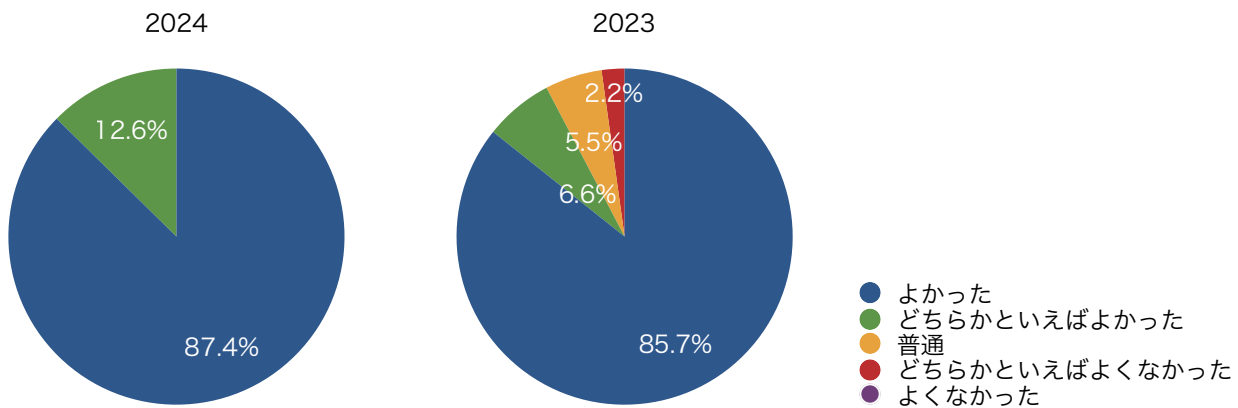


(2) 『ベップ・アート・マンス』という取組への評価
全ての回答者が「よい」または「どちらかといえばよい」と回答している。



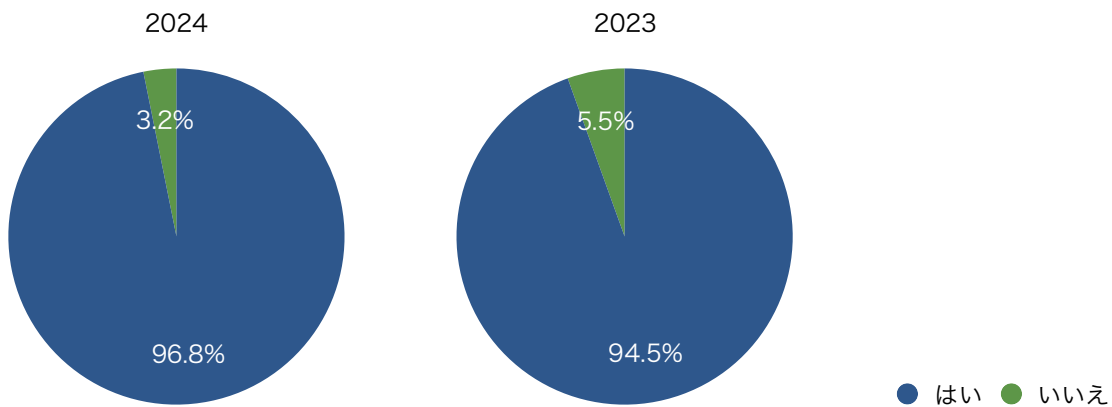
(3) 『ベップ・アート・マンス』に登録してよかったか

全ての回答者が「よかった」または「どちらかといえばよかった」と回答している。



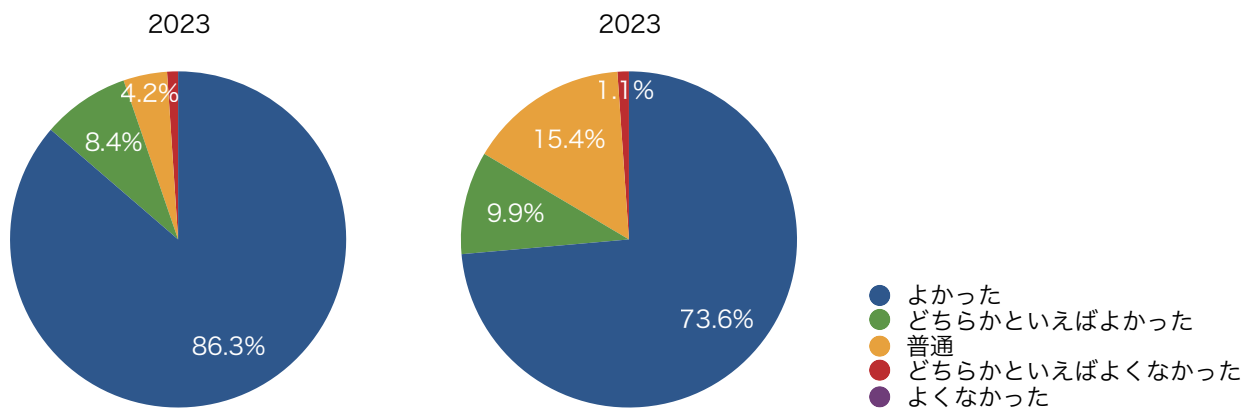
(4) また『ベップ・アート・マンス』へ登録したいか

昨年度と比較し、「はい」がやや増えた。

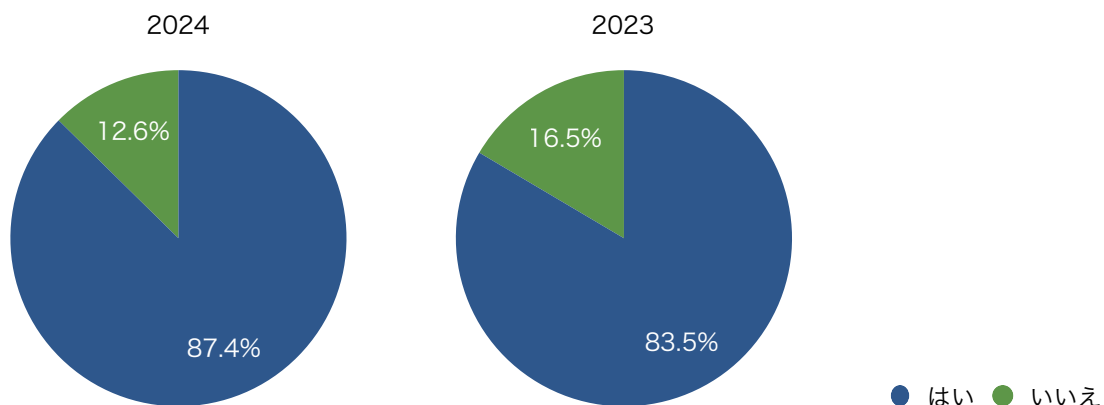


(5) 事務局の対応に対する評価

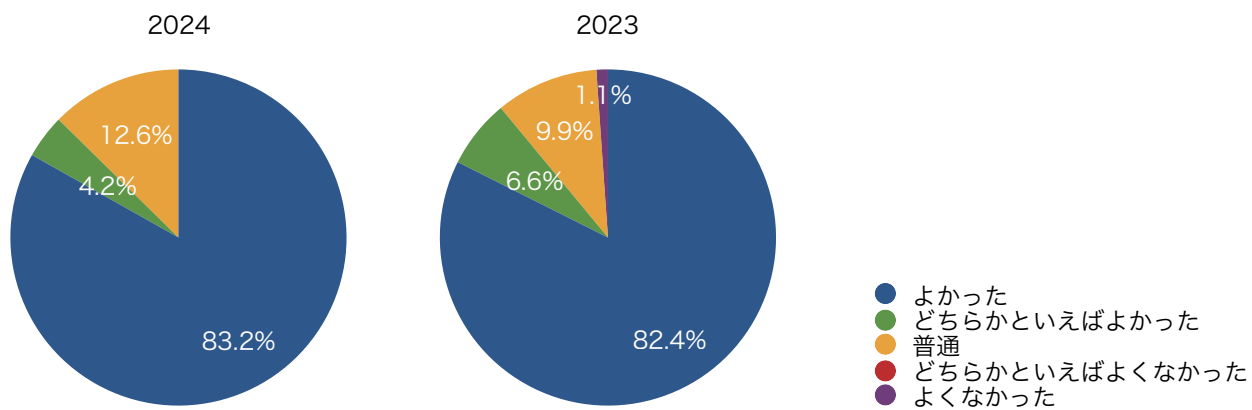
昨年度と比較し、「よかった」が増えた。



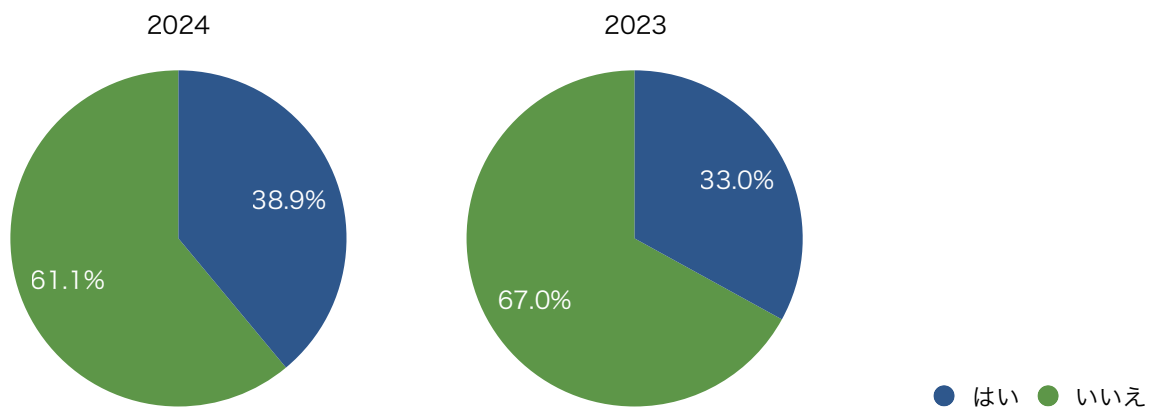
(6) 広報業務の一部代行による効果があったか
 昨年度と比較し、「はい」がやや増えた。



(7) 提供会場の取組をどう思うか
 昨年度と比較し、「よかった」がやや増えた。

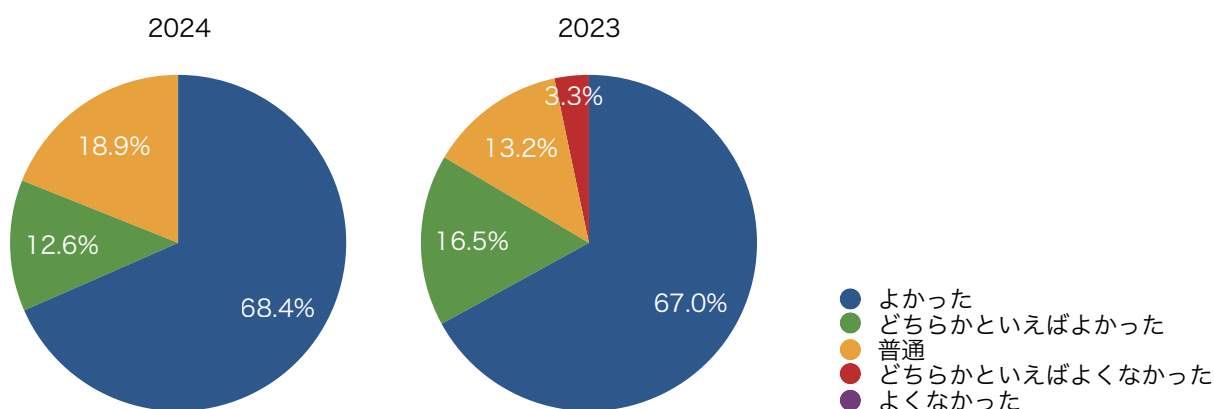


(8) 『ベップ・アート・マンスをつくろう会』には参加したか
 昨年度と比較し、「はい」がやや増えた。



(9) オンライン配信についてどう思うか

昨年度と比較し、「普通」の割合が増えている。



『ベップ・アート・マンス』という取組への評価についての自由意見 (原文ママ)

- ・自分たちで別府を盛り上げていくきっかけ
- ・会場が割引料金でレンタルできること、公式パンフレットやwebで広報に協力していただけることが大きいです。
- ・BAMの名前を借りて展示の告知をスムーズにでき、別府に住んでいる方達の足が運びやすいことも、作家としてはありがたいと思いました。
- ・新しい顧客層に知ってもらえるきっかけになり、集客につながった
- ・アートやダンス、ワークショップなど行ってみたくなるプログラムが盛りだくさん。楽しそうな参加者の方々の笑顔にふれられた。期間中は街中でフラッグやポスターの掲示もあり、別府が賑やかで、ふるさとのがんばっている姿が見られて嬉しい。
- ・事務局の仕事をプログラム登録者と手分けできたらもっといいと思う
- ・別府内からの参加者が多いのかと思ったが、そうではなかった。

「なぜ『ベップ・アート・マンス』に参加しているか」「『ベップ・アート・マンス』に期待していること」についての自由意見 (原文ママ)

- ・より多くの人に自分の活動を知ってもらうため。
- ・AFBなど同時期に開催されている展覧会が多く、県外からお越しの方々も多い時期だから
- ・公式パンフレットやwebで広報していただくことで友人・知人を越えて、これまでご縁のなかった多くの人に作品を観ていただけることです。外国の方の来場が増えるといいなと期待しています。
- ・アートマンスに合わせて開催するほうが様々な場所に巡ってもらえると思い決めた
- ・たまたま展示会の期間がかさなり、少しでも広がりをもてればと思い参加させていただきました。
- ・大学として単発で企画するより学生が地域のイベントに参加することで、地域やアートについて知り、その広がりやつながりを体験して欲しかったため。
- ・地域の人でも、アートマンスというイベントを知らない人が多いので、アート関係者以外の一般の方に注目していただくようなアプローチがもっとあっても良いのではと感じた。

3-6. 来場者について

1. 来場者数

来場者は43,154名（目標来場者数：19,000名／オンライン閲覧者数含む）を数えた。事業開始以降の来場者数は以下のとおり。

開催年	会期	プログラム数	参加団体数	来場者数
2010年	11/1(月)～30(火) [30日間]	43	27	3,930名
2011年	11/1(火)～30(水) [30日間]	87	57	11,751名
2012年	10/6(土)～12/2(日) [58日間] ※)	148	122	53,736名
2013年	11/1(金)～12/1(日) [31日間]	86	74	25,147名
2014年	11/1(土)～30(日) [30日間]	81	72	22,134名
2015年	7/18(土)～9/27(日) [72日間] ※)	88	71	53,474名
2016年	10/29(土)～11/30(水) [33日間]	97	87	12,103名 『目 In Beppu』の来場者数1,122名を含まず
2017年	11/1(水)～12/3(日) [33日間]	107	93	10,005名 『西野 達 in 別府』の来場者数13,391名を含まず
2018年	10/6(土)～11/25(日) [51日間]	124	95	23,722名 『アニッシュ・カプーア IN 別府』の来場者数54,716名を含まず
2019年	9/21(土)～11/10(日) [51日間]	123	98	14,590名 『関口 光太郎 in BEPPU』の来場者数11,840名とアニッシュ・カプーア『Sky Mirror』再公開の来場者数43,842名を含まず
2020年	12/12(土)～1/31(日) [51日間]	107	87	27,265名 (来場者数 4,924名、オンライン参加者数 22,341名) 『梅田哲也 イン 別府』の参加者数43,648名を含まず
2021年	11/20(土)～1/23(日) [65日間] 『廣川玉枝 in BEPPU』『梅田哲也「O滞」2021-2022』：12/18(土)～2/13(日) [42日間]	136	111	25,576名 (来場者数 10,970名、オンライン参加者数 14,606名) 『廣川玉枝 in BEPPU』『梅田哲也「O滞」2021-2022』の参加者数34,489名を含まず
2022年	10/8(土)～11/27(日) [51日間] 『塩田千春展』：8/5(金)～10/16(日) 51日間 [Alternative-State #8] Les Anges de Beppu 10/7(金)～3/31(金) [175日間] 『まつばらマルシェ』：10/8(土)～10(月・祝)・11/3(木・祝)～6(日) [7日間]	125	107	15,542名 (来場者数 10,966名、オンライン参加者数 4,576名) 『塩田千春展』『[Alternative-State #8] Les Anges de Beppu』『まつばらマルシェ』の参加者数36,745名を含まず
2023年	9/22(金)～11/12(日) [52日間] [Alternative-State #6] Watertower 10: Beppu City, 2023 9/22(金)～3/31(日) [194日間] 『Art Fair Beppu 2023』9/23(土)～25(月) [3日間]	126	102	18,650名 (来場者数 13,058名、オンライン参加者数 5,592名) 混浴温泉世界実行委員会主催事業の参加者数44,336名を含まず
2024年	9/21(土)～11/10(日) [51日間] [ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign: Beppu City, 9/20(金)～3/31(日) [192日間] 『Art Fair Beppu 2024』9/21(土)～24(火) [4日間] 『TRANSIT MARKET』：9/21(土)～23(月・祝), 10/12(土)～14(月・祝), 11/2(土)～4(月・祝) [9日間]	128	103	43,154名 (来場者数：36,501名、オンライン参加者数：6,653名) 混浴温泉世界実行委員会主催事業の参加者数23,408名を含まず

※) 2012年、2015年は別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』の開催にあわせて実施

2. アンケート結果

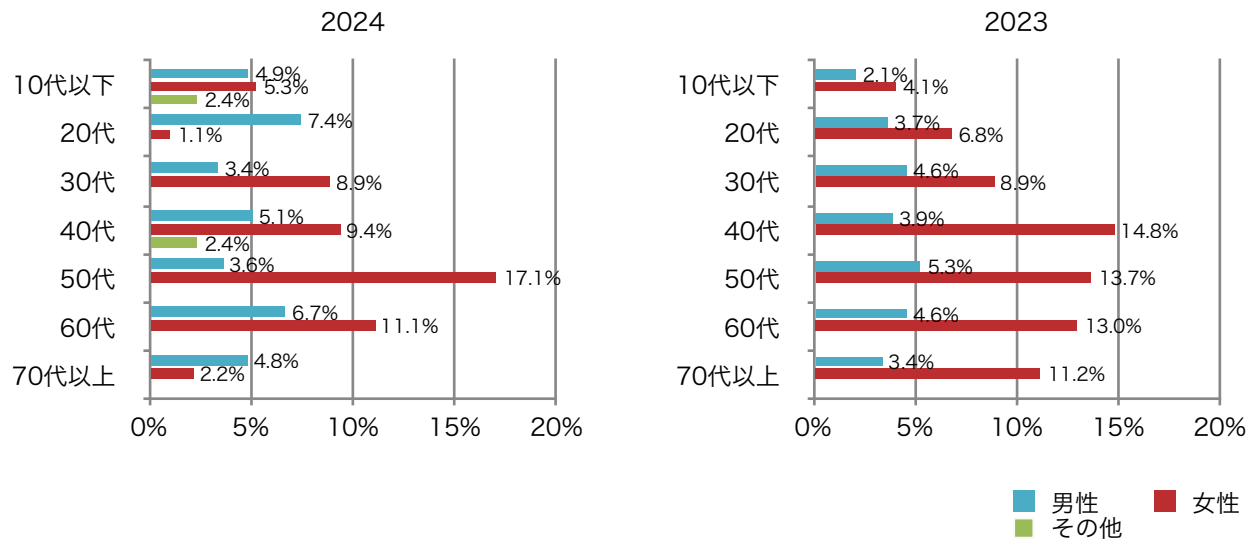
会期中、来場者に下記の質問を記したアンケートを実施した。回収枚数は430枚。

※小数点以下の記載がないものに関しては、四捨五入している

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) このイベントをどこで知ったか？(複数回答可)
- (5) これまでも『ベップ・アート・マンス』に参加したことはあるか？
- (6) 『ベップ・アート・マンス』の取組みをどのように思うか？
- (7) 他に参加されたプログラム、または参加しようと思っているプログラムはあるか？
- (8) 『ベップ・アート・マンス』に来年度以降プログラムを企画・開催する側として参加したいと思うか？
- (9) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント
- (10) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
- (11) 今年参加・鑑賞した(または参加・鑑賞する予定の) イベント。
- (12) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問するか
- (13) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (14) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか

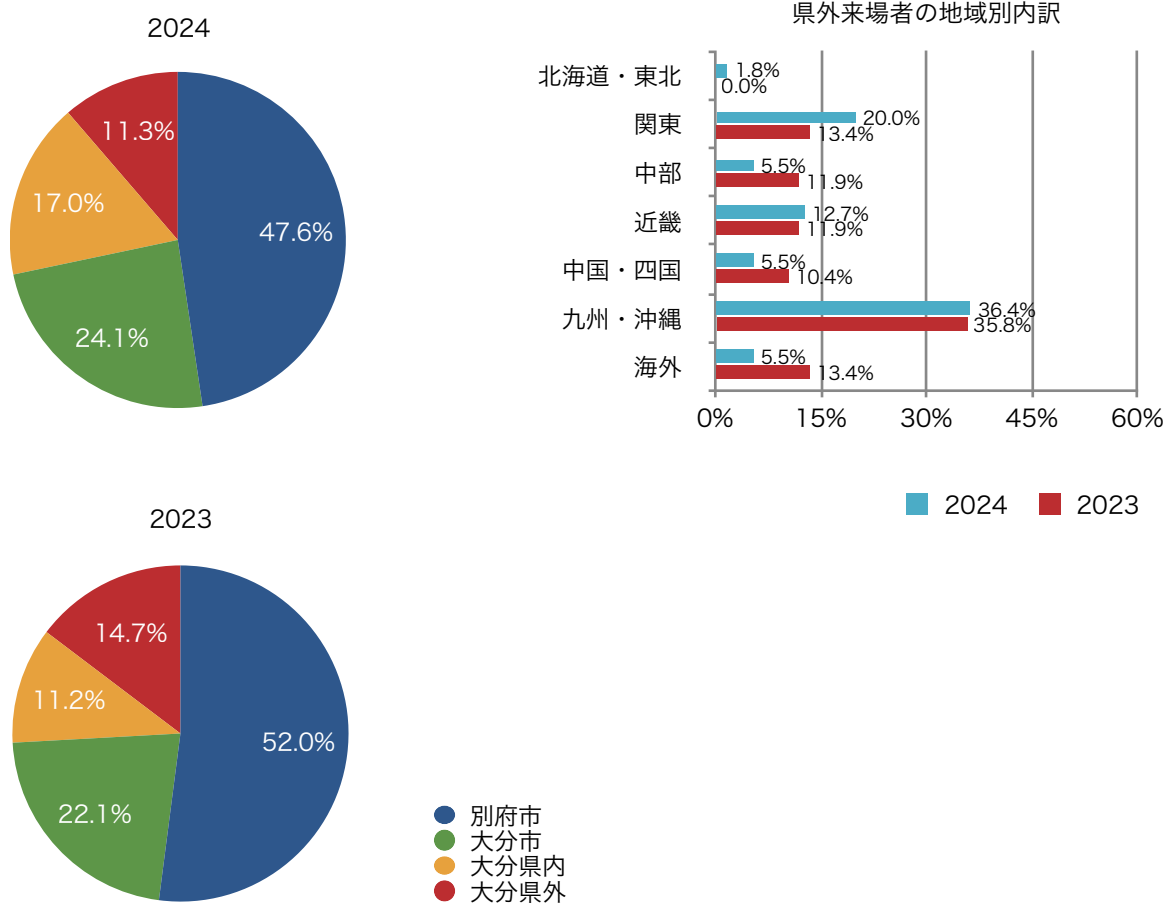
(1) 年齢・性別

昨年度と比較し、「女性」の割合が多いのに変わりはないが、女性の20代・40代が減少している。



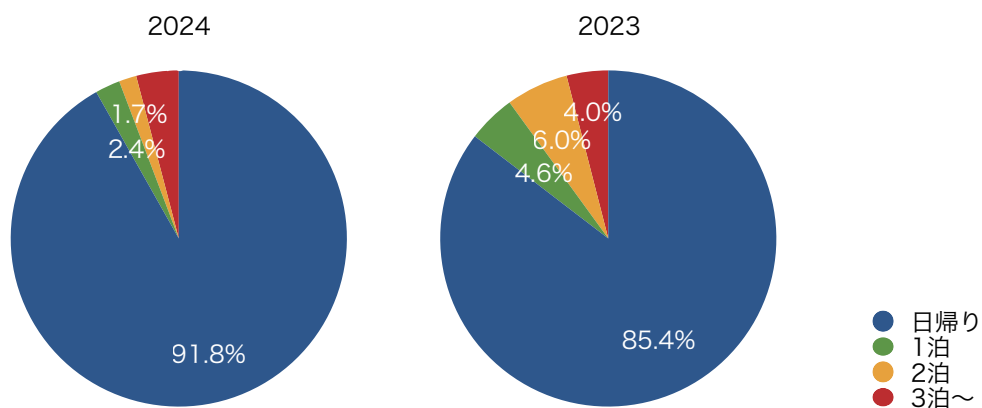
(2) 居住地

昨年度と比較し、「大分市内」「大分県内」からの来場者がやや増えた。県外来場者を地域別に見ると「北海道・東北」「関東」からの来場者が増え、海外からの来場者が減った。



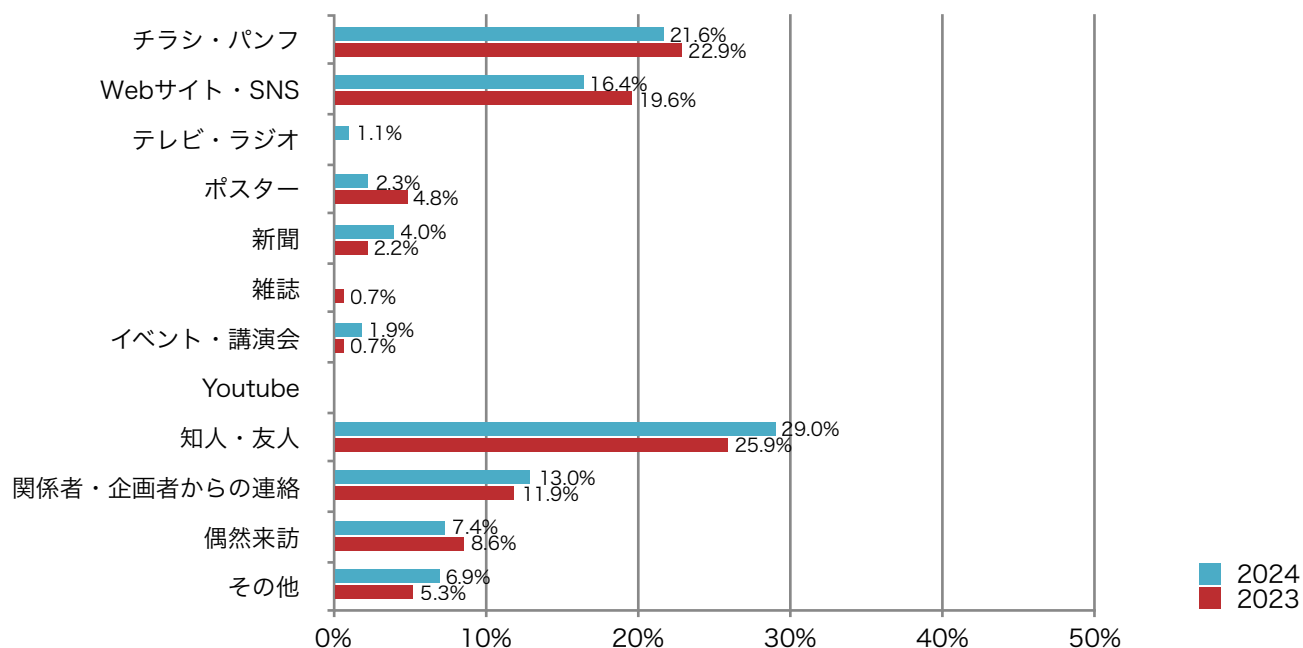
(3) 滞在期間

昨年度と比較し、日帰りが増え、宿泊者が全体的に減った。



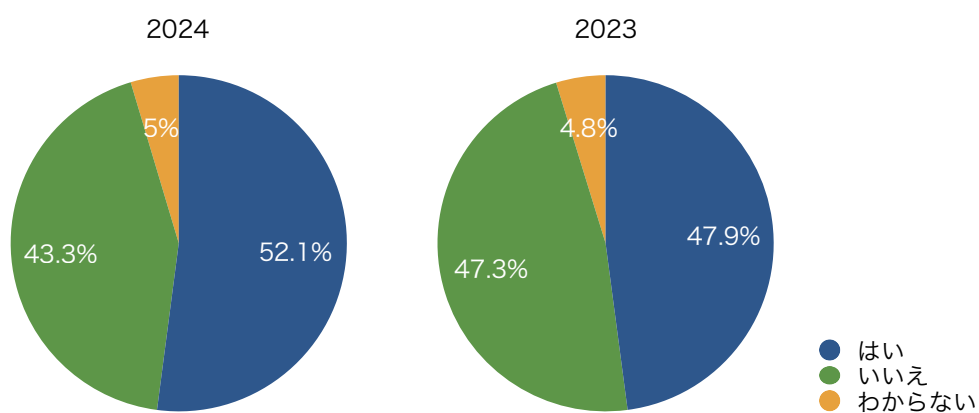
(4) このイベントをどこで知ったか？(複数回答可)

昨年度と比較し、メインの広報媒体である「チラシ・パンフ」はやや減少し、「知人・友人」や「関係者・企画者からの連絡」が増えた。



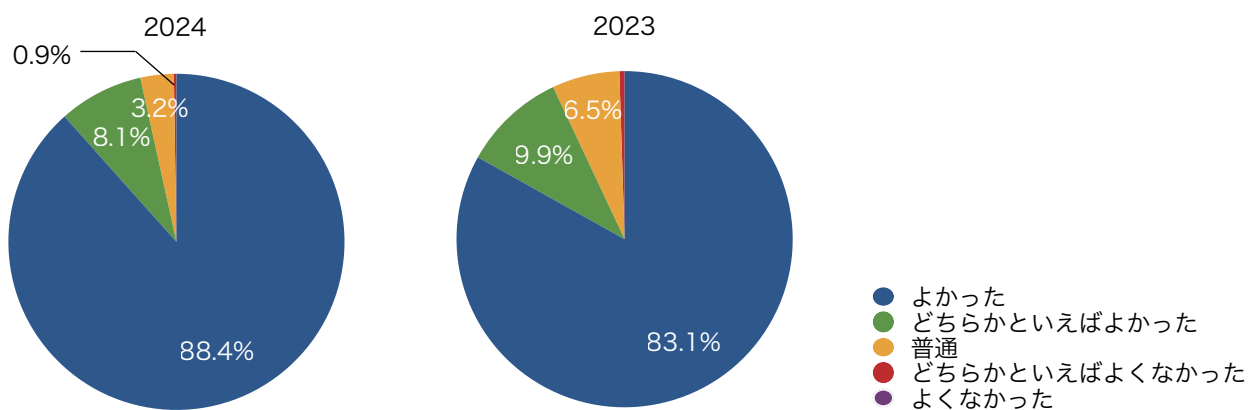
(5) これまでも『ベップ・アート・マンス』に参加したことはあるか？

「はい」が増え、「いいえ」が減った。



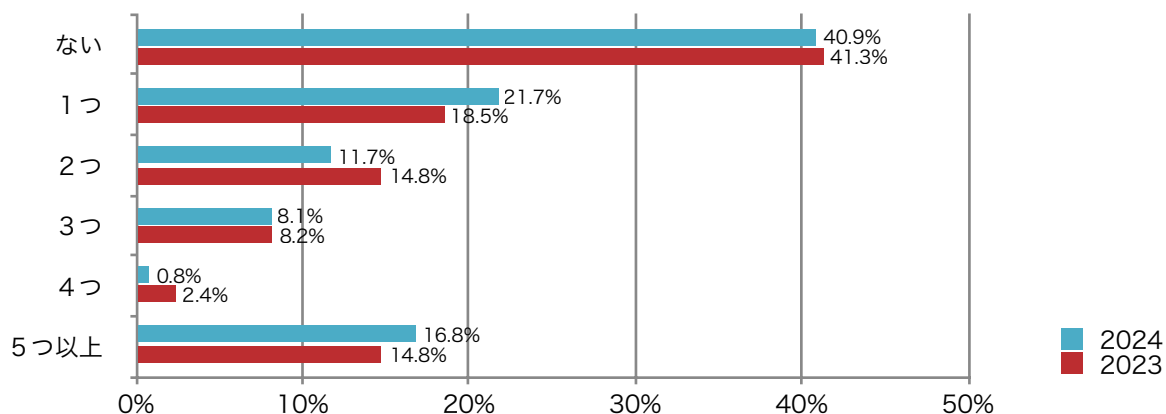
(6) 『ベップ・アート・マンス』の取組をどのように思うか？

昨年度と比較し「よかった」がやや増えた。



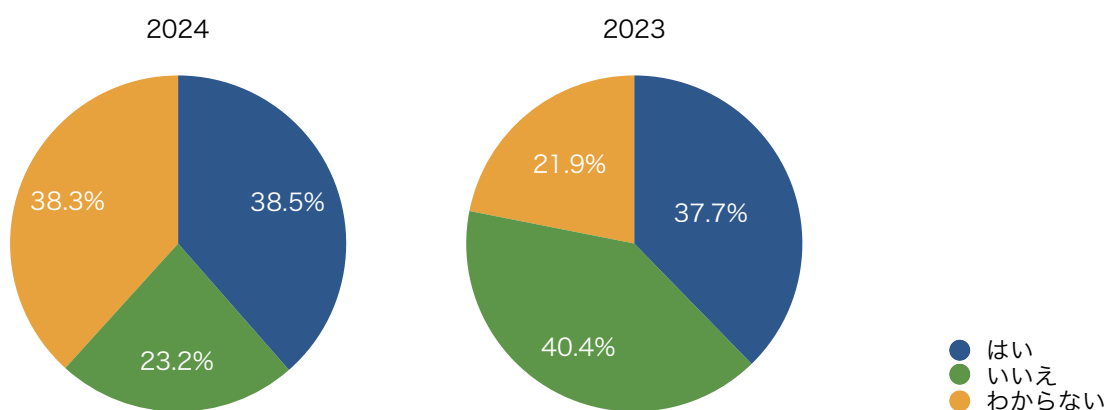
(7) 他に参加されたプログラム、または参加しようと思っているプログラムはあるか？

昨年度と比較し、全体的な傾向はあまり変わらないが、「5つ以上」の参加者がやや増えた。



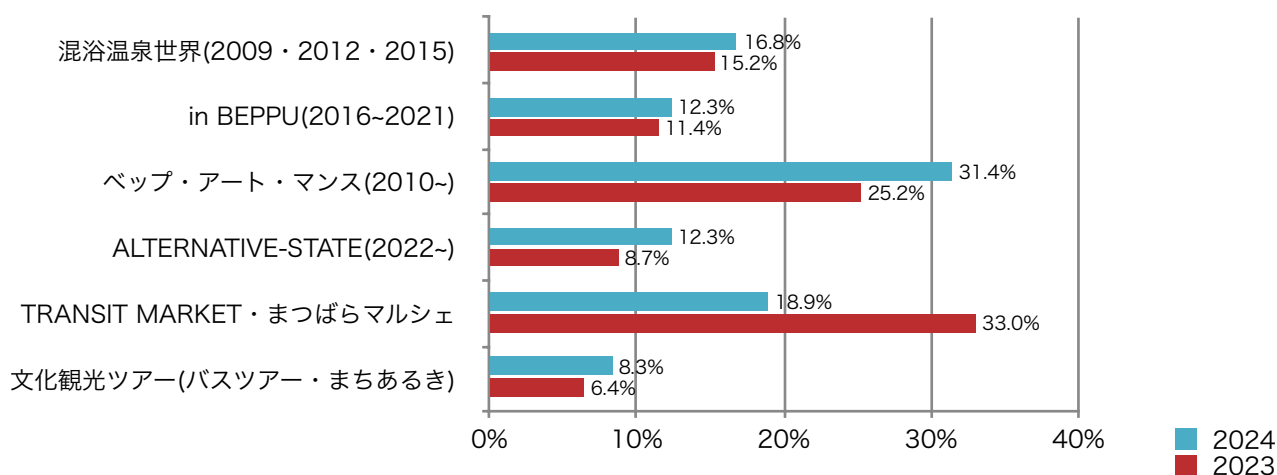
(8) 『ベップ・アート・マンス』は来年度以降プログラムを企画・開催する側として参加したいと思うか？

昨年度と比較し、「いいえ」が減り「わからない」が増えた。

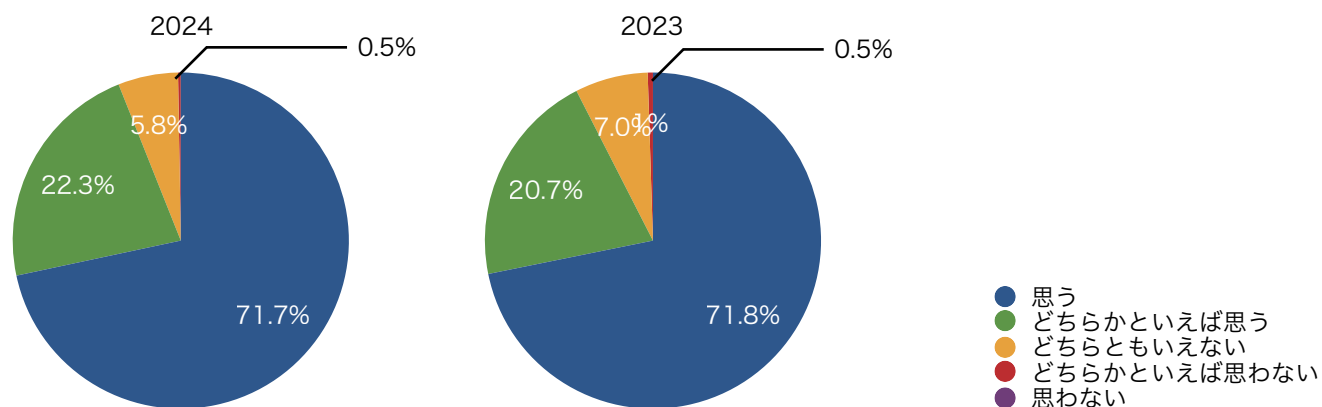


(9) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント

『ベップ・アート・マンス』を除くと、『TRANSIT MARKET』が最も多かった。

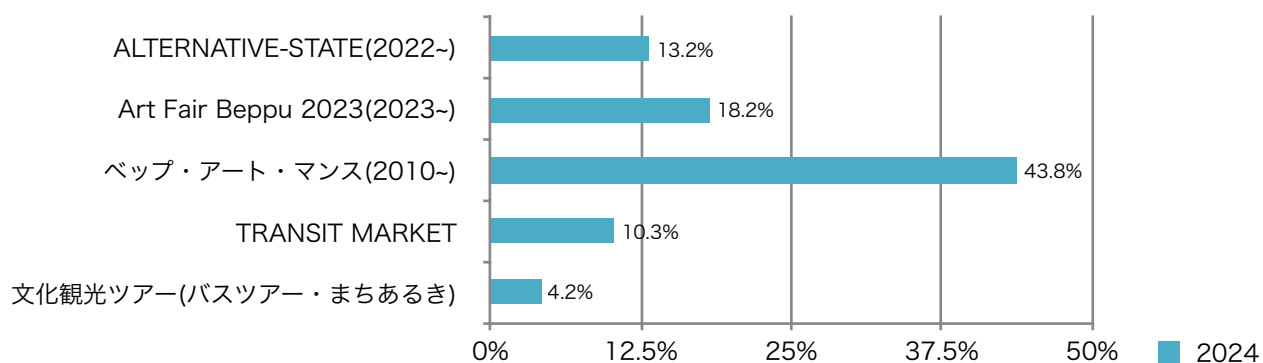


(10) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
「思う」「どちらかといえば思う」が、90%以上を占めた。

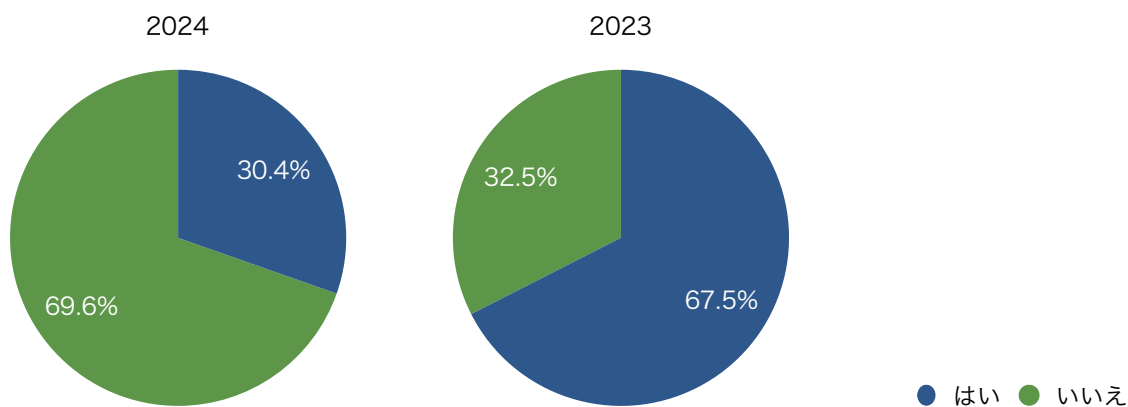


(11) 今年参加・鑑賞した（または参加・鑑賞する予定の）イベント

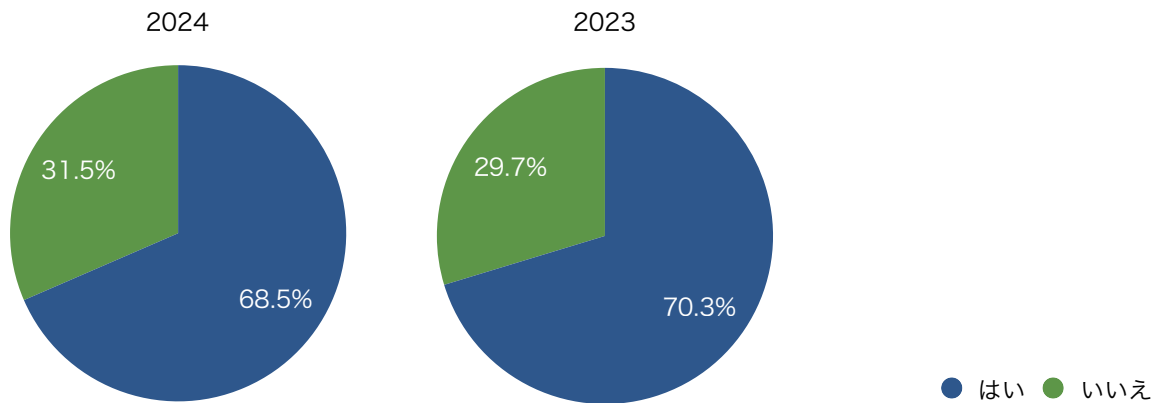
『ベップ・アート・マンス』を除くと、『Art Fair Beppu 2023(2023~)』の数が最も多かった。



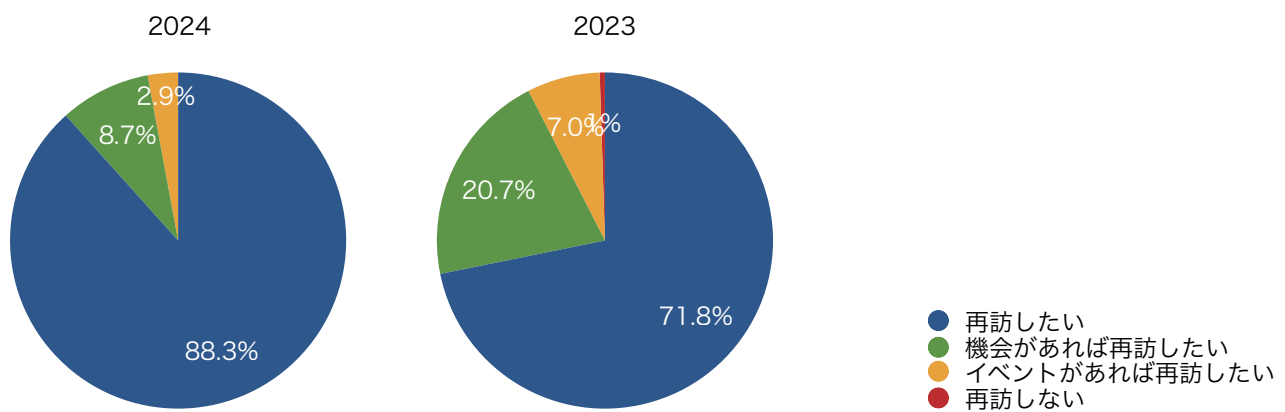
(12) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問するか
昨年度と比較して、「はい」と「いいえ」の割合が逆転した。



(13) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
 昨年度と比較し「はい」がやや減った。



(14) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか
 「再訪したい」「機会があれば再訪したい」が95%以上を占めた。



4-1. 企画概要

1. はじめに

『ALTERNATIVE-STATE』は、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』(2009～2015) や『in BEPPU』(2016～2021) の後継として2022年度より開始したアートプロジェクトである。本事業の実施によって、大分県別府市がいつ訪れても町とアートを楽しめる場所としてさらに魅力を高め、同市への興味喚起を促すことを目指す。この事業は、別府市制100周年記念事業にも位置付けられている。

今年度は、中崎 透による『Bluebird Sign／青い鳥のしるし』を2024年9月に、パノラマティクス／齋藤精一による『Distorted 『JIKU』 #023 D-1 | BEPPU』を2025年2月に制作・設置した。前者は、地域に所縁のある方々へのインタビューをベースにした32のエピソードと作品が別府市中心市街地の25ヶ所に展開する、さまざまな時代・視点・人生が交錯する巡回型のインスタレーションとなった。後者は、土地土地のリサーチやフィールドワークを通して見出したその地域固有の歴史的・地形的な"軸線"を光の線で表現する作品シリーズ『JIKU』の新作で、多様な人々が行き交う目抜き通りである別府市駅前通りの上空に設置した。

さらに、[ALTERNATIVE-STATE Audio Drama] として、詩人で作詞家の御徒町 凧を招聘し、8つの章からなる音声作品『連環する音と言葉の八つの断片』を制作。次年度の本公開に先駆け、一部をWebサイトで公開した。

2. 概要

事業名	ALTERNATIVE-STATE (読み：オルタナティブ・ステート)
コンセプト	世界を異なる形で再生させる旅の入口
概要	大分県別府市がいつ訪れても町とアートを楽しめる場所としてさらに魅力が高まることを目指して『in BEPPU』の後継として開始した事業。「世界を異なる形で再生させる旅の入口」というコンセプトのもと、半年ごとに1組のアーティストを招聘して4年間で8つの作品を制作し、市内の特徴的な場所に長期間展示する。今年度は2024年9月に中崎 透、2025年2月に齋藤精一による合計2つの作品を制作・設置した。
会期	2024/9/20(金)～2025/3/31(月) (193日間)
時間	随時
会場	別府市内各所
料金	無料
Webサイト	https://alternative-state.com
ディレクター	山出淳也 (Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)
クリエイティブ・ディレクション	カラマリ・インク
スチール／映像	山中 慎太郎 (Qsyum!)
参加者数	19,083名 (作品鑑賞 18,739名＋イベント参加 482名＋オンライン参加 344名)

1. 概要

プロジェクト名	[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし
アーティスト	中崎 透
作品名	Bluebird Sign／青い鳥のしるし
設置場所	別府市中心市街地各所
公開日	2024/9/20(金)
鑑賞推奨時間	日没まで (一部作品は夜間点灯)
料金	無料
概要	『ALTERNATIVE-STATE』の第5作目として、現代美術家中崎 透を招聘し、別府市中心市街地の25ヶ所に32のエピソードと作品を展開する巡回型インスタレーションを制作した。近年、中崎が手がける、地域に所縁のある方々へのインタビューをベースにした手法によって、さまざまな時代・視点・人生が交錯する、別府ならではの新しい物語を制作。作品完成記念式典のほか、『Art Fair Beppu 2024』へのゲスト出展、アーティスト・トークおよび作品ツアーを実施した。
制作 クレジット	企画／制作：NPO法人 BEPPU PROJECT インタビュー：岡村 照、榎藤和雄、榎藤高子 展示施工：絵文字工房、津田翔平、宮田君平 (MIYATA ART CONSTRUCTION)、加藤笑平、熊谷然、山口裕仁 デザイン：井下 悠 (INOSHITA DESIGN) 協力：安部一郎、駅前高等温泉、駅前町自治会、駅前本町自治会、カイセイ地所トラスト 株式会社、勝 正光、北浜一丁目自治会、北浜二丁目自治会、北浜三丁目自治会、喫茶ムムム、河野 悟、ゴッチ、後藤洋子、榎藤和雄、ゴンドウ広美社 (榎藤高子)、西法寺通り会、有限会社 サンエスメンテナンス、JR九州ビルマネジメント 株式会社、有限会社 塩屋産業、竹瓦小路のみなさま、立石康子、中央町自治会、株式会社 鶴田ホテル、乗田 菜々美、ビューシック・クギミヤ 別府本店、株式会社 ブルーバード会館 (中村 光、中村 玲)、別府駅観光案内所 WANDER COMPASS BEPPU、別府駅前通商店街振興組合、別府銀座商店街振興組合、一般社団法人 別府市産業連携・協働プラットフォーム B-biz LINK、別府タワー、別府ヒットパレードクラブ (和久昌人)、別府ブルーバード劇場 (岡村 照、岡村実紀)、別府やよい商店街振興組合、別府リトルマーメイド (日名子 雅彦)、保崎慎司、ホテルアーサー KITAHAMA BASE (日名子 敦子、日名子 健太郎)、松本 多嘉久、水口 洋、元町自治会、そのほかご協力・応援くださったみなさま (五十音順・敬称略)
参加者数	15,639名 (作品鑑賞 15,112名＋イベント参加 183名＋オンライン参加 344名)

2. アーティストについて



中崎 透／Nakazaki Tohru

1976年茨城生まれ。美術家。武蔵野美術大学大学院造形研究科博士後期課程満期単位取得退学。言葉やイメージといった共通認識の中に生じるズレをテーマに自然体でゆるやかな手法を使って、看板をモチーフとした作品をはじめ、パフォーマンス、映像、インスタレーションなど、形式を特定せず制作を展開している。2006年末より「Nadegata Instant Party」を結成し、ユニットとしても活動。2007年末より「遊戯室 (中崎 透＋遠藤水城)」を設立し、運営に携わる (～2021年)。2011年より「プロジェクトFUKUSHIMA!」に参加、主に美術部門のディレクションを担当。2023年、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

<http://nakazakitohru.com>

3. 作品について

作品名	Bluebird Sign／青い鳥のしるし
制作年	2024年
素材	アクリル板、カットニングシート、LED蛍光灯、テント生地など
設置場所	別府市中心市街地各所
内容	<p>別府市中心市街地を会場とした、巡回型インスタレーション作品。近年中崎が手がける、インタビューをベースにその地域独自の物語を紡ぐ手法を用い、別府市中心市街地に所縁のある市民3名を対象にインタビューをおこない、そこから抽出した32のエピソードと作品を25ヶ所に展開している。鑑賞者は『別府駅観光案内所 WANDER COMPASS BEPPU』でマップを受け取り、ルートに従って番号順に鑑賞することが推奨されている。作品の鑑賞時間目安は2時間程度で、鑑賞者は地図を片手に、共同温泉、商店街、公園、路地裏など、別府ならではの風景のなかで青い鳥をめぐる物語へと誘われる。</p>
作品写真	 <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

4. 関連イベントについて


イベント名	作品完成記念式典
参列	中崎 透 (招聘アーティスト／美術家)、長野恭紘 (別府市 市長／混浴温泉世界実行委員会 顧問)、檜垣伸晶 (混浴温泉世界実行委員会 実行委員長／別府市美術館 館長)、山出淳也 ([ALTERNATIVE-STATE] ディレクター／Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)、岡村 照 (インタビュイー)、権藤和雄 (インタビュイー)、権藤高子 (インタビュイー)
会場	海門寺公園 (別府市北浜2-3-10)
日時	2024/9/20(金) 18:30～20:00
料金	無料
内容	作品の完成を記念して、海門寺公園にて点灯式とカラオケ大会をおこなった。本作品に関係してくれた多くの方々が参加した。
参加者数	121名
当日のようす	 <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	アーティスト・トーク
登壇	中崎 透、会田大也 (ミュージアム・エデュケーター)、堀切春水 (NPO法人 BEPPU PROJECT)
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 (別府市汐見町9-1) トーク&プレゼンテーションエリア 『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/22(日) 16:00～17:30
料金	無料
内容	作品の完成を記念してトークイベントを開催。ゲストには、中崎の作品を長年にわたり見続けてきた会田大也を迎え、これまでの作品、そして新作について対話した。
参加者数	47名
当日のようす	 <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	中崎 透とめぐる [ALTERNATIVE-STATE] 新作ツアー
会場	別府市内各所
日時	2024/9/23(月・祝) 16:00~18:00
料金	2,000円 ※『Art Fair Beppu 2024』の入場チケット付き
内容	別府市中心市街地の各所に点在する作品を、アーティスト自身のガイドでめぐる特別なツアーを実施した。
参加者数	15名
当日のようす	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

5. オンラインでの展開について

オンラインでも作品鑑賞ができる映像やトークの記録映像をYouTubeで公開した。

名称	[ALTERNATIVE-STATE #5] 中崎 透 アーティスト・トーク / Artist Talk by Nakazaki Tohru
URL	https://youtu.be/tWy1_nJj28?si=HzUjiBasvfwie_P3
公開日	2024/11/14(木)
料金	無料
登壇	中崎 透 (美術家)、会田大也 (ミュージアム・エデュケーター)、堀切春水 (NPO法人 BEPPU PROJECT)
撮影・編集	西松秀佑
内容	2024年9月22日に実施したトークイベントの記録映像。
再生回数	194回 ※2025/3/31時点
映像のようす	

名称	[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし 中崎 透
URL	https://youtu.be/Y_-3BJoYXsl?si=sXR21k4ey5Jl1WiB
公開日	2025/3/6(木)
料金	無料
内容	別府市中心市街地各所に点在する作品を街の風景とともに捉えた映像。
再生回数	150回 ※2025/3/31時点
映像のようす	

6. 運営について

(1) アルバイト／ボランティア

作品制作補助、関連イベント（作品完成記念式典）の運営、記録集の校正作業、来場者数カウント作業のためにアルバイトスタッフを動員した。ボランティアについては募集しなかった。

(2) 広報物の制作

下記の広報物を制作した。

- ・Webサイト (<https://alternative-state.com/ex5>)
- ・大判カード：9,000部
- ・事前告知チラシ：5,000部
- ・周知用ポスター：200部



Webサイト（部分）



大判カード（上：表面、下：裏面）※表面のデザインは3種類制作



事前告知チラシ



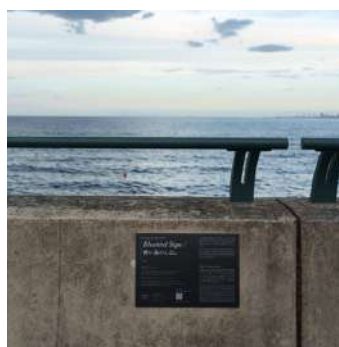
周知用ポスター

(3) 看板の制作

作品を巡るルートの終盤に位置する海沿いにキャプションを設置した。



デザイン



設置風景

1. 概要

プロジェクト名	[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted『JIKU』#023 D-1 BEPPU
アーティスト	パノラマティクス／齋藤精一
作品名	Distorted『JIKU』#023 D-1 BEPPU
設置場所	別府市駅前通り上空
公開日	2025/2/23(日)
鑑賞時間	日没～22:00
料金	無料
概要	『ALTERNATIVE-STATE』の第6作目として、アートのみならずデザインやテクノロジーといった幅広い分野で活躍するパノラマティクス／齋藤精一を招聘。土地土地のリサーチやフィールドワークを通して見出したその地域固有の歴史的・地形的な"軸線"を光の線で表現する作品シリーズ『JIKU』の新作を、多様な人々が行き交う目抜き通りである別府市駅前通りの上空に設置した。作品公開当日にはアーティスト・トークと点灯式、東北ユースオーケストラ出演によるコンサートを実施した。
制作 クレジット	企画／制作：NPO法人 BEPPU PROJECT リサーチ・設計制作：河村佳祐 (Panoramatik) 制作スタッフ：石橋 素 (Rhizomatiks)、西本桃子 (Rhizomatiks) 施工：株式会社 王子全機、鬼塚電気工事 株式会社、株式会社 九電工
参加者数	3,444名 (作品鑑賞 3,145名＋イベント参加 299名)

2. アーティストについて



Photo: Muryo Honma (Rhizomatiks)

齋藤精一／Saito Seiichi

パノラマティクス主宰／株式会社 アブストラクトエンジン 代表取締役／クリエイティブディレクター

1975年、神奈川県伊勢原市生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科(MSAAD)で学ぶ。2006年に株式会社 ライゾマティクス(現：株式会社 アブストラクトエンジン)を設立。社内アーキテクチャ部門を率いた後、2020年に「CREATIVE ACTION」をテーマに、行政や企業、個人を繋ぎ、地域デザイン、観光、DXなど分野横断的に携わりながら課題解決に向けて企画から実装まで手がける『パノラマティクス』を結成。2023年よりグッドデザイン賞審査委員長。2023年D&AD賞デジタルデザイン部門審査部門長。2025年大阪・関西万博EXPO共創プログラムディレクター。

<https://panoramatik.com>

3. 作品について

作品名	Distorted 『JIKU』 #023 D-1 BEPPU
制作年	2025年
素材	サーチライト
設置場所	別府市駅前通り上空
内容	土地土地のリサーチやフィールドワークによって見出したその地域固有の歴史的・地形的な "軸線" を光の線で表現する作品シリーズ『JIKU』は、2018年に大分県日田市でおこなわれた水害復興イベント『日田の山と川と光と音』を機に生まれたシリーズである。本作は23作品目で、別府の目抜通りのひとつである駅前通り上空に、一筋の光の軸を出現させた。今回の新たな要素として、英語で「歪んだ」を意味する「Distorted」をシリーズの中で初めてその名に冠した。
作品写真	 <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

4. 関連イベントについて

イベント名	アーティスト・トーク
登壇	齋藤精一 (招聘アーティスト／パノラマティクス主宰)、山出淳也([ALTERNATIVE-STATE] ディレクター／Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)
会場	トキハ別府店 7階レセプションホール (大分県別府市北浜2-9-1)
日時	2025/2/23(日) 16:00～17:30
料金	無料
内容	作品の完成を記念したトークイベント。進行を本事業ディレクターの山出淳也が務め、齋藤のこれまでの活動や今回の作品ができるまでのプロセスなどについて話した。
参加者数	64名
当日のようす	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	作品完成記念点灯式
参列	齋藤精一、阿部 万寿夫 (別府市 副市長／混浴温泉世界実行委員会 顧問 長野恭紘 別府市長 代理)、池田 明 (株式会社 トキハ 執行役員 別府店店長)、檜垣伸晶、山出淳也
会場	つるみカーパーク屋上 (大分県別府市駅前本町1-5)
日時	2025/2/23(日) 18:30～19:00
料金	無料
内容	日没後に、作品がよく見える立体駐車場の屋上で点灯式をおこなった。作品設置場所の提供者であるトキハ別府店店長の池田氏にもご参列いただいた。
参加者数	115名
当日のようす	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	別府から未来へ繋ぐコンサート
出演	<p>東北ユースオーケストラ (渡邊真浩 [ファーストヴァイオリン]、鈴木南美 [セカンドヴァイオリン]、長沼由莉 [ヴィオラ]、日比野慎 [チェロ])</p> <p>■東北ユースオーケストラ 2013年に宮城県松島町にて開催された音楽祭『Lucerne Festival ARK NOVA 松島 2013』をきっかけに企画・編成されたオーケストラ。発起人は故 坂本龍一氏。楽団は東日本大震災の被災三県 (岩手県・宮城県・福島県) を中心とした小学生・中学生・高校生・大学生で、プログラムごとに楽団編成を変えながら、震災を乗り越えて生まれた強くて美しい音楽を東北から全国、世界へ届けるべく活動している。 https://tohoku-youth-orchestra.org</p>
会場	つるみカーパーク屋上 (大分県別府市駅前本町1-5)
日時	2025/2/23(日) 19:00~20:00
料金	無料
内容	別府市制が施行されて100年前から今日に至るまで、心を痛める戦争や災害が後を絶たない。そのような多くの悲しい出来事への鎮魂をするとともに、これからの100年が希望ある未来となることを願う場として、東北ユースオーケストラより選抜されたメンバーによる弦楽器四重奏のコンサートを開催した。
参加者数	120名
当日のようす	<div>   </div> <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

5. オンラインでの展開について

オンラインでも作品鑑賞ができる映像やトークの記録映像をYouTubeで公開した。

名称	[ALTERNATIVE-STATE #7] 齋藤精一 アーティスト・トーク
URL	https://youtu.be/HiS_MBKR2hQ
公開日	2025年4月12日(土)
料金	無料
出演	齋藤精一、山出淳也
撮影・編集	西松秀祐
内容	2025年2月23日に実施したトークイベントの記録映像。
再生回数	測定不能 (年度を超えての公開のため)
映像のようす	

名称	[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted 『JIKU』 #023 D-1 BEPPU 齋藤精一
URL	https://youtu.be/KOJXm4INx8g
公開日	2025年5月14日(水)
料金	無料
内容	「Distorted 『JIKU』 #023 D-1 BEPPU」の光が夜の別府を照らす様子を捉えた映像。
再生回数	測定不能 (年度を超えての公開のため)
映像のようす	

6. 運営について

(1) アルバイト／ボランティア

作品に使用する照明機材の照射実験や来場者数カウント作業のためにアルバイトスタッフを動員した。ボランティアについては募集しなかった。

(2) 広報物の制作

下記の広報物を制作した。

- ・ Webサイト (<https://alternative-state.com/ex7>)
- ・ 大判カード：9,000部



Webサイト (部分)



大判カード (上：表面、下：裏面)

(3) 看板の制作

地上2箇所と作品の機材設置場所1箇所の計3箇所にキャプションを設置した。



デザイン (一例)



設置風景



1. 概要

プロジェクト名	[ALTERNATIVE-STATE Audio Drama] 連環する音と言葉の八つの断片
作品名	『連環する音と言葉の八つの断片』断片 (一)
設置場所	オンライン
公開日	2025/3/31(月)
料金	無料
概要	市内各所に設置された『ALTERNATIVE-STATE』の各アート作品をより深く体験してもらうため、詩人・作詞家の御徒町 風を招聘し、8つの章からなる音声作品『連環する音と言葉の八つの断片』を制作。本公開を2025年9月（予定）とし、本公開に先立ち、8つのうちの1つをWebサイトで公開した。なお、本公開時には、日英両言語で別府市内の指定された8つのエリアで体験することができる。
アーティスト	御徒町 風

2. アーティストについて



御徒町 風／Okachimachi Kaito

1977年東京生まれ。詩人。2006年第一詩集『人間ごっこ』を敢行。以後『人に優しく』『砂の言葉』『雑草・他』、写真家・佐内正史との写真詩集『Summer of the DEAD』などがある。『生きてることが辛いなら』で「第50回日本レコード大賞作詞賞」を受賞。様々なアーティストへの歌詞の提供や舞台演出、詩の朗読会など幅広く活動中。近年では、北海道に拠を構え、日高地方のWEBマガジン『Hi-MAG』、詩のコンテスト『道産詩賞』の主催などもしている。

3. 作品について

作品名	『連環する音と言葉の八つの断片』断片 (一)
制作年	2025年
設置場所	オンライン
内容	『ALTERNATIVE-STATE』の各アート作品をより深く体験するための音声作品を制作。「会話劇」と「音と詩の朗読」による8つの章で構成され、今年度はそのうちの1つ『断片 (一)』をWebサイトで公開した。

4-5. オリジナルグッズについて

オリジナル
グッズの制作

#5、#7の2作品のステッカーとポスターに加えて#5の温泉タオルと記録集を制作し、SELECT BEPPU店頭およびオンラインショップにて販売した。



[AS#5] ステッカー (2種類)



[AS#7] ステッカー



[AS#5] 温泉タオル



[AS#5] ポスター



[AS#5] 記録集



[AS#7] ポスター

制作数および売上額 (対象期間：2024年9月20日～2025年3月31日)

プロジェクト	品目	制作数	販売額 (円/税込)	売上数	売上額 (円/税込)
[AS#5] Bluebird Sign ／青い鳥のしるし	ステッカー	100	165	10	1,650
	ポスター	100	2,530	0	0
	温泉タオル	100	800	53	42,400
	記録集	1000	2,200	20	44,000
[AS#5] Distorted 『JIKU』 #023 D-1 BEPPU	ステッカー	100	165	0	0
	ポスター	100	2,530	0	0
売上総額					88,050

1. アンケート結果

開催期間中、来場者にアンケートを実施した。回収枚数は147枚。

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) 『ALTERNATIVE-STATE』をどこで知ったか(複数回答可)
- (5) 本日鑑賞した作品／参加したイベントはどうだったか
- (6) 作品／イベントの感想(自由記述)
- (7) 見たことがある『ALTERNATIVE-STATE』作品(複数回答可)
- (8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント(複数回答可)
- (9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
- (10) 今年参加・鑑賞した(または参加・鑑賞する予定の)イベント(複数回答可)
- (11) 今回の滞中で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問した(する予定)か
- (12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (13) (別府市在住以外の方向け) 今後、別府を再訪したいと思うか
- (14) (外国人観光客の方向け) 今回の訪日の最大の目的

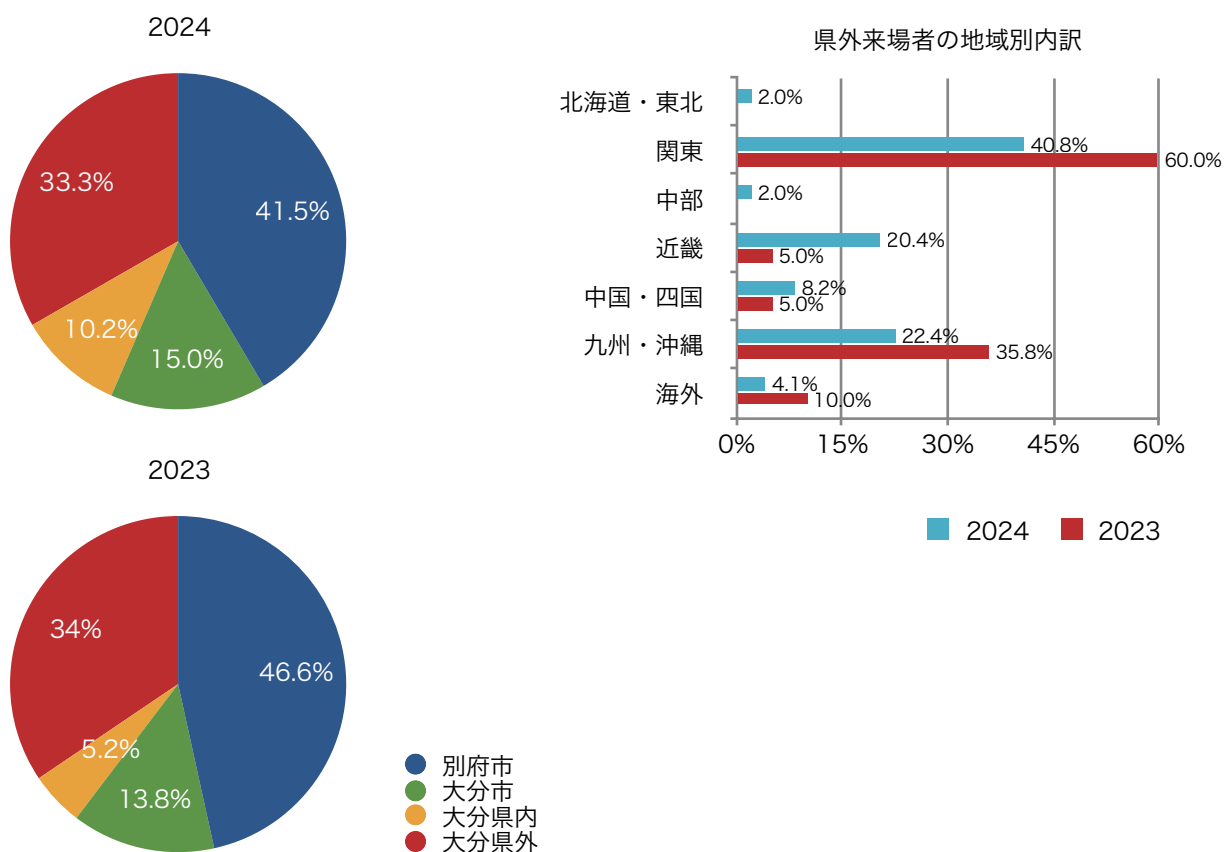
(1) 年齢・性別

昨年度と大きく傾向が変わり、分布がなだらかになった。40代と50代の女性の割合が高かった。



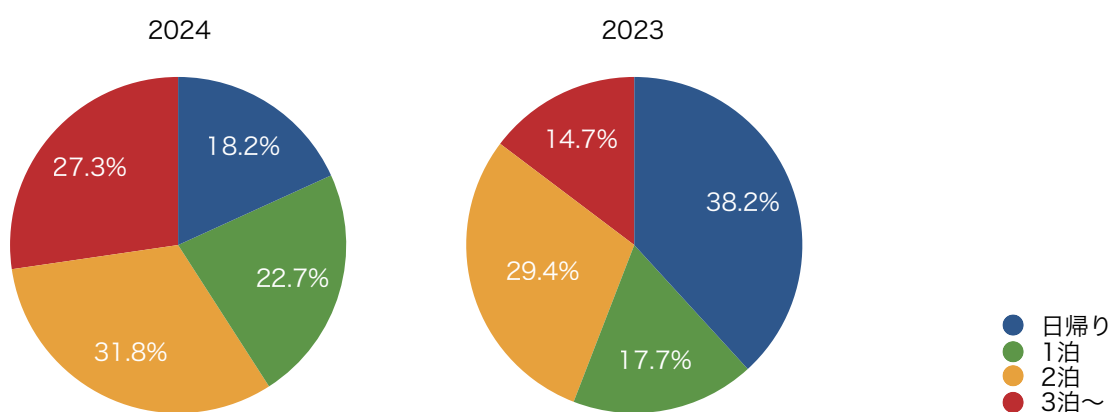
(2) 居住地

大分県外が約3分の1で、昨年度と近い傾向であった。県内では、別府市と大分市以外という回答がおよそ倍増した。



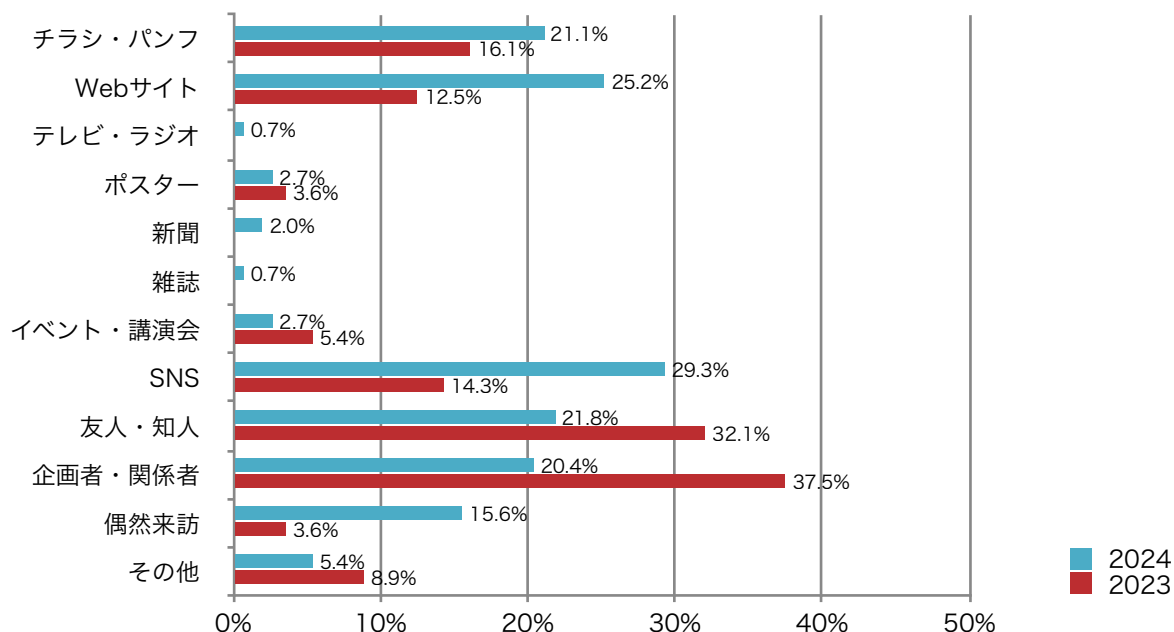
(3) 滞在期間

日帰りが38.2%から18.2%まで大幅に減り、宿泊を伴うなかでも3泊以上の増加が目立った。



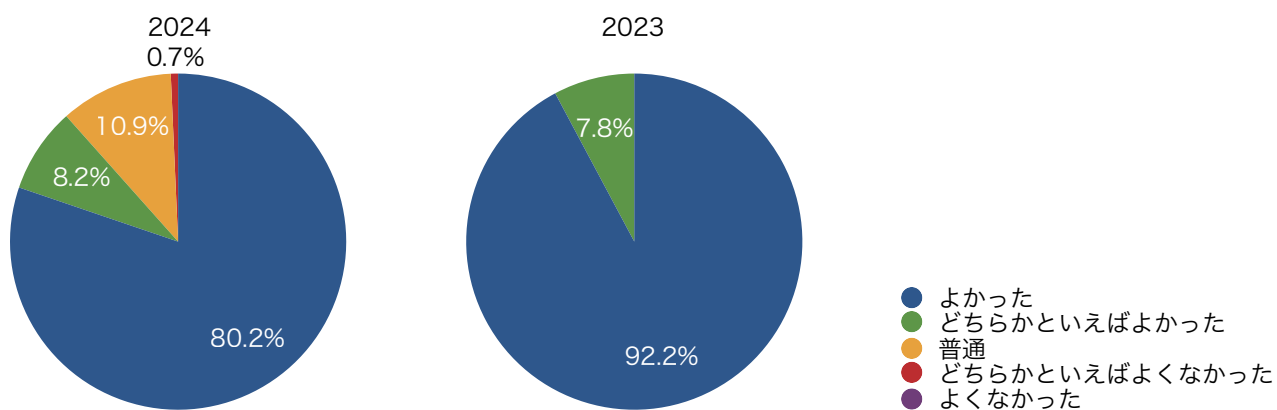
(4) 『ALTERNATIVE-STATE』をどこで知ったか (複数回答可)

昨年度最多だった「関係者・企画者からの連絡」「知人・友人」が減り、「SNS」「Webサイト」「チラシ・パンフ」がいずれも大幅に増えた。「偶然来訪」は4倍以上になった。



(5) 本日鑑賞した作品／参加したイベントはどうだったか

「よかった」の回答が12%減り、その分昨年度は見受けられなかった「普通」「どちらかといえばよくなかった」の回答が増加した。



(6) 作品／イベントの感想 (自由記述)

全体

- ・まち全体が物語になっていて、おもしろいと思った。
- ・ホームページを頼りに鑑賞しますので、全体の位置がわかるマップを載せて欲しいです。かつて『混浴温泉世界』や『in BEPPU』の時は、それを観に北九州市から別府に来ようという動機づけがありました。今は来た時に観ればいいやという感じで、別府を訪れる動機づけになりません。今回も正直温泉に浸かりに来たついでという感じでした。

Bluebird Sign／青い鳥のしるし ※ツアー参加者を含む

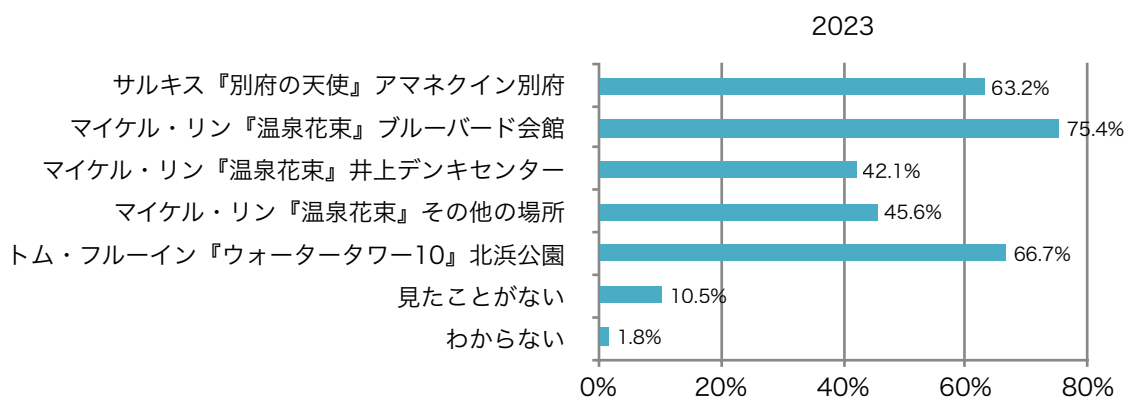
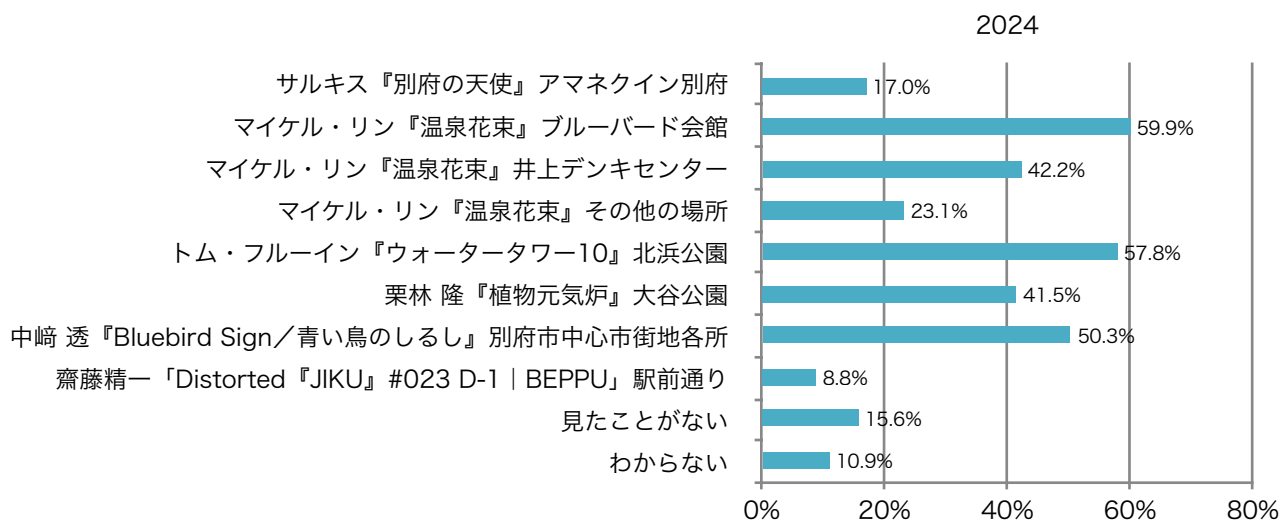
- ・おもしろい。他の看板が作品に見えてくる
- ・自分自身の思い出とも照らし合わせて、現在と過去の別府の良さ、変わったこと、色々と考えることができました。マップを片手に散策する楽しみに加え、別府駅周辺の見所を網羅できている点も感心しました。
- ・この数年の間に、あたかもありそうな看板群・エピソードが(さらに) 当たり前の風景になるのかな、と想像しました。10年後に、「これは実は作品なんだよ」と誰かに説明している自分の姿もありそうで、ワクワクしますね。
- ・中心市街地の濃密でこちゃこちゃした路地裏を楽しんだのち、夕暮れに海に向かってひらける(開放感) という、ありそうでなかったルートで、それが3名のインタビュー／別府のまちを生き抜いてきた人たちの人生に呼応しているようで感銘を受けました。
- ・飛び入りゲストや参加者同士でおしゃべりしたりアットホームでいい雰囲気だった。
- ・GOOD MORNING BASEBALLと不老泉のキャバレーがよかった(古きよき時代を思い出させる)。
- ・中崎さんならもう少しグッと物語に観客を巻き込むことができるのではないか、とも思いました。青い鳥を探す、というモチーフを、もういくつか散らしたらよかったのかな? など考えてみたりしていて、それもまた面白いです。
- ・アーティスト自らのツアーもよかったが地元の方々が行うツアーや物語にでてくる方が語りとなるツアーなどあってもよいかもと。全てをめぐるのは大変なのでショートコースなども含めた回り方の案内があってもよいのではと思った。
- ・知らない路地を巡る楽しさや見つけた時の喜びがあり面白い試みだと思ったが、もう少し達成感があるとうれしい。
- ・途中からでも参加できるように、青いパンフレットをいろんなところで配るといいのではないかとおもいました。

Distorted 『JIKU』 #023 D-1 | BEPPU ※アーティスト・トーク参加者による感想

- ・このプロジェクトができるまでの道のりを詳しく説明していただいてわかりやすかったです。お話もとても楽しくて来てよかったです。
- ・別府の成り立ちから始まり、アートやデザインの“わく”を超えた社会情勢までのトークが楽しかったです。
- ・別府の取り組みをあまり知らずにこのイベントに参加したが、別府の取り組みに大変興味がわきました。このアートプロジェクトが別府にとって何かかわっていくのか、たのしみにしています。

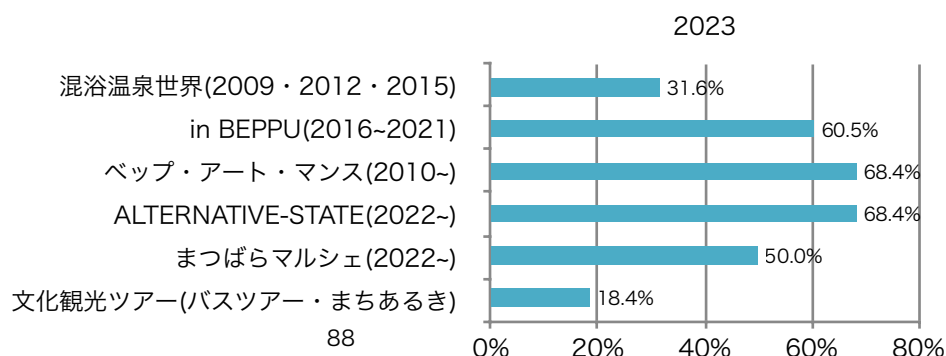
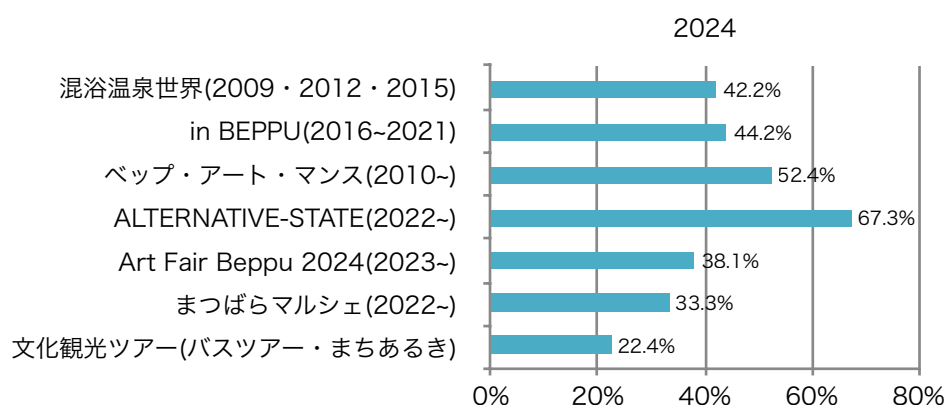
(7) 見たことがある『ALTERNATIVE-STATE』作品 (複数回答可)

昨年度と同様『温泉花束』が最多、次点が『ウォータータワー10』だった。最少は『JIKU』で、次点の『別府の天使』の割合は昨年度より7割以上も低かった。



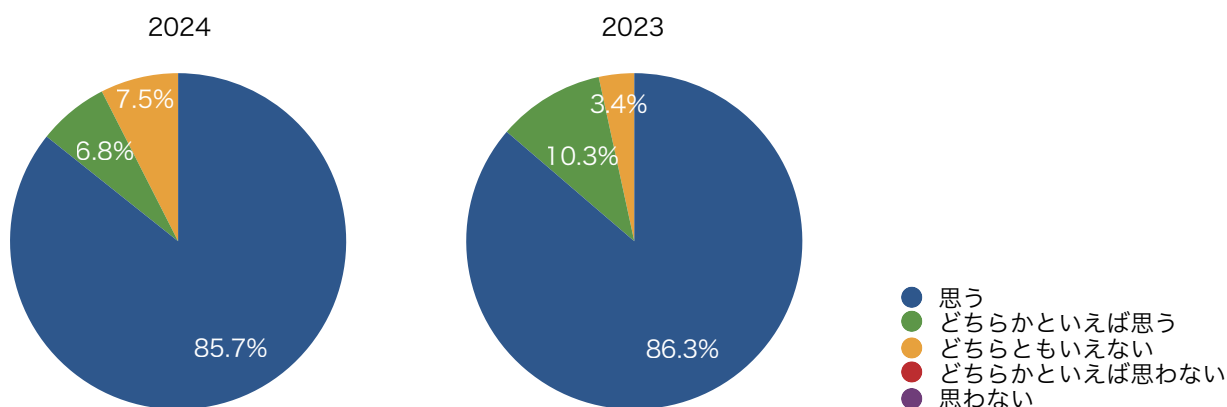
(8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント (複数回答可)

『ALTERNATIVE-STATE』以外で5割を超えたものは『ベップ・アート・マンス』のみであった。



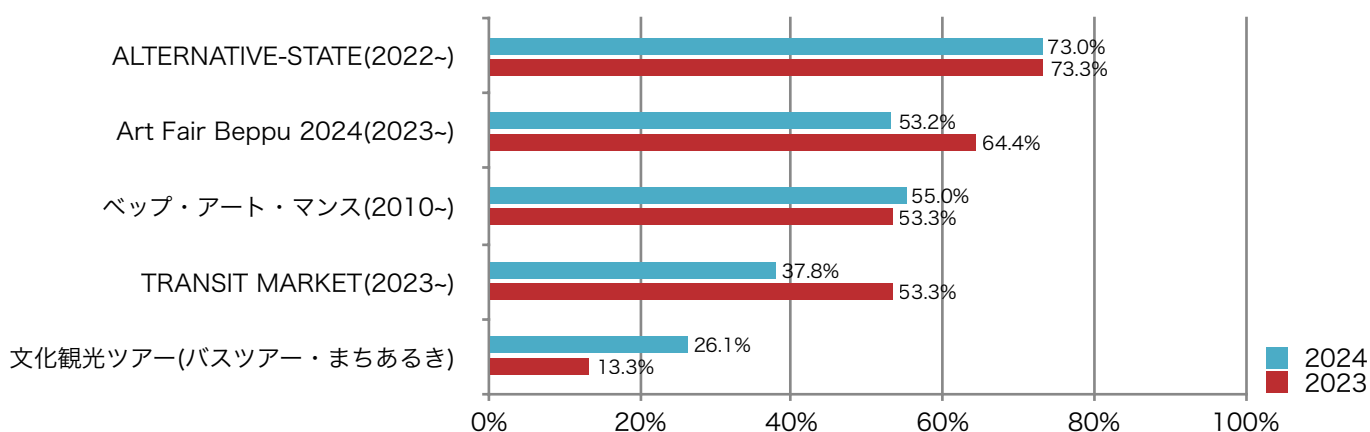
(9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか

昨年同様好意的な回答が9割を超えるが、「どちらともいえない」がおよそ倍に増えた。



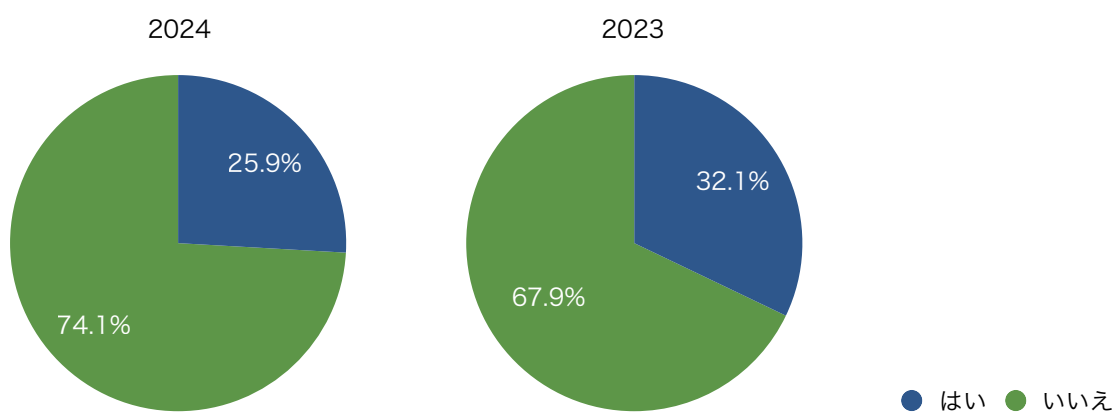
(10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント (複数回答可)

『Art Fair Beppu 2024』と『ベップ・アート・マンス』が過半数を超えほぼ同数だった。最も少ないのは「文化観光ツアー」だった。

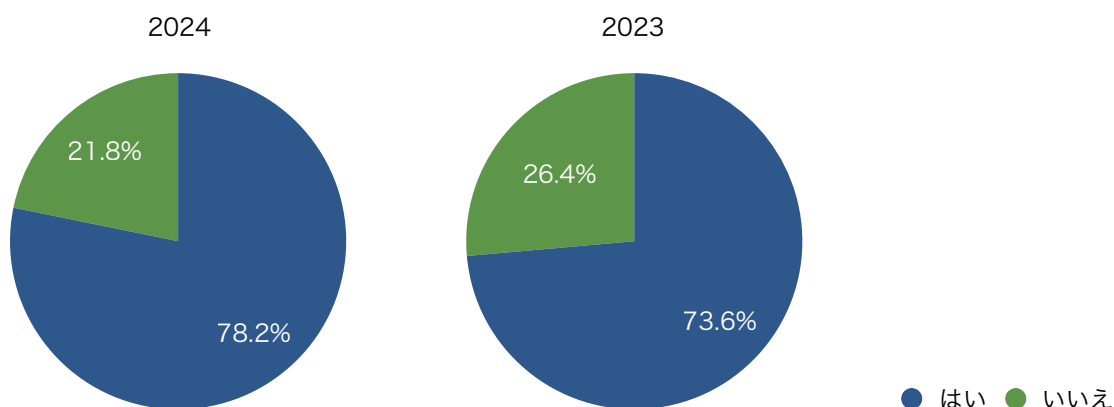


(11) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問した (する予定) か

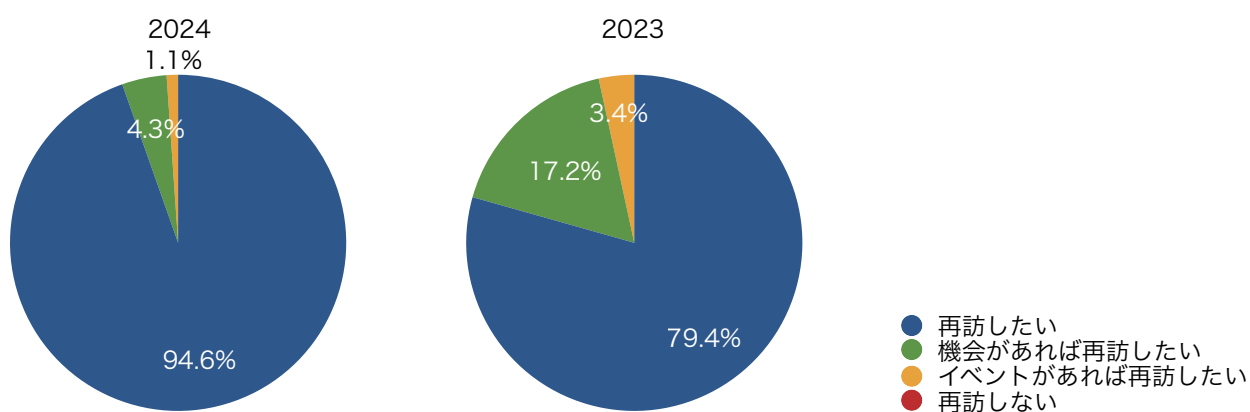
「はい」の割合が32.1%から25.9%に減少した。



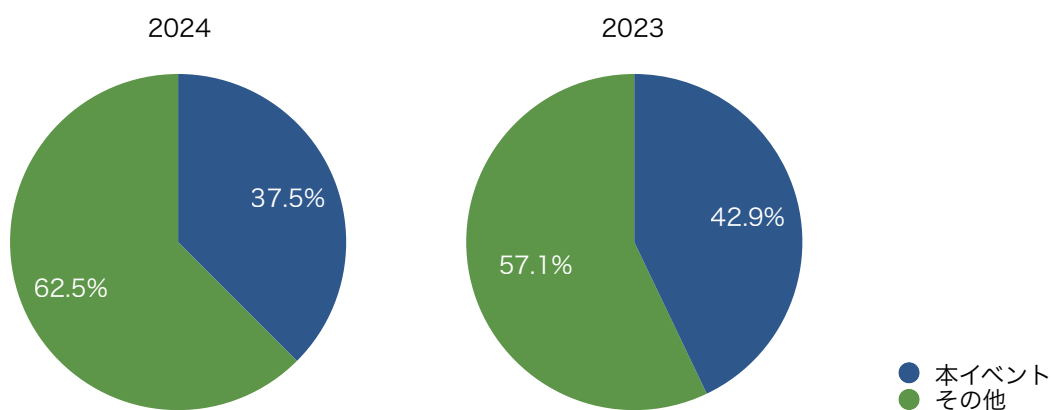
(12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
「はい」の回答が昨年度より4.6%増え、78.2%だった。



(13) (別府市在住以外の方向け) 今後、別府を再訪したいと思うか
「再訪したい」の回答が昨年度より15%以上増加し、約95%にのぼった。



(14) (外国人観光客の方向け) 今回の訪日の最大の目的
「本イベント」の回答が微減し、37.5%だった。



5-1. 企画概要

1. はじめに

別府市を文化的な社交の場として国際的に発信し、今後の西日本・アジア地区における新たなアートマーケットの創出を通じて地域経済へ貢献することを目指してアートフェアを開催。「アーティストと出会い、活動を支援する場」となるよう、国内外から64組のアーティストを迎え、3会場にて4日間開催した。また、同時期に福岡市で開催された『ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024』と連携し、広報活動等を実施。会期中の入場者数は2,514名となった。なお、2023年に引き続き、2024年もプレ開催として位置付け、2025年に本開催を予定している。

名称：Art Fair Beppu 2024 (通称 AFB2024)

会期：2024/9/21 (土) 11:00～13:00 VIP view (招待者・報道関係者向け)、13:00～18:00 一般公開

2024/9/22 (日) 11:00～18:00 一般公開

2024/9/23 (月・祝) 11:00～18:00 一般公開

2024/9/24 (火) 11:00～18:00 一般公開

会場：別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場、BEPPU STUDIO 01、清島アパート、TANNEL※

※TANNELでの展示は『文化観光事業』(p.134を参照)と連携しておこなった

料金：通常チケット／前売1,500円、当日2,000円

わくわく! 別府市営温泉入浴券付きチケット／前売 1,700円、当日 2,200円

来場者数：2,870名

2. 出展者および会場

会場名	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 (大分県別府市汐見町 9-1)
出展者	<p>・ゲストアーティスト (2組) 中崎 透／藤井 光</p> <p>・アーティスト (51組) アグネス吉井／浅野ひかり／anno lab、長野櫻子(anno lab)／安部 沙保里／有馬晋平／おおつき ゆき／大平 由香理／大脇僚介／沖田 愛有美／オレクトロニカ／KAIMON TEI／勝 正光／加藤 立／久保勝大／齋藤夏海／迫 鉄平／佐藤壮馬／サルチョード・イル／System of Culture／柴田まお／新宅和音／杉谷一考／関川航平／高屋永遠／武内もも／田中藍衣／チェン・ウェイチェン(陳為榛)／鳥彦／西村昂祐／ぬQ／野々上 聡人／はらだ ひまわり／valo／平井亮汰／福岡佑梨／古屋 湖都美／細川京佳／堀川すなお／堀田千尋／前谷 開／三枝 愛／水田雅也／宮崎 勇次郎／向山晃大／村田 峰紀／室井悠輔／森川彩夏／森下明音／八木 萌／山口知咲／YORUDA</p>

会場写真



撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)

会場名	BEPPU STUDIO 01 (大分県別府市楠町14-2 財前ビル1階)
出展者	・アーティスト (3組) 宇野 湧／桑原ひな乃／YUSHU
会場写真	     
	撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)

会場名	清島アパート (大分県別府市末広町2-27)
出展者	・アーティスト (7組) 市村優奈／牛嶋太洋／高梨 麻梨香／東京ディズニーランド／永井 幸太郎／東 智恵／渡邊李佳
会場写真	    <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

会場名	TANNEL (大分県別府市北浜 1 丁目12-2)
出展者	・ゲストアーティスト (1組) 西野 達 ※(出展・ツアー) ※文化観光事業 (p.134参照) と連携して展示をおこなった
会場写真	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

3. キービジュアルおよび会場デザイン

本アートフェアのキービジュアルおよび会場デザインは、SPREADが担当した。アートフェアのコンセプトを表現し、会場の特色を活かしながら、強く印象に残るキービジュアルと空間を創出した。



Photo: Ooki Jingu

(1) クリエイティブディレクター

SPREADは山田春奈と小林弘和によるクリエイティブ・ユニット。長い時間軸で環境を捉えるランドスケープデザインの思考と鮮烈な印象を視覚に伝えるグラフィックデザインの手法を融合。「カラーとコンセプト」を特徴にプロジェクトに深く関わりながら、社会提案のあるクリエイティブ活動を通して未来を問いかけている。2年連続のRed Dot Design賞グランプリなど受賞歴多数。

<https://spread-web.jp>



(2) キービジュアル

異なる2色が混じり合う印象的なキービジュアルは、湯気が雷か、あるいは創造者であるアーティストの力か、まだ見ぬ得体の知れないエネルギーがこの場所から立ちのぼり、融合しながら、世界に向けて拡がっていくさまを表現している。

今年の色はパール・オレンジとグリーン。アーティストや来場者など『Art Fair Beppu 2024』に関わるすべての人々や、別府の大地の、対話や融合、変化を想起させるビジュアルとなった。





(3) 会場デザイン



昨年度に引き続き、展示会場の特色を活かして空間やサインをデザインし、一般的なアートフェアに見られる画一的なブース形式にとらわれない展示空間を作りあげた。



5-2. 関連イベント



アートフェアの会期中、アートへの興味・関心を喚起し、作品購入への理解促進を目的とする、経営者や教育者、アーティストといった、さまざまな立場で活躍する方を招いたトークイベントが実施された。

イベント名	AFB Talk：金澤 韻
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/21 (土) 16:00～17:00
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』の入場チケットが必要)、予約不要
内容	<p>ゲスト：金澤 韻 (現代美術キュレーター、コダマシーン アーティスティック・ディレクター)</p> <p>聞き手：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー、Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)</p> <p>金澤氏を招き、場やテーマに合わせ、どのように展覧会やアートとの出会い方をつくっていくのかを伺うトークがおこなわれた。</p> <p>主催：NPO法人 BEPPU PROJECT</p>
参加者数	52名
当日のようす	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	AFB Talk：「アートコレクターに聞く7つの質問」 甲斐 寿紀雄 × 長田 幹
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/22 (日) 11:30～12:30
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』の入場チケットが必要)、予約不要
内容	<p>ゲスト：甲斐 寿紀雄 (アートコレクター)、長田 幹 (アートコレクター)</p> <p>聞き手：市川靖子 (株式会社 いろいろ 代表取締役)</p> <p>大分県を代表するアートコレクターのお二人を招き、アートを買う楽しみや、コレクションのルールなどを伺った。</p>
参加者数	37名
当日のようす	  <p>撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	AFB Talk：藤井 光
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/22 (日) 13:30～14:30
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』の入場チケットが必要)、予約不要
内容	登壇者：藤井 光 (アーティスト) 聞き手：中村恭子 (NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事) 『Art Fair Beppu 2024』のゲスト・アーティストである藤井氏に、これまでの作品や制作についてお聞きするほか、アートフェア初参加の感想や今回の出展作品についても伺った。
参加者数	46名
当日のようす	  <p style="text-align: right;">撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	[ALTERNATIVE-STATE] アーティストトーク：中崎 透
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/22 (日) 16:00～17:30
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』を鑑賞する場合はチケットが必要) 事前予約、定員30名、先着順
内容	登壇者：中崎 透 (アーティスト) ゲスト：会田大也 (ミュージアム・エデュケーター) モデレーター：堀切春水 (NPO法人 BEPPU PROJECT) ゲストには、中崎氏の作品を長年にわたり見続けてきた会田氏を迎え、これまでの作品、そして新作について対話した。 ＊[ALTERNATIVE-STATE]との連携プログラム。[ALTERNATIVE-STATE]についてはp.69を参照
参加者数	47名
当日のようす	  <p style="text-align: right;">撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	AFB Talk：飯田 志保子
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	2024/9/23 (月・祝) 13:30～14:30
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』の入場チケットが必要)、予約不要
内容	<p>登壇者：飯田 志保子 (キュレーター／国際芸術祭あいち2025学芸統括)</p> <p>聞き手：山出淳也 (混浴温泉世界実行委員会 総合プロデューサー、Yamaide Art Office 株式会社 代表取締役)</p> <p>これまでに数々の国際展を手がけてきたキュレーターの飯田氏を招き、どのように展覧会をつくっていくのか、具体的な事例を交えながらお話を伺うトークイベントがおこなわれた。</p> <p>主催：NPO法人 BEPPU PROJECT</p>
参加者数	64名
当日のようす	<div>   </div> <p style="text-align: right;">撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

イベント名	アーティスト・プレゼンテーション
会場	別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場 2階『BEPPU LOUNGE』
日時	会期中毎日2回～3回
料金	無料 (『Art Fair Beppu 2024』の入場チケットが必要)、予約不要
内容	<p>参加アーティスト：アグネス吉井、勝 正光</p> <p>パフォーマンスやプロジェクト型の作品を展開する出展者が、これまでの取り組みや出品作品についてプレゼンテーションした。</p>
当日のようす	<div>   </div> <p style="text-align: right;">撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)</p>

5-3. 運営について

1. アルバイト／インターンシップ

会場設営、入場受付、AFB無料循環バス乗車整理、会場整備、作品販売のため、アルバイトスタッフを配置した。県内外の学生（留学生含む）によるインターンシップ7名も受け入れた。ボランティアは募集しなかった。

2. 広報物の制作

県内外への事業の周知および誘客のため、キービジュアルを用いて、下記の広報物を制作した。

①チラシ (A3サイズ、二つ折り) : 16,000部

②ポスター (B2サイズ) : 400部



チラシ



ポスター

3. 看板の制作

別府市民への周知および誘客のため、別府駅前および国道10号線沿いに以下の告知看板を設置した。



別府駅前看板デザイン



設置のようす



10号線沿い看板デザイン



設置のようす

4. Webサイト／SNS

公式Webサイトおよび公式SNSを開設し、積極的な広報活動をおこなった。



5. AFB無料循環バスの運行

会場間移動の利便性を上げながら別府での滞在時間拡大を図るため、3会場と別府駅をつなぐ無料巡回バスを以下の通り運行した。

別府中心市街地を巡回するバスは、会期中44便を運行。194名が利用した。



1 別府駅前・ 別府本町 バス停 (豊院)	2 別府市立 図書館前 (豊院)	3 観光港・ アートエリー さんらわあ 乗り場(豊)	4 観光港・ アートエリー さんらわあ 乗り場(豊)
10:15	10:23	10:38	10:40
10:55	11:03	11:18	11:35
11:50	11:58	12:13	12:15
12:30	12:38	12:53	13:55
14:10	14:18	14:33	14:50
15:05	15:13	15:28	15:30
15:45	15:53	16:08	16:25
16:40	16:48	17:03	17:05
17:20	17:28	17:43	17:45
18:00	18:08	18:23	18:40
18:55	19:03	19:18	19:20
19:35 (最終バス)	—	—	—

6. 『ART FAIR ASIA FUKUOKA』との連携

同時期に福岡で開催されたアートフェア『ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024』（以下、AFAF）と以下の通り、連携した。

①広報活動

各アートフェアのWebサイトやSNSにて相互に広報活動をおこなった。

②VIPの無料入場

各アートフェアのVIPはどちらも無料で入場できる特典を設けた。これによりAFAFのVIPは28名が来場した。

③AFAF出展ギャラリーのAFB無料招待

AFAF出展ギャラリーにAFBの無料招待券をお渡しした。

④トークイベントの実施

イベント名	『AFAF×AFB 福岡と別府のアートフェアの今とこれからを語る』
会場	Artist Cafe Fukuokaコミュニティスペース (福岡県福岡市中央区城内2-5)
日時	2024/8/31 (土) 14:00~15:30
料金	無料
内容	登壇者：井上雅也 (一般社団法人 アートフェアアジア福岡 理事、株式会社 TODOROKI 代表取締役)、中村恭子 (NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事) 進行：矢野裕子 (Artist Cafe Fukuoka) パフォーマンスやプロジェクト型の作品を展開する出展者が、これまでの取組や出品作品についてプレゼンテーションした。
参加者数	30名
当日のようす	   

7. フードエリアの設置

別府国際観光港 旧フェリーさんふらわあ乗り場会場に、以下の通り地元グルメを楽しめるフードエリアを設けた。

(1) コーディネーター

長谷川 雄大 (HOOD)

(2) 出店者 (8店)

アンデス家庭料理 Puerta del Sol/カレーハウスうえの/Crepe REN/GIN&LEMON フッド/火鍋にしだ/ふじやの石焼き芋/Beard's kitchen truck/POTATOBOY



撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)



撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)



撮影：山中 慎太郎 (Qsyum!)

8. パートナーホテルとの連携

AFB招待券付きの宿泊プランを作成し以下の宿泊施設と連携、AFBの周知にご協力いただいた。



9. 高校生・大学生のための無料招待チケット (AFBミラチケ)

今回のAFBでは、企業だけでなく個人からの支援の仕組みとして、未来の社会を担う若い世代のための無料招待チケット「AFBミラチケ」の取り組みをはじめた。「AFBミラチケ」を支援いただけるサポーターを広く募集し、サポーターから寄せられた支援金額に応じて、大分県内の高校・大学に通う学生を対象に無料チケットを配布するかたちとした。結果として、11名の方々からの支援を得て、127枚のミラチケを県内の高校・大学に通う学生に配布した。

10. 海外向けの広報

海外のアートファン獲得に向け、今回は韓国に焦点を絞り、プロモーションを展開した。韓国の美術関係者向けにプレスリリースを配信したほか、NAVERブログなどで韓国語での広報を行った。結果として、韓国から41名の来場者を誘致することができた。

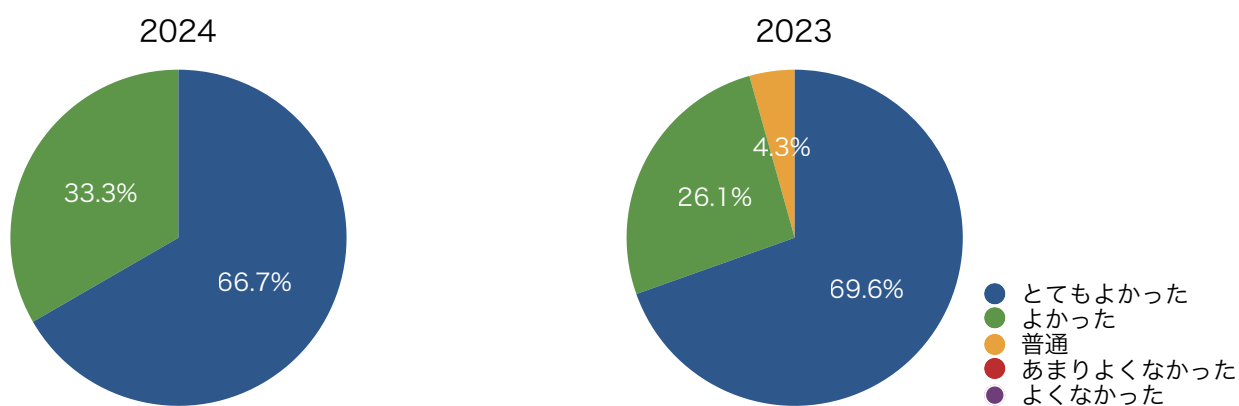
1. アンケート結果

会期後、出展者を対象にWebアンケートを実施した。回答数は34件。

- (1) 『Art Fair Beppu 2024』の評価
(2) 次回も参加したいか

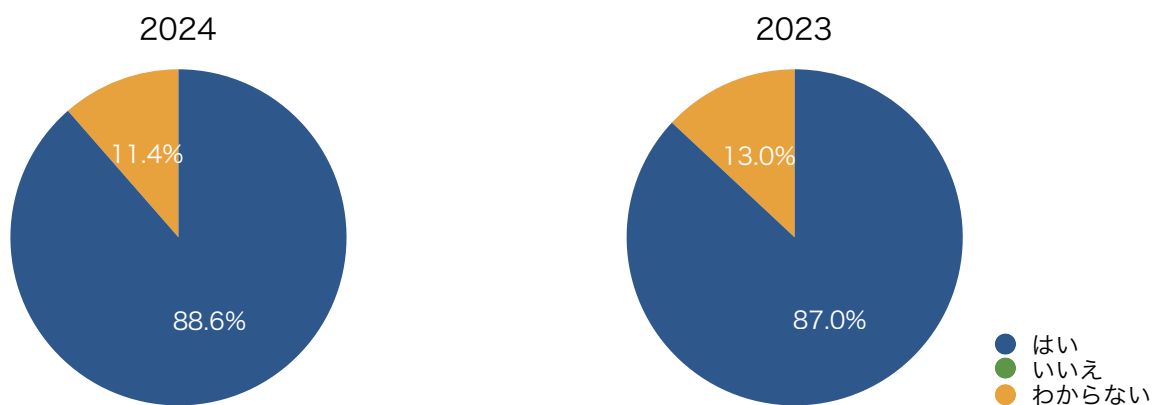
(1) 『Art Fair Beppu 2024』の評価

回答者の66.7%が「とてもよかった」と評価した。



(2) 次回も参加したいか

回答者の88.6%が「次回も参加したい」と回答した。



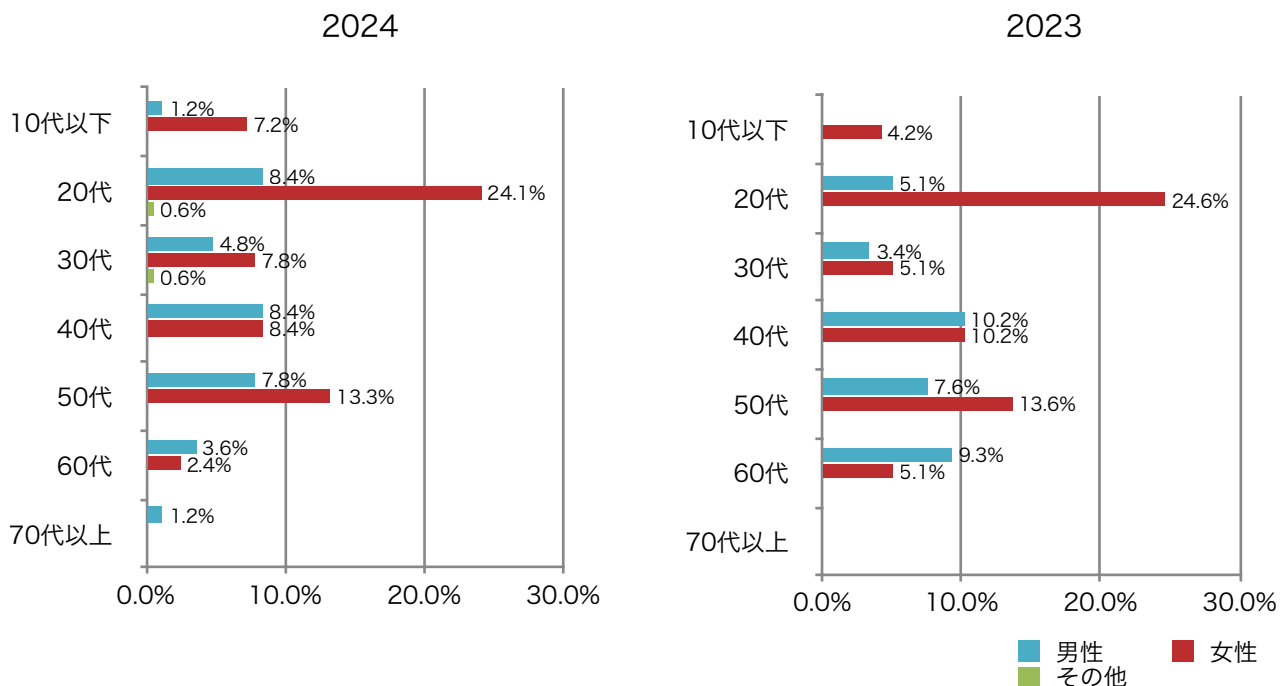
1. アンケート結果

会期中および会期後に来場者へアンケートを実施した。回答数は170枚。アンケート用紙を各会場に設置したほかオンラインでも実施、会期後はチケット購入者にメールを配信し、アンケートへの回答協力を呼びかけた。

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) 『Art Fair Beppu 2024』をどこで知ったか
- (5) 『Art Fair Beppu 2024』はどうだったか
- (6) 『Art Fair Beppu 2024』の感想
- (7) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント
- (8) これまでも『Art Fair Beppu』に参加したことはあるか
- (9) 別府市内の文化・芸術イベントを訪れてみたいと思うか
- (10) 今年参加・鑑賞した(または参加・鑑賞する予定の) イベント
- (11) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
- (12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか
- (14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か

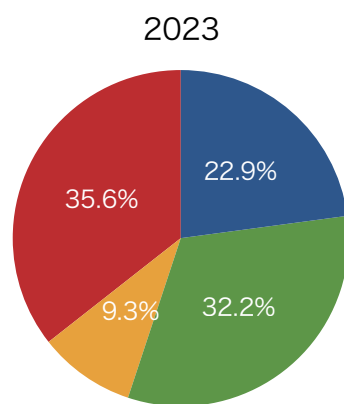
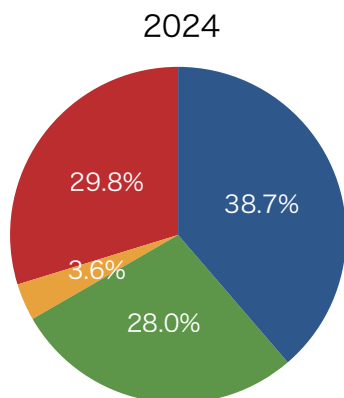
(1) 年齢・性別

昨年度と同様に20代の女性来場者の割合が顕著に多かった。一方で10代～30代の割合が微増しており、少しずつではあるが若年層にも浸透してきていることが読み取れる。要因としては、今年度よりはじめて「ミラチケ」(p.102参照)の取組が大きいと思われるため、来年度以降も継続していきたい。



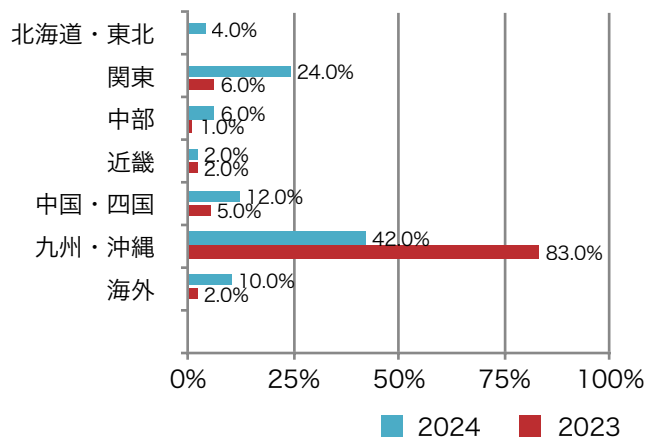
(2) 居住地

県内からの来場者の割合は約7割と昨年度よりも増加した。一方で県外からの来場者の割合は九州以外の地域からの来場者が増加した。



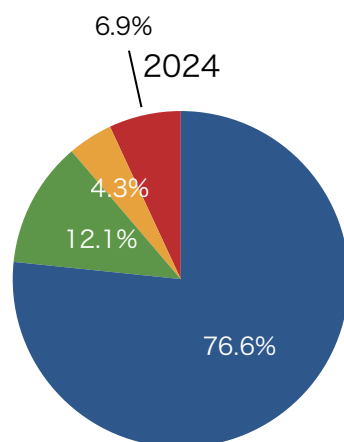
● 別府市
● 大分市
● 大分県内
● 大分県外

県外来場者の地域別内訳

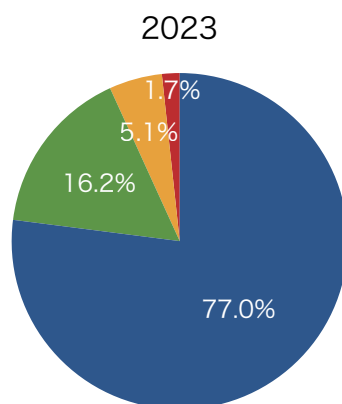


(3) 滞在期間

昨年度よりも日帰りの割合と3泊以上宿泊した割合が増えた。

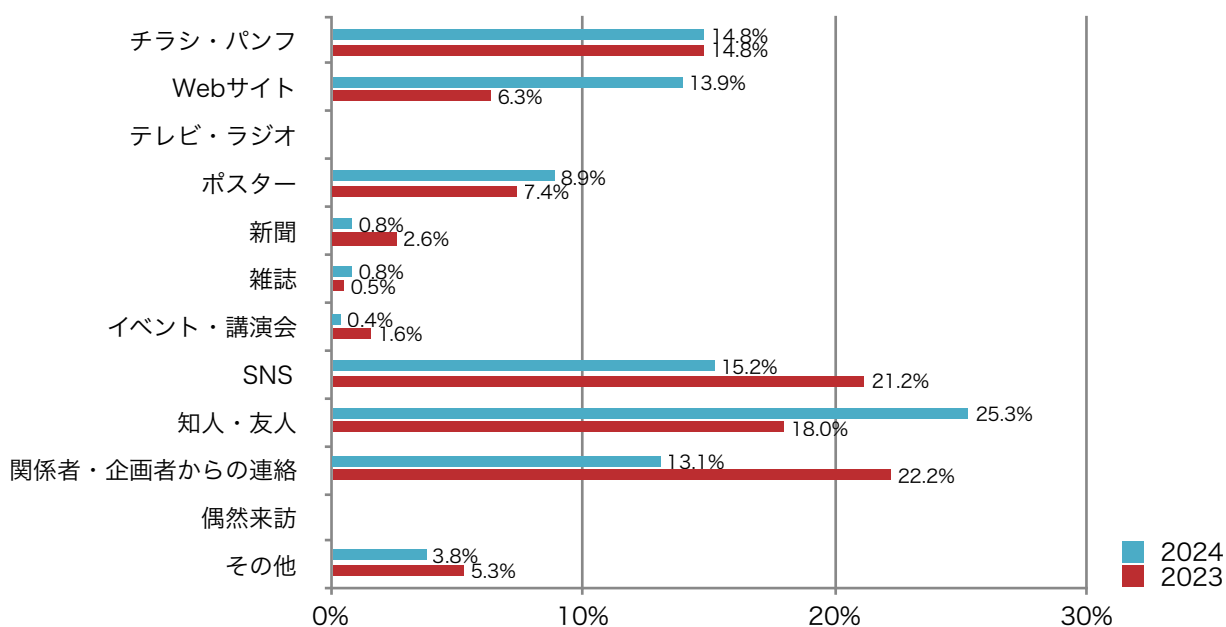


● 日帰り
● 1泊
● 2泊
● 3泊以上

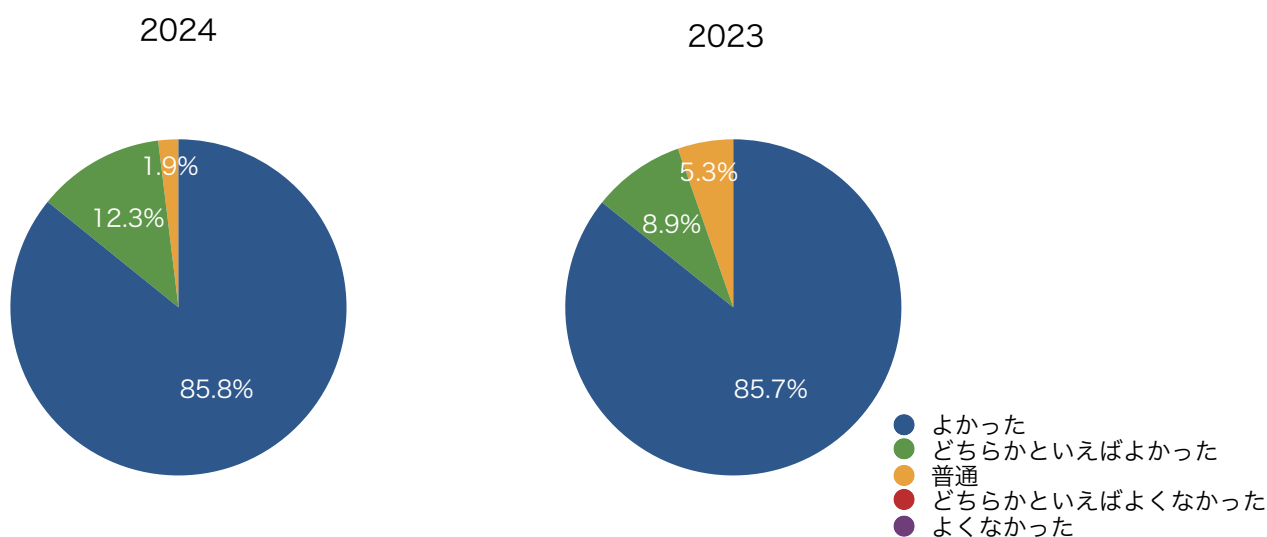


● 日帰り
● 1泊
● 2泊
● 3泊以上

(4) 『Art Fair Beppu 2024』をどこで知ったか (複数回答可)
 昨年度に比べ、「Webサイト」および「知人・友人」が大幅に増えた。



(5) 『Art Fair Beppu 2024』はどうだったか
 「よかった」「どちらかといえばよかった」の評価が9割以上であり、昨年度とほぼ同様の結果となった。

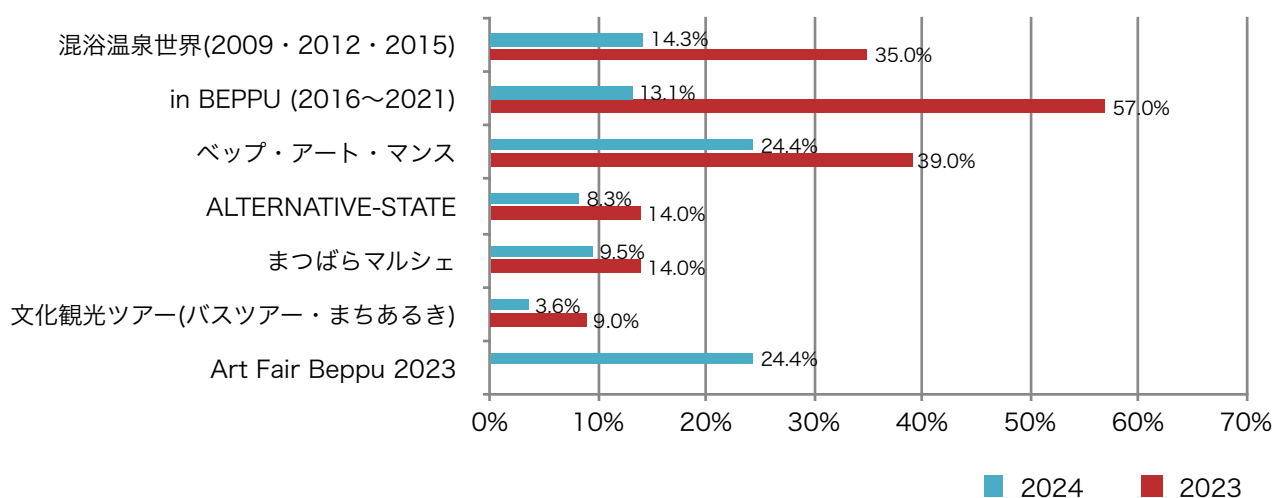


(6) 『Art Fair Beppu 2024』の感想 (自由記述)

- ・ 去年より一層充実していました。見応えがありました。
- ・ 今まで考えたこともなかった、見たことのない作品、コンセプトがみれてとてもおもしろかった。
- ・ 観光港の会場の面白さにびっくりした。
- ・ 別府市は「温泉とアート」のまちとしたカルチャーが若い子たちからも人気があると聞いていました。今回体感してみてよかったです。また来ます。
- ・ アーティストの方々の実に多様な表現方法があり、それを呼び込める別府市の持つ底力を感じた。とても刺激が得られる内容だった。
- ・ たくさんのアーティストの作品を拝見し、刺激を受けることができました。さんふらわあ乗り場は何度か来たことがありますが、こんかいはこのアートフェアで素敵な展示会場になっていて、驚いたと同時に感動しました。とても見応えがあって、足を運んで良かったと思いました。ありがとうございました。
- ・ It was amazing to connect with so many talented artist and to see to many great works today. I enjoyed a LOT, congratulations for this, it was very inspiring
- ・ The event was really good and the staff was explaining every detail and I really enjoyed it.
- ・ アーティストのネームタグにお名前を書いてほしいです。(集まっている時に、どちらに声をかけたらいいのか分からないので。)
- ・ とてもいい企画と展示作品でした。スマホの充電可能な休憩室があるといいと思います。AFAFでは、VIP休憩室で充電できました。カメラ機能をたくさん使うので、電池の減りが早いです。

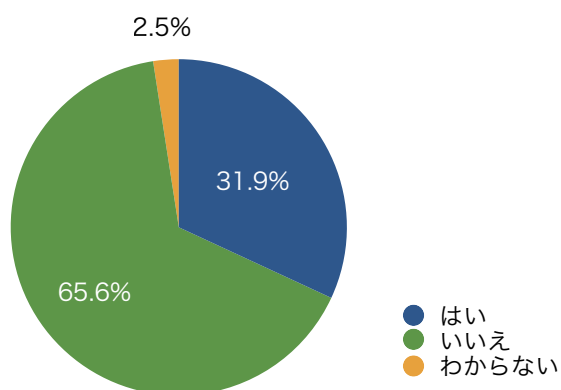
(7) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント (複数回答可)

他のイベントに参加したと回答した割合は昨年度よりも減少した。若年層をはじめ、これまでとは異なる層にリーチできていることが読み取れる。



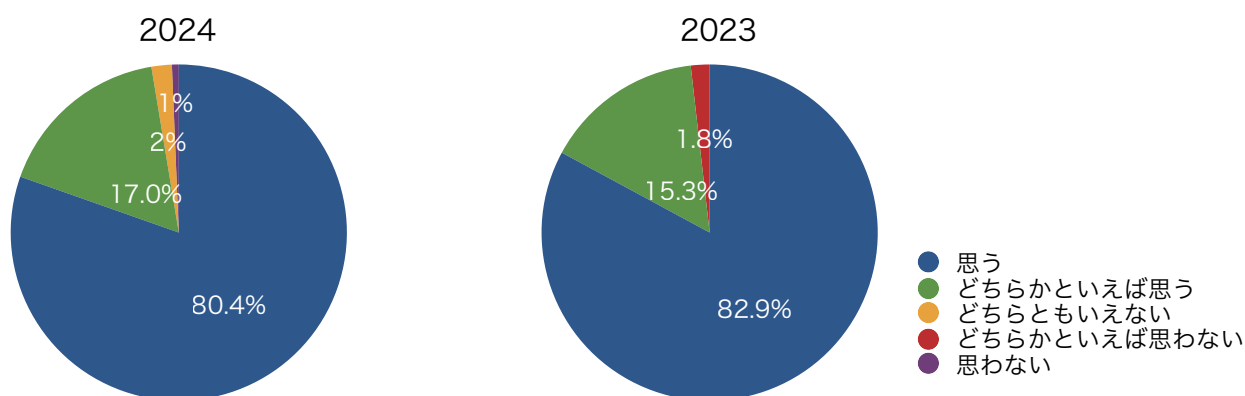
(8) これまでも『Art Fair Beppu』に参加したことはあるか

「いいえ」が65.6%であり、多くの新規来場者を獲得できた一方で、昨年度から続けて来場した人の割合は31.9%しかないことは今後の課題である。



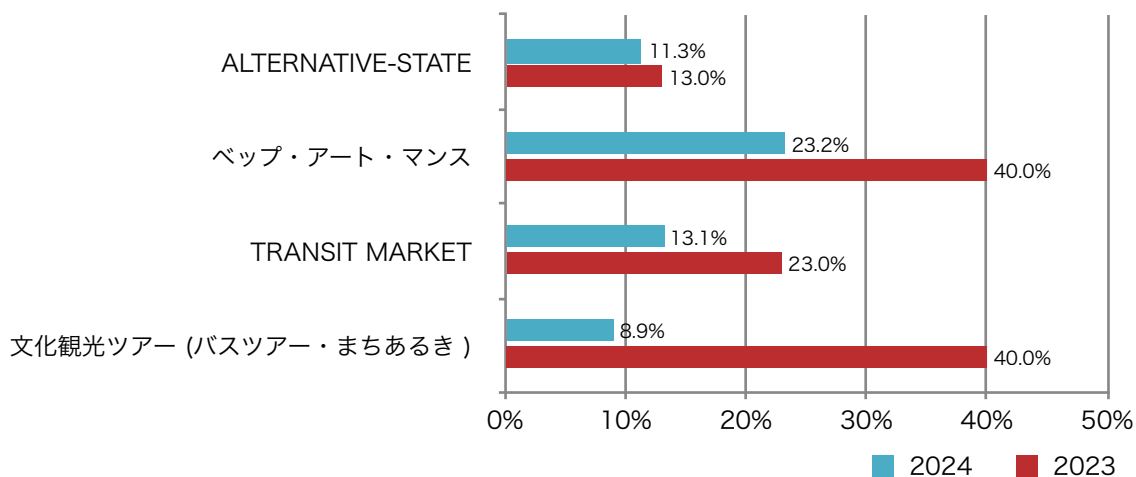
(9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか

昨年度同様に8割以上の回答者が、別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと回答した。

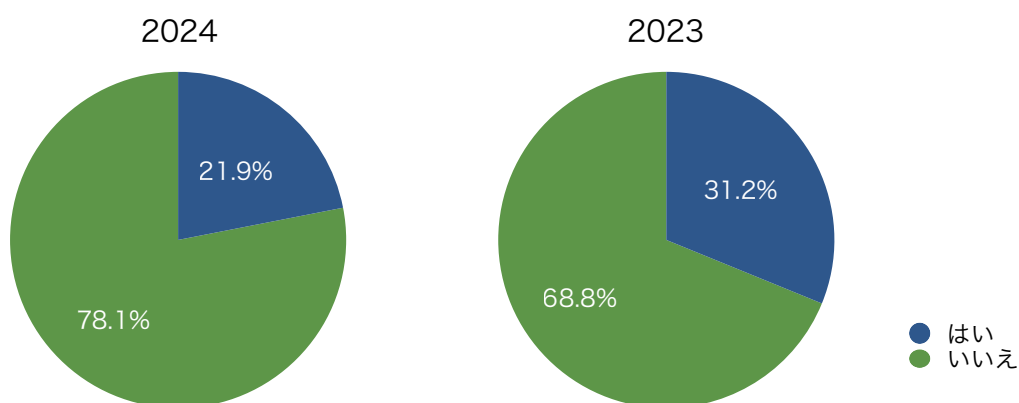


(10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント (複数回答可)

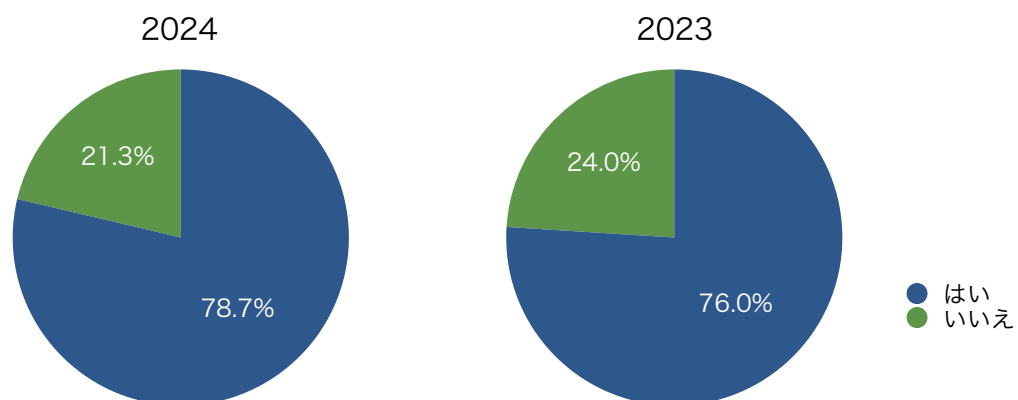
最も多く参加した・参加する予定のイベントは『ベップ・アート・マンス』であった。



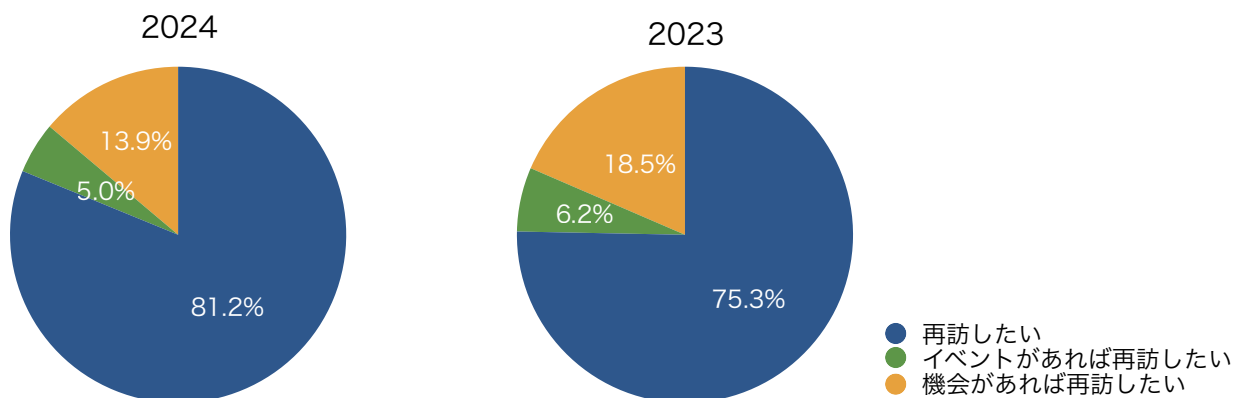
(11) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
大分県内の別府市以外の市町村を訪問した人は21.9%であり、昨年度から微減した。



(12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
78.7%の回答者が「アートの街でもある」というイメージを持っていた。



(13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか
81.2%の回答者が、別府を再訪したいと回答した。



(14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か
回答数15件のうち5件が「『Art Fair Beppu 2024』への参加」であり、「温泉」「留学のため」が、あわせて10件となった。

6-1. 企画概要

1. はじめに

国内外からの観光客が数多く訪れる別府市に、大分県の多様な文化や魅力が集まる場を創出し、ここから広く発信することを目的に『TRANSIT MARKET』を開催。ユニークな特色やこだわりを持つ生産者や料理人、工芸家、アーティストなどをマルシェイベントの形式で紹介した。地域住民と観光客が混ざり合う、日常的な観光コンテンツとなることを目指している。今年度は9月～11月の間で全9回の開催を計画していたが、開催日のうち9/22・23、11/2は天候不良のため中止を余儀なくされ、計6回の開催となった。

会期：第1回 2024/9/21(土)、第2回 2024/10/12(土)-14(月・祝)、第3回 2024/11/3(日)・4(月・祝)

時間：第1・2回 17:00～21:00、第3回 11:00～15:00

会場：レンガホール 中庭 (別府市末広町1番3号)

入場料：無料

2. ロゴマークについて



開催場所を固定しない形態を想定し、開催を知らせる旗をモチーフにロゴを作成。インバウンドの誘客を意識し、アルファベットをメインにカタカナを併記した。

3. 出店者について

大分県内各所から21のアーティスト・クリエイター (文化・ものづくり)、22の飲食店 (食)、合計43店舗が出店した。

第1回出店者

2024/9/21(土)

食：出店者 (五十音順)
青い鳥と黄色い蜂、エレ雅商店、GIN&LEMON フード、山下ごはん店
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
アソビLAB、アートラボ別府、URAU、yuuchan

第2回出店者

2024/10/12(土)

食：出店者 (五十音順)
お菓子のtantan、tiny little deli、FAVeUR!kitchen、別府ブルワリー
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
アートラボ別府、おうちサロン忠、Ohama 浜崎愛、jaguar tattoo(永井 幸太朗)、soraco.

2024/10/13(日)

食：出店者 (五十音順)
あまいる商店、GIN&LEMON フッド、とことわ、山下ごはん店
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
アートラボ別府、おうちサロン忠、かみあそび工房、jaguar tattoo(永井 幸太朗)、モリタカヨシ

2024/10/14(月・祝)

食：出店者 (五十音順)
カレー屋momo、さところファーム、GIN&LEMON フッド、FAVeUR!kitchen、山下ごはん店
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
おうちサロン忠、jaguar tattoo(永井 幸太朗)、Space Beppu、絶景書店、まわれ虎、ゆるみ処くらげ

第3回出店者

2024/11/3 (日)

食：出店者 (五十音順)
あまいる商店、喫茶・雑貨 ハチミツコボシ、ゆるみ処くらげ、しふぉん、GIN&LEMON フッド、TOAST coffee roaster、ニドム
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
おうちサロン忠、紙あそび工房、ゲームセンター出張盤(東京ディズニーランド)、末広温泉物販自動販売機、jaguar tattoo(永井 幸太朗)、soraco.、pottery studio brim、雑貨喫茶olovo

2024/11/4(月・祝)

食：出店者 (五十音順)
カレーハウスうえの、さところファーム、GIN&LEMON フッド×香凛、火鍋にしだ、リトルウクライナ、Little Cheerful
文化・ものづくり：出店者 (五十音順)
e to ito の似顔絵やさん、おうちサロン忠、jaguar tattoo(永井 幸太朗)、末広温泉物販自動販売機、NON JOHN、ミニチュア工房 まるめっ小

(1) アルバイト／ボランティア

(2) 広報物の制作

下記の広報物を制作した。

- ① ポスター (B3サイズ) 200部
- ② ポストカード 10,000部
- ③ ハンドアウト(データ納品)※当日配布用

①ポスター



②ポストカード(表)



②ポストカード(裏)



③ハンドアウト(表)



③ハンドアウト(裏)



(3)その他

- ・トランジットガチャ『トラガチャ』の作成

会場にてアンケートにご回答くださったご来場者の方が回せるガチャガチャ、トランジットガチャ(通称・トラガチャ)を作成。景品には、別府らしくかつフードロスや廃棄問題などSDGsを意識した商品を用意した。

【景品】

TRANSIT MARKET オリジナルトートバッグ(昨年制作分)

別府タオル 訳ありレトロタオル(ほんのわずかな印刷の擦れなどがあるタオルをご提供いただいた)

南光物産 割れせんべい(製造過程で割れてしまい正規品にならないせんべいの詰め合わせを購入)

南光物産 各種お菓子(別府銘菓を直売所にて購入)



- ・別府市制100周年記念・来場者100人目記念

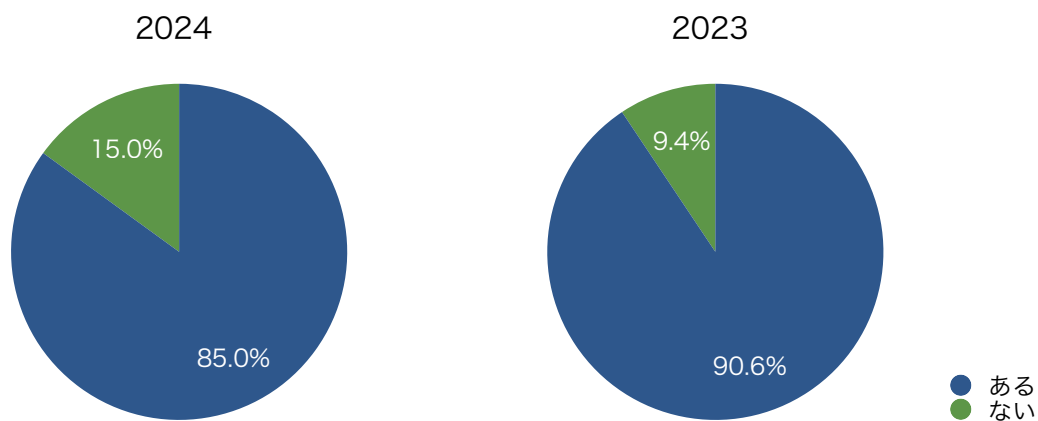
別府市制100周年を記念して、100人目の来場者の方に記念品としてTRANSIT MARKETオリジナルトートバックとトラガチャ券3枚をプレゼントした。

1. アンケート結果

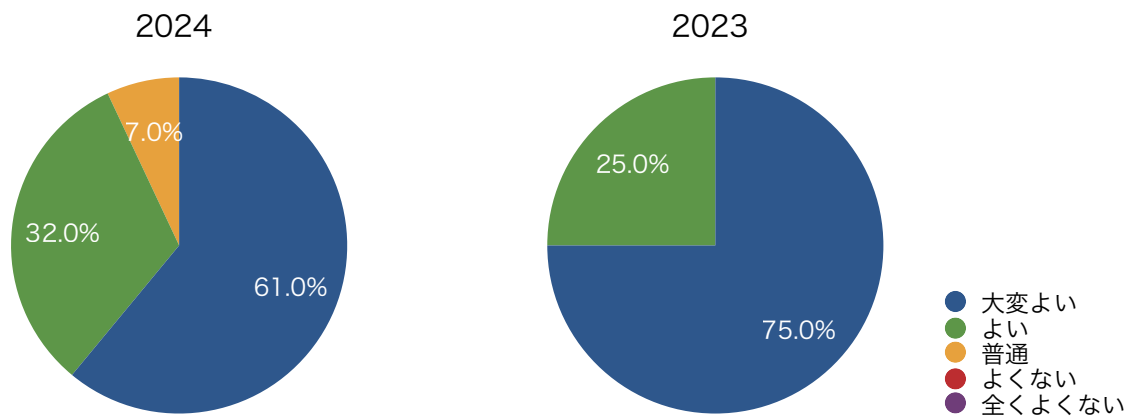
プログラム終了後、出店者へのアンケートを実施した。回収枚数は41枚。

- (1) 今までにマルシェやマーケットなどの販売イベントに出店したことがあるか
- (2) 『TRANSIT MARKET』という取組への評価
- (3) 『TRANSIT MARKET』に出店してよかったか
- (4) また『TRANSIT MARKET』に出店したいか
- (5) 事務局の対応に対する評価
- (6) 広報業務の一部代行による効果があったか
- (7) 一部備品の用意の取組をどう思うか

(1) 今までにマルシェやマーケットなどの販売イベントに出店したことがあるか
昨年と比較して、「ない」がやや増えた。

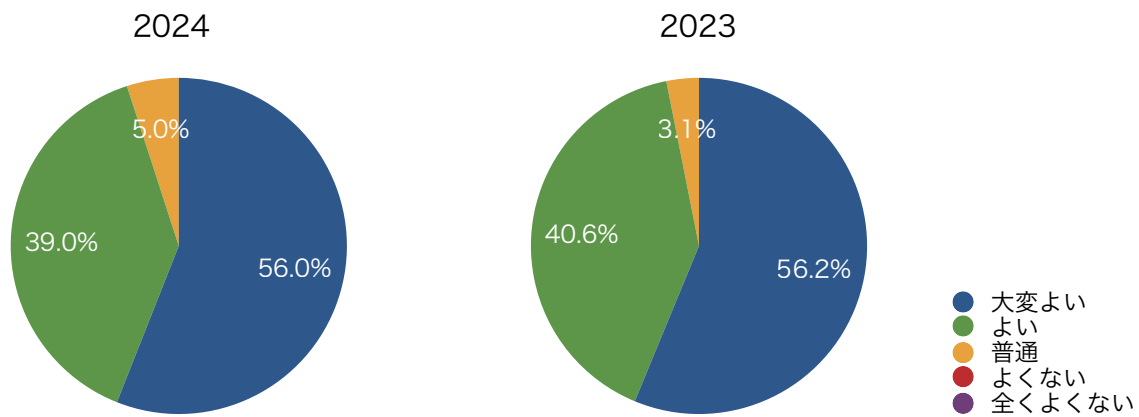


(2) 『TRANSIT MARKET』という取組への評価
「大変よい」「よい」の合計が93%となり、昨年よりやや減った。



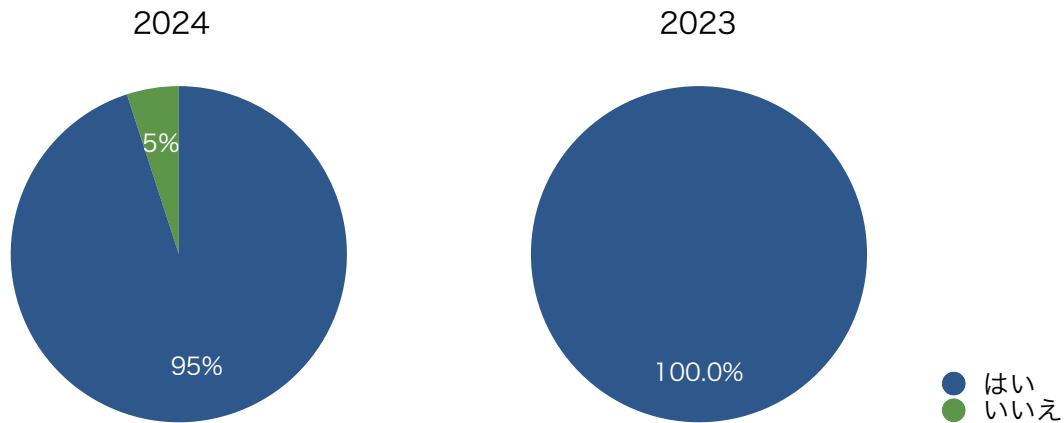
(3) 『TRANSIT MARKET』に出店してよかったか

昨年と比較し「普通」が微増。昨年同様「よくない」「全くよくない」の回答はなかった。



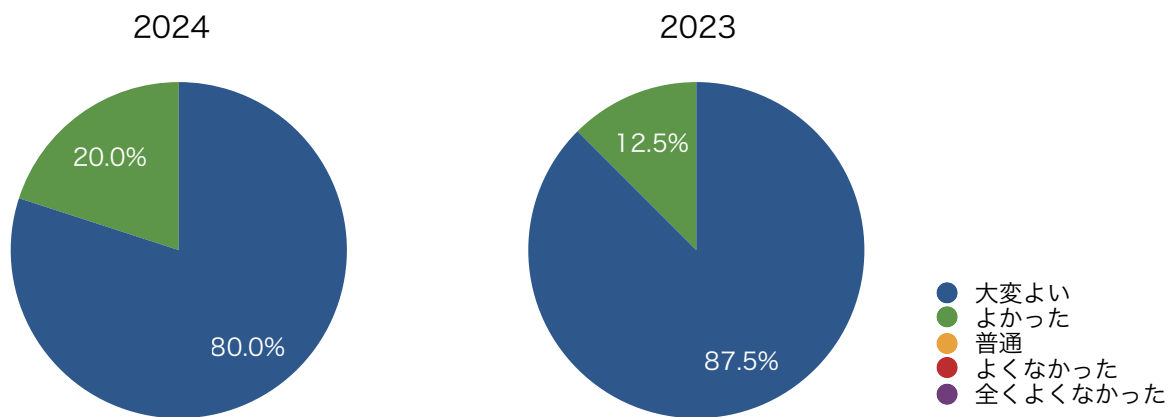
(4) また『TRANSIT MARKET』に出店したいか

昨年度と比較し、「いいえ」の回答が5%増えた。

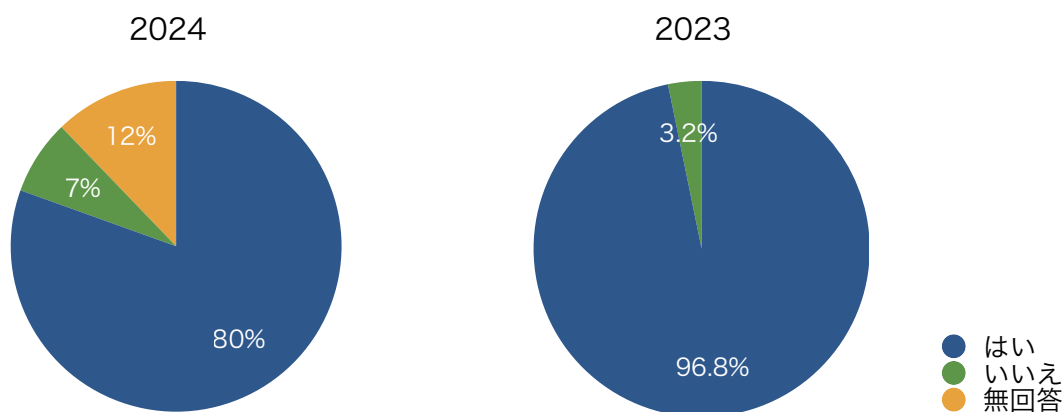


(5) 事務局の対応に対する評価

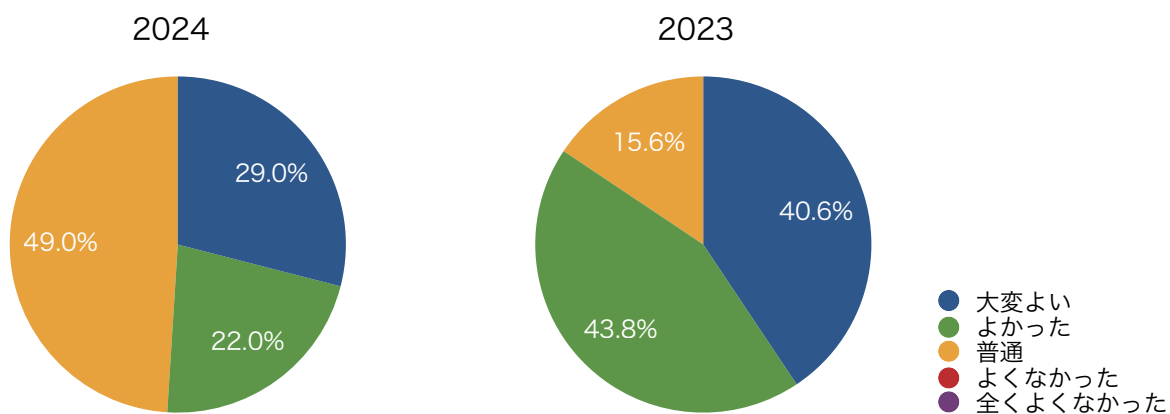
昨年と同様に「大変よかった」「よかった」合わせて100%が事務局の対応を評価した。



(6) 広報業務の一部代行による効果があったか
 昨年と比較し「はい」が約20%減った。



(7) 一部備品の用意の取組をどう思うか
 テントや長机・椅子を希望者にレンタルした取組に、昨年より「大変よい」「よい」合わせた割合が約20%減った。



『TRANSIT MARKET』という取組への評価についての自由意見 (アンケートより原文のまま一部抜粋)

- ・いつもの営業とはまた違う客層の方々に出会える。
- ・日にちを分けて規模を小さめにすることでサポートが厚いと感じます。近所の人に来てもらえるのも、とてもありがたいことです。
- ・夜のマルシェは雰囲気がいい。
- ・もっと規模を大きくしても良いと思います。
- ・出店料も親切的な価格で、地域とお店に寄り添ったイベントだと感じた。
- ・担当者様のサポートなど出店しやすく、雰囲気も大変良かったのですが、来場者が少なかったため評価を「よい」とさせていただきます。
- ・もっと別府市民に知ってもらいたい別府のおもしろいお店が集まるから。

6-3. 来場者について

1. 来場者数

来場者は全6日間で1,660名(目標来場者数: 4,000名)を数えた。来場者数の内訳は以下のとおり。

回	開催日	来場者数
第1回	2024/9/21(土)	310
第2回	2024/10/12(土)	296
	2024/10/13(日)	198
	2024/10/14(月・祝)	275
第3回	2024/11/3(日)	297
	2024/11/4(月・祝)	279

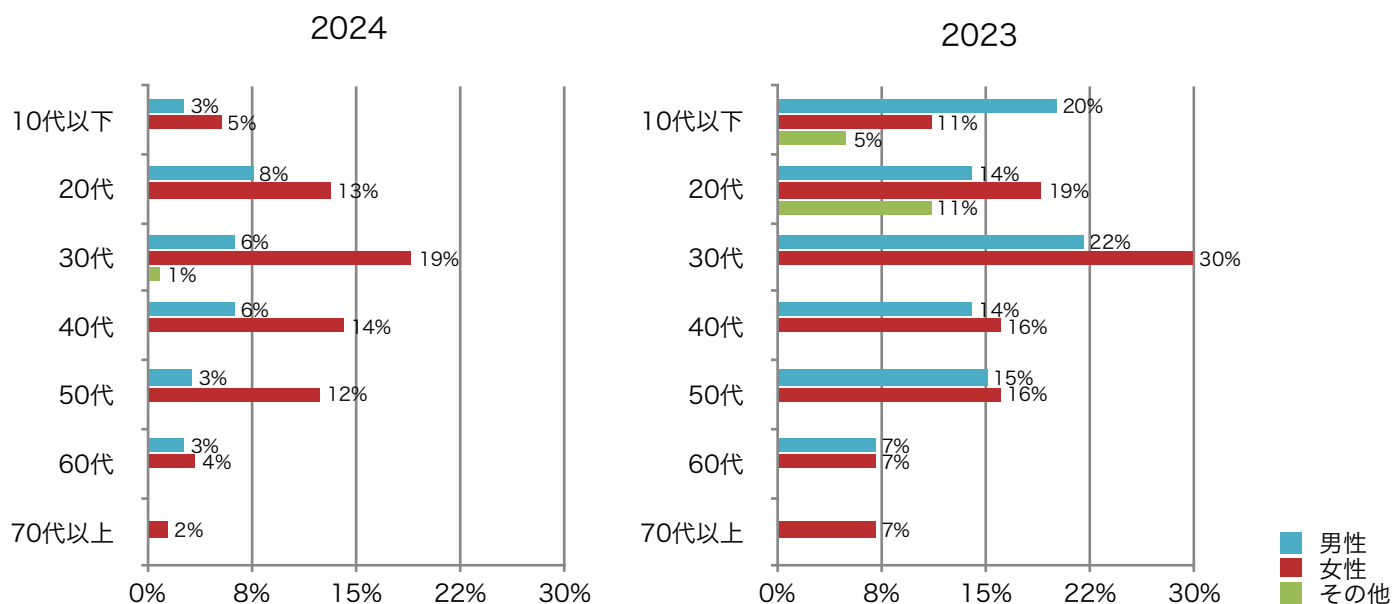
2. アンケート結果

会期中、来場者に下記アンケートを実施した。回収枚数は339枚。

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) このイベントをどこで知ったか? (複数回答可)
- (5) 本日のイベントはどうだったか?
- (6) 本日のイベントの感想 (自由記述、8件程度)
- (7) これまでに『TRANSIT MARKET』に参加したことはあるか?
- (8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント
- (9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
- (10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント
- (11) 今回の滞中で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
- (12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか?
- (14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か

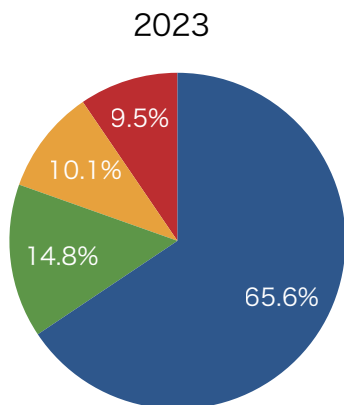
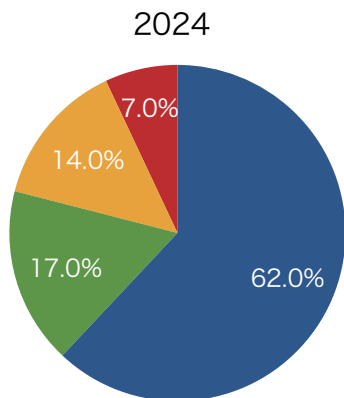
(1) 年齢・性別

昨年度と比較し、同様に「女性」の比率が高く、10代以下は「男性」が減った。

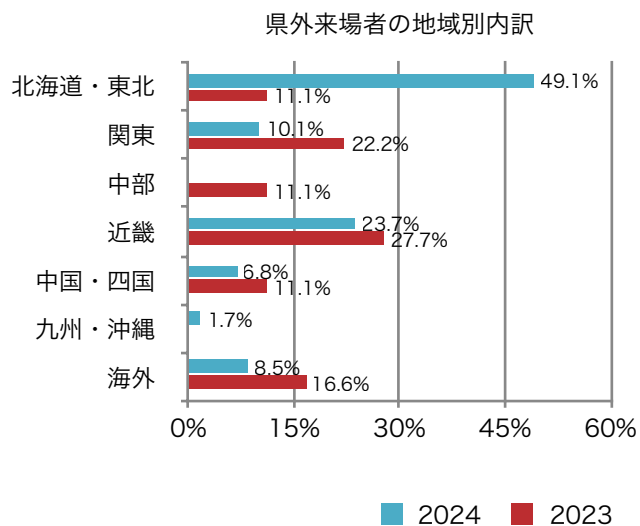


(2) 居住地

昨年度と比較し、別府市以外の県内の来場者がやや増えた。県外来場者の地域別内訳は、「九州・沖縄」が大幅に増加し、「近畿」また「中国・四国」からの来場者が減った。

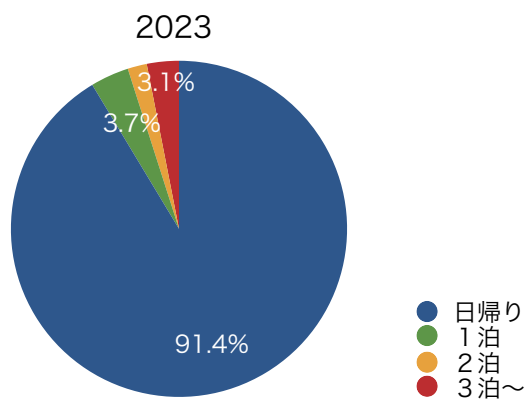
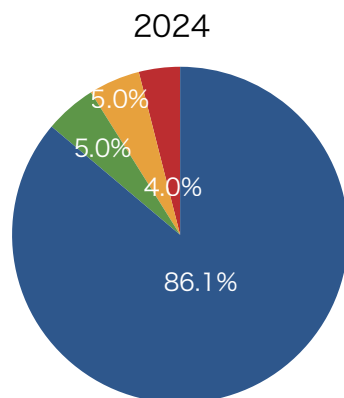


● 別府市
● 大分市
● 大分県内
● 大分県外



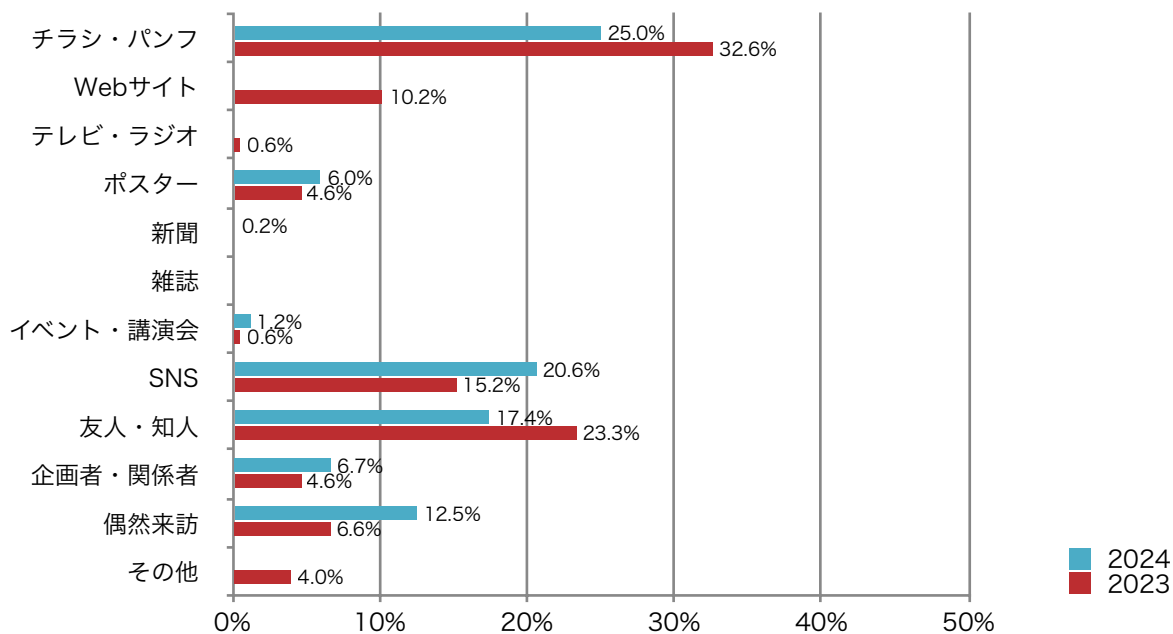
(3) 滞在期間

昨年と比較すると、同様に「日帰り」が最も多く、また宿泊が増えた。



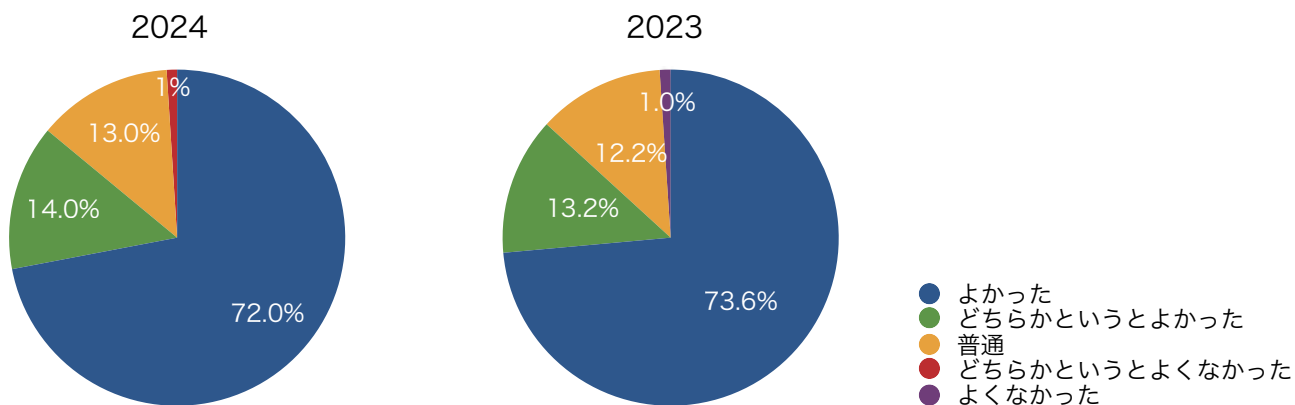
(4) 『TRANSIT MARKET』をどこで知ったか? (複数回答可)

昨年と比較し、「チラシ・パンフ」がやや減り、「SNS」と「偶然来訪」が増えた。



(5) 本日のイベントはどうだったか?

「よかった」「どちらかといえばよかった」合わせて86%となった。昨年と同様の結果となった。

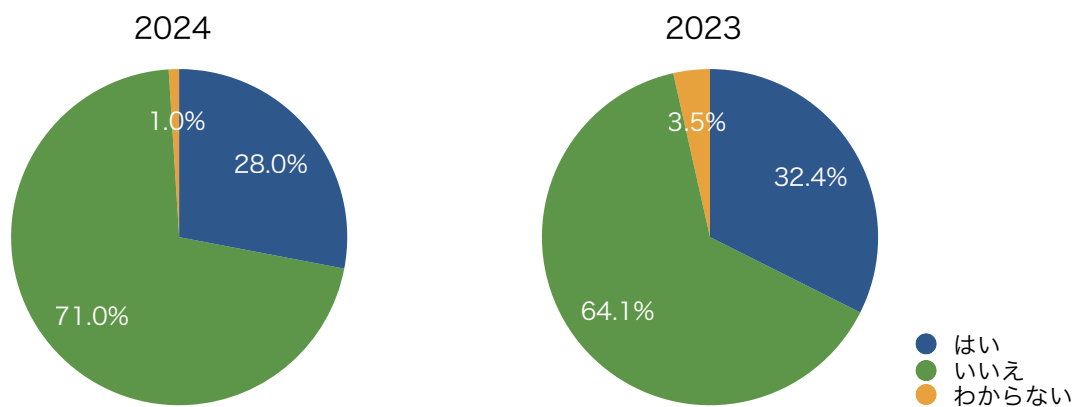


(6) イベントの感想 (自由記述)

- ・珍しいものがあり楽しかった。
- ・若い方が頑張ってると思いました。もっとたくさんの方が来たらいいのに。
- ・雑貨屋さんがもっとあるとうれしい
- ・珍しい食べ物を美味しく頂きました。猫ちゃんのイラスト、グッズ、画家の先生にとっても癒されました！
- ・アットホームな感じで良い
- ・お土産にできるものが多いと嬉しかった
- ・アートマンス巡りの中休みに立ち寄るのに丁度良いイベントですね。良い息抜きができました。
- ・皆さんの活動を知るきっかけになりました。これからも定期的で開催してほしいです。
- ・もっと、沢山ワークショップがあるといいです。

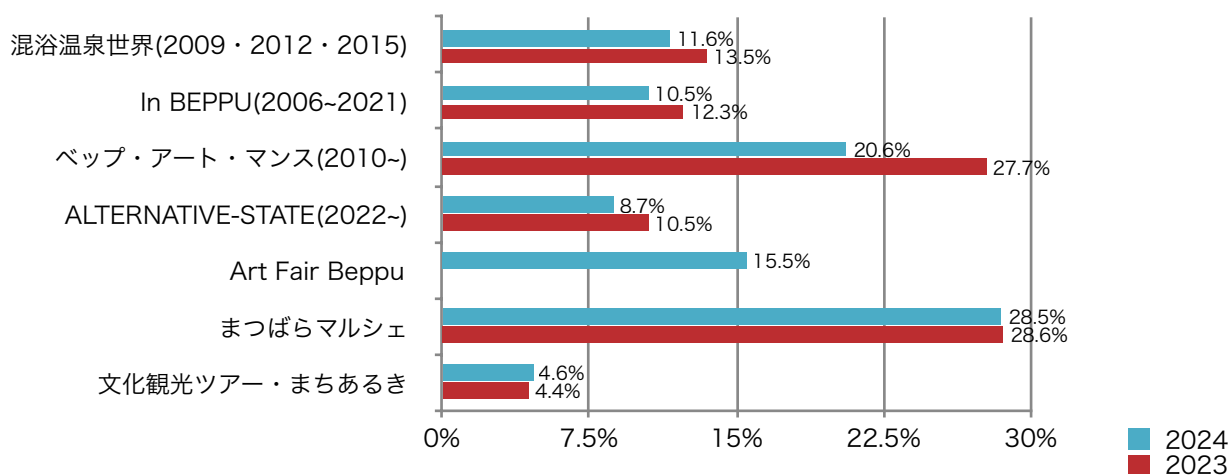
(7) これまでに『TRANSIT MARKET』に参加したことはあるか？

昨年とほぼ同様の結果となった。

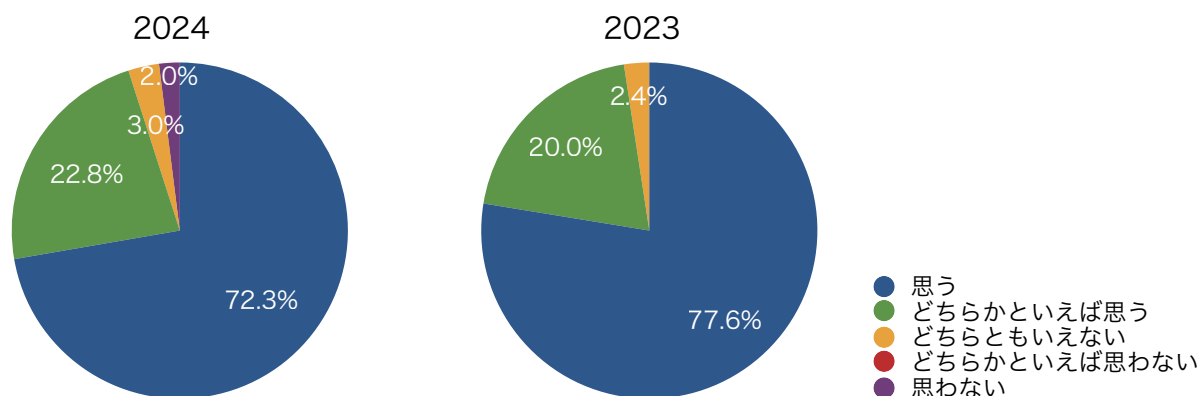


(8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント。

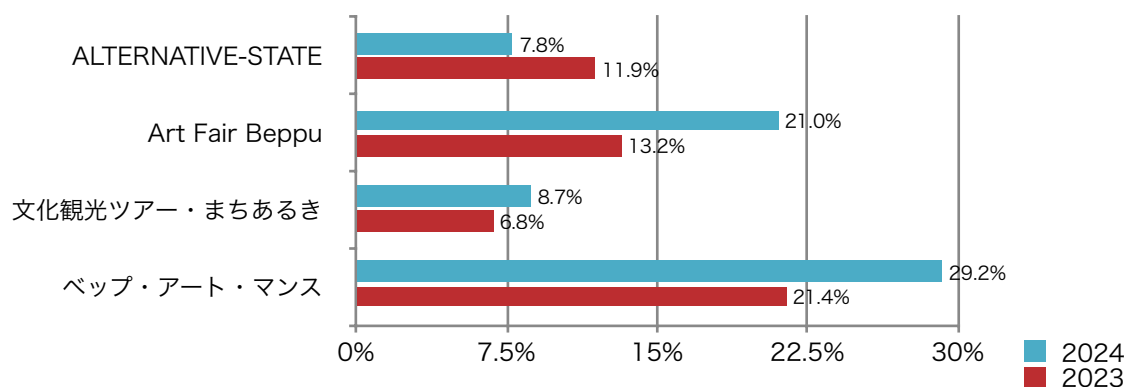
昨年と比較し、「ベップ・アート・マンス」がやや減った。



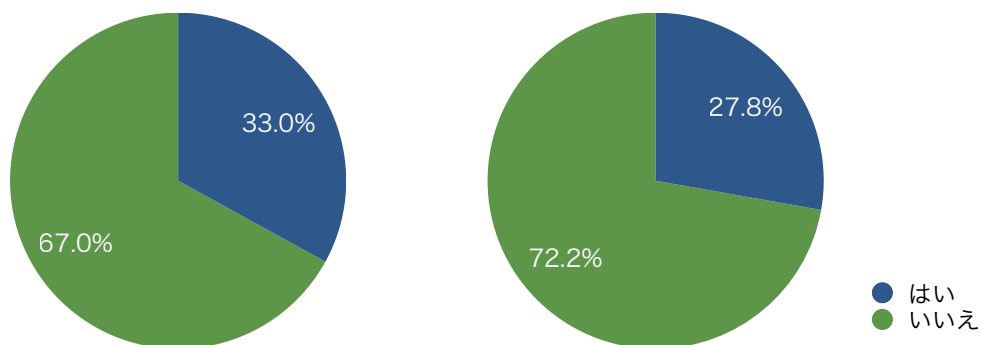
(9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか。
 昨年と比較し、「はい」はやや減少し、「思わない」が2%となった。



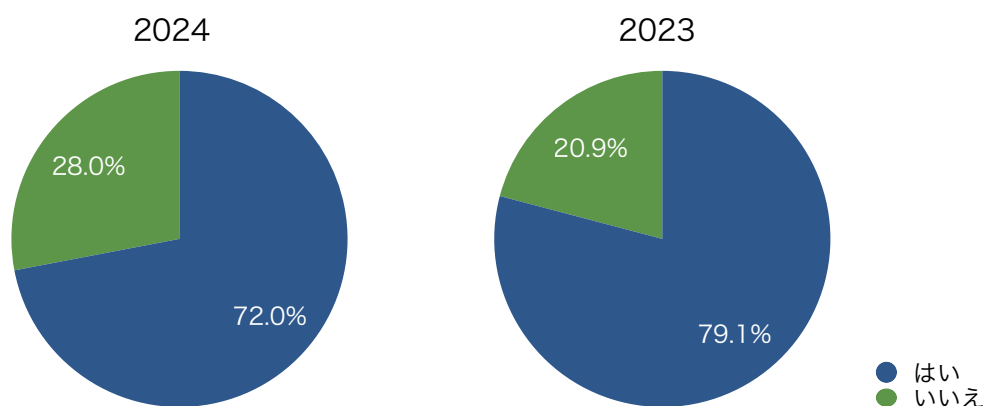
(10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント。
 昨年と比較し、「Art Fair Beppu」「ベップ・アート・マンス」がやや増えた。



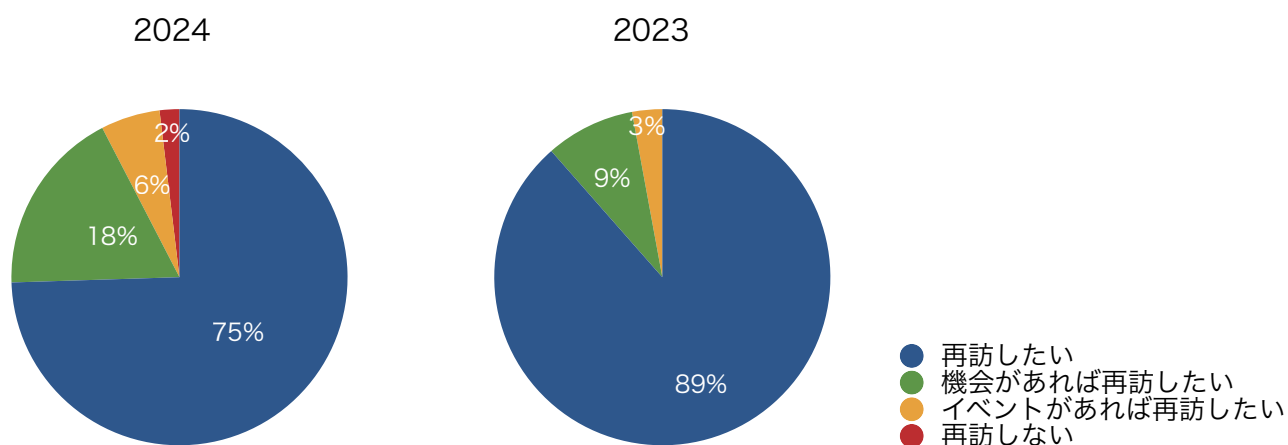
(11) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか。
 昨年と比較し、「はい」がわずかに増え、33%となった。



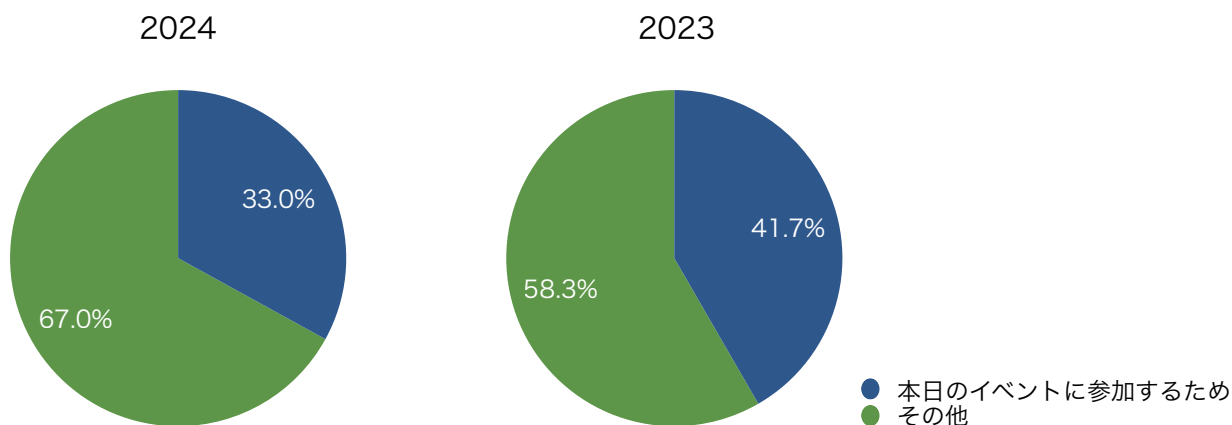
(12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか。
 昨年と比較し、「はい」がやや減った。



(13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか？
 昨年と比較し、「再訪したい」が約10%ほど減った。



(14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か。
 昨年と比較し、その他の目的を持って来訪した層が1割近く増えている。



7-1. 企画概要



1. はじめに

今年度は、ツアーA (別府発着県内広域連携型ツアー) を3本、ツアーB (別府市内まちあるき型ツアー) を7本、合計10本の文化観光ツアーをおこなった。また、A・Bそれぞれの設定において韓国語によるガイドツアーも実施、おもに韓国からのインバウンド観光客の取り込みを試みた。

7-2. ツアーA

1. 概要

ツアーAでは、より深い体験を提供するとともに別府の宿泊数増加を目的に、別府と大分県内他地域のアートポイントと史跡をつなぎ地域の歴史や風土に触れる、別府発着の県内広域連携型ツアーを造成し、観光とアートの視点を掛け合わせ、アートファンにとどまらない参加者層の拡大を図った。

ツアー名	アートホテル宿泊! 別府×由布院のアートと竹細工丸ごと満喫ツアー (モニターツアー)	
詳細	<p><1日目 9/22(日)></p> <p>10:30 JR別府駅発</p> <p>11:30 由布院着、美術館『空想の森アルテジオ』にて作品鑑賞</p> <p>12:30 『the theo』にて昼食</p> <p>14:00 美術館『COMICO ART MUSEUM YUFUIN』にて作品鑑賞</p> <p>15:00 湯の坪街道を中心に由布院を散策</p> <p>16:00 『GALLERIA MIDOBARU』にチェックイン、館内アートツアーに参加</p> <p>18:00 ホテルのレストランにて夕食</p> <p><2日目 9/23(月・祝)></p> <p>09:30 ホテルにて朝食後、チェックアウト、出発</p> <p>10:00 竹細工体験</p> <p>11:00 鉄輪温泉を散策、昼食の食材を調達</p> <p>12:00 豊山荘にて地獄蒸し料理の昼食</p> <p>13:00 『Art Fair Beppu 2024』鑑賞</p> <p>17:00 JR別府駅着、解散</p>	
ガイド	花田潤也 (ARUCO・DE・BEPPU)、キム・ハナ (BEPPU PROJECTスタッフ)	
実施日	2024/9/22(日)～23(月・祝)	
料金	無料	
参加者数	2名	
当日のようす	 	

ツアー名	別府×国東半島 日帰り バスツアー
詳細	08:30 JR別府駅発、車窓よりAS作品鑑賞 09:40 レイチェル・ホワイトリード『Kunisaki House』鑑賞 10:15 宮島達男『Hundred Life Houses』鑑賞 11:30 両子寺 見学、住職による講話を拝聴 12:30 天念寺 見学、鬼会の里にて豊後高田認定そばの昼食 14:15 アントニー・ゴームリー『ANOTHER TIME XX』鑑賞 16:00 大分空港着、解散 17:00 JR別府駅着、解散
ガイド	井手正広 (Glide Japan株式会社)
実施日	2024/9/23(月・祝)
料金	10,000円
参加者数	11名
当日のようす	 

ツアー名	韓国語で楽しむ別府と由布院をめぐる特別なアート旅
詳細	10:00 JR別府駅発 10:10 アーティスト・勝正光と巡る別府まちあるき 12:30 由布院着、美術館『空想の森アルテジオ』にて作品鑑賞 13:30 湯の岳庵にて昼食 15:00 美術館『COMICO ART MUSEUM YUFUIN』にて作品鑑賞、湯の坪街道を中心に散策 17:00 別府駅着
ガイド	勝 正光 (アーティスト)、キム・ハナ (BEPPU PROJECTスタッフ)
実施日	2025/1/31(金)
料金	11,000円
参加者数	2名
当日のようす	 

2. 運営について

(1) 運営

ツアーAは旅行業法が適用されるツアーであったため、株式会社旅助、およびGlide Japan株式会社が旅程の作成や車両手配、販売等をおこなった。ツアーのコンセプトづくりや拠点の設定、集客、広報などについては当実行委員会の事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTが主導し、実施した。

(2) 広報

おもにBEPPU PROJECTのSNSを活用した広告宣伝を実施したほか、『Art Fair Beppu 2024』公式Webサイト、およびSNSにて情報を発信した。また、韓国語でのツアーについては、公益社団法人 ツーリズムおおいたとの連携により『テッパン！おおいた』において販売および情報発信を実施したほか、韓国での主力広報ツールであるブログでも広報活動を実施した。ブログにおいては、韓国人インフルエンサー（フォロワー数48,730名、依頼当時）にツアー記事の作成と投稿を依頼、韓国へ直に情報発信を実施した。

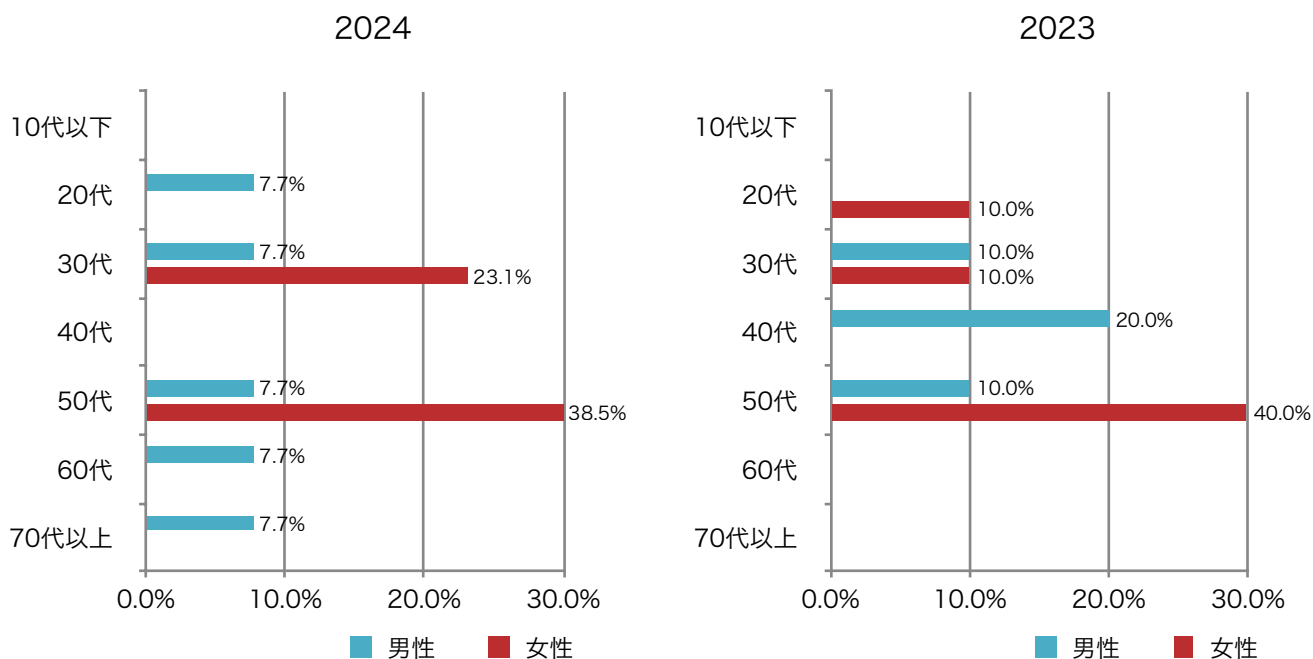
3. 参加者について：アンケート内容

ツアーAにおいては、県外からの参加者が多く7割を占めた。また、20代～70代まで幅広い年齢層の方々に参加いただいた。

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) このイベントをどこで知ったか? (複数回答可)
- (5) 『別府×国東半島 日帰り バスツアー』に参加する決め手となったものは何か? (上位3つを選択)
- (6) 本日のイベントはどうだったか?
- (7) イベントの感想 (自由記述)
- (8) これまでに『文化観光ツアー』に参加したことはあるか?
- (9) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント
- (10) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
- (11) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント
- (12) 今回の滞中で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
- (13) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (14) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか?
- (15) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か

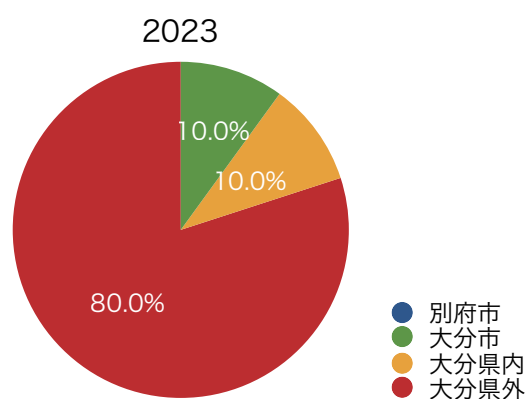
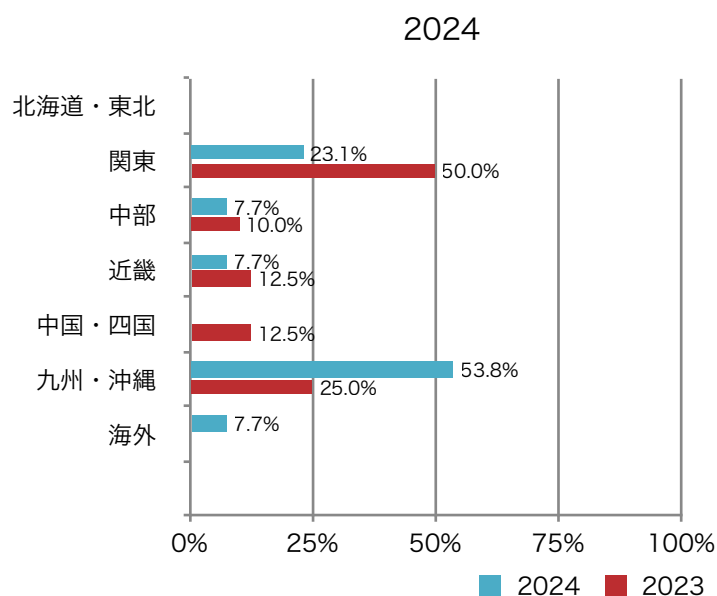
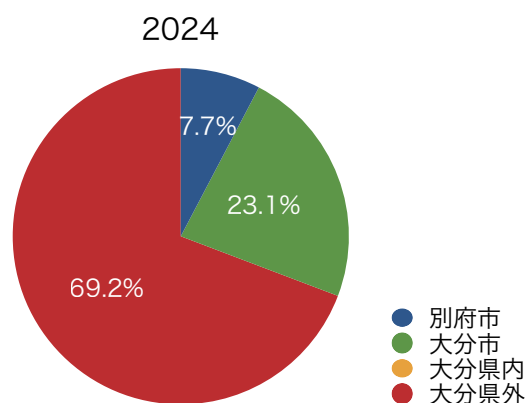
(1) 年齢・性別

昨年の有料バスツアーと比べ、参加した年齢層は広がったが、女性のほうが増えた。



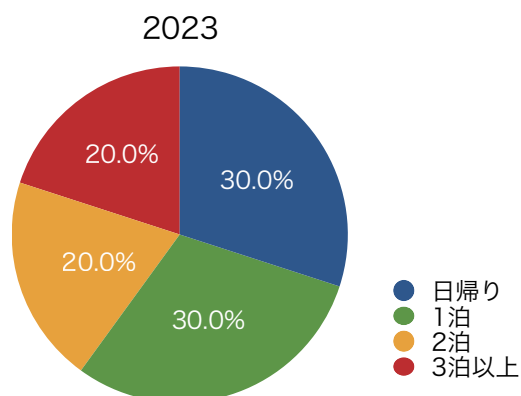
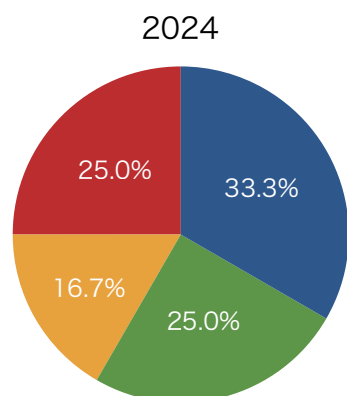
(2) 居住地

県外からの参加者比率が高く、海外からの参加も見られたが、昨年の有料バスツアーに比べると県内比率が増加した。



(3) 滞在期間

昨年の有料バスツアーと比べ、宿泊する参加者が減少したが、3泊以上の参加者が増加した。

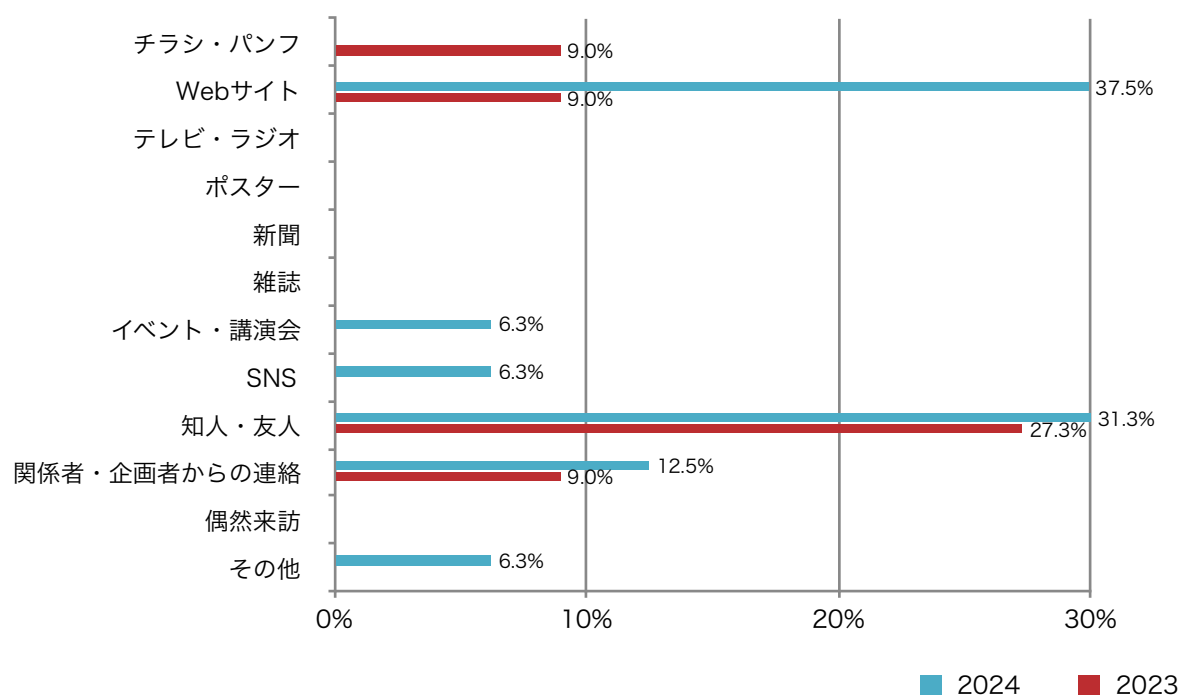


(4) このイベントをどこで知ったか？ (複数回答可)

昨年の有料バスツアーと比べ、Webサイトから情報を得た参加者が大幅に増加した。

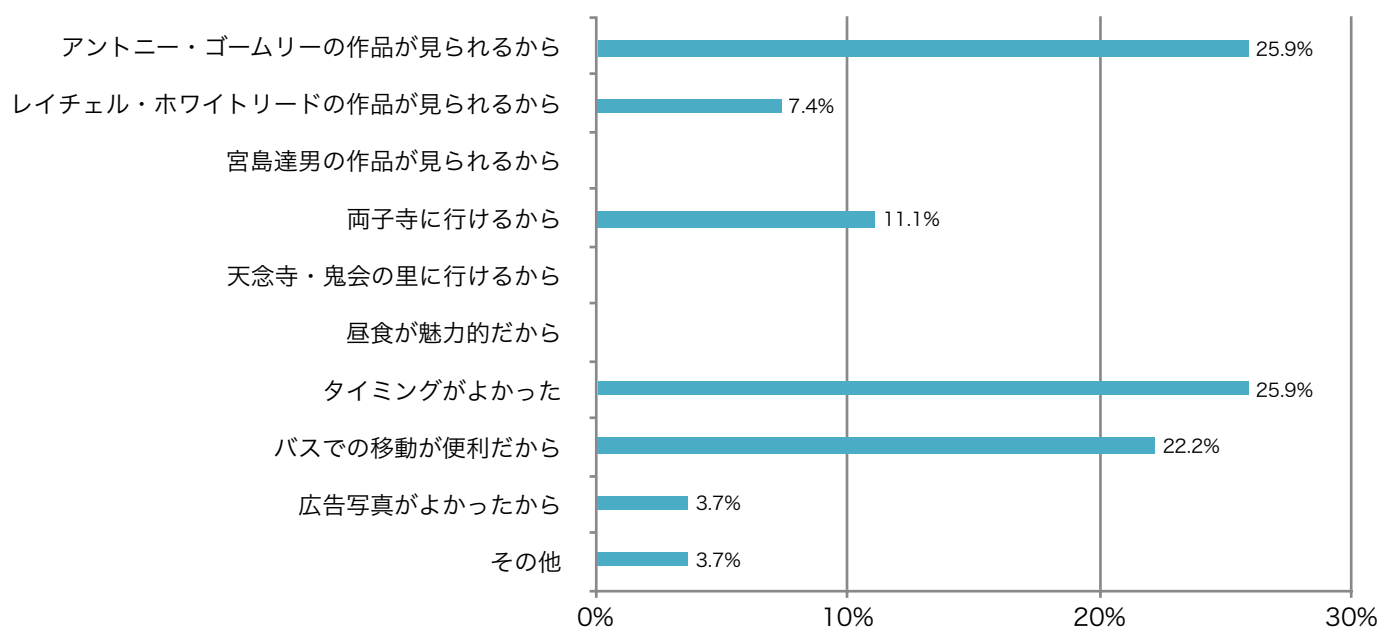
※今年度は広報印刷物は作成しなかった

※昨年度は「Webサイト」と「SNS」は合算してアンケートを収集していた



(5) 『別府×国東半島 日帰り バスツアー』に参加する決め手となったものは何か？ (上位3つを選択)

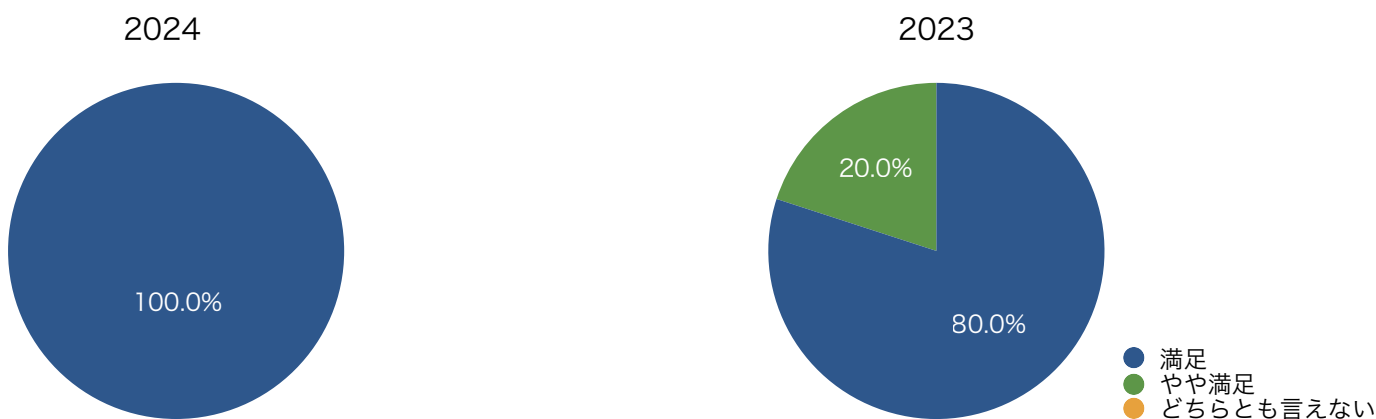
アントニー・ゴームリー作品鑑賞、開催タイミング、バス移動の利便性の3つが上位にあがった。



(6) 本日のイベントはどうだったか？

すべての参加者が、ツアーに対し満足した。

※昨年度は「満足」「やや満足」「どちらとも言えない」の項目でアンケートを収集

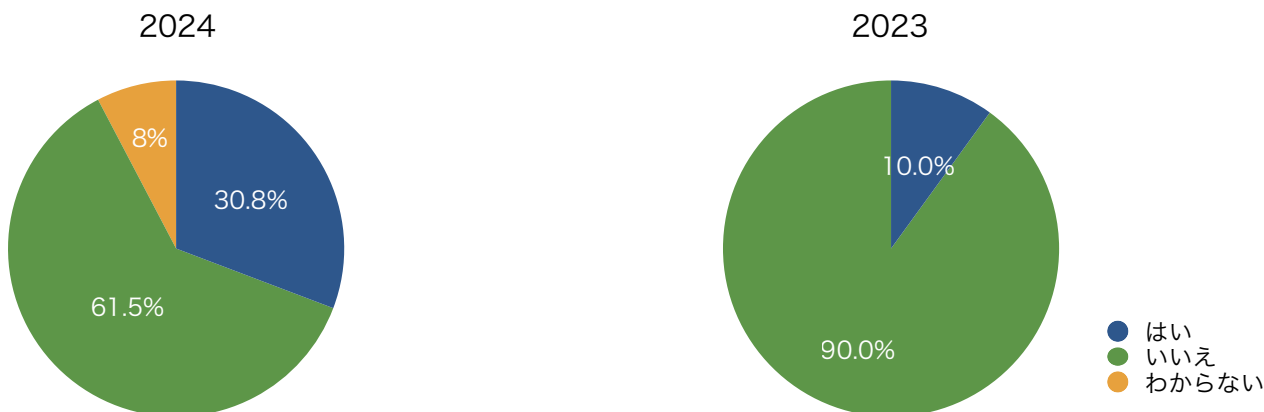


(7) イベントの感想 (自由記述)

- ・過去と現在の別府の歴史を知ることができて親近感が湧いた。通りすがりの場所の歴史も知りたくなった。別府のあちらこちらを、もっと時間をかけてまわりたくなったり、アーティストの展示も見たくなった。期待以上でした。ガイドの井手さんが素晴らしかった。
- ・1人では、なかなか行けない場所をまわられて、かつ国東半島についていろいろと知ることができ、とても良かったです。別メニューのツアーがあれば、また是非、参加したいです。ご案内くださった井手さん、運転手の吉澤さん、どうもありがとうございました！
- ・前から国東半島に興味があったので、アートを楽しみながら巡ることができて、非常に満足度の高いツアーでした。ありがとうございました。
- ・国東半島を巡る理由はさまざま。知人のカフェやギャラリーに遊びに行ったり、空港に娘や孫を迎えに行ったり、秋の富貴寺や新蕎麦をいただく事も楽しみだし、奇祭と呼ばれる文化に触れる事も大分人としての誇りである。私自身は、そこにアートの有る無しはあまり関係ない事だったが、ゴームリーは特別な作品として捉えていた。神聖な場所に有る意味を知りたかったのである。この機会をいただいて少しだけ理解できた気がする。感謝。
- ・アート作品に関わるエピソードも紹介して頂いて楽しめました。街中のアート作品から美術館、ミュージアムのアート作品まで、アート、文化にたっぷり触れる1日でした。ガイド、スタッフの皆様ありがとうございました。
- ・とても楽しかった、ありがとうございました。説明が良かったし、年寄りにも親切で、特に安全には気遣いしていただき感謝しています。PRに工夫が必要。
- ・前から参加してみたいと思っていたイベントだったので今回参加できて良かったです。
- ・アントニー・ゴームリーの像を見ることができたのが一番嬉しかったです。そこからの景色も最高でした。

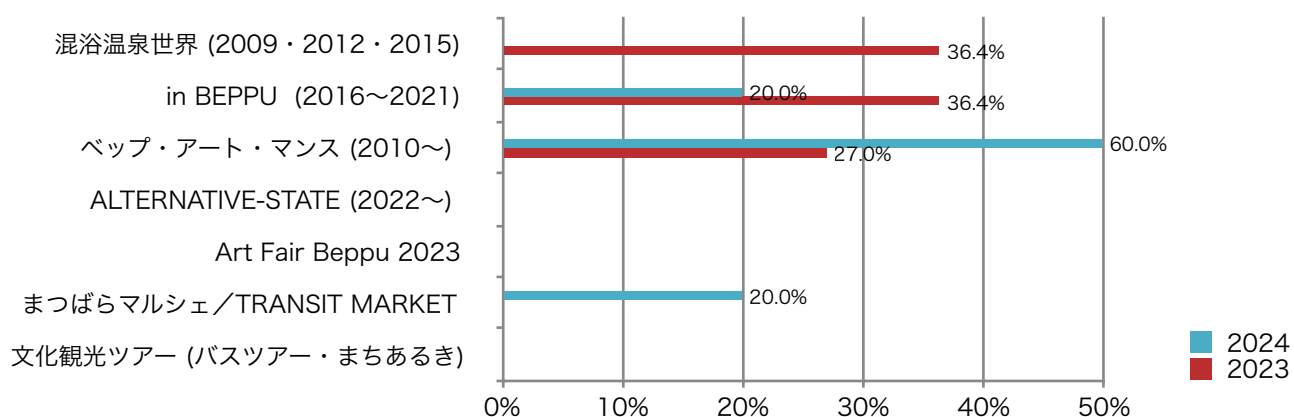
(8) これまでに『文化観光ツアー』に参加したことはあるか？

多くの参加者が、『文化観光ツアー』に初めて参加した。



(9) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント

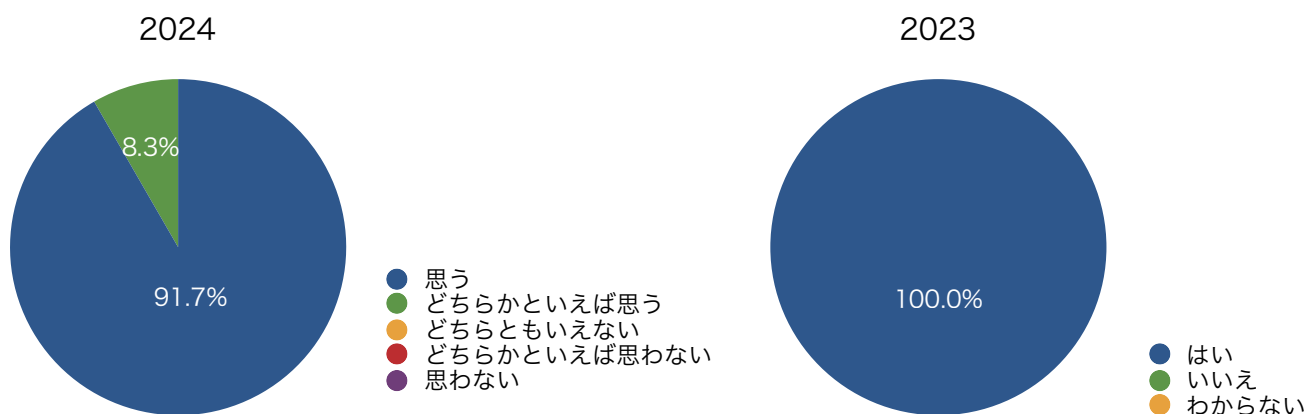
『ベップ・アート・マンス』の比率が圧倒的に高かった。



(10) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか

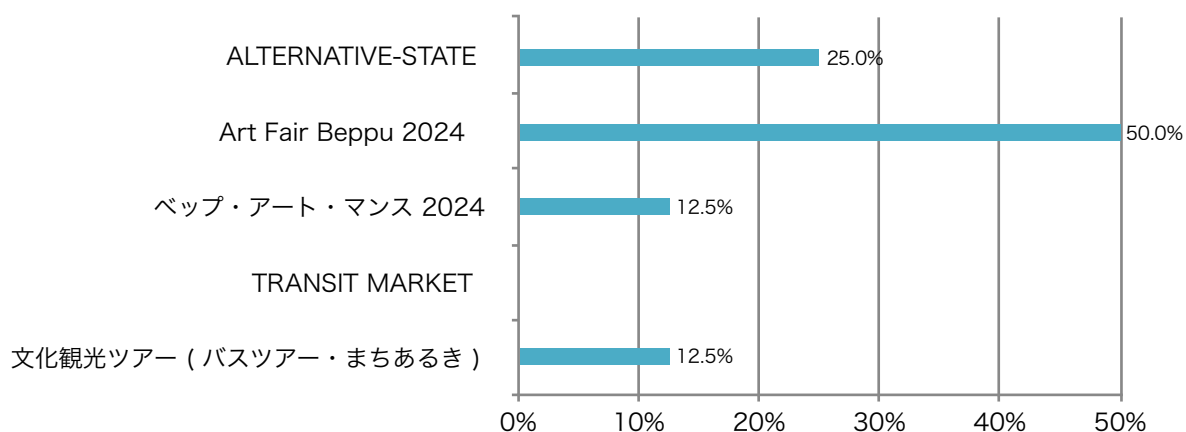
9割を超える参加者が、文化・芸術イベントに訪れてみたいと回答した。

※昨年度は「はい」「いいえ」「わからない」の項目でアンケートを収集



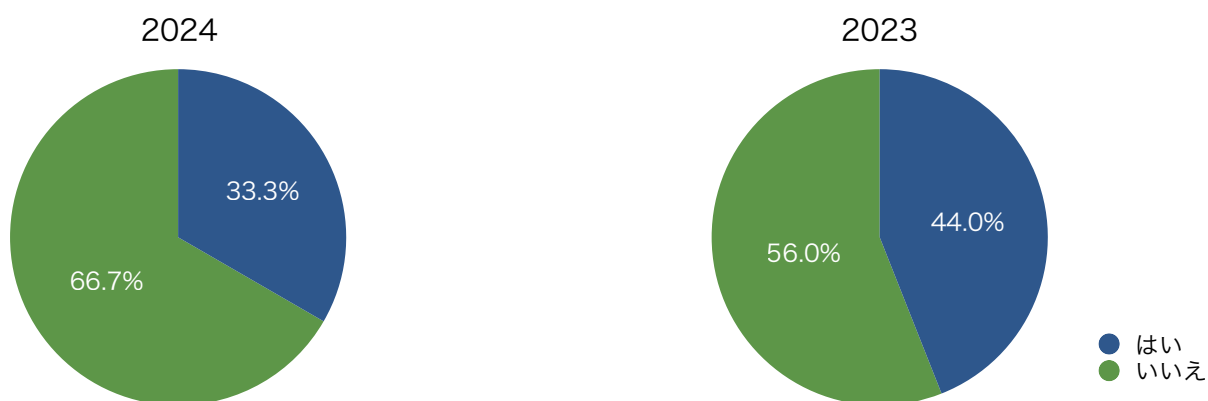
(11) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント

半数の参加者が『Art Fair Beppu 2024』に参加した、または参加する予定だと回答した。

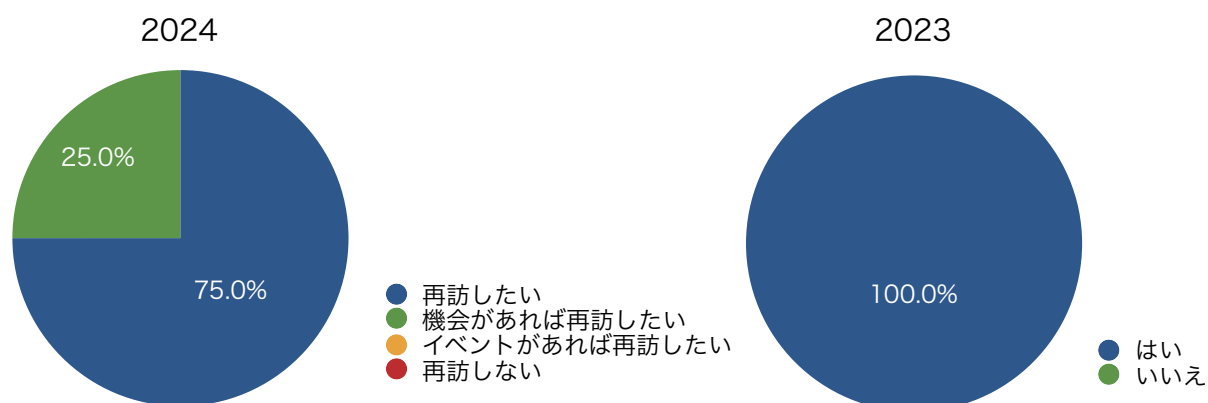


(12) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか

昨年の有料バスツアーと比べ、大分県内の別府市以外の市町村を訪問しなかった参加者が増えた。



(13) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
多くの参加者が別府はアートの街であるという認識を持っていた。



(14) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか？

多くの参加者が、別府を再訪したいと回答した。

※昨年度は「はい」「いいえ」「わからない」の項目でアンケートを収集



(15) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か

- ・大阪府の観光
- ・別府での友人との再会

7-2. ツアーB

1. 概要

ツアーBでは『ALTERNATIVE-STATE』の作品公開や『ベップ・アート・マンス 2024』、『Art Fair Beppu 2024』の開催時期に合わせ、アーティスト等がガイドする市内まちあるきツアーを実施し、アートの町としての別府をさらに強く印象づけることを試みた。また、韓国語でのまちあるきも実施し、インバウンド観光客の取り込みを図った。

ツアー名	別府アートまちあるき
詳細	<p>14:00 JR別府駅 油屋熊八像前集合 中心市街地の『ALTERNATIVE-STATE』作品や壁画プロジェクト作品を鑑賞</p> <p>14:30 『BEPPU STUDIO 01』展覧会鑑賞</p> <p>14:55 『清島アパート』見学</p> <p>15:15 『TRANSIT』展覧会鑑賞</p> <p>15:25 『SELECT BEPPU』襖絵鑑賞</p> <p>15:40 梅園通りや旧中央市場周辺の裏路地等を散策</p> <p>15:55 岡本太郎壁画 鑑賞</p> <p>16:00 JR別府駅着、解散</p>
ガイド	勝 正光 (アーティスト)、山脇益美 (詩人)
実施日	2024/6/30 (日)
料金	20,000円 ※ガイド謝礼 (2名分) として。参加費の徴収はなし
参加者数	30名
当日のようす	 

ツアー名	韓国語で楽しむ、別府まちあるき (モニターツアー)
詳細	16:00 JR別府駅 手湯前集合 中心市街地の『ALTERNATIVE-STATE』作品や、やよい天狗、竹瓦温泉、旧中央市場 周辺の裏路地等を散策 17:00 『TRANSIT』見学 17:10 『清島アパート』見学 17:30 JR別府駅到着、解散
ガイド	カン・キョンミ
実施日	2024/8/17 (土)
料金	無料
参加者数	5名
当日のようす	 

ツアー名	韓国語で楽しむ、別府まちあるき / 한국어로 즐기는 벵포 아트골목투어
詳細	15:30 JR別府駅 手湯前集合 中心市街地の『ALTERNATIVE-STATE』作品や、やよい天狗、竹瓦温泉、旧中央市場 周辺の裏路地等を散策 17:00 『TRANSIT』見学 17:10 『清島アパート』見学 17:30 JR別府駅到着、解散
ガイド	カン・キョンミ
実施日	2024/9/20 (金)
料金	1,000円
参加者数	2名
当日のようす	 

ツアー名	西野 達 Bar in AFB2024
詳細	<p>17:00 別府タワー集合 弓松温泉や北高架商店街、油屋熊八像、旧中央市場周辺の裏路地等、2017年に開催された『西野 達 in 別府』ゆかりの場所をアーティスト自身のガイドにより散策</p> <p>18:30 Bar TANNEL着 西野 達が考案したアートカクテルを楽しみながら、店内に展示された作品を鑑賞</p> <p>20:00 Bar TANNELにて解散</p>
ガイド	西野 達 (アーティスト)
実施日	2024/9/22 (日)
料金	6,000円 (Art Fair Beppu 2024 入場チケット 1 枚+西野 達が考案したオリジナルカクテル 1 杯+『西野 達 in 別府』開催時のB2サイズポスター 1 枚付き)
参加者数	12名
当日のようす	 

ツアー名	中崎 透とめぐる[ALTERNATIVE-STATE] 新作ツアー
詳細	<p>16:00 JR別府駅集合 不老泉や海門寺公園、梅園通り、竹瓦小路、別府タワーなど、中崎 透が手がける[ALTERNATIVE-STATE #5]の作品を、アーティスト自身や制作関係者から、作品制作や地域の歴史に関する話を聞きながら作品を鑑賞</p> <p>18:00 JR別府駅にて解散</p>
ガイド	中崎 透 (アーティスト)
実施日	2024/9/23 (月・祝)
料金	2,000円 (別府タワー入場料込み、Art Fair Beppu 2024 入場チケット 1 枚付き)
参加者数	15名
当日のようす	 

ツアー名	梅田哲也『O滞』ラジオ体験＋鑑賞回遊「ここから先は煙です」	
詳細	10:30 TRANSITにて地図とラジオの受け渡し 別府市内に点在する会場を参加者各自で散策 13:30 鶴見園跡地に集合 アーティストから作品制作や地域の歴史に関する話を聞きながら、作品を鑑賞 15:00 鶴見園跡地にて一時解散、参加者各自で市内散策 17:30 別府ブルーバード会館3階フレックスホールにて映画上映およびアフタートーク 19:00 別府ブルーバード会館にて解散	
ガイド	梅田哲也（アーティスト）	
実施日	2024/12/28（土）	
料金	1,000円（映画鑑賞は別料金）	
参加者数	62名（上映会参加者含む）	
当日のようす	 	

ツアー名	[ALTERNATIVE-STATE] 中崎 透の青い鳥ツアー	
詳細	15:00 JR別府駅集合 不老泉や海門寺公園、梅園通り、竹瓦小路、別府タワーなど、中崎 透が手がける [ALTERNATIVE-STATE #5]の作品を、アーティスト自身や制作関係者から、作品制作や 地域の歴史に関する話を聞きながら作品を鑑賞 17:00 JR別府駅にて解散	
ガイド	中崎 透（アーティスト）	
実施日	2025/2/15（土）	
料金	2,000円（別府タワー入場料込み）	
参加者数	10名	
当日のようす	 	

2. 運営について

(1) 運営

ツアーBにおいては、ツアーのコンセプトづくりや旅程の作成、集客、広報、販売まで、すべて当実行委員会の事務局を務めるNPO法人 BEPPU PROJECTが実施した。『ALTERNATIVE-STATE』の作品公開や『Art Fair Beppu 2024』の開催に合わせて開催したツアーについては、各事業の担当スタッフが並行して運営した。

(2) 広報

BEPPU PROJECTの公式Webサイトにて情報発信したほか、SNSを活用した広告宣伝も実施した。『Art Fair Beppu 2024』と同時開催のツアーについては『Art Fair Beppu 2024』公式WebサイトおよびSNSにおいても情報を発信した。韓国語によるツアーについては、別府駅観光案内所『WANDER COMPASS BEPPU』や韓国人観光客が多く宿泊するホテル『アマネク別府』にてツアーチラシ掲示の協力を依頼した。

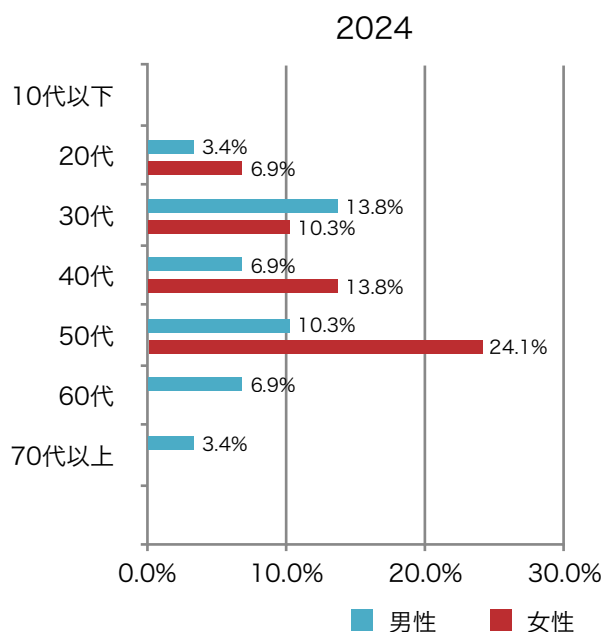
3. 参加者について：アンケート内容

ツアーBにおいては、県内からの参加者が多く7割を占めた。また、20代～70代まで幅広い年齢層の方々に参加いただいた。

- (1) 年齢・性別
- (2) 居住地
- (3) 滞在期間
- (4) このイベントをどこで知ったか? (複数回答可)
- (5) 本日のイベントはどうだったか?
- (6) イベントの感想 (自由記述)
- (7) これまでに『文化観光ツアー』に参加したことはあるか?
- (8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント
- (9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか
- (10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント
- (11) 今回の滞中で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
- (12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
- (13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか?
- (14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か

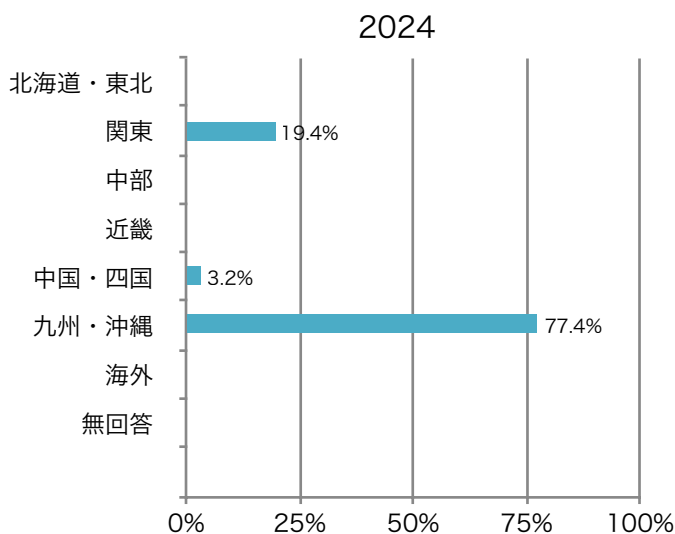
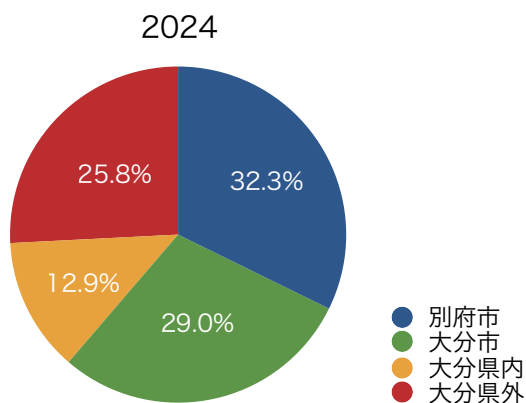
(1) 年齢・性別

昨年の有料バスツアーに比べ、参加した年齢層は広がったが、女性のほうが多かった。



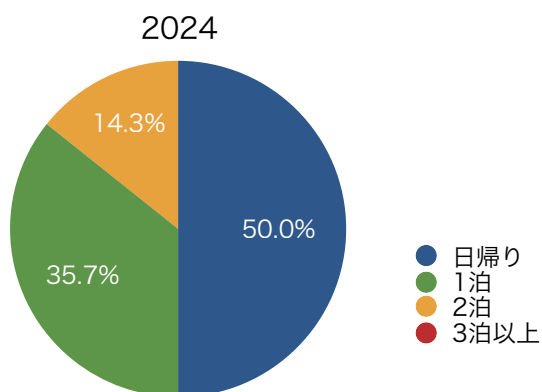
(2) 居住地

県内からの参加者が多く、全体の7割を占めた。県外は関東からの参加が多かった。



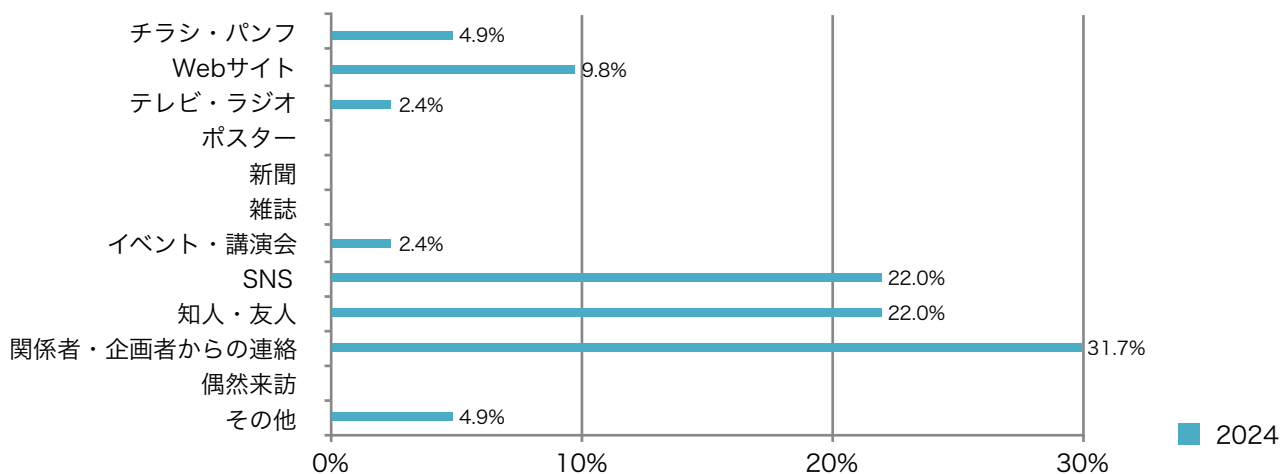
(3) 滞在期間

日帰りの参加者が多かった。



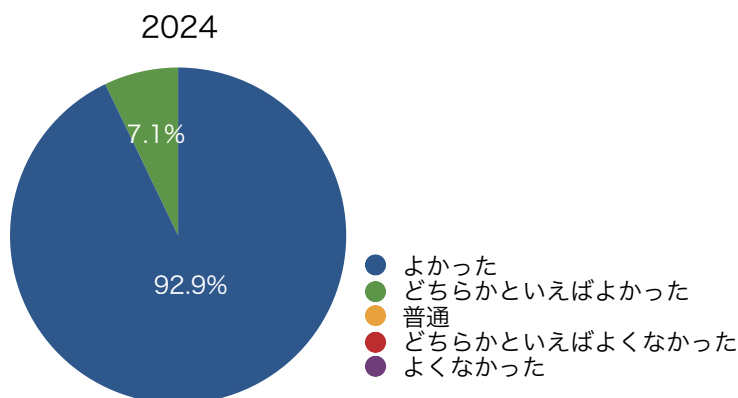
(4) このイベントをどこで知ったか？(複数回答可)

関係者・企画者、知人・友人、SNSから情報を得た参加者が多かった。



(5) 本日のイベントはどうだったか？

8割の参加者が、ツアーに対し「よかった」と回答した。

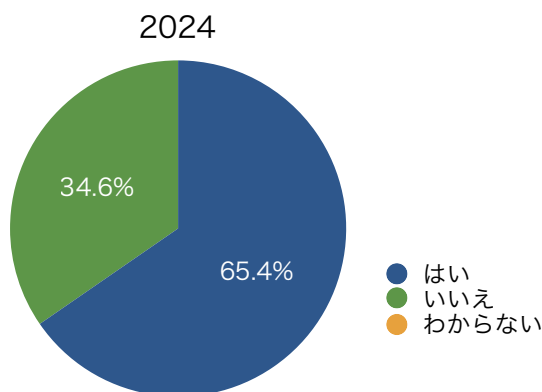


(6) イベントの感想（自由記述）

- ・別府には何度も来たことがあり、駅周辺も歩いたことはありましたが、見たことのないアート作品があり、たくさんの気づきがあって楽しかったです。
- ・韓国語のガイドで別府街歩きをするなんて面白いと思い参加させていただきました。別府在住ですが、路地裏を散策する機会がなかったので、面白かったです。
- ・数時間の西野達さんのナビゲーションによる街歩きのイベントで、別府駅周辺の様々なアート作品や、興味深い建築などがあるエリアを街歩きすることができました。個人では到底歩き尽くせない、見つけ出せないであろう場所をご案内いただきました。西野さんの歩きながらのお話しもとても楽しく、ラストのアートカクテルも意外性と同時にお味も美味しかったです。夕刻から夜にかけての別府時間を過ごすことができた充実の一日でした。
- ・中崎さん本人の解説を聞きながら作品を鑑賞できる非常に貴重な機会であり、楽しい企画でした。これからも続けて下さい！
- ・アーティストが気になっている別府の路地裏などを知り、また別府が興味深く感じました。
- ・『0滞』の映画、やっぱりすごく良かった。コロナ時の世の中のあまりにも特殊な状況を、今と比較して感じた。当時の声の聴こえ方の違い、パンデミックという状況を少し劇として再体験したような日だった。
- ・飛行機が遅れてあまり多く回れなかったのが残念でしたが、梅田さんの解説つきで鶴見園で『0滞』を鑑賞できたりしたのでとても楽しかったです。
- ・『0滞』の再上映うれしかったです。また見たいです！
- ・いままで自分が知っていた別府と、ちがう関わり方ができたのがおもしろかったです。

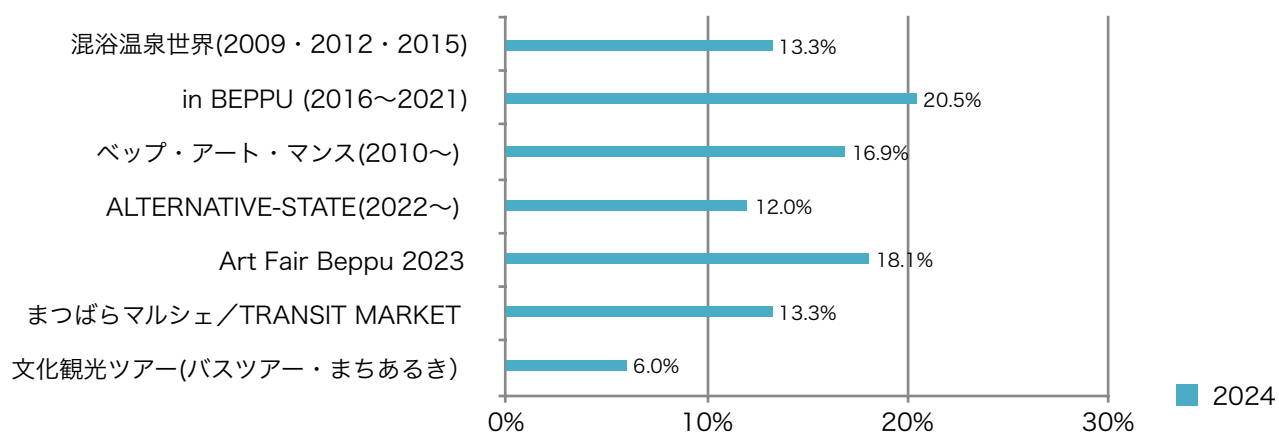
(7) これまでに『文化観光ツアー』に参加したことはあるか？

半数以上の参加者が『文化観光ツアー』に参加した経験があった。



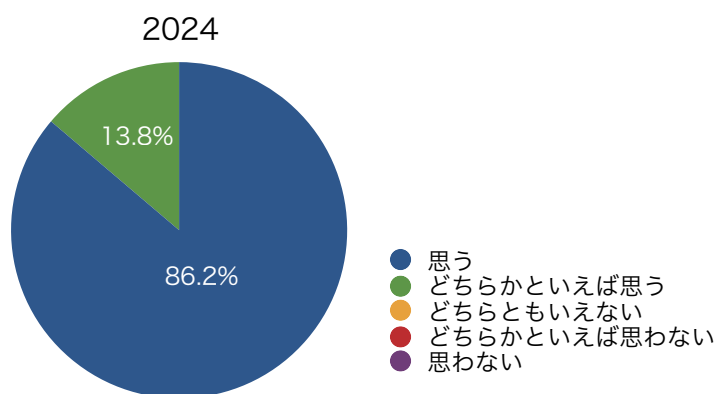
(8) これまでに参加・鑑賞したことがあるイベント

『in BEPPU』に参加したことがある参加者が最も多かった。



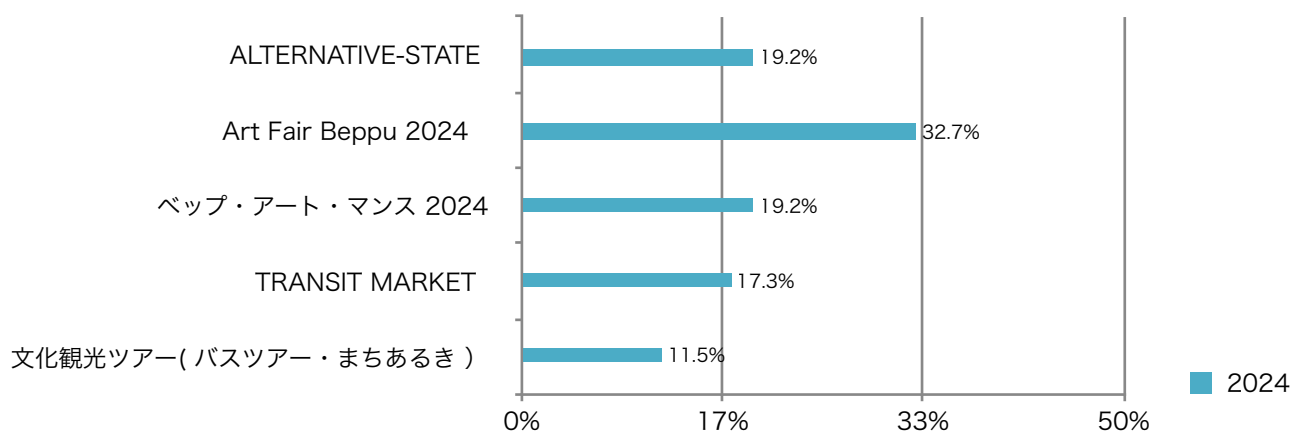
(9) 別府市内の文化・芸術イベントに訪れてみたいと思うか

8割を超える参加者が、文化・芸術イベントに訪れてみたいと回答した。

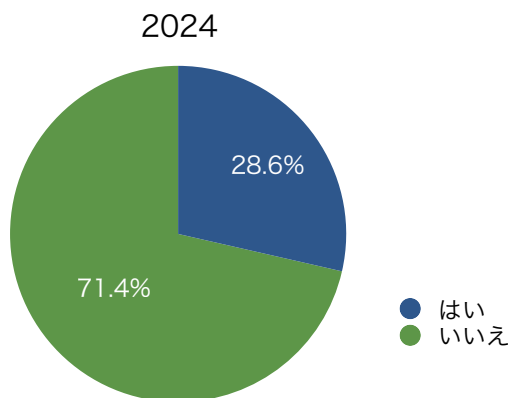


(10) 今年参加・鑑賞した (または参加・鑑賞する予定の) イベント

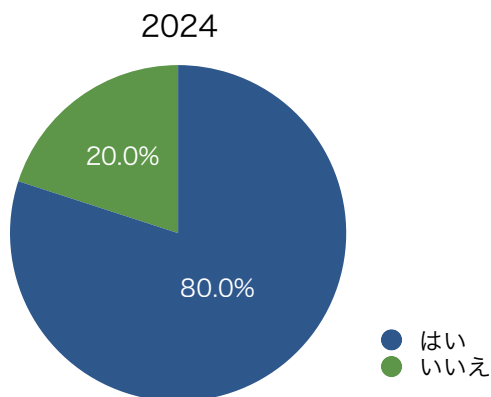
『Art Fair Beppu 2024』に参加した、または参加する予定だと回答した参加者が最も多かった。



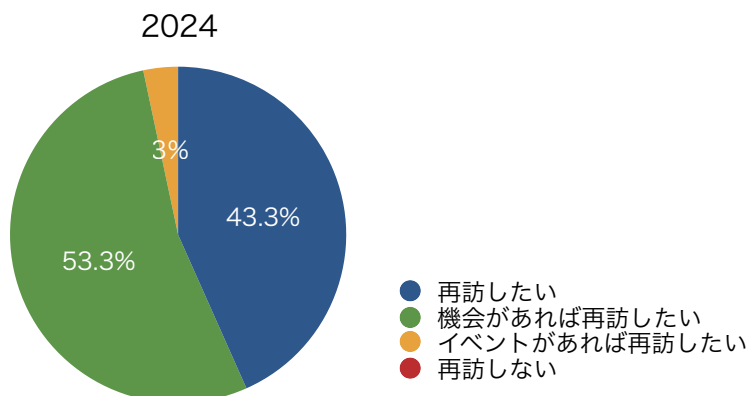
(11) 今回の滞在で、大分県内の別府市以外の市町村を訪問したか
大分県内の別府市以外の市町村を訪問した参加者は3割程度にとどまった。



(12) 「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」というイメージを持っているか
多くの参加者が、別府はアートの街であるという認識を持っていた。



(13) (別府市在住以外の方) 今後、別府を再訪したいと思うか？
多くの参加者が、別府を再訪したいと回答した。



(14) (外国人向け) 今回の訪日の最大の目的は何か。
回答なし

8-1. 広報活動と開催効果

1. 広報活動

(1) 広報物

各事業において、下記の広報物を作成した。

『ベップ・アート・マンス 2024』※) 詳細はp.53参照

- ・Webサイト (<https://beppuartmonth.com>)
- ・募集チラシ (A4サイズ両面) 3,000部
- ・チラシ (A4両面) 3,000部
- ・ポスター (B2サイズ) 300部
- ・パンフレット (A4 26頁冊子) 10,000部

『ALTERNATIVE-STATE』※) 詳細はp.73、p.80参照

- ・Webサイト (<https://alternative-state.com>)
- ・[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし | 大判カード (200x148mm) 9,000部
- ・[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted 『JIKU』 #023 D-1 | BEPPU | 大判カード (200x148mm) 9,000部

『Art Fair Beppu 2024』※) 詳細はp.98参照

- ・Webサイト (<https://artfairbeppu.com/>)
- ・ポスター (B2サイズ) 400部
- ・チラシ (A3サイズ、二つ折り) 16,000部
- ・会場マップ (A3サイズ) 2,000部

『TRANSIT MARKET』※) 詳細はp.111参照

- ・ポスター (B3サイズ) 200部
- ・ポストカード 10,000部
- ・ハンドアウト (データ) 1式

(2) 記者発表会

下記の日程で記者発表会を実施した。

事業	日時	会場	名称	主な参加メディア
『ベップ・アート・マンス 2024』	2024/9/6 (金)	別府やよい商店街 やよい天狗前特設会場	ベップ・アート・マンス 2024 決起集会&記者発表 『バム・ジャンボリー!』	大分合同新聞、今日新聞、大分経済新聞、CTBメディア
『[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし』	2024/8/26 (月)	元町公民館	[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird／青い鳥のしるし 地域説明会	大分合同新聞、今日新聞、大分経済新聞、CTBメディア、毎日新聞
「[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted 『JIKU』 #023 D-1 BEPPU」	2025/1/20 (月)	別府市役所5階 大会議室	[ALTERNATIVE-STATE #7] 記者説明会	大分合同新聞、今日新聞、大分経済新聞、CTBメディア、毎日新聞、西日本新聞

(3) オープニングセレモニー

下記の日程でオープニングセレモニーを実施し、主に県内メディアと関係者が参加した。

事業	日時	会場	主な参加メディア・インフルエンサー	参加者数 ※)
『[ALTERNATIVE-STATE #5] Bluebird Sign／青い鳥のしるし』作品完成記念式典	2024/9/20(金)	海門寺公園	いろいろ、大分経済新聞、大分合同新聞、今日新聞、CTBメディア、美術手帖ウェブ版、読売新聞	121
『Art Fair Beppu 2024』オープニング	2024/9/21(土)	別府国際観光港旧フェリーさんふらわあ乗り場	大分合同新聞、今日新聞、美術手帖ウェブ版、読売新聞	12
「[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted『JIKU』#023 D-1 BEPPU」作品完成記念点灯式	2025/2/23(日)	つまみカーパーク屋上	大分経済新聞、大分合同新聞、今日新聞、CTBメディア	115

※) メディア以外の関係者・参加者を含む

(4) 別府市Facebook

別府市民に各事業への来場を促すために、別府市が管理するFacebookアカウントで告知した。

事業	日時	掲載アカウント	フォロワー数
『ALTERNATIVE-STATE』	2024/4/1(月)	別府市公式 Facebookページ『Face べっぷ』	7,825
『ALTERNATIVE-STATE』	2024/7/9(火)		
『TRANSIT MARKET』	2024/11/1(金)		

※) 2024年3月31日現在

(5) デジタル広告

県内外の参加者にリーチするために、以下の通りデジタル広告を配信した。

事業	配信期間	内容	配信エリア	活用したメディア	閲覧数	リーチ数	クリック数
『文化観光事業』	2024/8/14(水)～8/28(水)	別府×湯布院のアートと竹細工丸ごと満喫ツアー	全国	Meta広告 (Instagram, Facebook)	-	90,752	954
『文化観光事業』	2024/8/16(金)～9/5(木)	別府×湯布院のアートと竹細工丸ごと満喫ツアー	全国	Meta広告 (Instagram, Facebook)	-	25,022	1,124
『Art Fair Beppu 2024』	2024/9/4(水)～9/20(金)	開催告知	全国	Instagram	81,746	38,488	2,355
『Art Fair Beppu 2024』	2024/9/4(水)～9/20(金)	開催告知 (韓国語)	韓国、九州	Instagram	1,759	10,011	302
『文化観光事業』	2024/9/4(水)～9/5(木)	別府×国東半島 日帰り バスツアー	全国	Meta広告 (Instagram, Facebook)	-	9,916	526

『文化観光事業』	2024/9/7(土)～9/19(木)	別府×国東半島 日帰り バスツアー	全国	Meta広告 (Instagram, Facebook)	-	22,749	1,253
『Art Fair Beppu 2024』	2024/9/20(金)～9/23(月)	開催概要	全国	Instagram	3,673	4,452	163
『文化観光事業』	2024/12/11(水)～12/27(金)	梅田哲也『O滞』映画上映イベント2024	全国	Instagram	35,182	25,305	1,108

※) 2024年3月31日現在

(6) その他の広告

地域の方々にリーチするために、以下広告を配信した。

事業	公開日・期間	内容	配信エリア	活用したメディア
「[ALTERNATIVE-STATE #7] Distorted『JIKU』#023 D-1 BEPPU」	2025/2/10(月)～2/23(日)	齋藤精一による作品設置の周知	別府市、日出町	CTBメディア とんぼチャンネルCM

(7) WebサイトおよびSNSでの情報発信

各メディアの主な情報発信の結果は以下の通りである。

公式Webサイト ※)

各事業の公式Webサイトにおいて、事業全般の情報を発信した。

事業	結果
『ベップ・アート・マンス2024』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (昨年度366日間)</p> <p>ユーザー数：8,204 (昨年度8,073)</p> <p>ページビュー数：31,207 (昨年度35,245)</p> <p>アクセス元の国：35ヶ国 (昨年度36ヶ国)</p> <p>・プログラム全体で6,653名が視聴した</p> <hr/> <p>日本、アメリカ、ドイツ、中国、イギリス、シンガポール、スウェーデン、香港、インドネシア、アイルランド、カナダ、オーストラリア、オランダ、台湾、韓国、ブラジル、フランス、ポーランド、タイ、フィンランド、ロシア、スペイン、オーストリア、ベルギー、インド、イタリア、マレーシア、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、フィリピン、セーシェル共和国、スリランカ、スイス、トルコからアクセスがあった。</p> <p>※) アクセス数の多い順に記載</p>

『ALTERNATIVE-STATE』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (昨年度366日間)</p> <p>ユーザー数：6,777 (昨年度5,141)</p> <p>ページビュー数：18,273 (昨年度7,499)</p> <p>アクセス元の国：40ヶ国 (昨年度31ヶ国)</p> <hr/> <p>日本、アメリカ、中国、シンガポール、アイルランド、スウェーデン、イギリス、ドイツ、台湾、韓国、香港、オランダ、オーストラリア、カナダ、フランス、インドネシア、南アフリカ、ハンガリー、タイ、ベトナム、オーストリア、フィンランド、ニュージーランド、フィリピン、ポーランド、ポルトガル、ブラジル、インド、ロシア、トルコ、ボリビア、チェコ、ギリシャ、イラン、マレーシア、パキスタン、ルーマニア、サウジアラビア、スペイン、セルビアからアクセスがあった。</p> <p>※) アクセス数の多い順に記載</p>
『Art Fair Beppu 2024』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (昨年度211日間)</p> <p>ユーザー数：14,273 (昨年度11,329)</p> <p>ページビュー数：52,410 (昨年度14,749)</p> <p>アクセス元の国：44ヶ国 (昨年度40ヶ国)</p> <hr/> <p>日本、アメリカ、中国、韓国、ドイツ、台湾、イギリス、スウェーデン、香港、アイルランド、シンガポール、カナダ、フランス、オランダ、オーストラリア、ポーランド、ニュージーランド、タイ、フィンランド、ブラジル、インドネシア、マレーシア、フィリピン、オーストリア、インド、イタリア、パキスタン、ベトナム、カンボジア、エジプト、スペイン、バングラデシュ、ベルギー、チェコ、デンマーク、ハンガリー、コソボ、メキシコ、ロシア、レユニオン、スリランカ、スイス、ウクライナからアクセスがあった。</p> <p>※) アクセス数の多い順に記載</p>

※) Googleアナリティクスによる解析結果を参照

※) アクセス元の国数は、Googleアナリティクスが何らかの理由でデータを取得できなかったことを意味する値「(not set)」を除く

Facebook

各事業のアカウントより、イベントの最新情報を発信した。

事業	結果
『ベップ・アート・マンス 2024』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2013年度開設、昨年度366日間)</p> <p>新規「いいね」数：5 (昨年度101、累計1,189)</p> <p>新規フォロワー数：16 (昨年度45、累計1,261)</p> <p>新規投稿数：33 (昨年度143、累計1,715)</p> <p>リーチ数：4,097 (昨年度8,965)</p>
『ALTERNATIVE-STATE』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2022年度開設、昨年度366日間)</p> <p>新規「いいね」数：35 (昨年度18、累計43)</p> <p>新規フォロワー数：54 (昨年度30、累計84)</p> <p>新規投稿数：93 (昨年度75、累計168)</p> <p>リーチ数：6,884 (昨年度7,345)</p>
『Art Fair Beppu 2024』	<p>期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2023年度開設、昨年度255日間)</p> <p>新規「いいね」数：10 (昨年度62、累計72)</p> <p>新規フォロワー数：49 (昨年度69、累計118)</p> <p>新規投稿数：122 (昨年度78、累計200)</p> <p>リーチ数：2,835 (昨年度1,410,000)</p>

※) アクティブユーザーの多いSNSの運用に専念するため、今年度は『TRANSIT MARKET』のアカウント (2023年度開設) は運用しなかった

※) 2024年12月より、Meta社がFacebookの主要指標を「閲覧数 (ビュー)」に統合したため「インプレッション数」の計測はしなかった

X (旧Twitter)

各事業のアカウントより、イベントの最新情報を発信した。

事業	結果
『ベップ・アート・マンス 2024』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2011年度開設、昨年度366日間) 新規ツイート数：28 (昨年度143、累計2,217) 新規フォロワー数：0 (昨年度21、累計1,233)
『ALTERNATIVE-STATE』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2022年度開設、昨年度366日間) 新規ツイート数：2 (昨年度31、累計105) 新規フォロワー数：0 (昨年度40、累計40)
『Art Fair Beppu 2024』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2023年度開設、昨年度245日間) 新規ツイート数：54 (昨年度72、累計126) 新規フォロワー数：30 (昨年度40、累計70)

Instagram

各事業のアカウントより、イベントの最新情報を発信した。

事業	結果
『ベップ・アート・マンス 2024』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2017年度開設、昨年度366日間) 新規投稿数：69 (昨年度136、累計952) 新規ストーリーズ投稿数：465 新規フォロワー数：174 (昨年度147、累計1,287)
『ALTERNATIVE-STATE』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2022年度開設、昨年度360日間) 新規投稿数：121 (昨年度118、累計239) 新規ストーリーズ投稿数：98 新規フォロワー数：267 (昨年度150、累計417)
『Art Fair Beppu 2024』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2023年度開設、昨年度256日間) 新規投稿数：133 (昨年度78、累計211) 新規ストーリーズ投稿数：395 新規フォロワー数：1,063 (昨年度510、累計1,573)
『TRANSIT MARKET』	期間：2024/4/1～2025/3/31 364日間 (2023年度開設、昨年度223日間) 新規投稿数：123 (昨年度45、累計168) 新規ストーリーズ投稿数：222 新規フォロワー数：219 (昨年度581、累計800)

※) Instagramにおいて、2024年12月よりハッシュタグのフォロー機能が廃止されたことから、ハッシュタグの重要度が低下したと判断し計測しなかった

(8) 海外への情報発信

各事業において、以下のとおり海外向けの情報発信をおこなった。

『ALTERNATIVE-STATE』

共同通信社によるサービス『PR WIRE』を使用し、主にアメリカに向けてプレスリリースを配信した結果、532件のメディアで記事が掲載された。

『Art Fair Beppu 2024』

韓国からの誘客を図るため、韓国メディア向けにプレスリリースを配信したほか、NAVERブログ『日本美大受験の専門アトリエ・モンリエ』に韓国語での記事の執筆及び掲載を依頼した。

2. メディア掲載実績ならびに広告換算

令和6年度混浴温泉世界実行委員会事業は新聞・テレビ・ラジオ・Webなどのメディアで、国内外合計808回の掲載・放送があり、広告換算額は111,482,591円となった。昨年度と比較すると、掲載件数は増加したものの、換算額については微減した。

(1) メディア掲載件数 (2024年4月～2025年3月)

(今年度事業 / 前年度事業) ※1)

メディア	全国 (回)	地方 (回) ※3)	海外 (回)	媒体合計 (回)
新聞	1/5	42/64	274/118	317/187
テレビ	0/0	7/17	184/188	191/205
ラジオ	5/1	4/2	0/0	9/3
雑誌・その他	12/6	9/10	31/37	52/53
Web・SNS ※2)	193/101	-	45/34	238/135
エリア合計	211/113	62/93	534/377	807/583

(2) 広告換算額

メディア	掲載・放送 (回)	換算金額 (円) ※4)
新聞	43	¥68,685,739
テレビ	7	¥45,283
ラジオ	9	¥3,241,075
雑誌・その他	21	¥10,384,166
Web・SNS	193	¥29,126,328
合計	273	¥111,482,591

※) 2025年3月31日現在 (集計：株式会社 ジャパン通信社)

※) 2024年度 広告換算合計額：118,766,347円

※1) 掲載・放送媒体件数は、令和6年度事業全てを合算した数字

※2) Web掲載件数はオリジナル記事に加えて、記事を転載したWebサイトも集計している

※3) 県内で取りあげられたニュースや再放送なども含む。また、掲載・放送実績が確認できているもののみ集計

※4) 海外メディアに掲載・放送されたものについては、広告換算額の算出が難しいため、換算金額に含まれていない

(3) 事業別内訳

『ベップ・アート・マンス 2024』	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	0	12	0	12	46%	¥11,918,071	65%
テレビ	0	3	0	3	150%	¥33,880	1%
ラジオ・インターネットラジオ	4	3	0	7	700%	¥1,591,075	-
雑誌・その他	0	3	0	3	60%	¥223,333	23%
Web・SNS	11	0	0	11	58%	¥1,658,820	98%
合計	15	21	0	36	69%	¥15,425,179	63%

※) 2024年度に実施した『ベップ・アート・マンス 2024』と比較

『ALTERNATIVE-STATE』	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	0	19	274	293	198%	¥32,037,956	56%
テレビ	0	2	184	186	62%	¥10,523	0%
ラジオ	0	1	0	1	-	¥858,000	-
雑誌・その他	7	1	31	39	91%	¥4,534,167	100%
Web・SNS	85	0	43	128	206%	¥15,434,099	348%
合計	92	23	532	647	117%	¥52,874,745	77%

※) 2024年度に実施した『ALTERNATIVE-STATE』と比較

『Art Fair Beppu 2024』	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	1	5	0	6	75%	¥5,282,691	76%
テレビ	0	0	0	0	0%	¥0	0%
ラジオ	0	1	0	1	33%	¥792,000	77%
雑誌・その他	7	3	0	10	333%	¥1,433,333	597%
Web・SNS	53	0	0	53	379%	¥4,382,697	303%
合計	61	9	0	70	233%	¥11,890,721	108%

※) 2024年度に実施した『Art Fair Beppu 2024』と比較

『TRANSIT MARKET』	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	0	2	0	2	67%	¥257,247	38%
テレビ	0	1	0	1	100%	¥880	0%
ラジオ	0	0	0	0	0%	¥0	-
雑誌・その他	0	1	0	1	100%	¥33,333	95%
Web・SNS	21	0	0	21	131%	¥5,099,926	377%
合計	21	4	0	25	119%	5,391,386	51%

※) 2024年度に実施した『TRANSIT MARKET』と比較

『文化観光事業』	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	0	0	0	0	0%	¥0	-
テレビ	0	0	0	0	0%	¥0	-
ラジオ	0	0	0	0	0%	¥0	-
雑誌・その他	1	0	0	1	-	¥0	-
Web・SNS	15	0	0	15	-	¥2,014,027	-
合計	16	0	0	16	-	¥2,014,027	-

※) 2024年度に実施した『文化観光事業』と比較

その他の事業	全国	県内 地方	海外	合計 (掲載件数)	昨年比 (掲載件数)	合計 (換算金額)	昨年比 (換算金額)
新聞	0	4	0	4	-	¥19,189,774	-
テレビ	0	0	0	0	-	¥0	-
ラジオ	0	0	0	0	-	¥0	-
雑誌・その他	1	1	0	2	-	¥4,160,000	-
Web・SNS	6	0	0	6	-	¥536,759	-
合計	7	5	0	12	-	¥23,886,533	-

※) 比較対象なし

(4) 今年度の主な掲載・放送メディアは以下の通り (順不同)

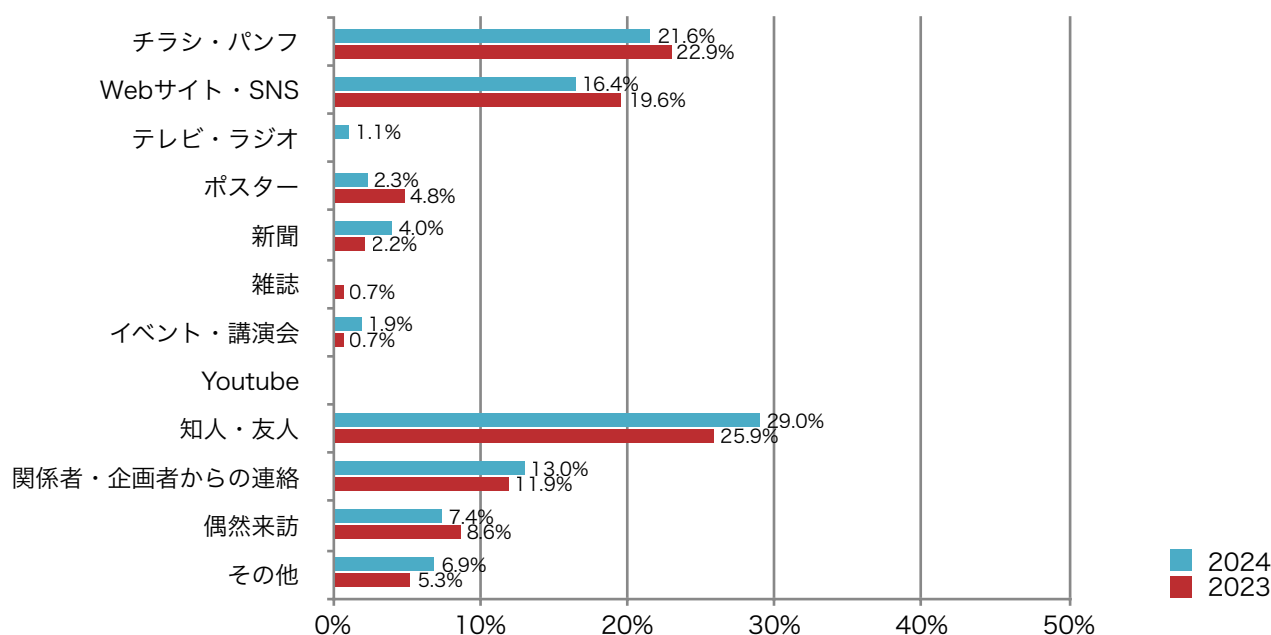
新聞	大分合同新聞、今日新聞、毎日新聞、西日本新聞、読売新聞、日本経済新聞
テレビ	CTBメディア
ラジオ	OBSラジオ、エフエム大分、ゆめのたね放送局
雑誌	25ans、Discover Japan、FIGARO Japon、Fortuna、JR九州 オフろう！、Kyushu Weekender、Pen、SWITCH、おんせん県おおいたの観光情報誌 ぐるり、九州じゃらん、月刊・シティ情報おおいた、月刊セーノ！、市報べっぶ、生活情報マガジンモグモグ、地域創造レター
Web	47 NEWS、ANOMALY、antenna、ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024、Artist Cafe Fukuoka、ARTNE、ArtSticker、ARUCO・DE・BEPPUホームページ、BIGLOBEニュース、Casa、d menu ニュース、DABURA.m Inc.、ekitan、ELLE、eltha、gooニュース、GREEニュース、HIMAWARI Style、Infoseek、KENCHIKU、kozakura、LINE NEWS、LOG OITA、madame FIGARO.jp、METROPOLIS、msn、NEWS CAFE、NEWS PICKS、OITA Drip.、OTONA SALONE、potari、PR TIMES、REGIONAL CAREER、SEKIGAWA KOHEI、SPREAD、SUNAO HORIKAWA、TOKYO ART BEAT、Tokyo Weekender、TRILL、Up&Coming、Wagjob's Travel holic、Yahoo!ニュース、アイエムinternet museum、いこーよ、ウォーカープラス、おおいた芸術文化の旅 OITA Art&Culture、クマ財団、こくちーずプロ、サードニュース、シティ情報ふくおかナビ、テッパン!おおいた、トレたび、ニフティニュース、ゆこゆこ、ライブドアニュース、るるぶWeb、わくわくとんぼビデオ、駅探、株式会社 いろいろ、紀伊民報AGARA、京都精華大学、九州旅ネット、個展ナビ、今日新聞、匠晴の宿 心庵、情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]、新・公民連携最前線、西日本新聞me、大分経済新聞、大分県観光情報公式サイト、大分県芸術振、大分合同新聞 Gate、読売新聞 オンライン、日本経済新聞、日本美大受験の専門アトリエ・モンリエ、日本旅行、梅田哲也:UMEDA TETSUYA、美術手帖 ウェブ版、福岡ふかばりメディア ささっとー、別大興産、別府たび、別府市、別府市公式観光情報Webサイト、毎日新聞、緑のgoo、六本木未来会議

※) 新聞・雑誌は出版社名ではなく媒体名で記載

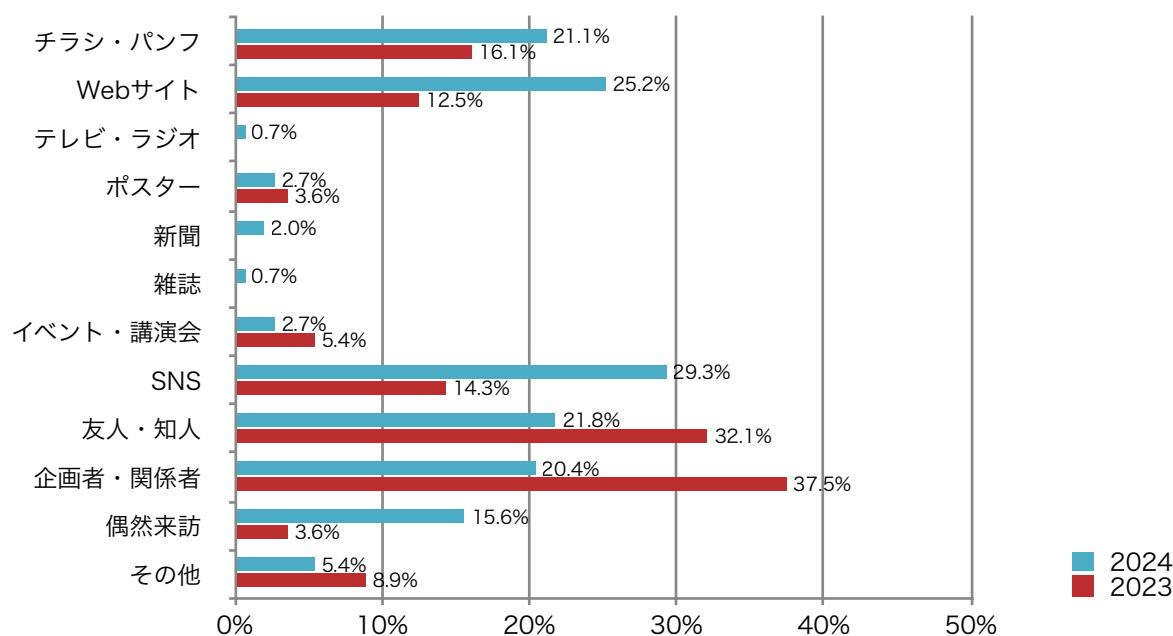
3. 来場者認知経路 (再掲)

今年度の各事業における来場者の情報認知媒体は、来場者アンケートによると以下の通りである。

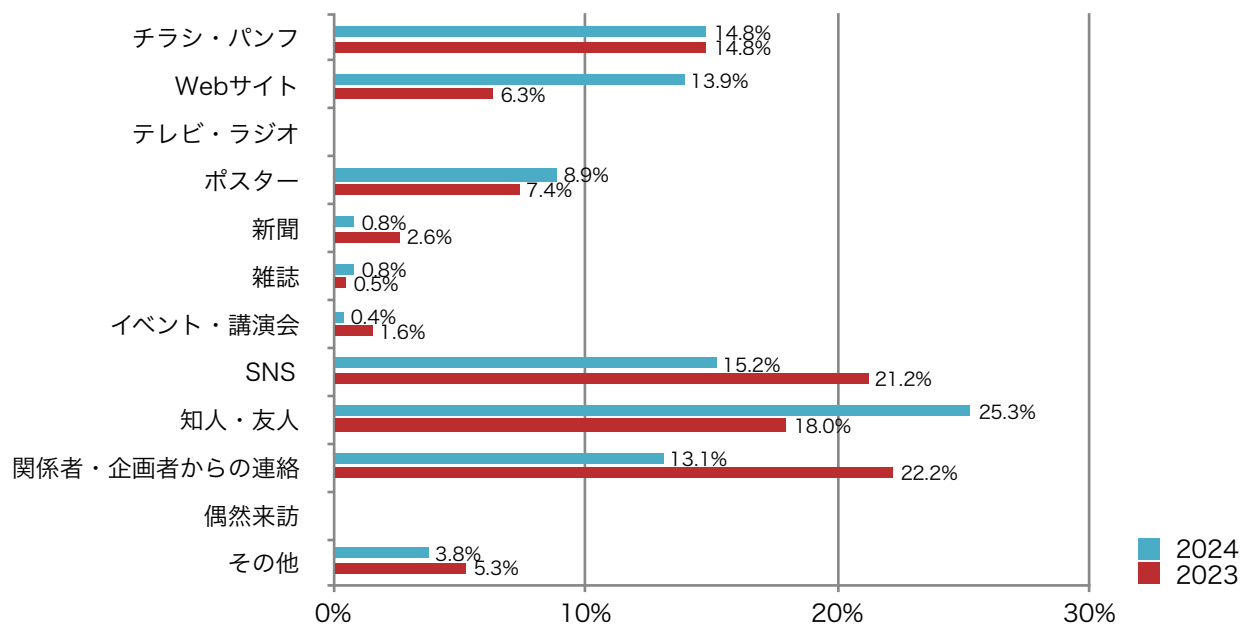
『ベップ・アート・マンス 2024』(このイベントをどこで知ったか?(複数回答可))



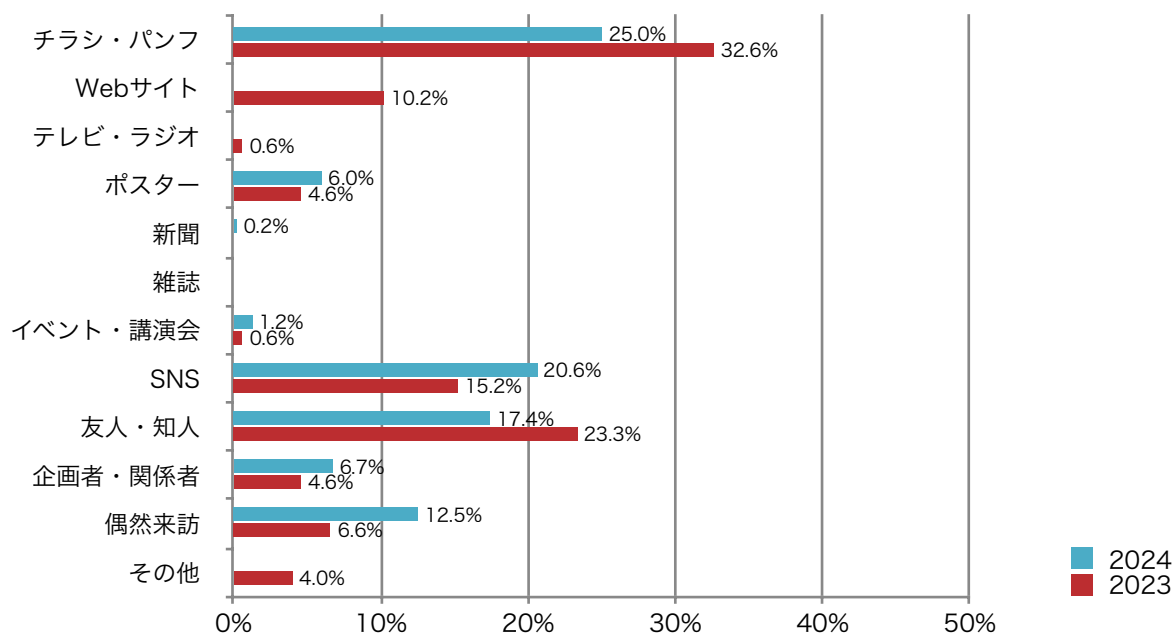
『ALTERNATIVE-STATE』(このイベントをどこで知ったか?(複数回答可))



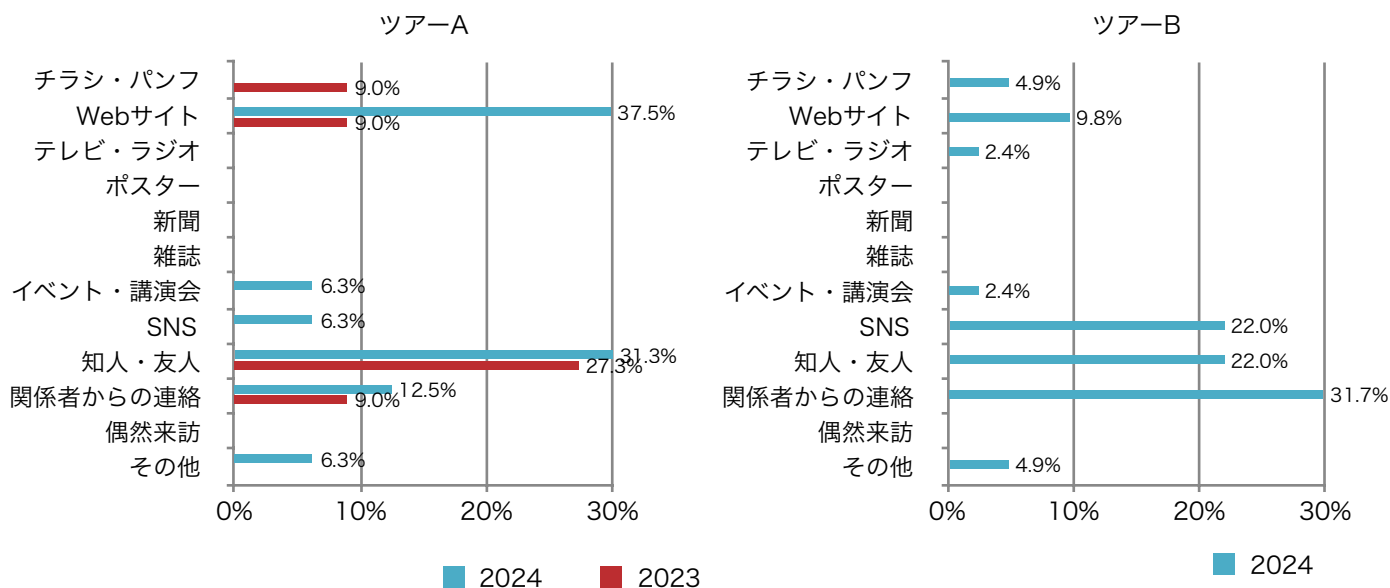
『Art fair Beppu 2024』(このイベントをどこで知ったか？(複数回答可))



『TRANSIT MARKET』(このイベントをどこで知ったか？(複数回答可))



『文化観光事業』（『文化観光ツアー』のことをどこで知ったか）



8-2. 観光消費額

1. 観光消費額

別府市観光・産業部観光課が作成した『2023年別府市観光動態要覧』に掲載されている1人あたりの消費額〈日本人宿泊客：28,061円、日本人日帰り客：5,595円、外国人宿泊客：32,456円、外国人日帰り客：5,492円〉をもとに算出すると、今年度は537,089,738円となった。

客数 (人)		1人当たりの消費額 (円)	消費額 (円)	合計 (円)
日本人日帰り客	15,960	5,595	89,296,200	537,089,738
日本人宿泊客	13,470	28,061	377,981,670	
外国人日帰り客	3,587	5,492	19,699,804	
外国人宿泊客	1,544	32,456	50,112,064	

2. 地域内消費額

来場者の地域内での実質的な消費額を見るために、事務局独自の算出方法を下記のように設定した。

日帰り	交通費500円+飲食代2,000円+お土産代2,000円=4,500円
1泊2日	宿泊費7,000円+交通費2,000円+飲食費5,000円+お土産代3,000円=17,000円
2泊3日	宿泊費14,000円+交通費2,000円+飲食費10,000円+お土産代3,000円=29,000円
3泊4日	宿泊費21,000円+交通費2,000円+飲食費15,000円+お土産代3,000円=41,000円

上記の設定をもとに算出した各事業の地域内消費額は、523,963,500円となった。昨年度事業の地域内消費額は460,742,750円であり、今年度は63,220,750円増加した。

	客数 (人)		1人当たりの消費額 (円)	消費額 (円)	合計 (円)
『ベップ・アート・マンス 2024』 (A)	日帰り	13,403	4,500	60,313,500	98,014,500
	1泊	350	17,000	5,950,000	
	2泊	248	29,000	7,192,000	
	3泊	599	41,000	24,559,000	
『ALTERNATIVE-STATE』 (B)	日帰り	2,781	4,500	12,514,500	383,409,500
	1泊	3,469	17,000	58,973,000	
	2泊	4,859	29,000	140,911,000	
	3泊	4,171	41,000	171,011,000	
『Art Fair Beppu 2024』 (C)	日帰り	2,201	4,500	9,904,500	27,488,500
	1泊	347	17,000	5,899,000	
	2泊	123	29,000	3,567,000	
	3泊	198	41,000	8,118,000	
『TRANSIT MARKET』 (D)	日帰り	1,429	4,500	6,430,500	13,036,500
	1泊	83	17,000	1,411,000	
	2泊	83	29,000	2,407,000	
	3泊	68	41,000	2,788,000	
『文化観光事業』 (F)	日帰り	73	4,500	328,500	2,014,500
	1泊	52	17,000	884,000	
	2泊	22	29,000	638,000	
	3泊	4	41,000	164,000	
観光消費額合計					523,963,500

【客数の算出方法】

※) 例年であれば各事業の会期が同時期であるため、事業間での来場者の重複を考慮し、消費額を算出するが、今年度の事業は会期、内容ともに事業ごとの独自性が高いため、昨年同様、重複来場者の控除はおこなわなかった。

(A)…『ベップ・アート・マンス 2024』の参加者数43,154名のうち、オンライン参加者数6,653名を除いた、36,501名をもとに算出。

$36,501 \div 2.5$ [※1] $\approx 14,600$ 名

※1) 2.5はアンケートをもとに算出した『ベップ・アート・マンス 2024』の1名あたりの平均参加プログラム数。客数は小数点以下を四捨五入した。

(B)…『ALTERNATIVE-STATE』の総来場者数18,739名から、2作品で重複していると考えられる3,444名を除いた15,280名をもとに算出。アンケート結果を参照し、宿泊／日帰りの比率から泊数ごとの客数を計算。

(C)…『Art Fair Beppu 2024』の来場者2,514名+関連プログラム等の参加者356名=2,870名をもとに、アンケート結果の宿泊／日帰りの比率から泊数ごとの客数を計算。小数点以下は四捨五入した。

(D)…『TRANSIT MARKET』の参加者数1,660名アンケート結果の宿泊／日帰りの比率から泊数ごとの客数を計算。小数点以下は四捨五入した。

(E)…『文化観光事業』の参加者151名をもとに、アンケート結果の宿泊／日帰りの比率から泊数ごとの客数を計算。小数点以下は四捨五入した。

第9章 収支状況

収支としては、120,274,099円の収入に対して、120,274,099円の支出となり、収支差額0円となった。

1. 収入

負担金	大分県	¥10,000,000
	別府市 (文化庁補助金を含む)	¥90,000,000
	実行委員会参画団体	¥5,640,000
助成金		¥343,000
協賛金		¥2,030,000
グッズ販売費		¥154,118
作品等代金預かり金		¥10,286,045
参加費・入場料等		¥1,653,688
その他		¥167,248
計		¥120,274,099

2. 支出

ベップ・アート・マンス 2024	¥6,921,897
ALTERNATIVE-STATE	¥39,496,842
Art Fair Beppu 2023	¥43,355,983
マルシェ・クリエイターズマーケット	¥3,693,297
文化観光ツアー	¥2,861,867
事務局運営費	¥20,879,706
広報費等	¥3,064,507
計	¥120,274,099

3. 収支差額

収入	¥120,274,099
支出	¥120,274,099
収支差額	¥0

10-1. 評価結果のポイント

『ベップ・アート・マンス (BAM) 2024』『ALTERNATIVE-STATE (AS)』『Art Fair Beppu (AFB) 2024』『マルシェ・クリエイターズマーケット (TRANSIT MARKET)』『文化観光事業』から構成される2024年度の混浴温泉世界実行委員会事業の実績を踏まえて、事業評価をおこなった。

評価システムとしては、バランス・スコアカード (Balanced Scorecard=BSC。詳細後述) を採用し、①地方創生、②顧客、③ステークホルダー、④財政、⑤マネジメントの5つの視点から評価をおこない、そこから得た教訓と提言をまとめている。本節ではBSCに基づく評価結果のポイントのみを示し、詳細については次節以降で説明する。

バランス・スコアカードによる評価結果のポイント

視点	評価結果
地方創生の視点	<p>実行委員会事業に初参加した人の比率は56%で目標 (60%) をやや下回ったが、新たな別府ファンの獲得に一定の貢献をしたといえる。別府市内のさまざまな文化プログラムに訪れてみたいと思った人の比率は95%で目標 (75%) を大きく上回った。ただし、別府市内に移住・定住したアーティスト・クリエイターの人数 (累計数) は82人で、目標 (86人) を下回った。</p> <p>別府市以外の県内自治体も訪れた人の比率は41%となり目標 (55%) を大きく下回ったため、文化観光の広域化の動向について今後、注視を要する。総宿泊客数に占める2泊以上の宿泊客の比率は48%となり目標 (65%) を下回った。</p> <p>来場者の別府市再訪意欲はきわめて高い (99%) が、「アートの町・別府」の認知度は73%で目標 (85%) を下回った。</p>
顧客の視点	<p>市民参加については、『BAM』に留学生やインターナショナルスクールなどさまざまな国籍の人が参加した企画が複数登録された。青少年の参加については、『AFB』で県内学生向けに無料招待券を設定したところ、127名の応募があった。『BAM』でもプログラム企画者として複数の大学から参画があった。こうした取り組みの結果、『BAM』および『TRANSIT MARKET』の来場者満足度91% (前年度93%、目標90%) と高い水準を維持した。</p> <p>国内メディア掲載件数276件 (前年度206件、目標230件)、海外メディア掲載件数532件 (前年度377件、目標50件)、SNSフォロワー数19,930件 (前年度17,613件、目標18,000件) は目標を達成し、別府の魅力を広域に発信することができた。ただし、メディア露出広告換算合計額111百万円は前年度 (118百万円) 並で目標 (270百万円) を下回った。</p>
ステークホルダーの視点	<p>『BAM』に今回、新規に登録した団体は36団体 (前年度36団体、目標45団体) であった。『BAM』登録者のうち、最近1年間で地域活動に参画した人の比率は69%で、前年度 (64%) を上回ったが目標 (90%) には至らなかった。</p> <p>今年度は『AFB』『TRANSIT MARKET』を開催したことで、国内外の新進気鋭のアーティストや、地元の若手アーティスト・クリエイターに出展・活動の場を提供することができた。ボランティアについては今後、『AS』作品の管理・清掃を目的とした組織化が求められる。</p>
財政の視点	<p>事業収支については、予算の確保はできたが、県市の負担金以外の財源については、グッズ収入などで目標を下回った。</p>

マネジメントの視点	『BAM』『AS』『AFB』『TRANSIT MARKET』『文化観光事業』といった多様な事業を実施するうえで、情報共有については毎週1回、事務局全員でのミーティングを実施したが、全体的に長い就業時間が続いており、さらなるIT化を含めて労働環境の改善が求められる。作品制作のためのリサーチや会場探し、広報・周知などで実行委員会の協力を得ることができたが、委員会、展覧会、イベントへの委員の出席率は目標を大きく下回ったため、事業への関心やコミットの度合いを高める工夫が必要である。外部人材については、制作やマネジメント業務を委託できる県内クリエイター・アーティスト、プロフェッショナル人材、通訳・翻訳が可能な人材計196人（目標182人）とのネットワークを構築・活用して事業に当たっている。
教訓と提言	2024年度の『AFB』の来場者数2,870人は目標4,200人を下回った。2025年度目標は前年度実績を踏まえつつも、規模を拡大しての本格実施となることから3,400人に設定しており、会場を「ビーコンプラザ」へ移すことで認知度やアクセスの向上を図り、より多くの観光客・市民の誘客を図ることが重要である。 2024年度の『BAM』では、企画者間の交流や情報発信を深化させることで、事務局対応への評価は、前年度の83.5%から94.7%に向上した。

10-2. 評価のフレームワーク

1. 評価の対象

混浴温泉世界実行委員会（以下、実行委員会）が主催者となって実施する事業『混浴温泉世界実行委員会事業（以下、実行委員会事業）』を評価対象とする。2024年度の実行委員会事業は、『ベップ・アート・マンス（BAM）2024』『ALTERNATIVE-STATE』『Art Fair Beppu（AFB）2024』『マルシェ・クリエイターズマーケット（TRANSIT MARKET）』『文化観光事業』から構成される。

2. 評価の位置づけ

今回の事業評価は、中間評価である。

実行委員会事業は2022年度に、2022～2025年度を対象期間とした実行委員会事業の評価システムを設計した。評価システムは、2017～2021年度を対象期間とする第1期のバランス・スコアカード（後述）の総括評価を踏まえて作成した第2期のバランス・スコアカード（以下、BSC）である。この評価システム設計は、実行委員会事業が生み出す成果を年度ごとに評価するための方法論をあらかじめ設定するものであり、事業の事前評価であると位置づけられる。

こうして新たに設計された第2期BSCに基づき、2022～2024年度の各年度終了後に中間評価を、2025年度終了後に事後評価をおこなうことを想定する。

今回は、2024年度実行委員会事業の実績を踏まえて、計画2年目の中間評価をおこなうものである。

3. 評価の主体

実行委員会事業に対する評価は、大分県芸術文化スポーツ振興財団 アドバイザー 三浦宏樹による第三者評価として実施する。大分県、大分県立芸術文化短期大学、大分県芸術文化スポーツ振興財団の3者は、コンソーシアム（共同事業体）型組織として、2016年6月にアーツ・コンソーシアム大分を設立した。

従来から大分県では、民間団体や有識者との協働のもと、彼らの知見・ネットワークを活用し、効果的・効率的な文化施策の推進に努めてきた。一方で、これらの取り組みにおける評価や民間資金獲得の手法などに関する調査研究については、実施ができていなかった。

アーツ・コンソーシアム大分は、こうした問題意識を踏まえて、大分県内で実施されるアートプロジェクトに対する評価手法の検討と試行をおこない、それらの成果をまとめた『評価と文化ハンドブック』を2018年度に公開した。実行委員会事業の評価システムは、アーツ・コンソーシアム大分の研究成果を踏まえて構築されたものであり、その事務局長を務めていた三浦宏樹（日本評価学会認定評価士）が、今年度も評価実務を担当する。

評価者は、アカウンタビリティの観点から評価としての厳格さを保ちつつも、評価結果が実行委員会事業に有効に活用され、学び・改善の契機となるよう、事務局スタッフらから評価プロセスに積極的に参画させる参加型評価（Participatory Evaluation）を実践することとした。特に、実行委員会事業が、アートという新たな価値を創出するイ

ノバージョンであることを踏まえて、こうした事業の評価に向くとされる発展的評価 (Developmental Evaluation)[*]の考え方を採り入れた。

[*] 発展的評価の詳細については平成30年度アーツ・コンソーシアム大分構築計画実績報告書「文化と評価ハンドブック」第5章を参照。

10-3. 評価システムの概要

1. バランス・スコアカードとは何か

実行委員会は、2011年度の『BAM』以降、BSCの考え方を導入した評価を始めている。BSCは、ロバート・S・キャプランとデビッド・P・ノートンが考案した企業の業績評価・戦略経営支援システムである。民間企業の業績評価では伝統的に、損益財政という「財務の視点」が重視されていたのに対して、キャプラン&ノートンは、この「財務の視点」に加えて「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」もあわせて総合的に業績評価をおこなうことが重要だと説いた。そして、組織の業績を総合的にみるこうした手法は、利益追求を目的としない公的組織の経営や評価にも役立つとの考え方から、内外の行政機関や非営利組織でも検討・導入がなされた経緯がある。実行委員会は、こうしたマネジメント志向の評価システムの導入に積極的に取り組んできたところである。

2. 混浴温泉世界型バランス・スコアカードについて

2016年度の評価に際して、実行委員会ならびに事務局のBEPPU PROJECTからは、従来のBSCに満足することなく、さらなる高度化を図りたいとの問題意識が寄せられた。これまでのBSCは、ステークホルダーに対して実行委員会事業の業績を分かりやすく伝達する仕組み、すなわちアカウンタビリティ確保を主目的とした業績評価システムとしては、一定の役割を果たしてきたと判断される。しかし、事業の経営基盤を強化し、事務局スタッフや関係人材の成長を促す、戦略経営支援システムとしてはいまだ不十分だというのだ。

来場者数や経済波及効果は、事業の実施年だけで完結するものであり、こうした短期的・定量的な効果だけでなく、中長期的・定性的な効果も重視すべきである。また、経済波及効果の多寡だけでは「文化になぜ投資するのか」という問いに答えることができない。東京オリンピック・パラリンピックが催される2020年以降も、実行委員会事業が自立性、持続可能性を高めてレガシー（未来に継承される財産）となっていくには、BSCの各視点において、人材の成長と経営基盤の強化にフォーカスした目標設定と、定期的なモニタリング、業務改善が求められる。

このため実行委員会は、2016年度の『in BEPPU』（目 In Beppu）を実証実験と位置づけ、その実績を踏まえて実行委員会事業のビジョンの再定義と、BSCの基礎となる戦略マップ (Strategy Map) の作成をおこなった。

こうしたビジョンと戦略マップを踏まえて2017年度にBSCの作成をおこなった。BSCは、戦略目的ごとに「目指すべき具体的な姿」を定め、その達成度を測定する業績評価指標 (Key Performance Indicator=KPI) を選んで、目標値を設定したものである。計画期間は、2016年度実績を起点として、東京オリンピック・パラリンピックにともなう国の文化プログラム重点実施期間である2020年度までとして、年度ごとに達成すべき目標値を設定した。なお、戦略目的1つに対して、目指すべき具体的な姿、KPIは1つとは限らず、複数の指標を設定する場合もある。

このBSCは上記のとおり、2020年度を最終年度として事後評価をおこない、2021年度を初年度とする第2期BSCの策定を予定していた。しかしコロナ禍のなか、次期計画の方向性を見通しがたいため、最終年度を1年間延長して2021年度に事後評価（「混浴温泉世界実行委員会 令和3年度事業報告書」掲載）をおこなったところである。

第1期BSCの事後評価を踏まえて、2022年度に第2期BSCの策定をおこなった。

1. ビジョンの改訂

実行委員会事業のビジョンは、次のとおりである。

ビジョン 「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」の実現

全国的な観光地であり、戦災を免れ外国人が多い地域性を活かした多様な文化の取り組みと、地域資源を融合させた事業によって、新たな魅力の造成と市民意識の醸成を図るとともに、携わる人材が生き生きと活躍し続ける、市民中心都市・別府の実現を目指す。

【芸術振興】優れた作品の鑑賞機会充実と若手作家の応援

- ・別府ならではの手法を開発し、この場でしか体験できない作品を紹介
- ・次代を担う若手作家を発掘し応援するための企画を実践する

【観光推進】観光地別府の新たな魅力発信事業として活用

- ・アートという国際的な共通語＝感覚的な価値によって全国に魅力を発信
- ・新たな魅力発信によって若年層女性客など交流人口の“多様化”を目指す

【人材育成】多様な事業の現場を学びの場として活用

- ・事業を推進する人材を育成。今後のまちづくり従事者として成長
- ・多様な価値を広く紹介することで青少年の健全育成に繋げる

【地域活性】文化芸術を地域活性化の核として活用

- ・空き家を整備しクリエイターのニーズに合わせた移住促進を図る
- ・様々な活動を通して地域経済の活性化や新規産業創出に寄与する

こうしたビジョン自体は第1期BSCから変更していない。実行委員会は、市民文化祭や地域特性を活かしたアートプロジェクトの開催を通じ、全国に向けて別府市の魅力を発信してきたことで、メディア露出の増加や来街者の多様化が進み、別府市・大分県のブランド力向上に寄与してきた。

しかし、その効果がイベント開催時に留まるなど限定的、かつ国際的な認知度がまだ高いとは言えない現状や、コロナ禍を経験し疲弊する地域において、実行委員会のビジョン及び実現に向けたプロセスは踏まえつつ、レジリエンスの強化やさらなる発展に繋げるため計画の見直しが求められている。

こうした背景を踏まえて、事業目的を次のとおりに重点化した。

事業目的 別府市への「興味喚起の促進」と「参加・関係意識の醸成」を図る取り組みによって、ブランドロイヤルティ^[**]を向上。別府市が世界の文化的目的地へと成長することを目指す。

こうした事業目的を踏まえて、2025年度に向けて次のような将来像を目指す。

① 国内外のアート関係者のみならず、来街者へ恒常的に訴求し続ける

新たな作品の設置や多様な事業の展開によって、別府の新たな魅力がメディアやSNSを通じて国内外に発信・拡散され、来街者にとって魅力的で有益な情報が常に発信されていることを目指す。

② これまで以上に、幅広い層が関わる

アートに限らず、食や工芸、デザインなど様々なものづくりに携わる人々、また国内外の富裕層・コアなアートファンなどが参画・交流する場を創出し、クリエイターなどの移住の増加を目指す。

③ 別府市を訪れた人が、別府市を拠点に大分県全域を周遊する。

別府を訪れた人が、別府を拠点に長く滞在したり、何度も訪れたりしながら、大分県各地を巡る。別府が大分県や九州の文化観光の入り口となることを目指す。

2. 戦略マップの改訂

民間企業の場合は中長期的な利益の最大化が重要なため、BSCの4視点のなかでも財務の視点を最終目標に置く。これに対し、公的機関や非営利組織は、利益追求が目的ではないため、最終目標としてミッションやビジョンに関する視点を新たに加えることが多い。実行委員会事業では、この5番目の視点を「地方創生の視点」としている。また標準的BSCの「学習と成長」「業務プロセス」「財務」「顧客」の4視点についても、より実態にあわせて「マネジメント」「財政」「ステークホルダー」「顧客」とした。標準的BSCの「学習と成長」「業務プロセス」を「マネジメント」に統合し、「ステークホルダー」を新たに項目立てしたかたちである。

戦略マップは、BSCの5つの視点ごとに複数個の戦略目的を設定し、目的間の因果関係を矢印で結んだマップである。

【地方創生の視点】別府における諸課題の解決

戦略目的：別府市への参加・関係意識の醸成／他地域との連携による滞在時間の増加／別府市のブランドロイヤルティの向上

【顧客の視点】文化芸術や地域資源を活用した新たな魅力の創出

戦略目的：市民にとって間口の広い事業の充実・強化／国際的に発信力の高い事業の創出／発信強化による興味喚起の促進

【ステークホルダーの視点】創造都市プラットフォームの造成

戦略目的：地域内の創造的人材の増加／文化芸術の担い手の育成・支援／文化芸術団体との連携／海外機関との連携／行政機関・企業・団体との連携／ボランティアの関わりしるの拡大

【財政の視点】財政基盤の確立

戦略目的：基礎的財源の獲得／協賛金・助成金の獲得／収入源の多様化

【マネジメントの視点】実行体制の確立・強化

戦略目的：実行委員会体制の強化／事務局体制の強化／外部人材の発掘・ネットワーク構築・活用

地方創生の視点における戦略目的は、第1期BSCでは、地域のまちづくり人材の育成／別府の新たな魅力の創出・発信／集客交流人口の多様化／他地域との連携による滞在時間の増加／創造的人材の移住促進の5つであった。

これに対して第2期BSCでは、ビジョンで提示した将来像「これまで以上に、幅広い層が関わる」「別府市を訪れた人が、別府市を拠点に大分県全域を周遊する」「国内外のアート関係者のみならず、来街者へ恒常的に訴求し続ける」を踏まえて、別府市への参加・関係意識の醸成／他地域との連携による滞在時間の増加／別府市のブランドロイヤルティの向上の3つに整理した。

また、第1期BSCではボランティアをマネジメントの視点に位置づけていたが、ボランティアは単なる労働力ではなく、互いに共感しあって成長していくパートナーであるとの考えから、ステークホルダーの視点に組み換えた。

3. バランス・スコアカードの改訂

BSCは、以上のビジョンと戦略マップを踏まえ、戦略目的ごとに「目指すべき具体的な姿」を定め、その達成度を測定するKPIを選んで、目標値を設定したものである。

BSCの計画期間は、2022～2025年度の4年間を対象期間とする。この期間には大分県内で、2022年の「東アジア文化都市2022大分県」、2024年春の「福岡・大分デスティネーションキャンペーン」など文化芸術振興やカルチャーツーリズム推進において重要なイベントが相次ぐほか、最終年度の2025年には大阪・関西万博が開催される。そうしたなかで実行委員会事業がどう成長していくかを示すことが重要である。

評価者は、スタッフと丁寧に議論・検討していくことが不可欠と考え、2022年7～8月にかけて全3回構成のBSCワークショップを開催し、スタッフ参加型でBSCの改訂をおこなった。そうした作業を経て9月の実行委員会において第2期BSC案の報告をおこない、その場で出た指摘を踏まえて若干のブラッシュアップをおこなった。そのうえで、2023年5月の実行委員会に、完成したBSCと、計画期間初年度となる2022年度実績の評価結果をあわせて報告し、公表をおこなったところである。

第1期BSCではKPIが71指標を数えたが、第2期BSCを策定する過程で、重要な指標の絞り込みをおこない、48指標を選定している。

[**] ブランドロイヤリティとは、そのブランドへの忠誠度や愛着度、信頼度のこと。ブランドロイヤリティが高いほどファンが多くつくことになり、リピーターの割合も高まる。また、ブランドに強い愛着を持つ消費者は、自発的に周囲に宣伝してくれることも多く、新規顧客の獲得にも繋がりがやすいといわれる（競合他社へ流れてしまう可能性を低下させる）。独自性による他社・他地域との差別化・継続性が信頼を向上させる。

バランス・スコアカード業績評価指標 (KPI) の指標数の変化

視 点	戦略目的	第 1 期BSC	第 2 期BSC
地方創生の視点	別府市への参加・関係意識の醸成	4	4
	他地域との連携による滞留時間の増加	1	2
	別府市のブランドロイヤリティの向上	7	2
	小 計	12	8
顧客の視点	市民にとって間口の広い事業の充実・強化	4	4
	国際的に発信力の高い事業の創出	3	3
	発信強化による興味喚起の促進	9	4
	小 計	16	11
ステークホルダーの 視点	地域内の創造的人材の増加	9	4
	文化芸術の担い手の育成・支援	2	2
	文化芸術団体との連携	1	1
	海外機関との連携	1	1
	行政機関・企業・団体との連携	5	3
	ボランティアの関わりしるの拡大	3	1
	小 計	21	12
財政の視点	基礎的財源の獲得	1	1
	協賛金・助成金の獲得	4	3
	収入源の多様化	3	2
	小 計	8	6
マネジメントの視点	実行委員会体制の強化	2	2
	事務局体制の強化	7	6
	外部人材の発掘・ネットワーク構築・活用	5	3
	小計	14	11
合 計		71	48

※ 第 1 期BSCと第 2 期BSCでは戦略目的やKPIの構成が一部異なるため、この表は第 2 期BSCの体系で示したうえで、第 1 期の戦略目的・KPIを第 2 期体系で一番近い項目に整理している。

4. バランス・スコアカード設計の発展的評価としての特色

さて、BSCの設計を「発展的評価」として実施したと申しあげたが、それは具体的にどうしたことなのかを説明したい。発展的評価とは、著名な評価コンサルタントであり、全米評価学会会長をはじめ評価関連の要職を歴任したマイケル・クイン・パットンが提唱した評価の考え方である。この発展的評価が国内外で注目を集めている背景には、世間に溢れる数多くの評価が、評価指標の機械的な収集と大部な評価調書の作成が自己目的化した「評価のための評価」になってしまい、せっかくの評価結果が、評価対象事業者にも資金提供者にも十分活用されていない現状がある。こうした現実への反省を踏まえて発展的評価は、評価としての厳格さは保ちつつも、事業者が事業運営・組織経営にその結果を活かせる実用重視の評価を目指す。そのために発展的評価は、大まかに整理して①複雑な現実世界への適応、②事業者に寄り添う伴走評価という2つの特色を持つ。

①複雑な現実世界への適応

従来型の評価では、事業が終わってから初めて、計画どおりの成果が出ているか否かを検証する場合が多い。しかし、現実の世界は複雑で、事業を実施しているあいだにも、周りの経済社会環境は常に変化していくため、こうしたタイプの評価では事業の改善・革新の役に立たない。このため発展的評価では、事業をめぐる変化を適切に捉え、その事実や意味合いをリアルタイムで事業者にフィードバックし、彼らのイノベーションを促進することを目指す。

②事業者に寄り添う伴走評価

発展的評価においては、定型的な評価データの収集だけではなく、事業に生じるさまざまな変化の芽を的確かつタイムリーに把握することが求められる。そのため評価者は、事業が実施される現場に赴き、スタッフをはじめステークホルダーとチームを組んで評価をおこなう「参加型評価」を実践する。このため評価者には、伝統的な評価技法に加えて、ワークショップ運営などのファシリテーション技術が求められる。また、こうした取り組みにはしばしば、事業者と長期的に関係を継続することが必要になる。

評価者は、こうした発展的評価の考え方を十分意識して、BSC設計に取り組んだところである。ビジョン、戦略マップを踏まえつつ、それらが実行委員会事業の現場でいかなる意味を持つかを、事務局スタッフが参加するワークショップで議論していった。さらに、その場での意見や気づきを評価者側で整理して、リアルタイムでのフィードバックを心がけ、スタッフにとって納得感のあるBSCとなることを目指した。代表理事がトップダウンでBSCを示すのではなく、スタッフ1人ひとりの意識の醸成・改革を大事にして、単にタスクを機械的に消化するための道具ではなく、スタッフにとって「活動の心得」「道しるべ」となるBSCをつくらうとした。

ただ、ここで疑問を持つ方もいるかもしれない。BSCは、多数のKPIを設定して定量的な目標管理をおこなうもので、ある意味、計画経営の権化ともいえる手法である。一方で発展的評価は、事業が置かれた状況が様変わり (develop) し、予想もしないさまざまな問題が勝手気ままに起きる (これを創発性=Emergenceと呼ぶ) なかで、事業者の意思決定を継続的かつリアルタイムで支援するものである。ならば、BSCと発展的評価は、水と油の関係なのではないか？

結論から言えば、決してそうではない。そもそも、この事業に限らずアートプロジェクトというものは——ストレートに言えばアーティストという存在は、創発性の塊である。アートとは新たな価値を不断に創出していくプロセスであり、ある種のイノベーションといえる。このため、事前に100%を計画することは困難だし、あえて強行すれば、予定調和なありきたりの成果しか生まない。しかし一方で、アートプロジェクトには会期や予算が決められている。それらを守ったうえで、最終的に実現を図るべきビジョンが存在している。

ここで、アーティストとスタッフの関係を、小説家や漫画家と、担当編集者のそれになぞらえてみると分かりやすいかもしれない。作家の意向に最大限寄り添い執筆を支援するのが編集者の仕事だが、その挙げ句、雑誌のメ切を破り原稿が落ちてしまっても元も子もない。作家に自由に創作してもらうためにこそ、編集部にはマネジメントが必要になるのだ。

すなわち、創発性重視の発展的評価と計画性重視のBSCとは、アートプロジェクトの戦略経営を図るうえで車の両輪といえる。アートという創発性・革新性が鍵となる実行委員会事業を支えるBSCの設計を、発展的評価を用いて支援したのがこの取り組みということになる。

5. 別府モデルの普及に向けて

こうした別府の業績評価・戦略経営支援システムがモデルとして県内や全国に広がり、どんどん活用してもらいたいと実行委員会では考えている。さらにこのモデルが、地域住民や自治体はもちろん国に対しても、文化へ投資をおこなう意義・効果を説明し、文化政策を推進するためのアドボカシー (政策提言) ツールとしても機能することを期待している。もちろん、小規模なアートプロジェクトの場合、実行委員会事業と同じスペックでBSCを導入するのは難しいだろう。しかし、文化による豊かな地域社会を創造するうえでは、アートが本質的に持つ創発性と真摯に向き合う必要がある。

そのためには、社会的インパクト評価が軸足を置きがちな成果（アウトカム）の事前／事後評価にとどまらず、マネジメントのプロセスを継続的かつリアルタイムで評価してイノベーションにつなげていく必要がある。そうした観点からは、ミッション、ビジョン（地方創生の視点）、受益者（顧客の視点）、関係者（ステークホルダーの視点）を見据えつつ、それと並行してプロセス（マネジメント、財政の視点）の適否や課題をあわせて評価する『混浴温泉世界型BSC』のフレームワークは、アートプロジェクトの評価システムとして広く応用が利くものと考えている。

10-5. バランス・スコアカードの改訂

第1段階として、BSCの改訂の要否について、事務局・評価者間で検討をおこなった。その結果として、戦略マップなどのBSCの大枠や、現在48指標を設定しているKPIそのものの変更は不要との結論に至った。現行のKPIの体系は変えずに、そのうちの6の指標（定量指標6、定性指標0）について、今年度の実行委員会事業の計画が具体化したことにもない、2024年度目標値のアップデートをおこなうにとどめた。

具体的には次の表のとおりである。

業績評価指標 2024年度 目標の改訂

No.	業績評価指標	2024年度 目標	
		改訂前	改訂後
9	県内アーティスト・クリエイターが関わる現場の造成を通して、彼らを育成【累計値】	27人	36人
10	人材（プロジェクトマネージャー、インストラクター、Web制作者、ライター、カメラマン、映像制作、PRなど）の調査・ネットワーク構築・定期的な仕事の提供【累計値】	83人	110人
11	県内のマネジメント人材（留学生含む）の調査・仕事の提供を通し育成【累計値】	28人	36人
16	負担金以外の収入の割合の上昇	10%	13%
44	別府市内に移住・定住したアーティスト・クリエイターの人数【累計数】	60人	86人
46	来場者アンケートのうち、大分県内の別府市以外の自治体を訪問した人の比率の増加(他自治体を訪問した人数/県外からの訪問者数)	30%	55%

2024年度の実行委員会事業の実績を踏まえて、第2期BSC計画期間3年目の中間評価をおこなう。それぞれのKPIについての詳しい計画・実績対比は、本書巻末に掲載している。以下では、BSCの5つの視点に掲げる戦略目的ごとに、評価結果の概要を記していく。

1. マネジメントの視点：実行体制の確立・強化

(1) 実行委員会体制の強化

この項目では、各実行委員が事業の目的や内容を深く理解し、参画するそれぞれの組織へ事業内容を浸透させ、事務局スタッフだけではリーチしにくい業務内容について実行委員が関わり進めていくことを目指している。

各実行委員に対して、作品制作のためのリサーチの際の情報提供、会場探し、作品制作アルバイト募集、事業の広報・周知などで相談をおこない、その協力を得た。しかしながら、会議や各展覧会・イベントなどへの委員の出席率は65%となり、目標（90%）を大きく下回った。8月の実行委員会が台風で書面決議となったことが一因だが、近年新たに委員に就任した委員を中心に、事業への関心やコミットの度合いを高める工夫が必要である。

(2) 事務局体制の強化

この項目では、情報が常に共有され誰が従事しても安定した質の業務遂行が図られること、事業規模に関わらず自ら考え事業をより効果的・効率的に遂行できるプロジェクトマネジメント組織に成長すること、スタッフ全員がやりがいを持っていきいきと働けることを目指している。

今年度事業は、前年に引き続き『ベップ・アート・マンス (BAM) 2024』『ALTERNATIVE-STATE (AS)』『Art Fair Beppu 2024 (AFB)』『マルシェ・クリエイターズマーケット (TRANSIT MARKET)』『文化観光事業』からなる盛りだくさんの内容であった。こうしたなかでスタッフは、新たな価値を創出しようとするアーティストのチャレンジ、イノベーションに寄り添い、その実現をサポートすることが求められる。一方で、実行委員会のスケジュールや予算は決まっており、BEPPU PROJECTが手がける他事業との調整が求められることも多い。そのために、事業の進行管理と情報共有が必要不可欠である。アートプロジェクトのマネジメントには、非定型で臨機応変な対応を求められるクリエイティブな業務が多いが、そこに投じる時間を捻出するためにも、定型化できる仕事については、マニュアル化・効率化を図ることが望ましい。

事務局内部の情報共有については、前年度に引き続き毎週1回の全員ミーティングを実施している。オンラインツールの活用についても、これまでどおりサイボウズやgoogle、Slackを活用し、情報共有をおこなっているが、より効率的な業務遂行・情報共有のために、AIの活用や出張報告のオンライン共有などのさらなるIT化が求められる。マニュアル化については今年度、新たにインターンシップや視察の受入実績に関するリストを作成し、事務局内で共有したが、未だ十分とは言えず、さらなる情報の整理・プロセスの明確化・共有が必要である。

プロジェクトマネジメントについては、事業の統括が担えるリーダーの育成が重要であり、こうした役割を担えるリーダーは累計7人（前年度6人、目標7人）となった。さらに、事業遂行のための資金確保には、助成金の申請書を作成できるスタッフの育成も重要だが、こうしたスキルは全職員のうち73%が獲得済みで、目標（75%）をおおむね達成した。研修については、引き続き大分県立美術館友の会の展覧会招待券を職員の自己研鑽に活用したほか、『AFB』出展者の発掘に全正職員で取り組み、そのための視察や調査を各々が自発的におこなうことで成長の機会となった。

労働環境については、全体的に就業時間が長い状態が続いており、2025年度に向けて、雇用や労働環境のあり方の改善を図るべきである。

(3) 外部人材の発掘・ネットワーク構築・活用

この項目では、制作やマネジメント業務を委託できる人材が県内に複数生まれること、マネジメント・設営・記録・広報などプロフェッショナル人材とのネットワーク構築、通訳・翻訳が可能な人材とのネットワーク構築を目指している。こうした人材に仕事を提供することを通じて、彼らを育成していくことが重要である。

現在、制作やマネジメント業務を委託できる県内クリエイター・アーティスト42人、プロフェッショナル人材114人（プロジェクトマネージャー、インストラクター、Web制作者、ライター、カメラマン、映像制作、PRなど）、通訳・翻訳が可能な人材40名（いずれも累計人数）とのネットワークが生まれており、目標（それぞれ36人、110人、36人）を達成した。

2. 財政の視点：財政基盤の確立

(1) 基礎的財源の獲得

この項目では、負担金などの適切な予算の確保を目指している。

今年度の事業収支については、予算の確保はできたが、負担金以外の確保について予算を下回り課題が残った。

(2) 協賛金・助成金の獲得

この項目では、企業との信頼関係構築による協賛・助成の獲得を目指している。

協賛金・助成金については、230万円を獲得しており、前年度水準(210万円)、目標値(220万円)とともに上回ったが、新規の申請・営業件数は7件となり目標(8件)には至らなかった。

(3) 収入源の多様化

この項目では、基礎的財源である負担金以外にも複数の収入の柱をつくることを目指している。

負担金以外の収入の割合は12.17%となり、前年度水準(12.34%)、目標(13%)並であったが、このうちグッズは販売開始が遅れた結果、販売額は15万円となり、目標(110万円)を大きく下回った。

3. ステークホルダーの視点：創造都市プラットフォームの造成

(1) 地域内の創造的人材の増加

この項目では、アーティストや愛好者だけでなく多くの市民が文化活動に携わること、さらにそうした文化活動をおこなう人材が主体的にまちづくりに参画することを目指している。

『BAM』に今回、新規に登録した団体は36団体であり、前年度水準(36団体)を維持したが、目標(45団体)には至らなかった。事務局では、こうした新規団体をはじめ『BAM』に登録するプログラム企画者への情報提供、自発的交流の場として『BAMをつくろう会』を定期的に開催しており、今年度の参加人数は49人となり目標(45人)を達成した。

『BAM』の来場者のうち、今回は企画者側で参加したいと思った人の比率は38.5%であり、前年度水準(37.7%)、目標(40%)をおおむね維持している。

なお、『BAM』登録者のうち、最近1年間で地域活動に参画した人の比率は69%と前年度(64%)を上回ったものの、目標(90%)には至らなかった。

(2) 文化芸術の担い手の育成・支援

この項目では、若手アーティスト・クリエイターの発表の場をつくることや、県内外で広域的にアートマネジメント人材が成長することを目指している。

今年度は2回目の『AFB』を出展者数を増やして開催したことで、国内外の新進気鋭のアーティストが多数出展する機会を造成することができた。『TRANSIT MARKET』を開催し、主に地元の若手アーティスト・クリエイターに発表の場を提供することができた。さらに、清島アパート居住者の成果展を中心市街地の複数の会場にて開催したほか、別府に縁のある新進気鋭のアーティスト・クリエイターを紹介する『transition』シリーズの2回目の展覧会を実施することができた。

アートマネジメント人材育成については、大分県立芸術文化短期大学、九州産業大学、金沢美術工芸大学、京都芸術大学、立命館アジア太平洋大学(APU)から計16名(前年度5名)のインターンを受け入れたほか、金沢美術工芸大学からは、約1週間の展示の実践を伴う研修を受け入れた。県外からの視察については、8件・66名(前年度5件・70名)の視察を受け入れた。

(3) 文化芸術団体との連携

この項目では、県内の既存文化芸術団体・施設との協力体制の構築を目指している。

今年度は、大分県立美術館、別府市美術館、大分市美術館など県内の各美術館をはじめ、ギャラリーやアートスポットから、事業の周知の協力を得た。特に、HAJIMARI Beppuや北浜租界など、近年新たにできたアートスポットと連携して事業を実施したり、情報共有を図るなど、協力関係を構築しながら業務を遂行した。また、別府市竹細工伝統産業会館やビーコンプラザなどの市内の文化関連施設とも連携して事業を実施した。

(4) 海外機関との連携

この項目では、海外関係者との交流が進み、別府が日本におけるアートの先進地と評価されることを目指している。

今年度は、レジデンス事業においてインドネシア、フィリピンからアーティストを招聘した。広報面では、PR WIREを経由してアメリカにプレスリリースを配信したほか、『AFB』について、韓国の美術関係機関に案内状を送信するとともに、韓国人ブロガーを通じてプロモーションを図るなど、別府へのインバウンドが多い韓国に向けて重点的に広報活

動をおこなった。『AFB』には、公募枠で台湾からのアーティストが参加したほか、清島アパートでの滞在について海外のアーティストから複数の問い合わせや申請があるなど、海外のアーティストに別府のアート情報が伝わりつつある。

(5) 行政機関・企業・団体との連携

この項目では、自治体における文化芸術の必要性が向上し果たす役割が担当課以外にも拡大されること、企業における文化芸術の価値が向上し具体的な動きが起こること、各種団体における文化芸術の理解が進みそれぞれが創造的な連携をおこなう下地がつくられることを目指している。

行政機関との連携については、別府市の公園緑地課、産業政策課、秘書広報課、農林水産課、観光課、教育政策課、温泉課、政策企画課（別府市制100周年記念事業）などと連携し、場所・材料の提供や各事業の周知において協力を得た。別府市以外では、福岡・大分デスティネーションキャンペーンに関連して、大分県の商工観光労働部 観光局 観光誘致促進室および大分県デスティネーションキャンペーン実行委員会 事務局と協働した。その他にも、大分県中部振興局（サステナブル・ガストロノミー推進事業）と協働したほか、イベントの周知のために各自治体の多数の部署の協力を得た。

『文化観光事業』では、ツーリズムおおいたより、ツアーの周知・販売、韓国の観光市場やプロモーションに関する情報提供などで協力を得た。さらに、大分県庁「飛び出せ公務員」のプログラムにおいて、3名の職員の研修を受け入れた。

企業との連携については、ツアーの企画・実施や情報発信において、地域の観光関連の事業体と連携して実施することができた。大分経済同友会からは、各事業の周知において協力を得たほか、同友会からの『AFB』への視察の受け入れをおこなった。市内のホテル・旅館に対する各事業の周知において、別府市旅館ホテル組合連合会の協力を得た。特に『AFB』では、市内8軒の宿泊施設と連携し、パートナーホテルとして協力を得た。『AS』の作品設置において、多数の企業・商店・商店街組合等から協力を得た。市内の多数の旅館、温泉、飲食店等より、『BAM』の会場提供や各事業のリサーチの受け入れ、作品設置において協力を得た。

各種団体との連携については、今年度の『AS』は作品設置場所が広範囲に及んだため、多数の自治会より事業内容や説明会参加の周知において協力を得た。南部エリアの自治会やひとまもり・まちまもり協議会、温泉部会等より、各事業の周知において協力を得た。さらに、大分大学、別府大学、別府溝部学園短期大学にて授業をおこない、本事業の意義や内容を含めた講義をおこない、事業の周知や理解の促進を図ることができた。

(6) ボランティアの関わりしるの拡大

この項目では、ボランティアが事業の目的や内容をよく理解し、活動にやりがいを感じながら参加できるように、ボランティアとの定期的な情報共有・コミュニケーションを図ることを目指している。

今年度も引き続き、主にメールマガジンを通じてボランティアに関する情報提供をおこなった。事務所に定期的にさまざまな作業に従事するボランティア2名が、年間を通じて活動した。その他にも『BAM』において、広報用パンフレットの折込作業やポスターの折り作業にボランティア8名が参加した。また、ボランティアがポッドキャスト番組の録音・配信において技術協力をおこなった。今後、特に『AS』作品の管理・清掃を目的に、ボランティアの組織化に向けた検討を始めている。

4. 顧客の視点：文化芸術や地域資源を活用した新たな魅力の創出

(1) 市民にとって間口の広い事業の充実・強化

この項目では、市民や青少年にとって参加しやすく、体験してよかったと思える事業を実施することを目指している。今年度も、各事業において、広報物などの日英併記に努めた結果、外国人の参加者数が増加した。『AS』の齋藤作品のオープニングイベントに「東北ユースオーケストラ」を招聘し、地元高校の吹奏楽部の生徒たちも鑑賞した。『BAM』に留学生やインターナショナルスクールなどさまざまな国籍の人が参画した企画が複数登録された。文化観光事業において、別府在住の複数の韓国人の方がガイドとして参画した。

青少年の関わりしるの拡大については、『AFB』で県内学生向けに無料招待枠を設定したところ、127名の応募があった。また『BAM』の企画者として、大分県立芸術文化短期大学・日本文理大学・別府大学・APUの学生が参加した。実行委員会事業以外に事務局が手がけた事業としては、大分市の「おおいたデザイン・エイド2024」に多くの高校生・大学生が参加した。

『BAM』の来場者数目標の達成率は189%と前年度（184%）並となり、『BAM』『TRANSIT MARKET』の満足度も91%で目標（90%）、前年度水準（93%）並となった。

(2) 国際的に発信力の高い事業の創出

この項目では、作品展示において国際的に評価の高いアートプロジェクトとして位置づけられることを目指している。国際的な発信力のある作品として『AS』の新作2作（累計6作品）を市内に展開することができ、来場者数目標の達成率は134%となった。一方、『AFB』の来場者数目標の達成率は68%に止まった。

(3) 発信強化による興味喚起の促進

この項目では、アート関係者のみならず、来街者へ恒常的に訴求し続けることを目指している。

国内メディア掲載件数は276件で、前年度水準（206件）、目標（230件）をともに上回った。一方で、メディア露出広告換算合計額は、前年度（118百万円）並の111百万円となり、目標（270百万円）に達しなかった。海外メディア掲載件数532件は急拡大して、前年度水準（377件）、目標（50件）を大きく上回って推移しており、2025年度目標値は実態に合わせて上方修正すべきである。SNSのフォロワー数19,930件も、目標（18,000件）を達成している。

5. 地方創生の視点：別府における諸課題の解決

(1) 別府市への参加・関係意識の醸成

この項目では、これまで以上に幅広い層が関わること、アーティスト・クリエイターの移住者が増加することを目指している。

来場者アンケートにおいて「初めて参加した」と回答した人の比率は56%で目標（60%）をやや下回った。マルシェ・アートフェアの企画者・出店者として初めて参加した人の比率は73%となり、目標（75%）をおおむね達成した。

また、別府市内のさまざまな文化プログラムを訪れてみたいと思った人の比率は95%で目標（75%）を大きく上回った。別府市内に移住・定住したアーティスト・クリエイターの人数（累計数）は82人となり、目標（86人）を下回った。

(2) 他地域との連携による滞留時間の増加

この項目では、別府を訪れた人が、別府を拠点に大分県各地を周遊することを目指している。

来場者アンケートによれば、別府市以外の県内自治体も訪れた人の比率は41%となり目標（55%）を大きく下回った。

『BAM』を中心に各事業で比率が低下しており、今後の推移について注視を要する。総宿泊客数に占める2泊以上の宿泊客の比率は48%となり目標（65%）を下回った。

(3) 別府市のブランドロイヤルティの向上

この項目では、別府市が文化観光の目的地として認知されることを目指している。

来場者アンケートにおいて「別府市にまた来たい」と回答した人の比率は99%で、前年度水準（95%）並を維持し、目標（70%）を達成した。一方で、「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」という認知度は73%で、前年度水準（75%）並で推移したが、目標（85%）は下回った。

6. 教訓と提言

(1) 『AFB』の本格実施

『AFB』のプレ事業の来場者数は、2023年度2,250人、2024年度4,200人の目標値に対して、実績はそれぞれ2,615人、2,870人で、初年度は目標を達成したが、2年目は未達となった。2025年度の目標値は前年度実績を踏まえつつも、規模を拡大しての本格実施となることから3,400人に設定している。

2025年度の『AFB』は、会場を臨海部から市中心部の「別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ」へ移しており、イベント会場として市民の認知度が高く、交通アクセスの利便性も高い。こうした立地条件を活かして、より多くの観光客・市民の誘客を図ることが重要である。

(2) 『BAM』への評価

2024年度の『BAM』では、広報強化のための新たな企画として、プレイベント『バム・ジャンボリー!』を商店街アーケード内というオープンな場で開催し、一般の方々も鑑賞できるようにするとともに、終了後に懇親会も実施することで、企画者同士の交流の場にもなった。また、前年度の『BAMを考える会』で意見が出た「スタンプラリー」の有志自主企画による実施や、ゆめタウン別府での広報活動にも取り組んだ。ネットの活用としては、企画者がプログラムをPRする場としてラジオを収録しInstagramとYoutubeで配信する『BAM Radio!!』や、企画者に『BAM』関連情報を発信するLINEオープンチャット『BAMをはなそう会』を実施している。こうした取り組みもあってか、事務局対応への評価は、前年度の83.5%から94.7%に向上した。

「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」実現に向けたビジョン[2022-2025]

ビジョン：「観光地型・文化芸術創造都市としての別府」の実現

全国的な観光地であり、戦災を免れ外国人が多い地域性を活かした多様な文化の取組みと、地域資源を融合させた事業によって、新たな魅力の達成と市民意識の醸成を図るとともに、携わる人材が生き生きと活躍し続ける、市民中心都市・別府の実現を目指す。

【芸術振興】優れた作品の鑑賞機会充実と若手作家の応援

- ・別府ならではの手法を開発し、この場でしか体験できない作品を紹介
- ・次代を担う若手作家を発掘し応援するための企画を実践する

【観光推進】観光地別府の新たな魅力発信事業として活用

- ・アートという国際的な共通語＝感覚的な価値によって全国に魅力を発信
- ・新たな魅力発信によって若年層女性客など交流人口の“多様化”を目指す

【人材育成】多様な事業の現場を学びの場として活用

- ・事業を推進する人材を育成。今後のまちづくり従事者として成長
- ・多様な価値を広く紹介することで青少年の健全育成に繋げる

【地域活性】文化芸術を地域活性化の核として活用

- ・空き家を整備しクリエイターのニーズに合わせた移住促進を図る
- ・様々な活動を通して地域経済の活性化や新規産業創出に寄与する

背景

市民文化祭や地域特性を活かしたアートプロジェクトの開催を通じ、全国に向けて別府市の魅力を発信してきたことで、メディア露出の増加や来街者の多様化が進み、別府市・大分県のブランド力向上に寄与してきた。しかしその効果がイベント開催時に留まるなど限定的、かつ国際的な認知度がまだ高いとは言えない現状や、コロナ禍を経験し疲弊する地域において、実行委員会のビジョン及び実現に向けたプロセスは踏まえつつ、レジリエンスの強化やさらなる発展に繋げるため計画の見直しが求められている。

事業目的

別府市への「興味喚起の促進」と「参加・関係意識の醸成」を図る取組みによって、ブランドロイヤリティ※1を向上。別府市が世界の文化的目的地へと成長することを目指す

※1 そのブランドへの忠誠度や愛着度、信頼度のこと。ブランドロイヤリティが高いほどファンが多くつくことになり、リピーターの割合も高まる。

また、ブランドに強い愛着を持つ消費者は、自発的に周囲に宣伝してくれることも多く、新規顧客の獲得にも繋がります(競合他社へ流れてしまう可能性を低下させる)。独自性による他社・他地域との差別化・継続性が信頼を向上させる。

事業内容

イベント時以外に訪れた来街者への訴求が足りない

インパクトが別府市内に限定されている

恒常的に鑑賞可能な作品を市内各所に設置し発信力を強化する

別府市が、恒常的にアート体験ができる町となるよう、新たな観光資源・回遊の道標を造成する。「in BEPPU」の後継企画として、2022年から25年にかけて、毎年2作家による合計8つの作品を市内各所に点在させる。それらはキュレーションコンセプトに基づき選ばれた、国際的にもしくは将来が期待されるアーティストが手がける作品。別府市制100周年記念事業の一環として位置づけ推進したい。

アーティスト等の関わりしるを創出し移住者増加に繋げる

別府市への参加・関係意識の醸成および興味喚起の促進を図る『ベップ・アート・マンズ』『マルシェ+クリエイティブ マーケット』『アーティスト・イン・レジデンス』『アートフェア』(2024年よりプレ事業開始/25年から毎年実施)を展開。関わりしるを拡大する4つの事業によって、別府市がアーティストやクリエイターの活動の場として成長。他のハード整備事業等と連携する。

広域的な連携によるカルチャーツーリズムを推進する

市内のアート鑑賞のみならず、県内各地域の史跡、建築、食文化等と連携する別府発着のツアー型商品＝カルチャーツーリズムを展開。体験価値を高める特別な提供方法を開発し、別府市のブランドロイヤリティ向上に寄与するとともに、大分県・九州の文化観光の入口へと成長させる。2024年の「JRDC」や25年の「大阪万博」開催に向け準備を進める。

目指す姿

① 国内外のアート関係者のみならず、来街者へ恒常的に訴求し続ける

アート作品の設置や多様な事業の展開によって生まれる新たな別府の魅力を、メディアやSNSを通じて恒常的に国内外に発信・拡散。来街者にとって有益な情報を適切に届けることを目指す。

② これまで以上に、幅広い層が関わる

アートに限らず、食や工芸、デザインなどさまざまなものに携わるクリエイター、国内外のコレクターやギャラリーが参画・交流する場を創出し、クリエイター等の移住の増加を目指す。

③ 別府を訪れた人が、別府市を拠点に大分県全域を周遊する

「大分県の文化観光の入口」として別府の認知が広がり、県内各地の文化資源を巡るための拠点となることによって、滞在日数やリピーターの増加を目指す。

KPI(2025年度の目標値)

- ・国内メディア露出広告換算合計額 300百万円
- ・海外メディア掲載件数 55件
- ・SNSフォロワー数 20,000件
- ・各事業に「初めて参加した」と回答した人の比率 60%
- ・企画者・出店者として初めて参画した人の比率 50%
- ・別府市に移住・定住したアーティスト・クリエイターの人数 100名
- ・2泊客以上の宿泊客の比率 65%
- ・大分県内の別府市以外の自治体を訪問した人の比率 30%
- ・「別府にまた来たい」と回答した人の比率 75%

文化芸術創造都市の実現に向けたプロセス

産 創造的人材による化学反応＝産業の創出

↑ 創造的人材が出会い地域に化学反応を起こすことで新たな産業が創出

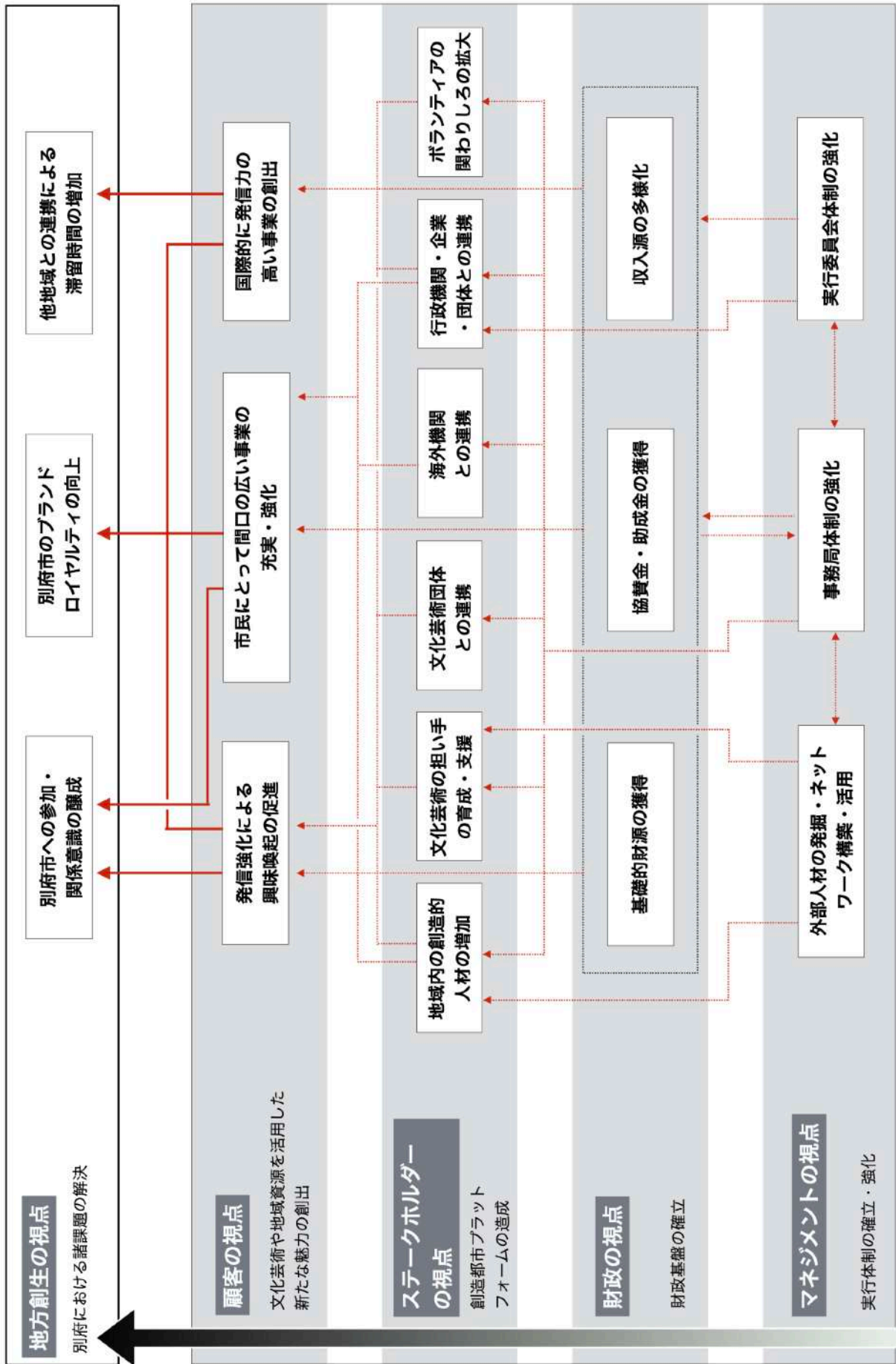
人 創造的人材を受入れる政策＝人材の誘致

↑ イメージが良くなった街に受入れ・発着力の高い人材が集まりやすい

場 創造的事業でイメージ向上＝魅力の発信

↑ アートが持つ国際言語＝感性価値によって都市のイメージ向上・発信

バランス・スコアカード 戦略マップ[2022-2025]



バランス・スコアカード[2024]

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
マ ネ ジ メ ン ト の 視 点 ： 実 行 体 制 の 確 立 ・ 強 化	実行委員 会体制の 強化	各委員が事業 の目的や内容 を深く理解 し、参画する それぞれの組 織へ事業内容 を浸透させ、 事務局スタッ フだけではリ ーチにくい 業務内容につ いて実行委員 が関わり進め ていく	1	会議や各展覧 会・イベント等 への委員の出席 率	B	定量	インプット	%	83	90	65
			2	業務内容ごとに 関係する各委員 が積極的に関わ る	B	定性	インプット	-	作品制作のための リサーチの際の情報 提供、会場探し、 作品制作アルバ イト募集、事業の 広報・周知などで、 各委員に相談し、 協力いただいた。	事業内容に 合わせて委員 と事務局 が活発に相 談・協議	作品制作のためのリサー チにおける情報提供、会 場探し、作品制作アルバ イト募集、事業の広報・ 周知などで、各委員に相 談し、協力いただいた。
	事務局体 制の強化	情報が常に共 有され、誰が 従事しても安 定した質の業 務遂行が図ら れる	3	リアルとオンラ インを効果的に 活用し、情報共 有を進める	B	定性	インプット	-	・オンラインツール として、これまでど おりサイボウズ、 google、Slack等 を活用し、情報共 有をおこなった。 事業により新たに ラインワークスや スクフォームなどを 導入するなど、より 効果的なアプリ の活用を試行してい る。	活用・ブラ ッシュアッ プ	・昨年に引き続き、情報 共有の場として、毎週1 回事務局全員でのミーテ ィングを実施した。 ・オンラインツールとし て、これまでどおりサイ ボウズ、google、Slack 等を活用し、情報共有を おこなっているが、より 効率的な業務遂行・情報 共有のために、さらなる IT化が必要である。
			4	マニュアル・雛 形書類の作成に よる作業の平準 化（企画提案 や、決定までの プロセスの明確 化を含む）	B	定性	インプット	-	・今年度新たに 「外部人材リスト」 を作成し、制作や 受付、通訳のアルバ イト等を依頼でき る候補者リストを作 成し、事務局で共 有した。 ・連携・協力を依 頼した行政の部署 に関するリストを作 成し共有した。	導入・活 用・ブラ ッシュアッ プ	・今年度新たにインター ンシップや視察の受入実 績に関するリストを作成 し、事務局内で共有して いる。 ・それ以外にも、これま で作成してきたマニユ アルやリストを活用しなが ら業務を遂行している が、未だ十分とは言え ず、更なる情報の整理・ プロセスの明確化・共有 が必要である。

視 点	戦略目的	目指すべき具体的な姿	No.	業績評価指標	成長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
マ ネ ジ メ ン ト の 視 点 ： 実 行 体 制 の 確 立 ・ 強 化	事務局体制 の強化	事業規模に関 わらず、自ら 考え、事業を より効果的・ 効率的に遂行 できるプロジ ェクトマネジ メント組織に 成長する 事業規模に関 わらず、自ら 考え、事業を より効果的・ 効率的に遂行 できるプロジ ェクトマネジ メント組織に 成長する	5	事業の統括が担 えるリーダーの 育成【累計値】	A	定量	インプット	人	6	7	7
			6	助成金の申請書 を作成できるス タッフの比率	B	定量	インプット	% (構 成比)	81	75	73
			7	スタッフが自ら を成長させるた めの機会提供・ 仕組みづくり	B	定性	インプット	-	・ 大分県立美術館 『びびの会』制度 の展覧会招待券を 職員の自己研鑽に 活用した。 ・ 『Art Fair Beppu 2023』(以下 『AFB2023』とす る)の出展者の発 掘を全正職員で取 り組み、そのため の視察や調査を 各々が自発的にお こなうことで成長 の機会となっている。	活用・ブラ ッシュアップ	・ 昨年度に引き続き、大 分県立美術館『びびの 会』制度の展覧会招待券 を職員の自己研鑽に活用 した。 ・ 『Art Fair Beppu』 (以下『AFB』とする)の 出展者の発掘を全正職員 で取り組み、そのための 視察や調査を各々が自発 的におこなうことで成長 の機会となっている。
		スタッフ全員 がやりがいを持 っていきいきと働 いている	8	労働環境の改善	C	定性	インプット	-	新規事業に取り組 んだこともあり、 全体的に就業時間 が前年度より長く なっており改善でき なかった。業務の 効率化とともに、 適切な人数の職員 の配置、外部人材 の活用が必要であ る。	実態の把握、改善	全体的に就業時間が長い 状態が続いており改善に 至らなかった。来年度に 向けて、雇用や労働環境 のあり方を変化させるべ く、専門家とともに制度 の見直しを検討した。
	外部人材 の発掘・ ネットワ ーク構 築・活用	制作やマネジ メント業務を 委託できる人 材が県内に複 数生まれる	9	県内アーティスト・クリエイ ターが関わる現場 の造成を通し て、彼らを育成 【累計値】	B	定量	インプット	人	31	36	42
		マネジメント・設 営・記録・広報等 プロフェッショ ナル人材とのネ ットワークが 構築される	10	人材（プロジェ クトマネージャ ー、インストー ラー、Web制作 者、ライター、 カメラマン、映 像制作、PRな ど）の調査・ネ ットワーク構 築・定期的な仕 事の提供【累計 値】	A	定量	インプット	人	100	110	114
		通訳・翻訳が 可能な人材と のネットワー ク構築	11	県内のマネジメ ント人材（留学 生含む）の調査・仕 事の提供を通し 育成【累計値】	B	定量	インプット	人	34	36	40

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
財 政 の 視 点 ： 財 政 基 盤 の 確 立	基礎的財 源の獲得	負担金など適 切な予算の確 保	12	2025年度までの 適切な予算の確 保	D	定性	インプット	-	適切な予算を確保 できた。今年度は 新たに観光庁の補 助金を獲得でき た。	予算の確保	予算の確保はできたが、 負担金以外の確保につい て予算を大幅に下回り課 題が残った。
	協賛金・ 助成金の 獲得	企業と信頼関 係が構築さ れ、協賛・助 成を得ること ができる	13	県内の10万円以 上の大口協賛・ 助成金の企業の 増加 【協賛・助 成金合計額/物 的協賛を含む】	B	定量	インプット	万円	210	220	230
			14	県外企業への協 賛・助成金等営 業活動(目標＝1 社あたり50万円 以上) 【物的協賛 を含む】	A	定量	インプット	社	2	4	3
			15	新規の申請・営 業件数	A	定量	インプット	社	2	8	7
	収入源の 多様化	負担金以外に も複数の収入 の柱がある	16	負担金以外の収 入の割合の上昇	C	定量	インプット	%	12.34	13	12.17
			17	グッズ販売額	C	定量	インプット	万円	23	110	15
ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 ： 創 造 都 市 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 造 成	地域内の 創造的人 材の増加	アーティスト や愛好者だけ でなく、より 多くの市民が 文化活動に携 わる	18	ベップ・アー ト・マンス新規 登録者の増加 (新規登録団体数)	D	定量	直接アウト カム	団体	36	45	36
			19	運営者育成に向 けた、ベップ・ アート・マンス をつくる会へ の参加人数の増 加	A	定量	直接アウト カム	人	34	45	49
			20	ベップ・アー ト・マンスの来 場者のうち、次 回は企画者側で 参加したいと思 った人の比率	D	定量	直接アウト カム	% (構 成比)	37.7	40	38.5
		文化活動を行 う人材が主体 的にまちづく りに参画する	21	ベップ・アー ト・マンス登録 者のうち、最近1 年間で地域活動 に参画した人の 比率の増加	D	定量	最終アウト カム	% (構 成比)	64	90	69

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 : 創 造 都 市 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 造 成	文化芸術 の担い手 の育成・ 支援	若手アーティ スト・クリエイ ターの発表 の場をつくる	22	若手アーティ スト・クリエイ ターが発表する企 画の実施	B	定性	直接アウト カム	-	<ul style="list-style-type: none"> ・『AFB2023』を新たに開催、国内外の新進気鋭のアーティストが多数出展した。 ・『TRANSIT MARKET』『まっばらマルシェ』を開催し、主に地元の若手アーティスト・クリエイターに発表の場を提供することができた。 ・清島アパート居住者の成果展を本格開催したほか、別府に縁のある新進気鋭のアーティスト・クリエイターを紹介する『transition』シリーズを新たにスタートした。 	企画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の『AFB』を出展者数を増やして開催し、国内外の新進気鋭のアーティストが多数出展した。 ・『TRANSIT MARKET』を開催し、主に地元の若手アーティスト・クリエイターに発表の場を提供した。 ・清島アパート居住者の成果展を中心市街地の複数の会場にて開催したほか、別府に縁のある新進気鋭のアーティスト・クリエイターを紹介する『transition』シリーズの2回目の展覧会を実施した。
		県内外で広域的にアートマネジメント人材が成長する	23	アートマネジメント人材育成・支援のための企画の実施	B	定性	直接アウト カム	-	<ul style="list-style-type: none"> ・契約、会計・税務、知的財産等をテーマとしたマネジメント講座を開催した。 ・大分県立芸術短期大学および福岡女子大学から計5名のインターンを受け入れた。 ・県外から5件(70名)の視察を受け入れた。 ・昨年度に引き続き、金沢美術工芸大学から約1週間の展示の実践を伴う研修を受け入れる予定であったが、学生に新型コロナウイルス感染者が出たためオンラインレクチャーのみおこなった。 	講座など育成プログラムの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県立芸術短期大学、九州産業大学、金沢美術工芸大学、京都芸術大学、APUから計16名のインターンを受け入れた。 ・県外から8件(66名)の視察を受け入れた。 ・金沢美術工芸大学から約1週間の展示の実践を伴う研修を受け入れた。

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目 標	2024年度 実績
ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 : 創 造 都 市 プ ラ ツ ト フ ォ ー ム の 造 成 ス	文化芸術 団体との 連携	県内の既存芸 術文化団体・ 施設との協力 体制が構築さ れる	24	既存文化芸術団 体(芸術の加盟団 体など)や文化施 設との関係性強 化(ベップ・アー ト・マンス登録 呼びかけ、事業 の周知など)	B	定性	アウトプ ット	-	・OPAM、大分市美 術館等、県内の各 美術館をはじめ、 ギャラリーやアート スポットに、事業 の周知の協力を得 た。特に 『AFB2023』には 県内各美術館の学 芸員など美術関係 者が多数来場して おり、今後の連携が 期待される。 ・別府市竹細工伝 統産業会館や太陽 ミュージアム(太陽 の家)等、市内の文 化関連施設とも連 携して事業を実施 した。	団体・文化 施設などの 情報共 有、連携事 業の開始	・OPAM、別府市美術 館、大分市美術館等、県 内の各美術館をはじめ、 ギャラリーやアートスポ ットから、事業の周知の 協力を得た。 ・別府市竹細工伝統産業 会館やピーコンプラザ 等、市内の文化関連施設 とも連携して事業を実施 した。 ・HAJIMARI Beppuや北 浜租界など近年新たにで きたアートのスポットと連 携して事業を実施した り、情報共有したり、協 力関係を構築しながら業 務を遂行した。
	海外機関 との連携	海外関係者との交流が進 み、別府が日 本におけるア ートの先進地 と評価される	25	海外の芸術文化 関係者(文化機 関、アーティスト 、コーディネ ーター、政府関 係者、メディア など)とのネット ワーク構築活動	B	定性	アウトプ ット	-	・トム・フルーイン 氏を招聘し新作を 依頼したほか、レ ジデンス事業にお いてフランス、カン ボジア、フィリピン からアーティストを 招聘した。また、栗 林 隆氏のアシスタ ントとして、インド ネシアよりインスト ーラーを招いた。 ・レジデンス事業に おいて、「sasa artprojects」(カン ボジア)と連携し、 互いの活動を知る ためのオンラインイ ベントを実施し た。また「Collectif BONUS」(フラン ス)と連携しフラン ス・ナントと別府 とで互いにアーテ ィストを派遣する交 換プログラムを実施 した。 ・PR WIREを経由 して、アメリカにプ レスリリースを配信 したほか、 『AFB2023』につ いて韓国の美術関係 機関90団体に案内 状を出すなど、ネ ットワーク拡大に 向けての活動をおこ なった。	ネットワー クを拡大し つつ、継続 的な関係づ くりのため の調査	・レジデンス事業にお いてインドネシア、フィ リピンからアーティスト を招聘した。 ・PR WIREを経由して、 アメリカにプレスリリー スを配信したほか、 『AFB』について韓国の 美術関係機関に案内状の 送信、韓国人ブロガーを 通じてのプロモーション など、海外に向けての広 報活動をおこなった。 ・『AFB』に公募枠で台 湾からのアーティストが 参加したほか、清島アパ ートでの滞在について海 外のアーティストから複 数の問い合わせや申請が あるなど、海外のアー ティストに別府のアート情 報が伝わりつつあるよう に感じている。

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目 標	2024年度 実績
ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 ： 創 造 都 市 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 造 成 ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 ： 創 造 都 市 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 造 成	行政機 関・企 業・団体 との連携	自治体における文化芸術の必要性が向上し、果たす役割が担当課以外にも拡大される	26	大分県、別府市などにおける芸術文化担当課以外との連携	B	定性	アウトプット	-	・別府市公園緑地課、産業政策課、秘書広報課、農林水産課、観光課、教育政策課等より、場所の提供・材料の提供・各事業の周知等において協力を得た。 ・大分県別府土木事務所より『AFB2023』の会場提供において協力を得た。 ・大分県商工観光労働部 観光局 観光誘致促進室および大分県ディスティネーションキャンペーン実行委員会 事務局と、ディスティネーションキャンペーン関連事業において協働した。 ・そのほかにも、大分県中部振興局（サステナブル・ガストロノミー推進事業）、別府市政策企画課（別府市制100周年記念事業ほか）などと協働したほか、イベントの周知のために各自治体の多数の部署の協力を得た。	関係性を継続・拡大する	・別府市公園緑地課、産業政策課、秘書広報課、農林水産課、観光課、教育政策課、温泉課等と連携、場所の提供・材料の提供・各事業の周知等において協力を得た。 ・大分県商工観光労働部 観光局 観光誘致促進室および大分県ディスティネーションキャンペーン実行委員会事務局と、ディスティネーションキャンペーン関連事業において協働した。 ・そのほかにも、大分県中部振興局（サステナブル・ガストロノミー推進事業）、別府市政策企画課（別府市制100周年記念事業）などと協働したほか、イベントの周知のために各自治体の多数の部署の協力を得た。 ・文化観光事業において、ツーリズムおいたより、ツアーの周知や販売、韓国の観光市場やプロモーションに関する情報提供などで協力を得た。 ・大分県庁「飛び出せ公務員」のプログラムにおいて、3名の職員の研修を受け入れた。
		企業における文化芸術の価値が向上し、具体的な動きが起こる	27	大分県内・別府市内の経済団体や企業・旅館・店舗などへの理解促進につながる情報提供や交流	B	定性	アウトプット	-	・ツアーの企画・実施や情報発信において、地域の観光関連の事業体と連携し、実施することができた。 ・大分経済同友会より各事業の周知において協力を得たほか、同友会からの『AFB2023』への視察の受け入れをおこなった。 ・市内のホテル・旅館に対する各事業の周知において、別府市旅館ホテル組合連合会の協力を得た。 ・別府商工会議所 青年部、大分県中小企業家同友会、別府法人会・婦人会、別府市医師会、別府市・大分市内のロータリークラブ、大分銀行等の経済団体・企業より、『AFB2023』の周知において協力を得た。 ・市内の多数の旅館、温泉、飲食店等より、『ベップ・アート・マンス 2023』（以下『BAM2023』とする）の会場提供等や各事業のリサーチの受け入れにおいてご協力をいただいた。	経済団体や企業との連携事業を検討する	・ツアーの企画・実施や情報発信において、地域の観光関連の事業体と連携し、実施することができた。 ・大分経済同友会より各事業の周知において協力を得たほか、同友会からの『AFB』等への視察の受け入れをおこなった。 ・市内のホテル・旅館に対する各事業の周知において、別府市旅館ホテル組合連合会の協力を得た。 ・『AFB』において市内8軒の宿泊施設と連携し、パートナーホテルとして協力を得た。 ・『ALTERNATIVE-STATE』（以下『AS』とする）の作品設置において、多数の企業・商店・商店街組合等から協力を得た。 ・市内の多数の旅館、温泉、飲食店等より、『ベップ・アート・マンス』（以下『BAM』とする）の会場提供や各事業のリサーチの受け入れ、作品設置においてご協力を得た。

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
ス テ ー ク ホ ル ダ ー の 視 点 ： 創 造 都 市 プ ラ ッ ト フ ォ ー ム の 造 成	行政機関・ 企業・団体 との連携	各種団体にお ける文化芸術 の理解が進 み、それぞ れが創造的な連 携を行う下地 がつけられる	28	自治会、通り 会、NPOなどの 地域組織や大学 などの教育機関 の理解促進につ ながる情報交 換・交流	A	定性	アウトプ ット	-	<ul style="list-style-type: none"> ・栗林 隆作品の設 置について、鉄輪ツ ーリズムや鉄輪エリ アの自治会、旅館 組合等より、事業 内容や説明会参加 の周知において協 力を得た。また、地 域の協力のもと、 作品を囲んでの交 流会(花見)を開催 することができた。 ・南部エリアの自 治会やひとまも り・まちまもり協 議会、温泉部会等 より、各事業の周 知において協力を 得た。 ・別府大学、県立 芸術文化短期大 学、別府溝部学園 短期大学にて授業 をおこない、本事 業の意義や内容 を含めた講義をお こない、事業の周 知や理解促進を することができた。 	各種団体と 日常的に交 流し、関係 を築く	<ul style="list-style-type: none"> ・『AS』作品の設置につ いて、今年度は設置場所 が広範囲に及んだため多 数の自治会より事業内容 や説明会参加の周知にお いて協力を得た。 ・南部エリアの自治会や ひとまもり・まちまもり 協議会、温泉部会等よ り、各事業の周知におい て協力を得た。 ・大分大学、別府大学、 別府溝部学園短期大学に て授業をおこない、本事 業の意義や内容を含めた 講義をおこない、事業の 周知や理解促進をするこ とができた。
	ボランティア の関わりし るの拡大	ボランティア が事業の目的 や内容をよく 理解し、活動 にやりがい を感じながら参 加する	29	ボランティアと の定期的な情報 共有・コミュニ ケーション	A	定性	インプ ット	-	<ul style="list-style-type: none"> ・主にメールマガジ ンを通じてボラン ティアに関する情報 提供をおこなった。 ・事務所に定期的 にさまざまな作 業に従事するボラ ンティア2名が、年 間を通じて活動し た。 ・『BAM2023』に おいて広報用パン フレットの折込作 業にボランティア6 名が参加。 『AFB2023』にお いて設営および当 日会場運営ボラン ティアのべ6名が参 加。 『まつばらマルシ ェ』において設営 および当日会場運 営ボランティアの べ4名が参加した。 ・定期的・効果的 なコミュニケーション としてはまだ不 十分であり、方法 の検討・試行が必 要である。 	定期的に情 報共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・主にメールマガジ ンを通じてボラン ティアに関する情 報提供をおこな った。 ・事務所に定期的 にさまざまな作 業に従事するボ ランティア2名が、年 間を通じて活動 した。 ・『BAM』におい て広報用パンフレ ットの折込作 業やポスターの折 り作業にボラン ティア8名が参 加。また、ボラン ティアがポッドカ スト番組の録音・ 配信において技 術協力した。 ・今後、特に作品 の管理・清掃にお いてボランティア を組織化するこ とを目指し、検 討を始めた。

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
顧 客 の 視 点 ： 文 化 芸 術 や 地 域 資 源 を 活 用 し た 新 た な 魅 力 の 創 出	市民にとっ て関口の 広い事業 の充実・ 強化	市民にとって 参加しやす く、体験して よかったと思 える事業を実 施する	30	各事業におい て、より多様な 市民にとっての 関わりしるを造 成	B	定性	直接アウト カム	-	・各事業において、 広報物等の日英併 記に努めた結果、 外国人の参加者数 が増加した。 ・文化観光ツアーの 一環で、乳幼児連れ の保護者向けのアー ト散策ツアーを実施 し、3組が参加し た。 ・『ALTERNATIVE- STATE』トム・フル ーイン作品におい て、作品の素材とな る使われなくなっ たアクリル板を市民 から募集し、16件 が集まった。また、 栗林 隆作品におい て、植物園型ア ートの内部に植える 植物を市民から募 集し、29件が集ま った。 ・別府市制100周年 記念事業『ちびっ こランタン』におい て、別府市内57保 育施設の園児が制 作に参加した。 ・『OCE2024』佐 伯市での作品制作 において「やさしい 日本語」も取り入 れ出演者募集をお こなったところ、 外国籍の方6名の応 募があった。	より多様な 市民が関わ れる事業を 検討・実施	・各事業において、広報物 等の日英併記に努めた結 果、外国人の参加者数が増 加した。 ・『AS』齋藤作品のオーブ ニングイベントに「東北ユ ースオーケストラ」を招聘 し、地元高校の吹奏楽部の 生徒たちも鑑賞した。 ・『BAM』に留学生やイン ターナショナルスクールな どさまざまな国籍の人が参 画した企画が複数登録し た。 ・文化観光事業において、 別府在住の複数の韓国人の 方がガイドとして参画し た。
			31	各事業におい て、青少年(小学 生～大学生)が関 わることができる 範囲の拡大	B	定性	直接アウト カム	-	・『AFB2023』に おいて、県内学生向 けに無料招待枠を設 定、73名の応募が あった。 ・『BAM2023』の 企画者として、日本 文理大学・別府大学 短期大学部・APUの 学生が参加した。 ・小中学生を対象と した体験プログラム 『しいたけを学ぶツ アー』や『ベップ・ アート・サマースク ール』などを企画・ 実施した。 ・別府市内の中学 校・支援学校9校お よび別府大学の学生 が別府市制100周年 記念事業「ちびっ こランタン」の制作に たずさわった。 ・『OCE2024』佐 伯市での作品制作に おいて、出演者を地 元の子どもミュージ カルから募集し、 10名の応募があっ た。 ・大分市「おおい たデザイン・エイ ド2023」において、 高校生～29歳を対 象としたデザインコ ンテストを実施し た。	青少年の関 わりしるの 拡大	・『AFB』において、県内 学生向けに無料招待枠を設 定、127名の応募があっ た。 ・『BAM』の企画者とし て、大分県立芸術文化短期 大学・日本文理大学・別府 大学・APUの学生が参加し た。 ・大分県立芸術短期大学、 九州産業大学、金沢美術工 芸大学、京都芸術大学、 APUから計16名のインター ンを受け入れた。(再掲) ・大分市「おおいたデザイ ン・エイド2024」におい て、多くの高校生・大学生 が参加した。

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
顧 客 の 視 点 ： 文 化 芸 術 や 地 域 資 源 を 活 用 し た 新 た な 魅 力 の 創 出	市民にとっ て間口の広 い事業の充 実・強化	市民にとって 参加しやす く、体験して よかったと思 える事業を実 施する	32	ベップ・ア ート・マンスおよ びマルシェの来 場者満足度	D	定量	直接アウト カム	% (構 成比)	93	90	91
			33	プログラム企画 者の設定した来 場者数目標の達 成 【ベップ・ア ート・マンスの 来場者数目標達 成率】	D	定量	直接アウト カム	% (達 成率)	184	100	189
	国際的に 発信力の 高い事業 の創出	作品展示にお いて、国際的 に評価の高い アートプロジ ェクトとして 位置づけられ る	34	作品展示にお ける来場者数目標達 成率	D	定量	直接アウト カム	% (達 成率)	152	100	134
			35	アートフェアに おける来場者数 目標達成率	C	定量	直接アウト カム	% (達 成率)	119	100	68
			36	国際的発信力 のある作品の市内 展開 【累計 値】	B	定量	最終アウト カム	点	4	6	6
	発信強化 による興味 喚起の促 進	アート関係者 のみならず、 来街者へ恒常 的に訴求し続 ける	37	国内メディア掲 載件数の増加	B	定量	直接アウト カム	件	206	230	276
			38	メディア露出広 告換算合計額の 増加	B	定量	直接アウト カム	百万円	118	270	111
			39	海外メディア掲 載件数の増加	B	定量	直接アウト カム	件	377	50	532
		アート関係者 のみならず、 来街者へ恒常 的に訴求し続 ける	40	SNS(FB,twitter,i nstagram)フォ ロワー数の増加	B	定量	直接アウト カム	件	17,613	18,000	19,930
地 方 創 生 の 視 点 ： 別 府 に お け る 諸 課 題 の 解 決	別府市へ の参加・ 関係意識 の醸成	これまで以上 に幅広い層が 関わる	41	来場者アンケート において「初 めて参加した」 と回答した人の 比率	A	定量	中間アウト カム	% (構 成比)	55	60	56
			42	マルシェ・アート フェアの企画 者・出店者とし て初めて参画し た人の比率	A	定量	中間アウト カム	% (構 成比)	52	75	73

視 点	戦略目的	目指すべき具 体的な姿	No.	業績評価指標	成 長 ル ー ト	定量/ 定性評 価	指標の性格	単 位	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績
地 方 創 生 の 視 点 ： 別 府 に お け る 諸 課 題 の 解 決	別府市への参加・関係意識の醸成	これまで以上に幅広い層が関わる	43	来場者アンケートのうち、別府市内の様々な文化プログラムに訪れてみたいと思った人の比率	B	定量	中間アウトカム	% (構成比)	95	75	95
		アーティスト・クリエイターの移住者が増加している	44	別府市内に移住・定住したアーティスト・クリエイターの人数【累計数】	C	定量	最終アウトカム	人	46	86	82
	他地域との連携による滞在時間の増加	別府を訪れた人が、別府を拠点に大分県各地を周遊する	45	来場者アンケートのうち2泊以上の宿泊客の比率(2泊以上宿泊客/総宿泊客)の増加	B	定量	最終アウトカム	% (構成比)	61	65	48
			46	来場者アンケートのうち、大分県内の別府市以外の自治体を訪問した人の比率の増加(他自治体を訪問した人数/県外からの訪問者数)	B	定量	最終アウトカム	% (構成比)	52	55	41
	別府市のブランドロイヤルティの向上	別府市が文化的目的地として認知される	47	「別府は温泉観光地だけではなくアートの街でもある」という認知が進む【来場者アンケートでの比率】	B	定量	最終アウトカム	% (構成比)	75	85	73
			48	来場者アンケートにおいて「別府市にまた来たい」と回答した人の比率	B	定量	最終アウトカム	% (構成比)	95	70	99

【凡例】成長ルート (2025年の目標達成に向けて評価指標がたどるべき成長ルート)
 類型A：期間前半に急ピッチで進展、類型B：期間中、直線的に進展、類型C：期間後半に急ピッチで進展、類型D：2025年まで現状水準を維持

[お問い合わせ]

混浴温泉世界実行委員会 事務局〈NPO法人 BEPPU PROJECT内〉

〒874-0933 大分県 別府市野口元町2-35 菅建材ビル2階

TEL：0977-22-3560 FAX：0977-75-7012

E-MAIL：info@beppuproject.com

営業日：月～金 9:00～18:00